TEPRA PRO

TAPE



SR950
取扱説明書

「TEPRA Label Editer SPC10」は「テプラ クリエイター」に名称変更しました。
本書における文中の「TEPRA Label Editer SPC10」は「テプラ クリエイター」を指します。

KING JIM

はじめに

このたびは、ラベルライター「テプラ」PRO SR950 をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書は「テプラ」PRO SR950 の使いかたを、「準備編」「使いかた編 1・2」「機能編」に分けて説明しています。ご使用前に、必ずお読みください。

取扱説明書には操作方法以外にも、使用上の注意や、上手に使うためのちょっとしたヒントなど、役立つ情報がいっぱいです。いつもお手元においてご利用ください。

「テプラ」PRO SR950 を本書とともに末永くご愛用いただきますよう、心からお願い申し上げます。
なお、本製品には保証書が同梱されています。保証書は、必ず「販売店名」「購入日」などの記入を確認し、販売店からお受け取りください。

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- この製品は、日本国内専用です。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の作成には万全を期しておりますが、万一、ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

‼注意‼

- 本機で保存する文章や外字などのデータは、基本的に一過性のもので、長時間・永久的な記憶・保存はできません。故障、修理、検査、電池消耗などに起因するデータの消失の損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 「テプラ」で得られるラベルについて
  塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。
  なお、これによって、生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

「キングジム」、「KING JIM」、「テプラ」、「テプラ」PRO、P テープマークはいずれも株式会社キングジムの商標です。
「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
「QR コード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
その他記載の会社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意･･･必ずお守りください!

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。
本機をご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、取扱説明書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

● 表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合を、次のように説明しています。

⚠危険	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。
⚠警告	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
⚠注意	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

● 次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

⚠	⚠ 表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⃠	⃠ 表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	❗ 表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

⚠危険

電池の取り扱いについて

❗ 電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受けてください。



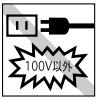
⚠警告

AC アダプターについて

⃠ 同梱の専用 AC アダプター（AS1527J）以外のアダプターは、使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



⃠ AC アダプターは、指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



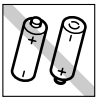
⃠ AC アダプターのコードを引っ張ったり、コードの上に重いものをのせないでください。火災・感電の原因となります。



⚠警告

電池の取り扱いについて

電池の⊕と⊖を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。



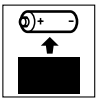
電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに水道水などの多量のきれいな水で洗い流してください。



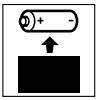
新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



使い切った電池はすぐに本機から取り出してください。使い切った電池を本機に接続したまま長期間放置しますと、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させたり、本機を破損させるおそれがあります。



長期間本機を使用しない場合には、本機から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液させたり、本機を破損させるおそれがあります。



電池の使いかたを誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。

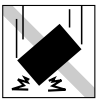


充電式ニッケル水素電池を使用する場合には、お使いの充電器および電池の取扱説明書に従って正しく使用してください。



その他

本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり火災・感電の原因となります。破損した場合には、電源を切り AC アダプターをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



ぬれた手で本機や AC アダプター、プラグを操作しないでください。故障や火災・感電の原因となります。



本機や取扱説明書が入っていた袋は、お子様がかぶらないように、手の届かないところに保管または破棄してください。窒息のおそれがあります。



⚠警告

本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災・感電の原因となります。水などをこぼした場合には、電源を切りACアダプターをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



本機を分解、または改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。



⚠注意

オートトリマーのお手入れについて

「トリマーカバー」をはずすときは、必ず電源を切ってください。「トリマーカバー」をはずしたまま作動させると、刃で指を切ったりするなど大変危険です。また、オートトリマーを掃除するときにはオートトリマー内部に絶対、指を入れないでください。指を切るおそれがあります。



オートカッターについて

印刷中もしくはカッター作動中にテープ出口付近を指で触れないでください。指を切るおそれがあります。



その他

本機の上に物をのせたり、ぐらついた台や傾いたところなど、不安定な場所に本機を置かないでください。落下したり、倒れたりしてけがをするおそれがあります。



電源が入っている状態でACアダプターを抜かないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。



「テプラ」で得られるラベルについて

塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



テープカートリッジ取り扱いについてのご注意

■ テープカートリッジを落としたり、分解したりしないでください。故障の原因となります。



■ テープ出口から出ているテープを引っ張ったり、押し込んだりしないでください。故障の原因となります。



■ テープカートリッジは直射日光･高温･多湿･ホコリを避け、冷暗所に保管してください。テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。



MEMO

使用済みのカートリッジには、印刷済みのインクリボンが入っています。
印刷済みのインクリボンは必要に応じてお手元で廃棄してから回収に出してください。

テープカートリッジの回収およびリユース（再利用）について

当社では使用済み「テプラ」テープカートリッジの回収をおこなっています。
使用済みの「テプラ」テープカートリッジは、当社にてリユース（再利用）をおこないますので、テープカートリッジを分解せず、当社までお送りください。
回収方法については、当社ホームページをご確認ください。
https://kingjim.jp/tepra_recycle

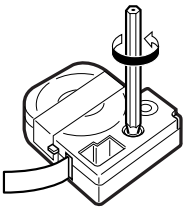
テープカートリッジをセットするときのご注意

テープカートリッジをセットするときは、以下の注意をお守りください。

■ セット前に、必ずインクリボンのたるみをとる

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いてたるみを取ってください。

インクリボンにたるみがあると、本機にセットする際、インクリボンが印刷ヘッドに接触し、インクリボンが折れ曲がったり、破けたりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



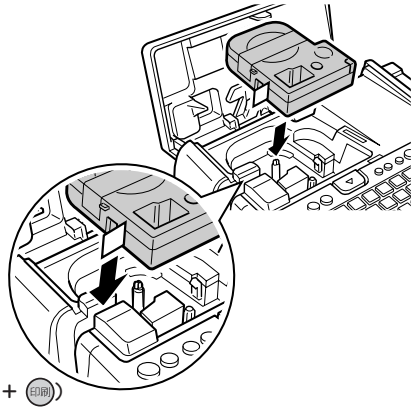
■ 正しく本機にセットする

テープカートリッジをラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。

正しくセットすると、本機のフックにテープカートリッジが固定されます（36mm 幅テープカートリッジは固定されません）。

新品のテープカートリッジやテープの先端が長めに出ているテープカートリッジを本機にセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミゾに通します。

テープカートリッジを本機に正しくセットせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



■ セットした直後は必ず「テープ送り」をする（シフト ＋ 印刷）

テープカートリッジを本機にセットした直後は、テープやインクリボンにたるみが発生します。そのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。

「テープ送り」または「送りカット」をせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。

参照☞ P.30「5. テープ送りをする」

その他のご注意

■ **本機の使用にあたっては「安全上のご注意」をよくお読みになり、その指示に従ってください。**
■ AC アダプターは、使い終わったら本機から抜き、コンセントからも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故を防げます。
■ 直射日光の当たる場所、車内など熱がこもる場所、暖房器具や熱器具の近くなど温度が異常に高い場所や低い場所、湿気やホコリの多い場所でのご使用、保管はおやめください。
■ 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。
■ AC アダプター差込み口、テープ出口などに物をつめたり、ふさいだりしないでください。
■ 印刷ヘッドには、絶対に手を触れないでください。
■ テープカートリッジは、必ず P テープマークのついた専用のテープカートリッジをご使用ください。点字テープカートリッジ（DL 規格）は、お使いになれません。
■ 使い終わったテープカートリッジのご使用や、テープカートリッジをセットせずに印刷を押したりすることはおやめください。印刷ヘッドが過熱し故障の原因となります。
■ テープ送りは、必ず シフト ＋ 印刷（＝テープ送り）でおこなってください。無理に手で引っ張ったりすることは、絶対におやめください。テープ出口から出ているテープを引っ張ると、正常に印刷がおこなえず、そのテープカートリッジが使用不能になることがあります。
■ テープカートリッジはていねいに扱い、衝撃を与えないでください。
■ キーボードの操作はていねいにおこなってください。乱暴な操作は故障の原因となります。また、ペン先などの鋭利なものでのキー操作は絶対におやめください。
■ ハーフカットをするときやテープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。
■ 幅の狭いテープや短いラベルを排出するときに、カットされたラベルが飛び出す場合があります。
■ テープをハサミで切るときに指をはさまないように注意してください。
■ オートトリマーには P テープマーク以外のラベルを差し込まないでください。
■ ハーフカットのスリットが入っているラベルは、スリット部分を折り曲げてオートトリマーに差し込んでください。
■ オート・パワーオフ機能に頼らず、ご使用後は必ず電源を切ってください。
■ 電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、AC アダプターを抜かないでください。
■ 長期間使わないときは、電池、AC アダプター、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。本機、電池、AC アダプター、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。
■ 長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れしたりすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。
■ 寿命となった電池を捨てるときは、定められた条例に従って廃棄してください。
■ 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因となることがあります。
■ 取扱説明書に記載された内容・仕様・デザインなどは予告なく変更されることがあります。

本書の使いかた

本書の構成

本書は次のような構成になっています。

準備編

本機を使用する前の準備作業について説明しています。

使いかた編

使いかた編には 1・2 があります。「使いかた編 1」では、文字の入力からラベルの貼り付けまでの基本操作を説明しています。
「使いかた編 2」では、段落の追加などテキスト画面での操作と、ハーフカッター・オートトリマーなどについて説明しています。初めて「テプラ」PRO シリーズをお使いになる方は、「使いかた編 1」から順を追って読まれることをお奨めします。

機能編

ラベルの見栄えをよくする編集機能や、ファイル、あて名といった各種登録機能など、「テプラ」をさらに使いこなしていただくための情報を操作ボタンごとにまとめて説明しています。「使いかた編」の内容を充分に理解されたうえでお読みくださるようお願いします。

本書の見かた

本書は次の表記で記述しています。

【 表 記 】	【 説 明 】
❶、❷	操作の手順を示しています。
も M、ら O	文字ボタンを示しています。
編集	機能ボタンを示しています。
← ↑ ↓ →	カーソルを移動したり、メニューを選ぶボタンを示しています。
参照	関連する事項の参照ページを案内します。
MEMO	知っておくと便利な補足情報を説明しています。
!! 注意 !!	その機能の制限や条件など注意していただきたいことを説明しています。

ラベル見本について：本書で使用しているラベル見本はすべてイメージです。本機で印刷したラベルを、説明用に縮小や余白の調整をして使用しています。

目次

はじめに

● 安全上のご注意…必ずお守りください！ 1
テープカートリッジ取り扱いについての
ご注意 4
テープカートリッジをセットするときの
ご注意 5
その他のご注意 6
● 本書の使いかた 7
本書の構成 7
本書の見かた 7
● 目次 8
● 同梱品の確認 10
● 別売品のご案内 11
●「テプラ」PRO SR950 の特長 12
● まず、使ってみよう…
すぐ使いたい人のために 13
1. 準備 13
2. 電源を入れる 13
3. 文字を入力する（例：伊藤） 13
4. 文字の大きさ（文字サイズ）を
変えてみよう 14
5. たて書きにしてみよう 15
6. 印刷する 15
7. ラベルを貼る 16
8. 電源を切る 16

準備編

● 各部の名前とはたらき 18
本機各部の名前（表） 18
本機各部の名前（内部） 18
本機各部の名前（裏） 19
本機各部の名前（背面） 19
操作パネルの名前とはたらき 20
● ディスプレイの見かたとはたらき 22
ディスプレイ（画面）の見かた 22
● 使う前の準備 24
1. AC アダプターを接続する 24
2. 電池（別売）を入れて使用するときは…24
3. テープカートリッジをセットする 27
4. 電源を入れる 29
5. テープ送りをする 30

使いかた編 1

● 手順どおりに作ってみよう
（文字入力～ラベルの完成まで） 32
文字入力をはじめる前に 32
1. 文字を入力する 34
長い文章を変換する 37
変換する「読み」の長さを変える 37
2. 英数字を入力する 38
3. スペースを入力する 40
4. 記号を入力する 41
5. 印刷イメージを確認する（プレビュー）…43
6. 印刷する 44
7. ラベルを貼る 45
● 使い終わったら〈電源を切る〉 46

使いかた編 2

● 文章を作る 48
カーソルボタンの使いかた 48
文章を入力する 48
文字を削除 / 挿入する 49
削除した文字をもとに戻す（復活） 49
文字をコピーする 50
文字を貼り付ける 50
すべての文章を消去する 50
● 行を増やす (改行) 51
新しい行を作る 51
文字を次行に移動する 52
改行を取り消す 52
● 段落を増やす (改段落) 53
新しい段落を作る 54
段落を分割する 54
特定の段落を消去する 55
● カドを丸く仕上げる 56
オートトリマーのお手入れ 57

機能編

● ダイレクトキーで書体を変更する 60
書体（書体）を使う 60
● ダイレクトキーで文字サイズを変更する 61
文字サイズ（文字サイズ）を使う 61
● ダイレクトキーでラベルの向きを
変更する (縦・横) 62
縦・横（縦・横）ボタンを使う 62
● ラベルの見栄えをよくする (編集) 64
編集を指定する 65
● 編集メニュー一覧 67
機能の説明（文字モード） 72
機能の説明（段落スタイル） 75
機能の説明（文章書式） 82
● デザインされたラベルを呼び出す（フォーム）…88
ラベルの作りかた 88
デザインフォーム・ビジネスフォーム
メニュー一覧 90
フォーム見本 93

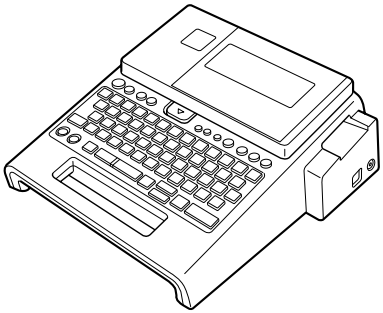
● 文章を呼び出す・登録する.....103
ファイルボタンを使う.....103
ファイルとは.....104
ファイルを登録する.....105
ファイルを呼び出す.....106
ファイルを消去する.....107
ファイルを複写する.....108
グループの名前を変える.....109
ファイルをまとめて印刷する.....110
● 最近印刷した文章を呼び出す.....111
印刷履歴を呼び出す.....111
印刷履歴を消去する.....111
● 名前や語句を登録する
（あて名 / 名前 / 辞書）.....113
あて名ラベルを作る.....113
あて名を登録する.....114
あて名を修正する.....115
あて名を複写する.....115
あて名を消去する.....116
あて名ラベルを印刷する.....117
あて名のグループ名修正.....118
カスタマバーコードについて.....119
名前を登録する.....121
名前を修正する.....122
名前を消去する.....122
名前のグループ名修正.....122
名前ラベルを印刷する.....122
変換できない語句を登録する
（辞書の登録）.....124
登録した語句を呼び出す.....125
登録した辞書を修正する.....125
登録した辞書を消去する.....126
● 外字を使う.....127
外字を作成し、登録する.....129
外字を修正する.....130
外字を呼び出す.....130
外字を複写する.....131
外字を消去する.....131
外字を参照作成し、登録する.....132
● 定型外国語を入力する.....133
定型外国語メニュー一覧.....133
定型外国語を使う.....134
定型外国語を編集する.....135
● 連番やバーコードを印刷する.....136
連番・バーコードメニュー一覧.....136
連番を印刷する.....137
バーコードを印刷する.....140
QR コードを印刷する.....142
● 特殊な印刷（連続印刷、拡大印刷）.....144
特殊印刷メニュー一覧.....144
同じラベルを連続して印刷する
（連続印刷）.....145
テープ幅より大きなラベルを作る
（拡大印刷）.....146
鏡文字を印刷する.....148
● 読みのわからない漢字を入力する
（コード入力）.....149
● 印刷設定 / 編集設定 / 環境設定.....150
設定メニュー一覧.....150
● 印刷設定を変更する.....152
印刷時の自動カット／ハーフカットを
設定する.....152
印刷濃度を調整する.....154
印刷設定をリセットする.....154
● 編集設定を変更する.....155
編集機能の保存値を設定する.....155
保存値を変更する.....156
保存値を初期設定値に戻す.....156
● 環境設定を変更する.....157
表示切り換え.....157
ディスプレイの濃度を調整する.....157
バックライトの切り換え.....158
学習内容を初期化する.....158
電池種類を設定する.....159
● 本機を初期化する.....160
初期化する.....161
● デモ印刷をする.....162

付録

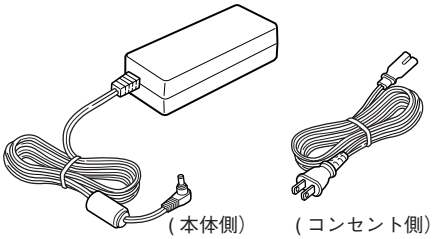
● メニュー一覧.....164
記号メニュー一覧.....165
テープ送りメニュー一覧.....166
消去メニュー一覧.....166
● テープカートリッジを使いわける.....167
転写テープを印刷する.....168
転写テープの文字を転写する.....168
● こんな表示が出たときは.....169
エラーメッセージが表示されたときは....169
● 故障かな？と思ったら.....172
● お手入れについて.....175
ヘッド・クリーニングテープを使う.....176
● 入力文字一覧表.....177
文字ボタン配列.....177
入力文字表.....177
● 漢字変換表.....178
JIS 第 1 水準.....178
JIS 第 2 水準.....182
その他.....185
● 記号一覧表.....186
● 定型外国語一覧表.....190
● ローマ字変換表.....198
● おもな仕様.....199
● 索引.....203
● アフターサービスについて.....巻末

同梱品の確認

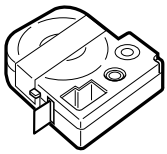
同梱品がすべてそろっているか、確認してください。



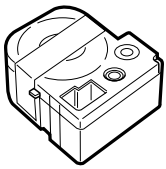
「テプラ」PRO SR950 本体



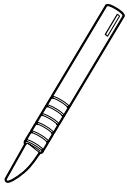
AC アダプター (AS1527J)



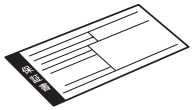
試用 PRO テープカートリッジ



ヘッド・クリーニングテープ（SR36C）



転写スティック（SR9L）



保証書
（箱の側面に添付）



SR950 取扱説明書（本書）



PC ラベルソフト取扱説明書



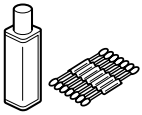
CD-ROM

MEMO

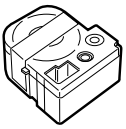
- 本機には、電池は同梱しておりません。電池でお使いになる場合は、アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単 3 形× 6 本）をお買い求めください。
- 本機にはパソコン接続用の USB ケーブルは同梱されていません。パソコン接続には市販の USB ケーブルをご使用ください（USB2.0/1.1 ケーブル A-B タイプ）。

別売品のご案内

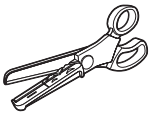
本機には、以下の製品がオプションとして用意されています。本機と合わせてご利用ください。



ヘッド・クリーニングキット（RC15）
印刷ヘッド専用クリーニング液です。



ヘッド・クリーニングテープ（SR36C）
テプラ本体のヘッドクリーニング用のテープです。



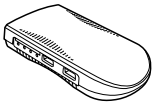
トリマー（RT36W）
ラベルのカドを丸くカットし、ラベルをはがれにくく、見た目にも美しく仕上げるハサミ型トリマーです。4 ～ 36mm 幅のラベルの「カド丸」加工が可能です。ラベルの前後余白調整にも便利です。



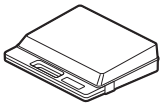
ラベルラミネーター（RL18）
9mm ～ 18mm 幅のラベルをセットしてフィルムを引き出すと、ラベルの表面に透明のラミネートを施すことができます。表面を保護し、薬品、油、こすれなどからラベルを守ります。
※ 4mm 幅、6mm 幅のテープには対応していません。



りぼんキット（SRR10）
ミニサイズで使いやすい手芸用はさみと、印刷前に使いたい長さを確認できる綿製のメジャー、おまけシールのついた「テプラ」PRO テープカートリッジりぼん専用のオプション品です。



USB デバイスサーバ（RDS10）
無線 LAN または有線 LAN 環境に本機を導入することができます。



システムトランク（SR9BTN）
耐衝撃性に優れたトランクです。「テプラ」PRO 本体をはじめ、テープカートリッジ、同梱品、別売品などを一括して持ち運び、また保管することができます。



システムバッグ（SR8B）
「テプラ」PRO 本体とテープカートリッジ、取扱説明書などが収納可能です。ウレタン・ボンディング・ナイロンを使用しており、クッション性に優れています。



システムケース（SR9H）
A4 ボックスファイルサイズに「テプラ」PRO 本体と AC アダプタ、テープカートリッジ（12mm 幅 10 個分）などが収納可能です。印刷済みラベルの整理用ラベルファイル付きです。



テープカートリッジケース（SR4TH）
A4 ボックスファイルサイズにテープカートリッジ（12mm 幅 40 個分）が収納可能です。
４つのボックスでテープ色･幅･種類ごとに整理できます。

MEMO

詳細については、当社ホームページ（アドレス http://www.kingjim.co.jp/）をご覧いただくか、またはお買い上げ販売店、「テプラ」取扱店、当社お客様相談室にお問い合わせください。
参照☞巻末「アフターサービスについて」

「テプラ」PRO SR950 の特長

■バックライト付き！ 4 階調で見やすいディスプレイ
明るく見やすいバックライト付！
しかも4階調表示の液晶ディスプレイを搭載。見やすいディスプレイで、記号や装飾の細部が確認できます。

■業務向け機能性テープに対応！転写スティック付きで転写テープも使えます。
転写テープ、フラッグラベル、耐熱ラベルに対応。機能性テープで、会社の様々な課題を解決します。

■ダイレクトキーで簡単文字編集
ダイレクトキーを押すだけで、書体・文字サイズ・縦横等を変更可能！

■ホームキーがついてとっても便利
ホームキーを押すだけで、一気に編集画面に戻れます。

■パソコン編集用ラベルソフト対応！
パソコンならではの高い操作性で、ラベルや文字の編集が簡単な PC ラベルソフト「SPC10」に対応しています（MacOS は「シンプルラベルソフト TEPRA SMA3」に対応しています）。
※パソコン接続には市販の USB ケーブルが必要です（USB2.0/1.1 ケーブル A-B タイプ）。

■表示に適した定型文を４カ国語でラベル印刷！
約 800 の定型文を「日本語･英語･中国語･韓国語」の 4 カ国語で印刷できる「定型外国語」機能を搭載。
注意・警告・案内などのラベル表示が外国語で印刷できます。
※印刷できる中国語と韓国語は搭載された定型文のみです。また、翻訳や辞書機能ではありません。

■テプラ外国語ラベル工房に対応
外国語を併記したラベル作成ができる Web サイト「テプラ 外国語ラベル工房」が使用可能です。
http://tepra.kingjim.co.jp/ にアクセスすれば、Web 上からテプラ外国語ラベルが印刷できます。
もちろん、利用は無料！

■高精細 360dpi・384dot の大型ヘッドで文字が美しい！
360dpi・384dot=27.1mm という最上級機にふさわしい高密度大型ヘッドにより、さらに大きな文字も美しく、また最大 13 行もの多行印刷も可能です。

■「予測入力機能」付の ATOK 搭載
使いやすさに定評のある日本語入力システム「ATOK」を搭載。
また予測入力機能に加え、カタカナ読みを正しいスペルに変換する「カタカナ語英語変換」や、「記号変換」「絵文字変換」機能を搭載しました。
※「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。

■「オートカッター」「ハーフカット」「オートトリマー」搭載
もちろんラベルは自動カット。「ハーフカット」対応で、ラベルの印刷面だけを自動カット。ラベルの裏側が簡単にはがせます。
「オートトリマー」でカド丸仕上げもラベルを差し込むだけの簡単操作です。
※一部対応できないテープがあります。

■好評の PRO テープ 4 ～ 36mm 幅に対応！
大きなラベルも手軽に印刷！好評の 36mm 幅テープに対応。店舗のディスプレイや公共表示などに大きな威力を発揮します。

■豊富に選べる漢字 10 書体＋かな 14 書体＋英数 18 書体
「明朝体・ゴシック体・丸ゴシック体・行書体」の基本書体には、「太型」の変形書体も充実！
さらに「ペン行書体・波ゴ体」も選べます。かな書体には「えれん・ハッピ」を加えた 14 書体、英数書体は 18 書体装備。用途に合わせ、表現力がグンと広がります。

まず、使ってみよう…すぐ使いたい人のために

1. 準備

❶ AC アダプターを本機に接続する
参照☞ P.24「1.AC アダプターを接続する」

❷ テープカートリッジをセットする
参照☞ P.27「3. テープカートリッジをセットする」

2. 電源を入れる

❶ ON/OFF（ON/OFF）を押す
タイトルが表示され、設定されている入力状態が表示されたあと、行頭マーク1とカーソルが表示されます。

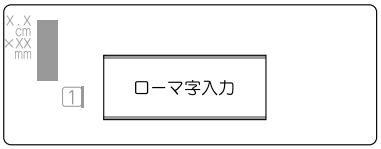




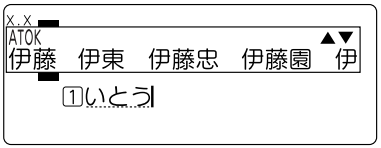
MEMO
より詳しい説明については、P.29「4. 電源を入れる」を参照してください。

3. 文字を入力する（例：伊藤）

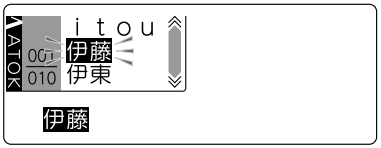
❶ 入力切換を押して、「ローマ字入力」または「かな入力」を選ぶ



❷ 文字ボタンを次のように押す
「ローマ字入力」の場合 ： に1、か T、ら O、な U
「かな入力」の場合 ： い E、と S、う 4
「いとう」と表示されます。入力後のひらがなには下線が表示されています。



❸ 「伊藤」が表示されるまで変換 スペースを押す



❹ 選択を押す
「伊藤」が確定し、行頭マークが 1 に変わります。同時に、ラベルの長さと印刷イメージが表示されます。



MEMO
より詳しい説明については、P.32「手順どおりに作ってみよう」を参照してください。

次へ進みます

4. 文字の大きさ（文字サイズ）を変えてみよう

伊藤 ➡ 伊藤

❶ 文字サイズ を押す

現在の文字サイズが表示されます。



❷ 目的の設定になるまで 文字サイズ を押す

文字サイズ を押すたびに選択肢が切り換わります。

例では「1 行」「中」を選択します。

カーソルがある行の文字サイズは、ディスプレイのインジケーターで確認できます。



文字の大きさが変更されます。



MEMO

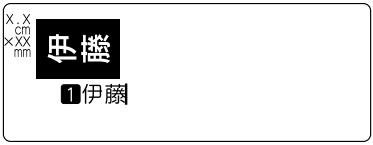
より詳しい説明については、P.61「ダイレクトキーで文字サイズを変更する」を参照してください。

5. たて書きにしてみよう

伊藤 ➡ 伊
藤

❶ ○縦・横（縦・横）を押す
「たて書き」と表示され、文字がたて書きのラベルになります。





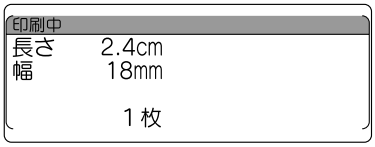
MEMO
より詳しい説明については、P.62「ダイレクトキーでラベルの向きを変更する（縦・横）」を参照してください。

6. 印刷する

❶ シフトを押しながら特殊印刷（＝プレビュー）を押す
印刷のイメージが流れるように表示されます（プレビュー）。
プレビューが終わるとテキスト画面に戻ります。



❷ 印刷を押す
画面に、印刷されるラベルの長さ、印刷枚数が表示され、印刷がはじまります。印刷が終了すると、テープが自動カットされて出てきます。
テープは絶対に手で引っ張らないでください。

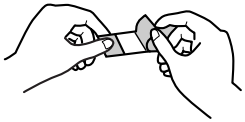


MEMO
より詳しい説明については、P.44「6. 印刷する」を参照してください。

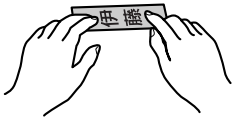
次へ進みます

7. ラベルを貼る

❶ **裏紙をはがす**



❷ **しっかりとこすって貼り付ける**



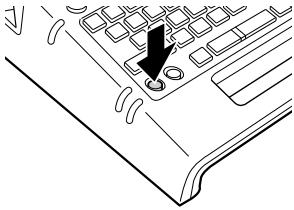
MEMO

より詳しい説明については、P.45「7. ラベルを貼る」を参照してください。

8. 電源を切る

❶ **（ON/OFF）を押す**

❷ **AC アダプター（AS1527J）をはずす**



!! 注意 !!

電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、AC アダプターを抜かないでください。

MEMO

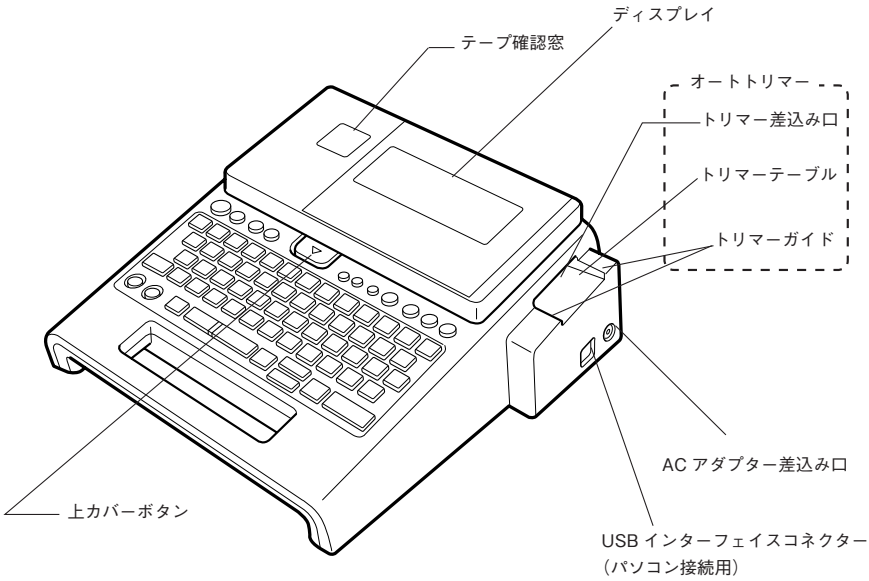
より詳しい説明については、P.46「使い終わったら〈電源を切る〉」を参照してください。

準備編

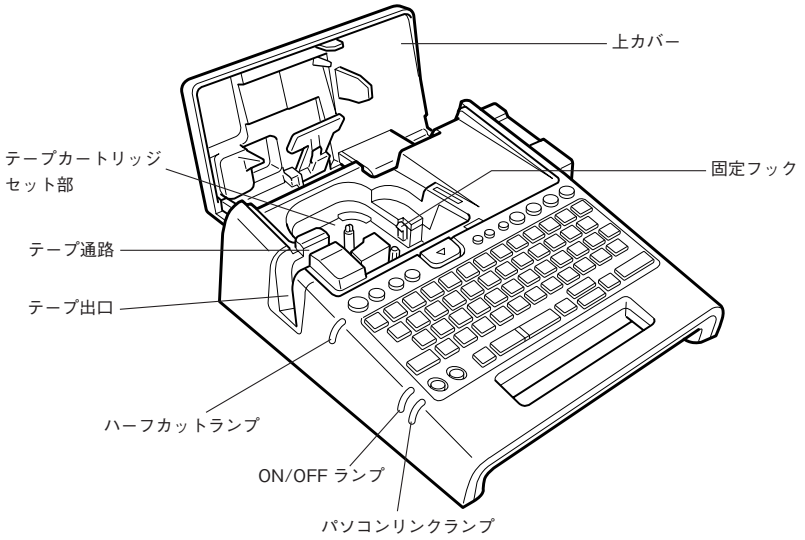
本機に AC アダプターを接続し、電源を入れます。
本機をはじめてお使いの方は、ここからお読みください。

各部の名前とはたらき

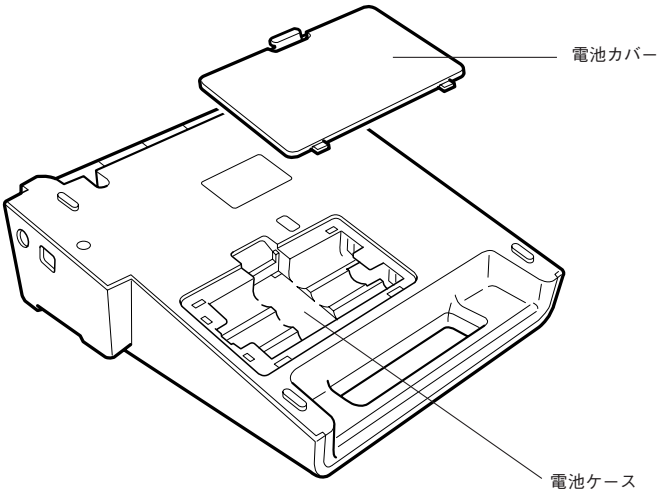
本機各部の名前（表）



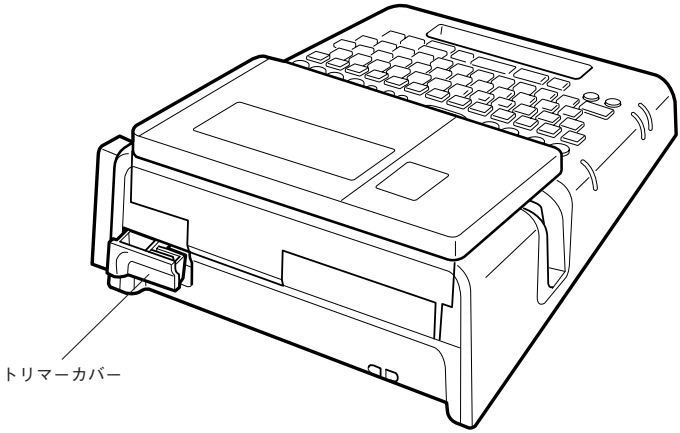
本機各部の名前（内部）



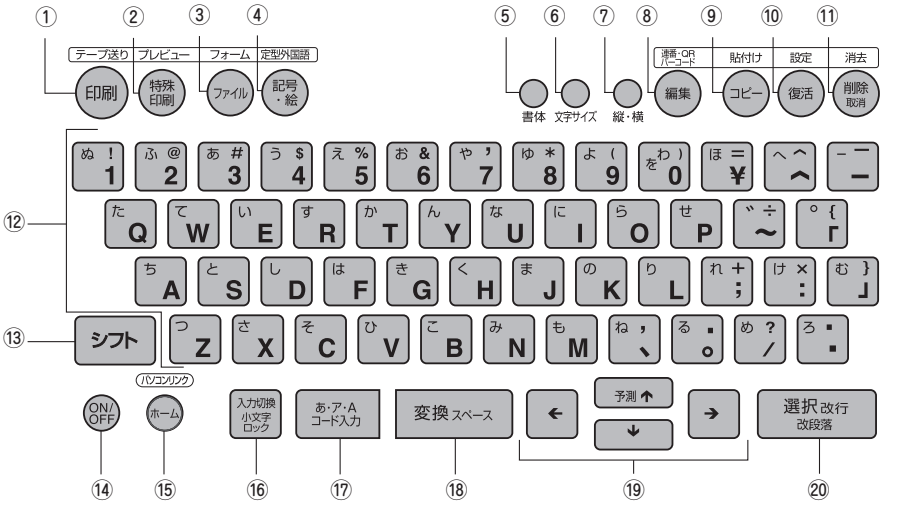
本機各部の名前（裏）



本機各部の名前（背面）



操作パネルの名前とはたらき



各ボタンの機能を説明します。シフト+ となっている表記は、シフトを押しながらそのボタンを押したときの機能です。

① 印刷 **（印刷）**
入力した文章をテープに印刷し、テープを自動的にカット（オートカット）します。
参照☞ P.44

シフト+印刷 **（＝テープ送り）**
テープを約20mm空送りしたり、カットします。
参照☞ P.30

② 特殊印刷 **（特殊印刷）**
連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷をします。
参照☞ P.144

シフト+特殊印刷 **（＝プレビュー）**
印刷イメージ全体を流れるように表示して確認することができます。
参照☞ P.43

③ ファイル **（ファイル）**
作成した文章を保存したり、あて名、名前、辞書、外字を登録します。また、印刷履歴の呼び出しをおこないます。**参照☞ P.103**

シフト+ファイル **（＝フォーム）**
デザインフォームやビジネスフォームの呼び出しをおこないます。**参照☞ P.88**

④ 記号・絵 **（記号・絵）**
記号の入力や外字の呼び出しなどをおこないます。**参照☞ P.41**

シフト+記号・絵 **（＝定型外国語）**
定型外国語の呼び出しや印刷をおこないます。
参照☞ P.134

⑤ 書体 **（書体）**
書体を指定します。**参照☞ P.60**

⑥ 文字サイズ **（文字サイズ）**
文字サイズを指定します。**参照☞ P.61**

⑦ 縦・横 **（縦・横）**
たて書き / よこ書きを切り換えます。
参照☞ P.62

⑧ 編集 **（編集）**
文字の装飾や文字サイズ、ラベルのレイアウト、ラベルの長さなどを指定します。
参照☞ P.64

シフト+編集 **（＝連番・QR・バーコード）**
連続番号やＱＲコード・バーコードの入力をおこないます。**参照☞ P.136**

⑨ コピー **（コピー）**

入力済みの文字をコピーします。**参照☞ P.50**

シフト＋コピー **（＝貼付け）**

コピーした文字を貼り付けます。**参照☞ P.50**

⑩ 復活 **（復活）**

削除した文字や文章をもとに戻します。**参照☞ P.49**

シフト＋復活 **（＝設定）**

自動カットや画面の表示濃度、編集機能の保存値など、各種設定を変更します。**参照☞ P.150**

⑪ 削除 取消 **（削除、取消）**

カーソル位置（カーソルの左側）の文字を削除します。各種機能の操作中は操作が取り消されます。**参照☞ P.49**

シフト＋削除 取消 **（＝消去）**

段落や文章を消去します。**参照☞ P.50**

⑫ **文字ボタン（**ｶﾞT ﾊﾟE ｾﾟP ﾀﾞR ｶﾞA **など）**

文字を入力します。**参照☞ P.34**

⑬ シフト **（シフト）**

機能ボタンと一緒に押すと、機能ボタンの上部に書かれた機能が働きます。文字ボタンと一緒に押すと、小文字や英記号などを入力できます。

⑭ ON/OFF **（ON/OFF）**

電源を ON/OFF します。**参照☞ P.29**

⑮ ホーム **（ホーム）**

メニュー画面やフォームの入力画面からテキスト画面に戻ります。

シフト＋ホーム **（＝パソコンリンク）**

ラベルソフト（SPC10、SMA3）使用時に、本機をパソコンと接続する状態に切り換えます。

⑯ 入力切換 **（入力切換）**

入力状態を「ローマ字→かな→ＡＢＣ」の順で切り換えます。**参照☞ P.34**

QR コードの用途「一般」では「ローマ字→かな→ＡＢＣ（半角）→ＡＢＣ」の順で切り換えます。**参照☞ P.142**

「ABC 入力、ABC（半角）入力」時のみ

シフト＋入力切換 **（＝小文字ロック）**

小文字入力状態に切り換えます。**参照☞ P.39**

⑰ あ･ｱ･A **（無変換）**

仮確定のひらがな文字を、「ローマ字入力」時は、押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。「かな入力」時は、押すたびに「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。**参照☞ P.38**

シフト＋あ･ｱ･A **（＝文字変換 / コード変換）**

仮確定のひらがな文字を、「ローマ字入力」時は、押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変換します。「かな入力」時は、押すたびに「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。**参照☞ P.38**

仮確定文字がないときは、コード入力の画面になり、区点コードを入力すれば漢字に変換できます。**参照☞ P.149**

⑱ 変換 スペース **（漢字変換、スペース入力）**

仮確定のひらがな文字を漢字に変換します。仮確定文字がないときは、スペースを入力します。ATOK 変換画面では、次の変換候補を表示します。**参照☞ P.37**

⑲ ← ↑ ↓ → **（カーソルボタン、文節変更）**

カーソルや選択候補を上下左右に移動します。**参照☞ P.48**

ATOK 予測入力画面では↑ ↓で予測候補を選択します。

ATOK 変換画面では← →で変換対象の文節長さを変更し、↓で確定します。**参照☞ P.32、33**

シフト＋← ↑ ↓ →**（＝カーソルジャンプ、文節切り換え）**

カーソルを段落先頭、段落末尾、行頭、行末に移動します。機能選択時は、先頭候補、最終候補を表示します。**参照☞ P.48**

ATOK 変換画面ではシフト＋← →で変換対象の文節を切り換えます。**参照☞ P.33**

⑳ 選択 改行 **（選択、改行）**

機能選択時の選択肢や、文字の入力、変換を確定します。仮確定文字がないときは、新しい行を作ります（改行）。**参照☞ P.36、51**

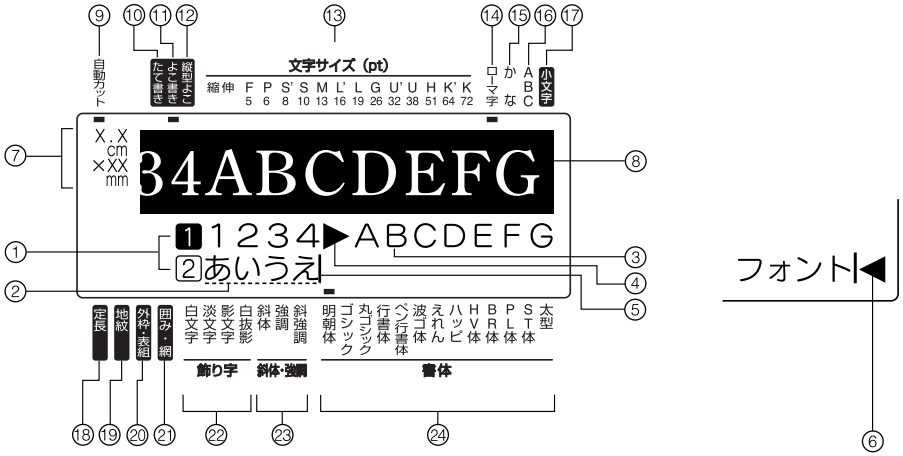
シフト＋選択 改行 **（＝改段落）**

新しい段落を作ります。**参照☞ P.53**

ディスプレイの見かたとはたらき

ディスプレイ（画面）の見かた

〈テキスト画面〉



① **行頭マーク（1 2…☒、1 2…☒）**
行頭に表示され、その行が何行目かを表示します。1、2はその行に印刷できる文字が入力されていることを表し、1、2はその行に文字がまだ入力されていない（確定していない）ことを表しています。☒、☒は印刷できない行を表しています。☒が表示されているときは、印刷することはできません。**参照 P.51**

② **仮確定文字（例：あいうえ）**
仮確定の文字で、文字の下に点線が表示されます。変換 スペースボタンで漢字、カタカナ、英数字などに変換できます。仮確定文字は印刷されません。

③ **確定文字（例：1234ABCDEFG）**
入力が確定した文字で、印刷することができます。

④ **文字モード指定マーク（▶）**
文字、行、段落単位で、書体、飾り字などの文字モードを変更すると表示されます。
参照 P.66

⑤ **カーソル（|）**
操作を実行する場所を示します。カーソル位置を基準に、文字や記号を挿入したり削除することができます。**参照 P.48**

⑥ **フルメモリーマーク（◀）**
入力可能文字数（約500文字）をオーバーして、これ以上入力できないときに表示されます。

⑦ **印刷情報**
セットされているテープ幅と、印刷したときの目安の長さを表示します。「表示切換」の設定によっては表示されないこともあります。
参照 P.157

⑧ **印刷イメージ**
印刷するイメージを表示します。「表示切換」で表示状態を変更できます。**参照 P.157**

⑨ **自動カット**
自動カットが「する」に設定されているときに点灯します。**参照 P.152**

⑩ **たて書きインジケーター**
「たて書き」が指定されているときに点灯します。

⑪ **よこ書きインジケーター**
「よこ書き」が指定されているときに点灯します。

⑫ **縦型よこ書きインジケーター**
「縦型よこ書き」が指定されているときに点灯します。

⑬ **文字サイズインジケーター**
カーソル位置の文字のサイズに対応したインジケーターが点灯します。
数字はポイント数を表しています。
*1pt は約 1/72 インチ（約 0.35mm）です。

⑭ **ローマ字入力インジケーター**
「ローマ字入力」状態のときに点灯します。

⑮ **かな入力インジケーター**
「かな入力」状態のときに点灯します。

⑯ **ABC 入力インジケーター**
「ABC 入力」状態のときに点灯します。
参照☞ P.39
「ABC（半角）入力」状態のときに点滅します。
参照☞ P.142

⑰ **小文字入力インジケーター**
シフトボタンを押しているときや、小文字入力状態のときに点灯します。**参照☞ P.39**

⑱ **定長インジケーター**
定長印刷が指定されているときに点灯します。

⑲ **地紋インジケーター**
地紋印刷が指定されているときに点灯します。

⑳ **外枠・表組インジケーター**
外枠や表組みが指定されているときに点灯します。

㉑ **囲み・網インジケーター**
囲みや網が指定されているときに点灯します。

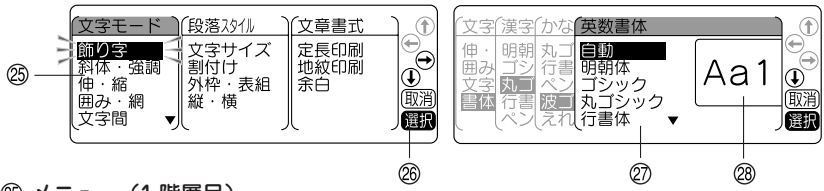
㉒ **飾り字インジケーター**
カーソル位置の文字に飾り字が指定されているときに対応した飾り字が点灯します。

㉓ **斜体・強調インジケーター**
カーソルの位置の文字に、斜体や強調が指定されているときに対応した機能が点灯します。

㉔ **書体インジケーター**
カーソル位置の文字に対応した書体が点灯します。

〈メニュー画面〉

機能を指定する画面は、テキスト画面と表示が異なります。このような機能や設定値を選択する画面をメニュー画面と呼びます。ここでは、編集メニューの画面を例に説明しています。



㉕ **メニュー（1 階層目）**
編集ボタンやファイルボタンを押したときに最初に表示されるメニュー一覧です。
←↑↓→ボタンで機能を選びます。

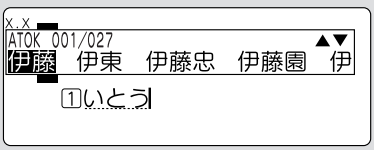
㉖ **ボタンナビ**
使用できるボタンを案内します。グレー（薄い色）になっているボタンは操作できません。

㉗ **メニュー階層**
メニューの階層状態を表示します。例の画面では、4 階層目の選択候補一覧を表示しています。選択候補は↑↓ボタンで選びます

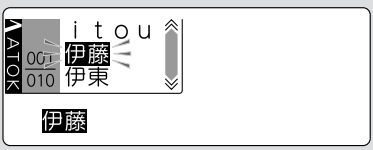
㉘ **イメージ表示、ガイド表示**
選択候補の指定結果をイメージで表示したり、操作ガイドを表示します。

MEMO

文字の変換中は以下の画面（ATOK 予測入力画面、ATOK 変換画面）になります。
詳しい説明については P.32「文字入力をはじめる前に」を参照してください。



（ATOK 予測入力時）



（ATOK 変換時）

使う前の準備

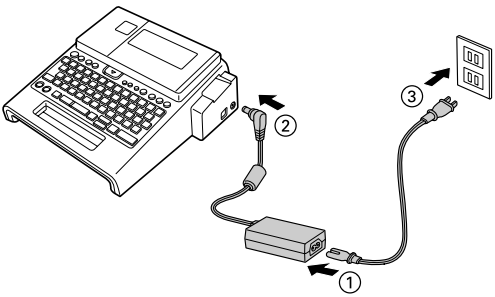
1. AC アダプターを接続する

同梱の AC アダプター（AS1527J）で、家庭用コンセント（AC100V）から電源を取ります。

❶ **AC アダプターのケーブルを接続する**

❷ **AC アダプターのプラグを本機右側面の AC アダプター差込み口にしっかりと差し込む**

❸ **AC アダプターの電源プラグを家庭用コンセントに差し込む**



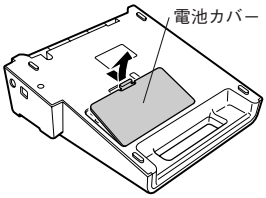
‼注意‼

- 使い終わったらすぐに AC アダプターを本機から抜き、コンセントからも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故も防げます。
- AC アダプターのコードは強く引っ張ったり、繰り返し折り曲げたりすると、断線することがあります。
- プラグのショートなどにより、安全機能がはたらき AC アダプターの回路が遮断されることがあります。
- AC アダプターは保証対象外です。

2. 電池（別売）を入れて使用するときは

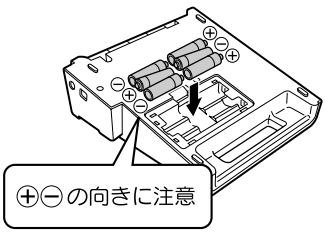
本機にアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単 3 形× 6 本：別売）をセットします。外出先などで AC アダプターを使えないとき、この電池を電源にして印刷することもできます。

❶ **電池カバーをはずす**
レバーを手前に引きながら電池カバーを持ち上げてはずします。



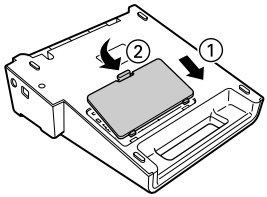
‼注意‼
必ず、電源を切ってからおこなってください。

❷ **電池を入れる**
電池の向きに注意して、アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単 3 形× 6 本）を入れます。



❸ **電池カバーをはめる**

電池カバーの上の爪を本機のミゾに合わせ、しっかりカバーをはめます。



!! 注意 !!

- 本機には単３形アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池をお使いください。その他の乾電池は使用できません。
- 電池でも印刷できるだけの電源容量がありますが、電池での印刷は大変不経済です。できるだけ AC アダプターをお使いください。
- AC アダプターは、必ず専用の AC アダプター（AS1527J）をお使いください。
- ニッケル水素電池を使用するときは、環境設定で電池種類を「ニッケル水素電池」に変更してください。設定変更をしないと、電池の寿命が短くなったり、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないことがあります。ただし設定を変更しても、電池の状態や使用条件によっては、消耗を知らせるメッセージが表示されないことがありますのでご了承ください。
  参照 P.159「電池種類を設定する」
- 本機に充電機能はありません。ニッケル水素電池を使用する際には、必ず専用の充電器を使って、充電してください。

充電式ニッケル水素電池について

ニッケル水素電池は専用の充電器を使って充電すると、使用できるようになります。ニッケル水素電池をお使いの際には、以下のことをお守りください。

- ⊕⊖極に汚れがあると、正常に充電できない場合があります。⊕⊖極と充電器の端子を乾いた柔らかい布でていねいにふいてください。
- お買い上げ時や、長期間使用していなかったニッケル水素電池は、十分に充電されない場合があります。これは電池の特性によるもので異常ではありません。充電を数回繰り返すことで正常に戻ります。
- 電池容量を使い切ってから充電することをおすすめします。電池容量を使い切らずに充電を繰り返すと、電池容量が持続しにくくなることがあります（メモリー効果といいます）。
- メモリー効果が発生したときは、印刷できない状態まで使い切ってから満充電を数回繰り返してください。電池容量が回復します。
- ニッケル水素電池は使用しないときでも自然放電により電池容量が低下することがあります。
- お使いの充電器および電池の取扱説明書に従って正しく使用してください。
- ニッケル水素電池には寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれて電池の容量は少しづつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は寿命と思われますので新しい電池をお買い求めください。
- 寿命は保管方法や使用状況、環境によって異なります。
- 不要になったニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで最寄の充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
  詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。
  http://www.jbrc.net/hp

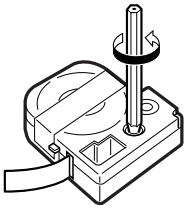
MEMO

- 電池での印刷の場合、AC アダプター使用時より印刷スピードが遅くなります。
- 広い幅のテープに大きな文字を印刷する場合、一時的に大量の電力が消費されるため、新品の電池でも「電圧が低下しています。新しい電池を正しくセットしてください！」と表示されることがありますが、故障ではありません。
- 電池が消耗すると、印刷スピードが遅くなります。さらに使い続けるとディスプレイに「電圧が低下しています。新しい電池を正しくセットしてください！」と表示されます。直ちにすべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単３形×６本）に交換するか、AC アダプター（AS1527J）をお使いください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。
- 新品のアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単３形×６本）では、常温で 18mm 幅のテープカートリッジ（8m）を１本は印刷できます。ただし、温度の低いところで使用したり、広い幅のテープに大きな文字を印刷したりすると、電池が早く消耗します。印刷時は、AC アダプター（AS1527J）を利用することをおすすめします。
- ご使用後は必ず電源を切ってください。
- ディスプレイのバックライトを OFF にすると電池を節約できます。
  参照☞ P.158「バックライトの切り換え」
- 長期間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため電池を取り出して保存してください。
- 寿命となったアルカリ乾電池を捨てるときは、定められた条例に従ってください。

3. テープカートリッジをセットする

❶ インクリボンのたるみを取る

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いて、たるみをとってください。

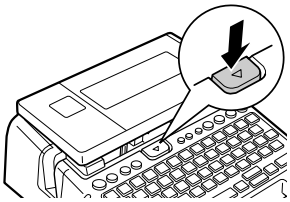


❷ 上カバーボタンを押す

上カバーボタンを押すと、上カバーが少し開きます。

‼注意‼

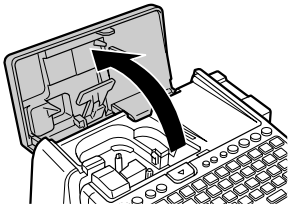
必ず、電源を切ってからおこなってください。



❸ 上カバーを開ける

‼注意‼

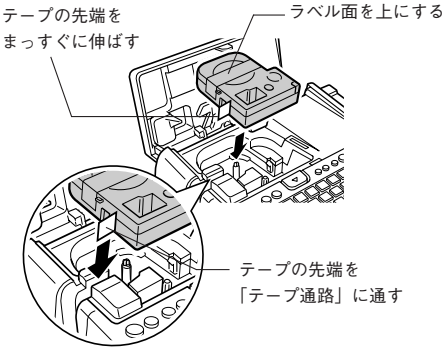
- 上カバーはストッパーで止まります。無理に開けないでください。
- 上カバーを持って、本機を持ち上げないでください。



❹ テープカートリッジをセットする

セットするテープカートリッジを、ラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。正しくセットすると、本機のフックにテープカートリッジが固定されます（36mm 幅テープカートリッジは固定されません）。

テープの先端が長めに出ているときや新品のテープカートリッジをセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミゾに通します。

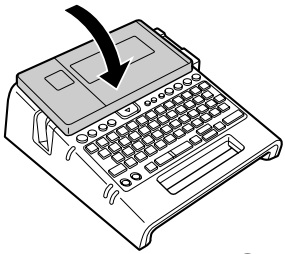


❺ 上カバーを閉じる

上カバーを指で軽く押して閉じます。

‼注意‼

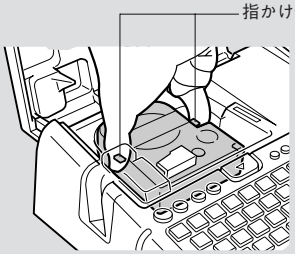
テープカートリッジをしっかり押し込まずに上カバーを閉じると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。



MEMO

テープカートリッジの取り出しかた

美しい印刷を安定しておこなうために、テープカートリッジは本機にしっかりと保持されていますが、上カバーを開けると同時にテープカートリッジの保持が解除され、取り出しやすい状態になります。取り出すときは、カートリッジ側面の「指かけ」部に指をかけ、まっすぐ上に持ち上げて取り出します。



!!注意!!

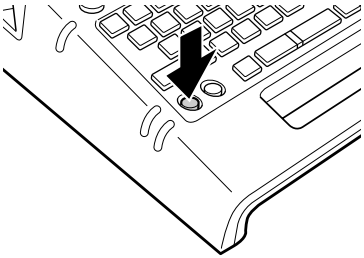
- 本機では、4mm、6mm、9mm、12mm、18mm、24mm、36mm の７種類の幅のテープカートリッジを使用することができます。ただし、テープ幅によって印刷できる行数は異なります。
  参照☞ P.51「テープ幅と印刷できる行数」
- テープカートリッジは、直射日光・高温・多湿・ホコリを避け、冷暗所に保管してください。
- テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。
- テープカートリッジは奥までしっかりセットしてください。

4. 電源を入れる

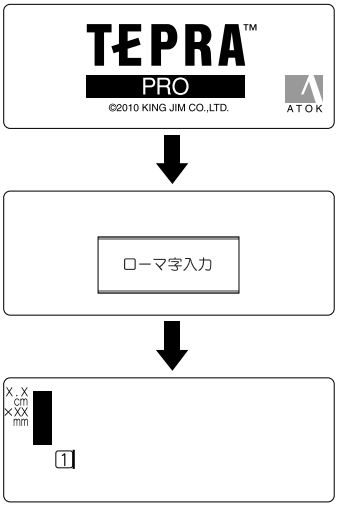
電源を入れる前にもう一度確認してください。

- **AC アダプターは、本機とコンセントに正しく接続されていますか？**
- **電池は正しくセットされていますか？（電池で使用する場合）**

❶ (ON/OFF)（ON/OFF）を押す



電源が入るとタイトル画面が表示されます。



※設定されている入力状態が約 0.5 秒間表示されます。

※行頭マーク（1）とカーソル（|）が表示されます。

すでに文章が入力されているときは、タイトル画面のあとに文章が表示され、指定されている機能のインジケーターが点灯します。

参照☞ P.22「ディスプレイ（画面）の見かた」

MEMO

オート・パワーオフ

電源が入ったまま約 5 分間何も操作しないと、電池の消耗を防ぐため、オート・パワーオフ機能により自動的に電源が切れます（電源が切れても入力した文章はなくなりません）。(ON/OFF)（ON/OFF）をもう一度押すと、オート・パワーオフ直前の状態に戻ります。

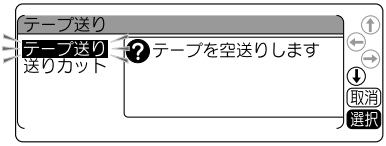
外字データや創作地紋データの作成・修正をしているとき、または AC アダプターを使ったパソコンリンクの状態では、オート・パワーオフ機能は働きません。

電源を切ると、オート・パワーオフよりさらに電池を節約できます。使わないときはこまめに電源を切るようにしましょう。

5. テープ送りをする

テープカートリッジをセットした直後は、テープのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をしてください。

❶ シフトを押しながら印刷（＝テープ送り）を押す
「テープ送り」メニューが表示されます。



❷ ↑ ↓で「テープ送り」または「送りカット」を選ぶ

❸ 選択を押す
「テープ送り」の場合はテープが約 20mm 空送りされます。
「送りカット」の場合は、空送りされたあと、テープが自動的にカットされます。

‼注意‼

「テープ送り」または「送りカット」をおこなうと、テープやインクリボンのたるみが取れます。テープカートリッジをセットしたあとは、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。

つづいて

ラベルを作る準備が整いました。それでは、実際にラベルを作ってみましょう。
参照☞ P.32「手順どおりに作ってみよう」

使いかた編 1

～簡単なラベルを作ろう～

最初に簡単なラベルを作ってみましょう。
文字入力、印刷など「テプラ」の基本操作を確認してください。

手順どおりに作ってみよう（文字入力～ラベルの完成まで）

右のサンプルラベルを手順どおりに作ると、文字入力からラベルの印刷までの基本的な操作がカンタンに覚えられます。

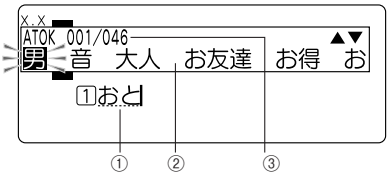
お得なセット！
初回限定版Box

文字入力をはじめる前に

本機は、日本語入力システム「ATOK」を採用しており、文字変換のときに予測入力がはたらきます。予測入力は、予測候補を次々に表示して、スムーズな入力を支援します。また、連文節変換により、高度な変換精度を実現しています。

ATOK 予測入力画面の見かた

本機は、何文字かを入力した時点で、入力しようとする単語を予測し画面上に候補として表示します。入力候補が表示されている状態で[↑][↓]を押すと、候補の 1 つ目が反転し、候補を選択できる状態になります。予測入力画面の見かたと使用できるボタンは以下の通りです。



① **入力文字**
入力した仮確定文字には点線が表示されます。[選択 改行]を押すと、選択している入力候補で確定します。

② **予測入力候補一覧**
予測される入力候補を表示します。ネガ表示の候補は、現在選択されている候補です。

③ **予測候補番号 / 予測候補数**
選択されている入力候補の順番と候補の総数です。

ATOK 予測入力画面で使用するボタン

ボタン名	機能
[↑][↓]	入力候補を選択する状態への移行 入力候補の選択中は次の予測入力候補の選択
[←][→]	次の入力候補の選択
[シフト]+[↑]、[シフト]+[←]	最初の入力候補の選択
[シフト]+[↓]、[シフト]+[→]	最後の入力候補の選択
[選択 改行]	入力候補の確定
[変換 スペース]	変換画面への移行　参照 P.33「ATOK 変換画面の見かた」
[あ·ア·A]	ひらがな、カタカナ、英字（ローマ字入力の場合のみ）への変換
[削除 取消]	入力候補の選択を終了し、テキスト画面に戻る テキスト画面では文字を削除する
文字ボタン	テキスト画面で文字を入力する

[シフト] + ⬚となっている表記は、[シフト]を押しながらそのボタンを押す操作です

ATOK 変換画面の見かた

本機は、文字を入力した状態で変換 スペースを押すと、変換候補を選択する変換画面になります。変換画面の見かたと使用できるボタンは以下の通りです。



① 仮確定文字
確定前の全文字です。変換 スペースを押す前は点線が表示されています。

② 変換対象
仮確定文字中、ネガ表示されている部分が現在の変換対象です。↓を押すと確定します。

③ 変換候補一覧
変換対象の変換候補を表示します。ネガ表示の候補は、現在選択されている候補です。

④ 変換候補番号
現在選択されている変換候補の順番です。

⑤ 変換候補数
変換対象の変換候補数です。

文字の変換中に使用するボタン

ボタン	機能
変換 スペース	変換候補一覧の表示、および次の変換候補の選択
↑	前の変換候補の選択
シフト＋↑	変換候補番号 001 の候補の選択
↓	変換対象を確定し、次の文節を変換対象とする
←	変換対象の文節長さを短くする
→	変換対象の文節長さを長くする
シフト＋←	左の文節を変換対象とする（確定されていない場合のみ）
シフト＋→	右の文節を変換対象とする
あ·ア·A シフト＋あ·ア·A	ひらがな、カタカナ、英字（「ローマ字入力」の場合のみ）への変換
選択 改行	仮確定文字を表示されている状態で確定し、テキスト画面へ戻る
削除 取消	確定されていない文節を「読み」にし、テキスト画面へ戻る
復活	直前に確定した文節を「読み」に戻す
文字ボタン	仮確定文字を表示されている状態で確定し、テキスト画面に文字を入力する

シフト ＋ ⬚ となっている表記は、シフトを押しながらそのボタンを押す操作です

MEMO

変換候補には、漢字など通常の日本語の他に、カタカナ語を正しいスペルに変換する「カタカナ語英語」や「記号」「絵文字」も含まれます。

1. 文字を入力する

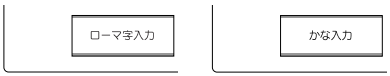
文字は、「読み」を入力してから変換します。「読み」はひらがなで入力されます。

例：

ここを入力します



❶ 入力切換を数回押して「ローマ字入力」または「かな入力」を選ぶ

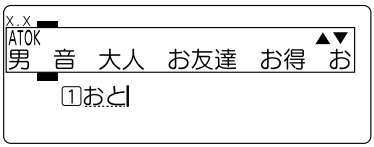


❷「お得」の「おと」を入力する

途中まで入力すると、予測入力の候補に「お得」が表示されます

ローマ字入力：O、T、O

かな入力　　：お、と

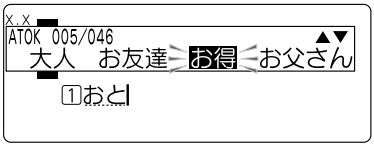


❸ ↑ ↓を押す

予測入力の候補を選択できる状態になります。

❹「お得」を選択し、確定する

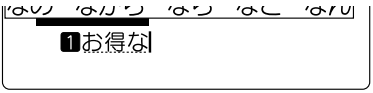
← ↑ ↓ → で「お得」を選択し、選択で確定します。



「お得」が確定します。

❺「な」を入力し、確定する

「な」を入力し、そのまま選択を押して確定します。



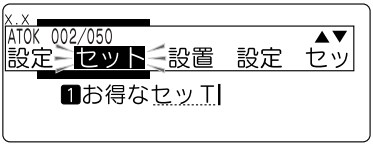
❻「セット」を入力する

途中まで入力すると、予測入力の候補に「セット」が表示されます。

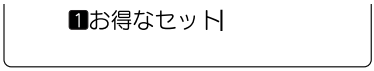
ローマ字入力：S、E、T、T

かな入力　　：せ、シフト＋っ

予測候補から「セット」を選択し、選択で確定します。



「セット」が確定し、テキスト画面に戻ります。



行頭マークが 1 から 1 に変わります。

MEMO

- 選択 改行ボタンで確定した直後なら、復活ボタンで変換前の状態に戻すことができます。
- 文字を間違えたときは、削除 取消ボタンで文字を消して、正しい文字を入力しなおしてください。
- 一度選択した語句は、次回から優先して最初に表示されるようになります（学習機能）。
- 「読み」を入力した直後に選択 改行を押すと、ひらがなのまま確定します。
- 「読み」を入力した直後にあ・ア・Aを押すと、押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」（ローマ字入力）、「ひらがな→カタカナ」（かな字入力）の順に変換します。
  変換後は、選択 改行を押して確定します。
- 複数文節や長い文章を入力すると、予測が表示されず、変換 スペースで変換する状態になります。長い文章の変換操作については、P.37「長い文章を変換する」を参照してください。
- ローマ字入力のスペルは、ローマ字変換表を参考にしてください。
  参照 P.198「ローマ字変換表」

参考

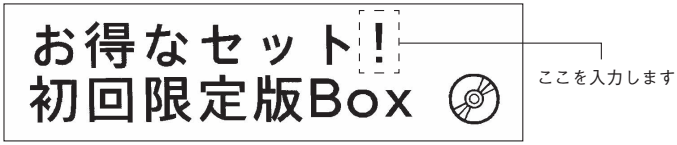
濁音や拗音の入力について

濁音や拗音は、入力方法によって異なります。

	濁音（「ざ」「ば」など） 半濁音（「ぱ」など）	拗音（「ゃ」「ぁ」など） 促音（「っ」）
ローマ字入力	濁音・半濁音用のスペルで入力します。 参照☞ P.198「ローマ字変換表」	次のいずれかの方法で入力します。 • 「きゃ」（の K、や Y、ち A）などのように前の文字と組み合わせたスペルで入力する。 参照☞ P.198「ローマ字変換表」 • 促音「っ」は、直後の文字の子音を 2 つ重ねる。 例：と S、ち A、の K、の K、ち A …「さっか」 • ぴ L を押してから通常の文字ボタンを押す。 例：ぴ L、か T、な U …「っ」　ぴ L、ち A …「ぁ」
かな入力	仮確定の清音の後に、へ ~ や ほ ^ を入力します。	シフトを押しながら文字ボタンを押します。

文字ボタンに表記された表記号「!」「*」「.」などは、シフトを押しながら該当する文字ボタンを押して入力します。

例：



❼ 入力切換を数回押して「ローマ字入力」または「ABC 入力」を選ぶ



❽ 「!」を入力する

シフトを押しながら ぬ ! 1 を押します。
「!」が確定された状態で入力されます。



MEMO

文字ボタンに表記された数字や英記号「¥」「~」「／」は、「ローマ字入力」または「ABC 入力」であれば、文字ボタンを押して入力できます。「かな入力」の状態では入力できない文字があるので、その場合は「ローマ字入力」または「ABC 入力」に切り換えてください。

次へ進みます

2行目を入力するには、まず、改行をします。

例：



❾ 1行目の文末にカーソルを合わせて 選択 改行 を押す



改行され、行頭マークの2が表示されます。

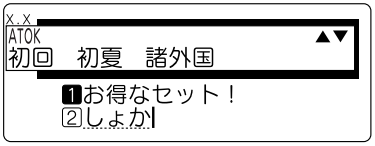


❿「初回」を入力する

途中まで入力すると、予測入力の候補に「初回」が表示されます。

ローマ字入力：S、H、O、K、A

かな入力　　：し、シフト＋よ、か

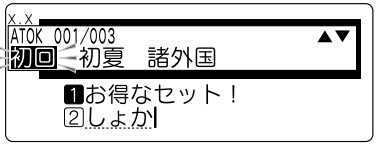


⓫ ↑ ↓ を押す

予測入力の候補を選択できる状態になります。

⓬「初回」を選択し、確定する

← ↑ ↓ → で「初回」を選択し、選択 で確定します。



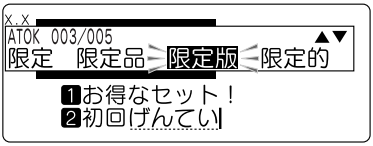
⓭「限定版」を入力する

途中まで入力すると、予測入力の候補に「限定版」が表示されます。

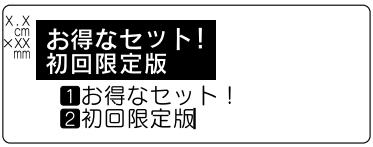
ローマ字入力：G、E、N、N、T、E、I

かな入力　　：げ、ん、ん、て、い

予測候補から「限定版」を選択し、選択 で確定します。



文字が確定します。



MEMO

- 「読み」をすべて入力し、変換 スペース を押して変換することもできます。変換 スペース を押した場合は、予測候補は表示されません。
- 長い文章の変換操作については、P.37「長い文章を変換する」、「変換する「読み」の長さを変える」を参照してください。

参考

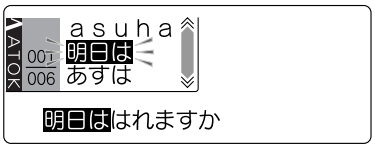
長い文章を変換する

入力した文章が長く、ATOK 変換画面で表示されている仮確定文字の状態では正しくない場合は、↓ボタンを押して文節ごとに変換をします。

例 ：「あすははれますか」を「明日は晴れますか」に変換する

❶ **「あすははれますか」を入力して変換 スペースを押す**
ATOK 変換画面になります。

❷ **1 文節目が正しく変換されている状態で↓を押す**



1 文節目が確定し、次に 2 文節目が変換対象になります。

❸ **変換 スペースを押す**
2 文節目の変換候補一覧が表示されます。



❹ **正しく変換されている状態で↓を押す**
2 文節目が確定します。
さらに長い文章の場合も、同様の操作を繰り返すことにより、文節ごとに変換することができます。

変換する「読み」の長さを変える

変換する「読み」の長さが違い、目的の漢字に変換できない場合は、←→ボタンを押して変換対象となる「読み」の長さを変えます。

例 ：「きのうえをかった」を「昨日絵を買った」に変換する

❶ **「きのうえをかった」を入力して変換 スペースを押す**
ATOK 変換画面になります。

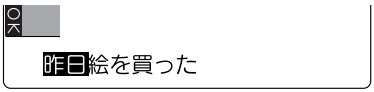
❷ **変換する文節の長さが適当でないときは←→を押す**
変換対象（ネガ表示部分）は←で短く、→で長くなります。



←→を押して「きのう」を文節にする



❸ **変換 スペースを押す**
長さを変えた 1 文節目の変換候補が表示されます。



正しく変換されたら↓で確定し、2 文節目以降を変換します。

MEMO

- ATOK 変換画面で文字ボタンを押すと、仮確定文字は表示されている状態で確定し、続けて次の文字が入力されます。
- 一度に入力できる「読み」は 30 文字までです。ただし、ディスプレイに表示されるのは、末尾 14 文字だけとなります。また、長い「読み」を入力するとうまく変換できないことがあります。
- 選択 改行 / ↓で文節を確定した直後であれば、復活ボタンで確定前の状態に戻すことができます。

2. 英数字を入力する

英数字は、「ローマ字入力」または「ABC 入力」であれば、文字ボタンを押して入力できます。小文字の入力には[シフト]を使います。

例：

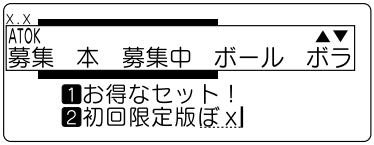


ローマ字入力の場合

綴りを入力してから変換します。

❶「Box」を入力する

ローマ字入力：[B]、[シフト]＋[O]、[シフト]＋[X]



「ぼｘ」と表示されます。

❷[変換 スペース]を押す

ATOK 変換画面になります。



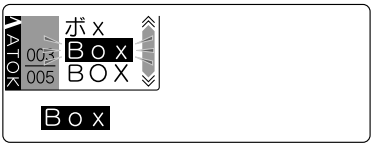
❸変換する文節の長さが適当でないときは[→]を押す



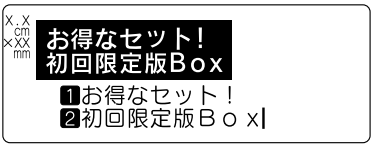
「ぼｘ」が変換対象（ネガ表示）になります。

❹「Box」が選択されるまで[変換 スペース]を押す

❺「Box」が選択されている状態で[↓]を押す



「Box」が確定します。



MEMO

- 「ローマ字入力」で「読み」を入力した直後に[あ·ア·A]を押すと、押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。また、[シフト]を押しながら[あ·ア·A]を押すと、押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変換します。
- 文字を間違えたときは、[削除 取消]ボタンで文字を消して、正しい文字を入力しなおしてください。
- 変換対象の長さを変える詳しい説明については P.37「変換する「読み」の長さを変える」を参照してください。
- 「かな入力」の状態では、英字の綴りによる入力はできません。「ローマ字入力」または「ABC 入力」に切り換えてください。
- 英語の「カタカナ読み」を入力して[変換 スペース]を押しても英字にできます（カタカナ語英語変換）。例えば、「ぼっくす」と入力して[変換 スペース]を押すと、正しいスペルの「box」が変換候補に表示されます。

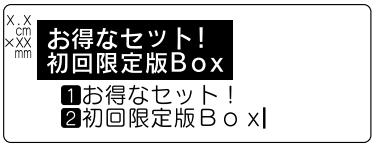
ABC 入力の場合

英数字を入力するときに「ABC 入力」にすると、文字ボタンを押して直接、英数字を入力できます。

❶ 入力切換を数回押して「ABC 入力」を選ぶ

❷「Box」を入力する

ABC 入力：B、シフト＋O、シフト＋X
（小文字ロックをしている場合
ABC 入力：シフト＋B、O、X）
「Ｂｏｘ」がテキスト画面に直接入力されます。



MEMO

小文字ロック

「ABC 入力」時に、シフトを押しながら入力切換を押すと、小文字入力状態に切り換わり、シフトを押していないときに小文字入力インジケーターが点灯します。もとに戻す場合には、もう一度シフトを押しながら入力切換を押します。

!! 注意 !!

半角英数字は QR コード作成時のみ入力できます。参照 P.142「QR コードを印刷する」

3. スペースを入力する

スペースを入力すると、テキスト画面上に「␣」（半角スペース）が表示され、印刷すると約半文字分の空白になります。

例：



❶ 仮確定文字がないことを確認する

!! 注意 !!

仮確定文字があるときに変換 スペースを押すと、ATOK 変換画面になります。

❷ 変換 スペースを押す

半角スペースが入力されます。

❶お得なセット！
❷初回限定版Ｂｏｘ␣

テキスト画面には「␣」が表示されますが、印刷時にはスペース（空白）として扱われ、印刷されません。

MEMO

「ローマ字入力」「かな入力」「ABC 入力」のいずれでも半角スペースが入力できます。

参考

全角スペース

スペースには半角スペース（␣）のほかに、全角スペース（＿）があります。全角スペースは、印刷すると約 1 文字分の空白となります。全角スペースを入力するには、記号・絵を押して表示される記号メニューから「編集」を選び、その中の「＿」を選択します。

ただし、「文字間」で「プロポーショナル」が「オフ」に指定されているときは、半角スペースでも約 1 文字分の空白として印刷されます。

参照 P.74「文字間」

	テキスト画面	プロポーショナル「オン」	プロポーショナル「オフ」
半角スペース	❶ 田中␣慶介	田中 慶介 田中 慶介	田中 慶介 田中 慶介
全角スペース	❷ 田中＿慶介		

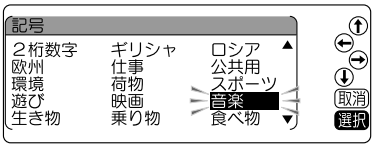
4. 記号を入力する

例 ：

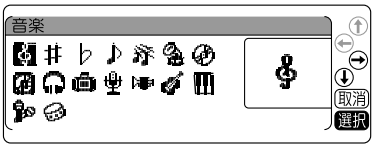
お得なセット！
初回限定版Box  ここを入力します

❶ (記号・絵)を押す
「記号」メニューが表示されます。

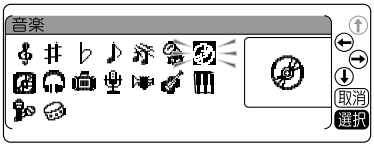
❷ ←↑↓→で「音楽」を選ぶ



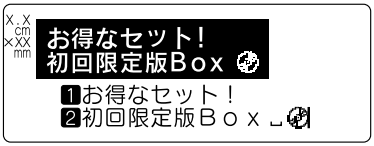
❸ 選択を押す
「音楽」の記号が表示されます。



❹ ←↑↓→で「𝄞」を選ぶ



❺ 選択を押す
「𝄞」が入力されます。



MEMO

- 仮確定文字があるときは、(記号・絵)ボタンで記号を入力することはできません。
- 記号の一覧は記号一覧表を参照してください。
  参照☞ P.186「記号一覧表」
- 操作を途中でやめるときは(ホーム)を押してテキスト画面に戻ります。
- 一度選択した記号のメニューや記号は、次回から優先して一番最初に表示されるようになります（学習機能）。
- 記号メニューの「外字呼出」は、登録した外字を呼び出します。
  参照☞ P.130「外字を呼び出す」
- 記号メニューの「2 桁数字」は、2 桁で 1 文字となる数字を入力します。
  参照☞ P.63「たて書きで 2 桁の数字を印刷する」
- 記号メニューの「編集」内の記号はそれぞれ以下の働きをします。
  罫 ： 罫入力記号
  縦罫線を入力します。
  参照☞ P.79「外枠・表組み」
  ␣ ： 全角スペース
  全角のスペースを入力します。
  参照☞ P.40「全角スペース」
- 記号メニューの「合成」内の記号は、文字やその他の記号と合成することができます。
  参照☞ P.42「丸つき文字などを入力する（合成）」

参考

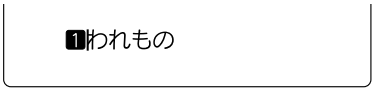
丸つき文字などを入力する（合成）

文字や記号を、○や□などの「合成記号」と合成してオリジナルの文字を作ることができます。「合成記号」には⃠◯✕□◯があります。文字や記号のほか、2桁数字、外字なども合成することができます。

例：



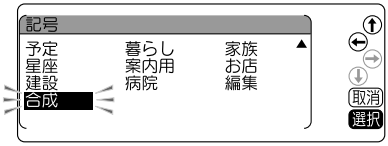
❶ 合成文字を入力する位置にカーソルを合わせる



❷ 記号・絵を押す

「記号」メニューが表示されます。

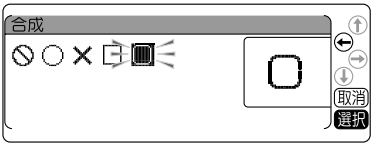
❸「合成」を選び、選択を押す



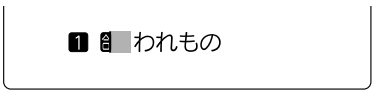
「合成記号」が表示されます。

❹ 記号を選び、選択を押す

例の場合は、「□」を選び、選択を押します。

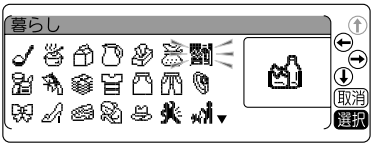


合成マーク合と入力エリアが表示されます。

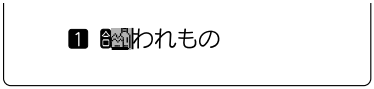


❺ カーソルが合成マーク合の右にあることを確認し、合成する文字や記号を入力する

例の場合は、記号・絵を押して「暮らし」メニューから「  」を選び、選択を押します。



入力エリアに合成する文字や記号が表示されます。



MEMO

- 操作を途中でやめるときはホームを押してテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字があるときは、記号・絵ボタンで合成文字を入力することはできません。
- 文字によっては、「合成記号」から文字や記号などがはみ出すことがあります。
- 文字サイズによっては、「合成記号」⃠◯✕□◯の一部が欠けることがあります。
- 合成文字を2文字以上続けて入力することはできません。続けて「合成記号」を入力すると、最初の合成文字の内容が置き換わってしまいます。続けて入力せずに、間にスペースなどを入れて入力し、その後にスペースを削除してください。
- 連番、バーコードは合成できません。
- 記号メニューの「数字」内には、1～20の丸つき数字があります。

5. 印刷イメージを確認する（プレビュー）

文字の入力が終わったら印刷します。印刷前に、印刷するイメージをディスプレイに表示して、できあがりを確認できます。印刷の失敗を防いで、テープを無駄なく使えます。

❶ テープカートリッジを正しくセットしているか確認する

実際に印刷するテープカートリッジを正しくセットしてください。テープ幅が異なっていると、印刷イメージを正しく表示できません。

❷ シフトを押しながら特殊印刷（＝プレビュー）を押す

印刷イメージが流れるように表示されます。
イメージの表示中にあ·ア·A 変換 スペース
←↑↓→のいずれかのボタンを押すと、押している間だけ表示が止まり、内容をゆっくり確認できます。ボタンを離すとふたたび動き出します。
プレビューが終わるとテキスト画面に戻ります。



MEMO

プレビューを途中でやめるときは削除 取消または 選択 を押してください。

‼注意‼

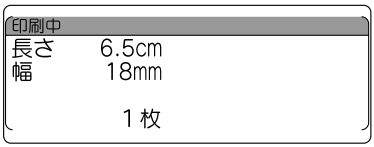
- プレビューが表示されるのは、テキスト画面・フォーム入力時です。
- テープカートリッジをセットしていない、または正しい位置にセットしていないと、「テープがありません！」と表示されプレビューは表示されません。
- 本機では、16m 以上のラベルは印刷できません。印刷結果が 16m を超える文章を入力した場合、プレビューは表示されず、ディスプレイに「入力した文章が長すぎます」のメッセージが表示されます。この場合は、いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻ってから、文字数を減らすか文字サイズの調整などをおこなってください。
- 行数が多く、セットしたテープに印刷できないときは「行数オーバー！」が表示され、プレビューは表示されません。
- QR コードが大きい場合、「QR コードが大きすぎます！」が表示され、プレビューは表示されません。参照 P.142「QR コードを印刷する」
- プレビューは印刷の目安です。実際の印刷結果と完全には一致しないことがあります。

6. 印刷する

印刷する前に、テープカートリッジを正しくセットしているか、AC アダプター（AS1527J）を正しく接続しているかを確認してください。

❶ 印刷を押す

「準備中」と表示された後、できあがるラベルの長さ、印刷枚数が表示され、印刷が始まります。



印刷が終わるとテープは自動的にカットされます。印刷を途中でやめるときは削除/取消を押してください。

MEMO

- 転写テープがセットされているときは、転写印刷を選択する画面が表示されます。
  参照 P.168「転写テープを印刷する」
- 印刷中にON/OFF（ON/OFF）ボタンを押すと印刷を中止し、テープをカットした後に電源が切れます。
- 同じラベルの印刷を繰り返すと、ディスプレイに印刷枚数が表示されます。
- 印刷枚数表示は、印刷内容（文字や書式など）を変えたり電源を切ると、自動的に「1 枚」に戻ります。また、印刷枚数 99 枚の次は「100 枚」その次は「1 枚」と表示されます。
- 地紋印刷時、または余白が以下の条件のときにハーフカットが無効になっていると、印刷前にテープが約 20mm カットされます。
  - 余白が「極少」、「少なめ」の場合（全テープ幅）
  - 余白が「自動少なめ」の場合（36mm 幅テープ以外）
  - 余白が「自動多め」の場合（4mm、6mm 幅テープ）
- ハーフカットをするときやテープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。
- 幅の狭いテープや短いラベルを排出するときに、カットされたラベルが飛び出す場合があります。
- 特殊印刷（連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷）をおこなう場合は、特殊印刷ボタンで印刷します。
  参照 P.144「特殊な印刷（連続印刷、拡大印刷）」

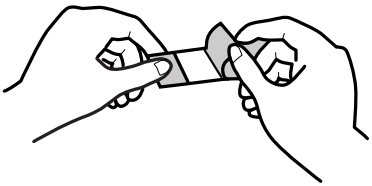
!! 注意 !!

- 耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・蓄光ラベル・りぼんは「自動カット」を無効で印刷し、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを 3mm（りぼんの場合は 10mm）程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
  参照 P.152「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」
  参照 P.167「テープカートリッジを使いわける」
- 耐熱ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・熱収縮チューブ・ロングテープ・上質紙ラベル・ケーブル表示ラベル・蓄光ラベル・りぼんを使う場合は、ハーフカットを無効にしてください。
  参照 P.152「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」
  参照 P.167「テープカートリッジを使いわける」
- 転写テープは自動でハーフカットが無効になります。
- ラベルの内容が複雑な場合、印刷を開始するまでの処理時間が長いことがあります。
- テープ出口には指を入れないでください。
- 印刷が終わるまで絶対にテープを引っ張らないでください。
- 仮確定文字は印刷されません。
- 印刷中に上カバーを開けると、印刷が中断します。印刷中には上カバーを開けないでください。
- テープ出口付近に印刷したラベルがたまらないように注意してください。
- テープカートリッジをセットしていないとき、または正しい位置にセットしていないときには、「テープがありません！」が表示されます。
- 行数が多く、セットされたテープに印刷できないときは「行数オーバー！」と表示され、印刷できません。行数を減らすか、より広い幅のテープをセットしてください。
- QR コードが大きい場合、「QR コードが大きすぎます！」が表示され、印刷できません。
  参照 P.142「QR コードを印刷する」
- 印刷時に表示されるラベルの長さは目安です。誤差が生じることがあります。
- 16m を超える印刷はできません。

7. ラベルを貼る

印刷されたラベルの裏紙をはがして貼ります。

❶ 裏紙をはがす



ハーフカットを有効にしておけば、ラベル部分のみをカットするので、裏紙をはがしやすくなります。

参照☞ P.152「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」

❷ しっかりとこすって貼り付ける



MEMO

印刷したラベルのカドを丸くすることができます。参照☞ P.56「カドを丸く仕上げる」

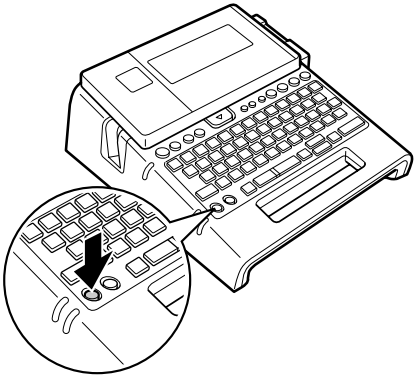
!! 注意 !!

- ラベルの種類によっては、裏紙がはがれにくいものがあります。
- ラベルにシンナーなどの溶剤をかけたり、とがったもので激しくこすると、ラベルが破れたり、はがれたり、文字がカスレたりすることがあります。
- 白インクラベルの文字の部分を金属でこすると文字が黒くなりますが、消しゴムなどで軽くこするともとに戻ります。
- 凹凸のあるところに貼ると、はがれやすくなります。
- ぬれていたり、油やホコリで汚れているところには、貼れなかったりはがれやすくなったりすることがあります。
- ペンなどで書き込まれた上にラベルを貼ると、ペンのインクがラベルに浸透し、表示がそこなわれることがあります。
- 雨、日光が直接あたる場所など、使用環境によってはラベルの劣化を早めるおそれがあります。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにむやみにラベルを貼るのはやめましょう。
- 「テプラ」で得られるラベルについて
  塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

使い終わったら〈電源を切る〉

❶ (ON/OFF)（ON/OFF）を押す

電源が入っている状態で(ON/OFF)（ON/OFF）を押すと、終了のメッセージが表示されたあと、電源が切れます。電源を切っても、入力した文章やファイル、外字などのデータは保存されています。再度電源を入れると、入力した文章が表示されます。



❷ AC アダプター（AS1527J）をはずす

AC アダプターをコンセントから抜き、本機からプラグを抜いてください。コードは巻いておいてください。

!! 注意 !!

- 電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、AC アダプターを抜かないでください。
- 長期間使わないときは、電池、AC アダプター、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。本機、電池、AC アダプター、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。電池を取りはずしても、入力した文章やファイル、外字などのデータは保存されています。長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れしたりすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。

つづいて

以上で基本的な操作は終了です。続いて「使いかた編２」で複数行、複数段落のラベルを作りましょう。また、「機能編」では、さらにいろいろな機能が利用できるようになるので、楽しいラベルが作れます。

使いかた編 2

～目的にあったラベルを作ろう～

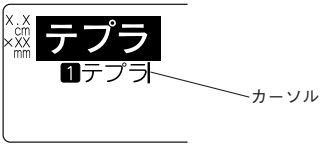
複数行のラベルにしたり、文章を段落に分けるなど、文章を仕上げる機能を確認しましょう。
また、印刷機能を設定したり、「カド丸仕上げ」にするなど用途に合わせたラベルを作りましょう。

文章を作る

入力した文章に文字を挿入したり、入力した文章を消去するなどの変更ができます。

カーソルボタンの使いかた

画面に表示される縦線「|」をカーソルと呼びます。カーソルは文字を挿入･削除する位置を表します。



カーソルの移動にはカーソルボタン[←][↑][↓][→]を使います。
本機のディスプレイには最大 15 文字× 5 行（「印刷イメージ無」の場合）まで表示できます。これ以上の文字を入力すると、はじめに入力した行や文字は隠れて見えなくなりますが、カーソルを移動すれば確認できます。

カーソルボタン	カーソルの移動方向
[→]	右方向に 1 文字移動します。押し続けると高速で移動します。
[←]	左方向に 1 文字移動します。押し続けると高速で移動します。
[↑]	前（上）の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
[↓]	次（下）の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
[シフト]＋[←]	行頭へ移動します。 繰り返すと、前の行の行頭、さらに前の行頭……と移動します。
[シフト]＋[→]	行末へ移動します。 繰り返すと、次の行の行末、さらに次の行末……と移動します。
[シフト]＋[↑]	段落の先頭へ移動します。 繰り返すと、前の段落の先頭、さらに前の段落の先頭……と移動します。
[シフト]＋[↓]	段落の終わりへ移動します。 繰り返すと、次の段落の終わり、さらに次の段落の終わり……と移動します。

[シフト]＋[ ]となっている表記は、[シフト]を押しながらそのボタンを押す操作です。

文章を入力する



文字はキーボードの文字ボタンで入力し、[変換 スペース]を押して漢字などに変換します。
参照☞ P.32「手順どおりに作ってみよう」

文字を削除 / 挿入する

文字の後ろ（右側）にカーソルを合わせ削除/取消を押すと文字が削除されます。
文字を挿入するときは、挿入したいところにカーソルを合わせます。

例 :「定期点検実施中」の「定期」を削除し、「特別」を入れて「特別点検実施中」にする

❶ ←→で「期」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

❶定期点検実施中

❷ 削除/取消を押して「定期」を削除する

❶定期点検実施中

↓ 削除/取消 x2 回

❶点検実施中

カーソル位置は行頭になります。

❸「特別」を入力する

❶特別点検実施中

!! 注意 !!

挿入によって文字数が入力可能文字数（約 500 文字）をオーバーしたときは、文末にフルメモリーマーク（◀）が表示され、文末の文字からオーバーした分だけ自動的に削除されます。

MEMO

間違って文字を削除した場合は、削除した直後なら復活ボタンで復活できます。

削除した文字をもとに戻す（復活）

削除した文字や文章は、削除した直後なら復活ボタンで復活できます。

例 :「定期点検実施中」の「定期」を削除してから復活する

❶「定期点検実施中」を入力する

❶定期点検実施中

❷ ←→で「期」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

❸ 削除/取消を 2 回押して「定期」を消す

❶定期点検実施中

↓ 削除/取消 x2 回

❶点検実施中

❹ 復活を押す

削除した文字が復活します。

❶定期点検実施中

MEMO

- 仮確定の状態で削除した文字は、復活できません。
- 削除直後に ←↑↓→ シフト 入力切換 以外のボタンを押した場合は、次に復活を押しても復活できません。
- 削除/取消ボタンで削除した文字を 30 文字まで記憶できます。
- 全文消去、段落消去も復活できます。
- 文字の貼り付けをやめることもできます。

文字をコピーする

すでに入力した文字をコピーすることができます。

例 :「定期点検実施中、特別点検実施中」で2回目の「点検実施中」をコピーで挿入する

❶ 1行目に「定期点検実施中」、2行目に「特別」を入力する

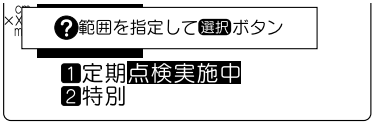
❷ ←↑↓→で「点」の前（左側）にカーソルを合わせる

```
1定期点検実施中
2特別
```

❸ コピーを押す

コピー範囲を指定する画面になります。

❹ ←→で範囲を指定し、選択を押す



指定した範囲がネガ表示になり、選択を押すと一時的に記憶されます。このあとの貼り付け操作で文字を貼り付けます。

MEMO

- 一度にコピーできる文字は30文字までです。
- バーコードの数値入力時や、あて名の郵便番号、カスタマバーコード入力時には、コピーや貼り付けはできません。

文字を貼り付ける

コピーした文字は、あらたにコピーするまで何度でも貼り付けることができます。

❶ ←↑↓→で貼り付け先にカーソルを合わせる

```
2特別|
```

❷ シフトを押しながらコピー（＝貼付け）を押す

コピーされた文字が挿入されます。

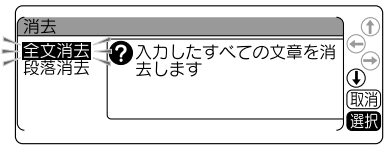
```
2特別点検実施中|
```

すべての文章を消去する

入力した文章は電源を切っても消去されません。入力した文章をすべて消去したいときは「全文消去」をおこないます。

❶ シフトを押しながら削除/取消（＝消去）を押す

「消去」メニューが表示されます。



❷「全文消去」を選び、選択を押す

ディスプレイが一瞬消灯し、全文消去されます。消去後は、テキスト画面に戻ります。

```
1
```

カーソルのある段落のみを消去したいときは「段落消去」を選びます。

参照 P.55「特定の段落を消去する」

!! 注意 !!

入力した文章には、編集機能の指定内容が一緒に含まれています。全文消去をおこなうと、これらの内容もすべて消去されます。消去してもよいかを充分に確認してから全文消去をおこなってください。

MEMO

- 削除した直後なら復活ボタンで復活できます。
- 全文消去では、以下の内容は消去されません。
  ファイル・あて名・名前・辞書・外字データ、文字地紋データ、創作地紋データ、編集の保存値、漢字や記号などの学習内容、文字の入力状態
- すべてを購入時の設定に戻したいときは、本機の初期化をおこなってください。
  参照 P.160「本機を初期化する」

行を増やす（改行）

2 行以上の文章を入力するときは「改行」をおこないます（選択 改行を押します）。

テープ幅と印刷できる行数

本機では 4mm から 36mm までの幅のテープを使うことができます。
セットされたテープカートリッジ幅によって、印刷できる文章の行数に制限があります。

テープ幅	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm	36mm
印刷可能な行数	1 行まで	2 行まで	3 行まで	5 行まで	7 行まで	10 行まで	13 行まで

MEMO

- 表示されている文章が何行目にあるかは行頭マークで確認できます。行頭マークには空白行頭マーク1 2……☒、1 2……☒と、実質行頭マーク❶ ❷……☒、❶ ❷……☒の 2 種類があります。空白行頭マークは文字が何も入力されていないことを表し、その行は印刷されません。
- ☒ ☒はこれ以上行数を増やせないことを表示しています。☒の表示があるときに印刷を押しても「行数オーバー！」が表示されます。不要な行を削除し、☒の表示がなくなったことを確認してから印刷をおこなってください。

参照 P.169「こんな表示が出たときは - 行数オーバー！」

新しい行を作る

行の終わりで選択 改行を押すと、新しい行に入力することができます（改行）。

例 ：3 行の文章を入力する

営業1課
営業2課
営業3課

❶「営業 1 課」を入力し、選択 改行を押す

❶営業 1 課

↓ 選択 改行

2 行目に行頭マークが表示されます。

❶営業 1 課
2

❷「営業 2 課」を入力し、選択 改行を押す

❶営業 1 課
❷営業 2 課

↓ 選択 改行

3 行目に行頭マークが表示されます。3 行目を入力します。

❷営業 2 課
3

MEMO

仮確定文字があるときは、選択 改行を押しても改行できず、文字が確定します。

文字を次行に移動する

行の途中で改行すると、カーソルより後ろ（右側）の文字は次の行に移ります。

例 ：「営業 1 課田中慶介」を 2 行にする

営業1課田中慶介

↓ 途中で改行すると

営業1課
田中慶介

❶ ←→で「課」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

❶営業 1 課田中慶介

❷ 選択 改行を押す

2 行目に行頭マークが表示され、「田中慶介」は 2 行目に移動します。

❶営業 1 課
❷田中慶介

MEMO

仮確定文字があるときは、選択 改行を押しても改行はできず、文字が確定します。

改行を取り消す

行頭マークにカーソルを合わせて削除 取消を押すと、その行の文章は前の行に移動し、連結されます。

例 ：2 行目での改行を取り消す

株式会社 ○×商事
営業部
営業1課
田中慶介

↓ 途中の改行を取り消すと

株式会社 ○×商事
営業部営業1課
田中慶介

❶ 3 行目の行頭マーク❸の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

❷営業部
❸営業 1 課
❹田中慶介

❷ 削除 取消を押す

3 行目の「営業 1 課」が 2 行目に連結されます。

4 行目の「田中慶介」が 3 行目になります。

❷営業部営業 1 課
❸田中慶介

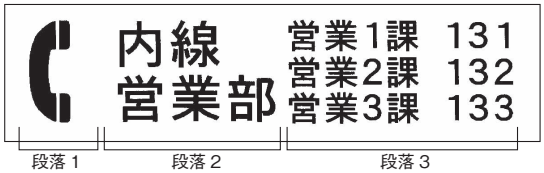
MEMO

- 最終行の先頭にカーソルを合わせ、削除 取消を押すと 4 行目の文章が 3 行目に連結され、4 行目は自動的に削除されます。
- 第 1 段落の 1 行目の行頭マーク❶ [1]は削除できません。

段落を増やす（改段落）

下のラベルは 3 つのブロックからできています。本機ではこのブロックを「段落」と呼んでいます。段落とはテープ幅に積み重ねて印刷される「行の集まり（または 1 行）」のことです。1 つのラベルの中にいくつかの段落を設けることで、いろいろな行数を混在させたり、デザインを段落ごとに変えたりすることができます。
段落は 1 つのラベル（文章）の中に最大 32 段落まで作ることができます。

段落が 3 つのラベル



印刷すると各段落は横につながって印刷されますが、画面上では下記のように各段落が縦にならんだ形になります。

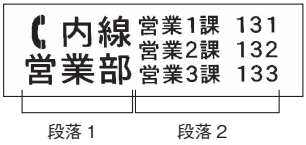
【画面上では】

段落 1　1 ☎
段落 2　1 内線
　　2 営業部
段落 3　1 営業1課 131
　　2 営業2課 132
　　3 営業3課 133

新しい段落を作る

段落の終わりで[シフト]を押しながら[選択 改行]（＝改段落）を押すと、新しい段落ができます。

例 ： 2 段落の文章を入力する



❶ 段落 1 を入力する

1 行目に「内線」、2 行目「営業部」と入力します。

```
1内線
2営業部
```

❷ 文末にカーソルを合わせ、[シフト]を押しながら[選択 改行]（＝改段落）を押す

新しい段落が発生し、その 1 行目の行頭マーク[1]が表示されます。

```
2営業部
1
```

❸ 段落 2 を入力する

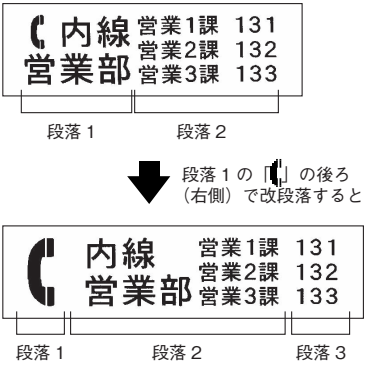
1 行目「営業 1 課 131」
2 行目「営業 2 課 132」
3 行目「営業 3 課 133」
と入力します。
改行のときは、行の終わりで[選択 改行]を押してください。

```
2営業2課␣132
3営業3課␣133
```

段落を分割する

段落の途中で改段落すると、カーソル位置より後ろ（右側）の文字は新しい段落に移ります。

例 ：新しい段落を増やす



❶ 段落 1 の 1 行目「内線」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

```
1内線
2営業部
```

❷ [シフト]を押しながら[選択 改行]（＝改段落）を押す

改段落され、カーソルより後ろ（右側）の文字は新しくできた段落に移ります。
カーソルは新しい段落の 1 行目にあります。
段落 2 はそのまま段落 3 に移ります。

```
1
1内線
```

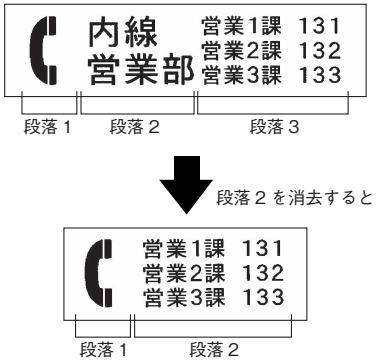
MEMO

- 仮確定文字があるときは、[シフト]を押しながら[選択 改行]を押しても改段落はできず、文字が確定します。
- 段落分割によって新しくできた段落の段落スタイルの内容は、もとの段落と同じです。
  参照 P.75「機能の説明（段落スタイル）」
- もとの段落スタイルの文字サイズに行数が指定されていると、段落分割によって各段落の行数が変わり、指定した行数と一致しなくなります。このとき、文字サイズは「均等」で印刷されます。
  参照 P.75「文字サイズ」

特定の段落を消去する

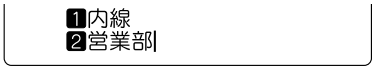
不要な段落を消去します。段落を消去すると、文字だけではなくその段落に指定された段落スタイル指定、文字モードの指定内容もすべて消去されます。

例 **：段落 2 を消去する**



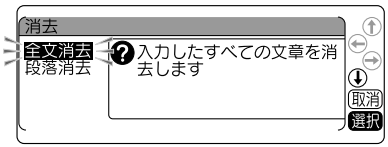
❶ 消去する段落 2 にカーソルを合わせる

カーソル位置は消したい段落内ならどこでもかまいません。



❷ シフト を押しながら 削除 取消 （＝消去）を押す

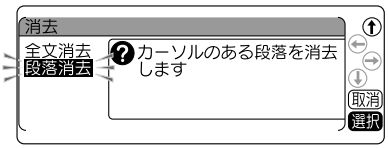
「消去」メニューが表示されます。



!! 注意 !!

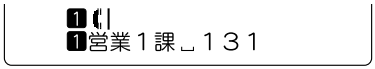
「全文消去」で 選択 を押すと、入力したすべての文章が消去されます。ご注意ください。

❸ ↑ ↓ で「段落消去」を選ぶ



❹ 選択 を押す

ディスプレイが一瞬消灯し、段落が消去されます。消去が終わるとテキスト画面に戻ります。



MEMO

- 段落消去をおこなうと、カーソル位置の段落内容がすべて消去されます。段落消去は充分に確認してからおこなってください。
- 間違って消去した全文・段落は、消去した直後なら 復活 ボタンで復活させることができます。
  ただし、段落消去後に ← ↑ ↓ → シフト 入力切換 以外のボタンを押すと、消去された全文・段落を復活させることはできません。
- 段落消去を途中でやめるときは、ホーム を押してテキスト画面に戻ります。

カドを丸く仕上げる

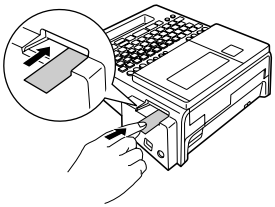
ラベルをトリマー差込み口に挿入すると、ラベルのカドを丸く仕上げることができます。「カド丸仕上げ」にすると、見栄えがよいばかりでなく、ラベルがカドからはがれにくくなります。

お得なセット！
初回限定版Box

9mm、12mm、18mm、24mm 幅テープのとき

ラベルのカドを片側ずつ仕上げます。

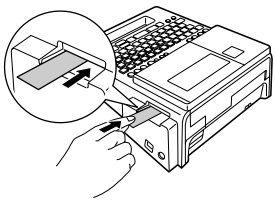
❶ ラベルの片側をトリマー差込み口の左右どちらかのガイドに沿わせ、つき当たるまで差し込む



❷ 数回カット音がしたら、ラベルを抜く

カドが丸くカットされているか確認します。

❸ ラベルの反対側をガイドに沿わせ、同様にカットする



36mm 幅テープのとき

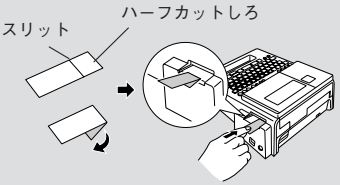
左右のカドが同時にカットされます。

❶ ラベルの左右をトリマー差込み口のガイドに沿わせ、つき当たるまで差し込む

❷ 数回カット音がしたら、ラベルを抜く

MEMO

- ハーフカットのスリットが入っているラベルは、スリット部分を折り曲げ、トリマー差込み口に差し込んでください。



- ご購入時、「トリマーカバー」に製造工程での切断検査の切りクズが残っていることがあります。

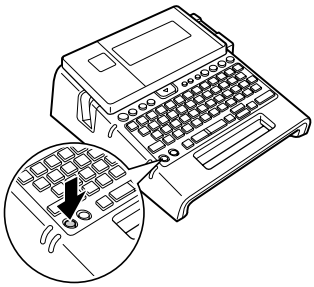
!! 注意 !!

- 印刷中および上カバーが開いているときはオートトリマーが作動しません。
- ラベルはトリマーガイドに沿わせてまっすぐ差し込んでください。
- ラベルはつき当たるまでしっかりと差し込んでください。
- オートトリマーにラベルを差し込んだままラベルを左右に動かさないでください。途中で引っかかり、うまくカドが丸くカットされないことがあります。
- トリマー差込み口には、シャープペンシルやクリップなどラベル以外のものを入れないでください。オートトリマーが故障する原因となります。
- 4mm 幅、6mm 幅ラベルには、オートトリマーを使用できません。トリマー（RT36W）を使ってカットしてください。
  参照 P.11「別売品のご案内」
- 耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・熱収縮チューブ・上質紙ラベル・マスキングテープ「mt」ラベル・蓄光ラベル・りぼんはカットできませんので、オートトリマーに差し込まないでください。
  参照 P.167「テープカートリッジを使いわける」

オートトリマーのお手入れ

「トリマーカバー」にはオートトリマーの切りクズがたまります。ときどき「トリマーカバー」をはずして掃除してください。

❶ (ON/OFF)（ON/OFF）を押して電源を切る



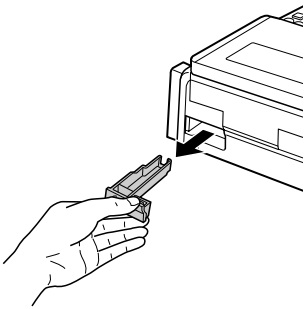
⚠警告



「トリマーカバー」をはずすときは、必ず電源を切ってください。「トリマーカバー」をはずしたまま作動させると刃で指を切ったりするなど、大変危険です。
また、オートトリマーを掃除するときにはオートトリマー内部に絶対、指を入れないでください。指を切るおそれがあります。

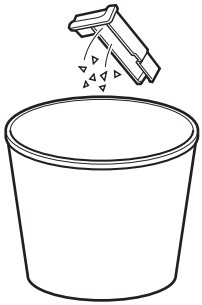
❷「トリマーカバー」をはずす

「トリマーカバー」の下側に指を入れ手前に引きます。



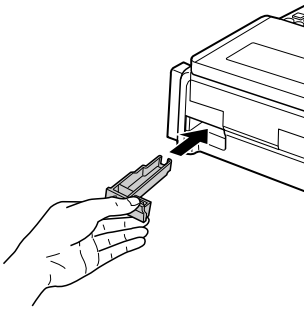
❸ 切りクズを取り除く

「トリマーカバー」内にたまった切りクズを市販の綿棒などで取り除きます。



❹「トリマーカバー」をはめる

「トリマーカバー」をもとのように取り付けます。



MEMO

オートトリマーは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。オートトリマーの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照☞巻末「アフターサービスについて」

機能編

～「テプラ」の機能を使いこなそう～

「ラベルの向きを変えたい」
「ラベルを見栄えよくしたい」
「入力した文章を保存しておきたい」
こんなときは各機能のボタンでレイアウトの変更や各種指定をおこないます。

ダイレクトキーで書体を変更する

書体（書体）を使う

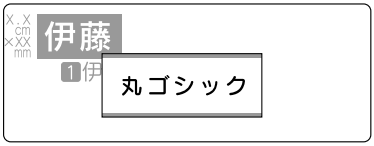
書体（書体）を使うと、ラベルの書体を以下の順で切り換えられます。

ゴシック→丸ゴシック→行書体→ペン行書体→波ゴ体→太型明朝体→太型ゴシック→太丸ゴシック→太型行書体→明朝体

❶ 目的の書体になるまで書体（書体）を押す

書体（書体）を押すたびに、選択された書体が表示され、選択肢が切り換わります。

シフトを押しながら書体（書体）を押すと、選択肢が逆順で切り換わります。



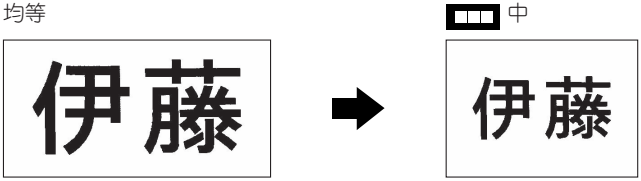
MEMO

- 仮確定文字があるときは、書体を変更できません。
- 「書体」は編集機能の「書体」でも指定できます。
  参照☞ P.74「書体」
- 段落ごとや文字ごとに「書体」を指定する場合や、かな専用書体、英数専用書体を指定する場合、編集機能の「書体」で指定します。
- 書体（書体）ボタンは文章全体の書体を変えます。「編集」機能で段落ごとや文字ごとに書体を指定している場合は、「▶（文字モード指定マーク）」前までの書体を変更します。また、漢字、かな、英数書体を別々の書体を指定していても、文章全体が同じ書体になります。

ダイレクトキーで文字サイズを変更する

文字サイズ（文字サイズ）を使う

文字サイズ（文字サイズ）を使うと、文字サイズを一段階ずつ切り換えられます。各行の文字サイズを「おまかせフォーマット」の組み合わせから選択できます。



選択できる文字サイズは、ラベルの行数によって次のようになります（文字サイズ（文字サイズ）を押したときに表示される画面イメージとは若干異なります）。

ラベルの行数	文字サイズ
1 行	特大、大、中、小、細
2 行	大大、中中、大小、小大
3 行	均等、1 大、2 大、3 大
4 行	均等、1 大、2 大、3 大、4 大
5 行	均等、1 大、2 大、3 大、4 大、5 大
6 行	均等、1 大、6 大
7-13 行	均等

❶ 目的の設定になるまで文字サイズ（文字サイズ）を押す

文字サイズ（文字サイズ）を押すたびに選択肢が切り換わります。

カーソルがある行の文字サイズは、ディスプレイのインジケーターで確認できます。

シフトを押しながら文字サイズ(文字サイズ)を押すと、選択肢が逆順で切り換わります。



MEMO

- 仮確定文字があるときは、「文字サイズ」を変更できません。
- 「文字サイズ」は編集機能の「文字サイズ」でも指定できます。
  参照 P.75「文字サイズ」
- 文字サイズ（文字サイズ）ボタンは、カーソルのある段落に対する指定です。
- 初期設定値（均等）に戻すには、編集機能の「文字サイズ」で「均等」を指定します。
- 選択肢を切り換えたあとは、プレビューなどでイメージを確認することをおすすめします。

ダイレクトキーでラベルの向きを変更する（縦･横）

縦･横（縦・横）ボタンを使う

縦･横（縦・横）ボタンを使うと、ラベルの向きを「縦」または「横」で切り換えられます。

よこ書きラベル　　たて書きラベル



❶ 縦･横（縦・横）を押す

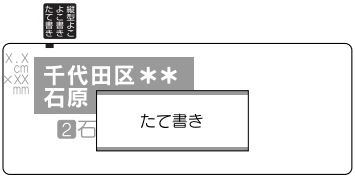
「たて書き」と表示された場合は、たて書きになります。

「よこ書き」と表示された場合は、よこ書きになります。

たて書き・よこ書きは、ディスプレイのインジケーターで確認できます。

シフトを押しながら縦･横（縦・横）を押すと、選択肢が逆順で切り換わります。



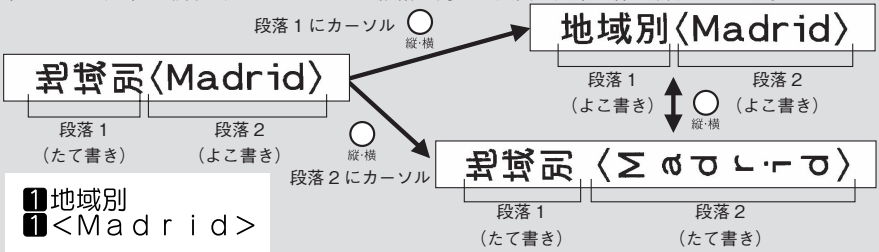


MEMO

- 仮確定文字があるとき、「たて書き」「よこ書き」は変更できません。
- 編集機能の「縦・横」では文章全体または段落単位で指定できます。
  参照 P.64「ラベルの見栄えをよくする（編集）」
- 編集機能の「縦･横」で「縦型よこ書」を指定している段落は、縦･横（縦･横）ボタンで変更できません。
  参照 P.81「縦・横」

!!注意!!

縦･横（縦・横）ボタンは文章全体のラベルの向きを変えます。「たて書き」と「よこ書き」の段落が混在している文章の場合は、カーソルのある段落に対する変更が文章全体に反映されます。



参考

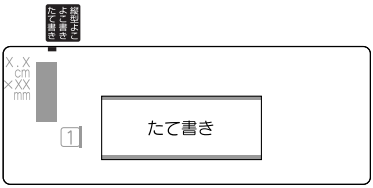
たて書きで 2 桁の数字を印刷する

「2 桁数字」は 2 桁の数字を 1 文字として扱うものです。たて書きのラベルで日付や住所の番地などに「2 桁数字」を使うと、きれいに揃えて印刷できます。

例 :「14 回大会記録」を入力する



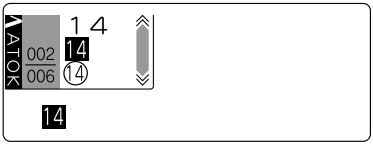
❶ ○縦・横（縦・横）を押して、「たて書き」を指定する



❷ ぬ1 ふ4 と入力して 変換 スペース を押す



❸ 変換 スペース を押して 2 桁数字の「14」を選び、選択 改行 を押す



❹ 続けて文章を入力する



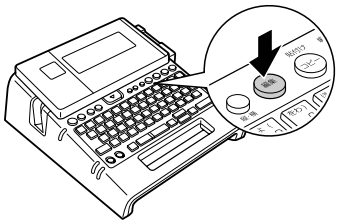
MEMO

- 2 桁の数字は、記号・絵 を押して「2 桁数字」を選んで入力することもできます。
- 仮確定文字があるときは、記号・絵 ボタンで 2 桁数字は入力できません。

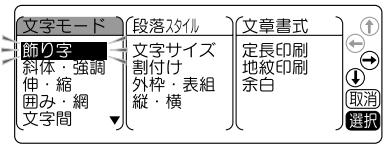
ラベルの見栄えをよくする（編集）

文字の書体や大きさを変えて、見栄えの良いラベルにすることができます。

ラベルの見た目を変えるには、(編集)ボタンを押して表示されるメニューから機能を選択します。
機能は、指定可能な範囲の違いによって、文字モード・段落スタイル・文章書式に分類されています。



表示されるメニュー

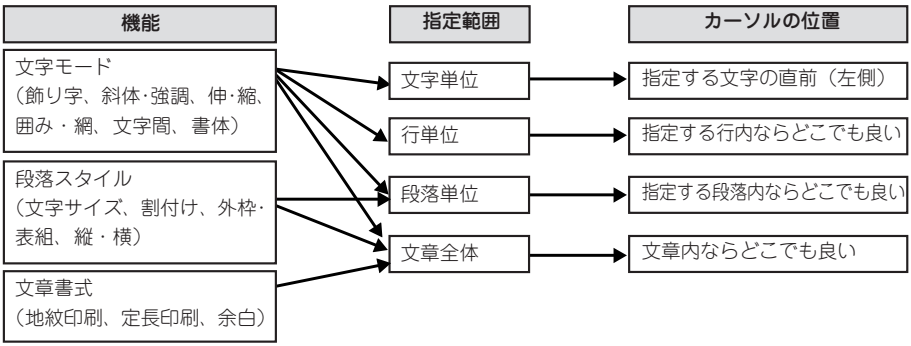


編集ボタンの機能

機能の分類	指定範囲	機能	内容
文字モード	文字単位 行単位 段落単位 文章全体	飾り字	淡文字、白文字、影文字、白抜影の装飾をします。
		斜体・強調	斜体、強調、斜強調の装飾をします。
		伸・縮	文字を伸縮して変形します。
		囲み・網	下線、網かけ、囲みの装飾をします。
		文字間	文字の間隔を狭くしたり、広くしたりします。
		書体	漢字、かな、英数字の書体を指定します。
段落スタイル	段落単位 文章全体	文字サイズ	行ごとの文字サイズを指定します。
		割付け	各行の割りつけ位置を指定できます。
		外枠・表組	飾り枠、表組みを指定します。
		縦・横	たて書きや、よこ書き、縦型よこ書きにします。
文章書式	文章全体	定長印刷	できあがるラベルの長さを指定します。
		地紋印刷	背景全体に地紋を入れます。
		余白	ラベル前後の余白の長さを指定します。

編集の指定範囲とカーソルの位置について

機能を選択する場合、(編集)ボタンを押す前に、指定範囲に合わせてカーソルの位置を移動しておく必要があります。このカーソル位置を基準にして、メニュー操作の途中で範囲の指定をおこないます。
カーソル位置は、指定する機能や範囲によって異なります。次の図を参考にカーソルの位置を確認してください。



編集を指定する

編集は以下のような流れで指定します。

❶ カーソルを合わせる

文字に指定するときは、指定する文字の直前（左側）にカーソルを合わせます。
行全体に指定するときはその行に、段落に指定するときはその段落内にカーソルを合わせます。
文章全体に指定するときは、カーソル位置はどこでもかまいません。
参照☞ P.64「編集の指定範囲とカーソルの位置について」

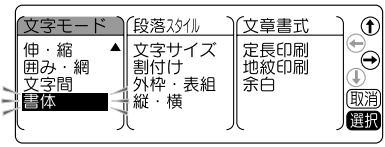
❷ 編集を押す

!! 注意 !!

文章中に仮確定の文字があるときは、編集は指定できません。

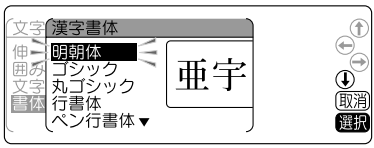
❸ 機能を選ぶ

←↑↓→で目的の機能を選び、選択を押します。



❹ 各機能の選択肢を指定する

↑↓で目的の選択肢を選び、選択を押します。

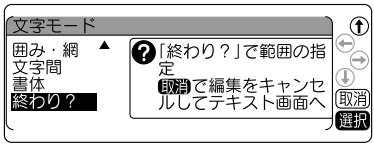


❺ 「終わり？」を選ぶ

1 つの機能の指定が終わると、「終わり？」が表示されます。

同じ分類の機能（この場合「文字モード」）であれば、続けて指定することができます。
↑↓で目的の機能を選び、選択を押します。
以降の手順は❹❺と同様です。

指定を終了する場合は、「終わり？」を選び、選択を押します。
手順❻へ進みます。



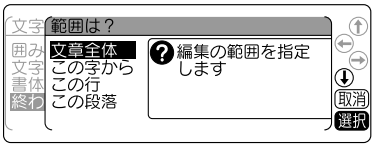
MEMO

異なる分類の機能（この場合「段落スタイル」「文章書式」）を指定したい場合は、手順❼の「編集続行？」で「する」を選択してください。

次へ進みます

❻ 指定した機能の範囲を決める

指定した機能の範囲を指定します。
下表を参考に、[↑] [↓]で指定する範囲を選び、[選択]を押します。
（「文章書式」の機能を選択した場合は、範囲の画面は表示されませんので手順❼へ進みます。）



●「文字モード」の機能を指定した場合

文章全体	文章全体に、指定した文字モードを反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。
この字から	カーソルを合わせた位置に「▶（文字モード指定マーク）」が表示され、「▶」直後の文字から行末（または、次の「▶」）まで、指定した文字モードを反映します。
この行	カーソルを合わせた行の行頭に「▶（文字モード指定マーク）」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した文字モードを反映します。
この段落	カーソルを合わせた段落の行の先頭すべてに「▶（文字モード指定マーク）」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した文字モードを反映します。

●「段落スタイル」の機能を指定した場合

文章全体	文章全体に、指定した段落スタイルを反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。
この段落	カーソルを合わせた段落に、指定した段落スタイルを反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。

●「文章書式」の機能を指定した場合

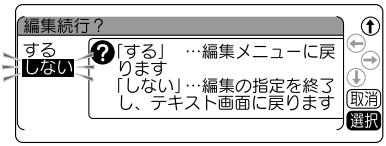
範囲の画面は表示されません。
手順❺で「終わり？」を選択した時点で、文章全体に指定した文章書式を反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。

MEMO

- 「▶（文字モード指定マーク）」は印刷されません。
- 「▶」は削除することができます。
- 「▶」を削除すると、その前にある「▶」の指定を反映します。
  「▶」がない場合は、「文章全体」で指定した内容、または編集の保存値を反映します。
- 編集にある各機能のご購入時の状態（初期設定値）は P.67「編集メニュー一覧」で確認できます。
  また、この設定は P.155「編集機能の保存値を設定する」で変更することもできます。
- 編集の指定の途中で(削除 取消)または(編集)を押すと、1 つ前の状態に戻ります。
  この操作を繰り返すと、編集の指定を解除しテキスト画面に戻ることができます。
  編集の指定の途中で(ホーム)を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 一部の編集の指定内容は、インジケーターの点灯で確認できます。
  参照☞ P.22「ディスプレイの見かたとはたらき」
  また、(編集)を押して、各機能の選択肢を表示させても確認できます。ネガ表示になっている選択肢が現在の指定内容です。
- 装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることがあります。

❼ 編集を続けるかどうかを決める

[↑] [↓]で編集を続行するかどうかを選び、[選択]を押します。
「しない」にした場合は編集を終了し、テキスト画面に戻ります。
「する」にした場合は手順❸の編集メニューが表示されます。続けて、編集の各機能を指定することができます。



編集メニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
文字モード		
飾り字 ▶ **飾り字** 文字の装飾を指定します。 参照 P.72	**ふつう**　淡文字 白文字　影文字 白抜影	
斜体・強調 ▶ **斜体・強調** 文字を斜体または強調します。 参照 P.72	**正体**　斜体 強調　斜強調	
伸・縮 ▶ **伸・縮** 行中の基本文字サイズに対し、どれだけ大きく（小さく）するかを指定します。基本文字サイズに対して「中並び」はセンター揃え、「下並び」は文字のベースライン揃えとなります。 参照 P.73	**ふつう**　縮める ▶ 小さく　伸ばす 細かく	（小さく、細かくのみ） 中並び **下並び**
囲み・網 ▶ **囲み・網** 下線や文字囲み、網かけなどを指定します。 網は網濃度が選べます。 参照 P.73	**なし**　訂正線 ▶ 網かけ　下線 角囲み網　角囲み 丸囲み網　丸囲み	（網かけ、角囲み網、丸囲み網のみ） 網濃度 **ふつう** 濃い ベタ
文字間 ▶ **文字間** 文字間隔を調整します。プロポーショナルは英数字に有効で、「オフ」にすると英数字も全角扱いになります。 参照 P.74	**密着** ▶ 狭い **ふつう** 広い	**プロポーショナル** **オン** オフ

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
文字モード			
書体 ▶	漢字書体 ▶	かな書体 ▶	英数書体
	明朝体	自動	自動
	ゴシック	明朝体	明朝体
	丸ゴシック	ゴシック	ゴシック
	行書体	丸ゴシック	丸ゴシック
	ペン行書体	行書体	行書体
	波ゴ体	ペン行書体	ペン行書体
	太型明朝体	波ゴ体	波ゴ体
	太型ゴシック	えれん	HV 体
	太丸ゴシック	ハッピ	BR 体
	太型行書体	太型明朝体	PL 体
		太型ゴシック	ST 体
		太丸ゴシック	太型明朝体
		太型行書体	太型ゴシック
		太型えれん	太丸ゴシック
		太型ハッピ	太型行書体
			太型 HV 体
			太型 BR 体
			太型 PL 体
			太型 ST 体
終わり？ ▶	範囲は？	編集続行？	
	文章全体	する	
	この字から	しない	
	この行		
	この段落		

書体
漢字書体とかな書体、英数書体をそれぞれ選択します。
参照 P.74

終わり？
指定後のみ表示され、文字モードの範囲を指定します。
参照 P.65

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
段落スタイル 文字サイズ ▶	自動	均等 らく[2]
	1行 ▶	（おまかせフォーマット）  特大 1a　  小 1d  大 1b　  細 1e  中 1c
	2行 ▶	自由のび[2]  大大 2a　  大小 2c  中中 2b　  小大 2d
	3行 ▶	自由のび[2]  均等 3a　  2大 3c  1大 3b　  3大 3d
	4行 ▶	自由のび[2]  均等 4a　  3大 4d  1大 4b　  4大 4e  2大 4c
	5行 ▶	自由のび[2]  均等 5a　  3大 5d  1大 5b　  4大 5e  2大 5c　  5大 5f
	6行 ▶	自由のび[2]  均等 6a　  下大 6c  上大 6b
	7-13行 ▶	自由のび[2] 均等
割付け ▶	 前揃え　  均等割  中揃え　  後揃え	

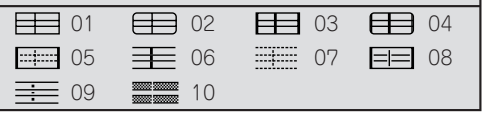
均等
各行を同じ文字サイズにします。

らく[2]
入力文字数に応じて文字サイズを自動調整します。

おまかせフォーマット
各行の文字サイズを、ピクトグラフで表示される組み合わせのように指定します。

自由のび[2]
行ごとに文字の大きさを指定します。
参照 P.75、77

割付け
各行の文字の配置を指定します。
参照 P.78

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
段落スタイル		
外枠・表組 ▶	なし	
外枠 ▶		
表組み ▶		
縦・横 ▶	たて書き よこ書き 縦型よこ書	
終わり？ ▶	範囲は？ 文章全体 この段落	編集続行？ する しない

外枠
ピクトグラフのような飾り枠がつけられます。
「?□?」（記号外枠）はオリジナルの外枠を作ります。
参照☞ P.79、80

表組み
ピクトグラフのような表組みのラベルを作ります。
参照☞ P.79

縦・横
文字の向きを指定します。
参照☞ P.81

終わり？
指定後のみ表示され、段落スタイルの範囲を指定します。
参照☞ P.65

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
文章書式			
定長印刷 ▶	しない / 数値指定 / A4 ファイル / B5 ファイル / CD・DVD ケース / FD・MO / VHS / 8mm ビデオ / ミニ DV / MD / 音楽テープ	（数値指定のみ） ▶ 1.0cm ～ 95cm	前寄せ / 割付け / 中寄せ / 後寄せ
		（数値指定以外） 前寄せ / 割付け / 中寄せ / 後寄せ	
地紋印刷 ▶	なし / 菱形 / 雪 / 星 / 唐草 / 点網 / 海波 / 菱網 / 桜 / ｶｰﾄﾞ / 切抜 / 文字地紋 ▶	（点網のみ） 網濃度 ふつう 濃い	
		▶ （文字地紋のみ） 地紋の文入力画面	
	創作 1 ～ 4 ▶	（創作 1 ～ 4 のみ） ▶ 創作地紋作成画面	創作地紋柄 小柄 大柄
余白 ▶	極少 / 少なめ / ふつう / 多め / 自動少なめ / 自動多め		
終わり？ ▶	編集続行？ する しない		

定長印刷
決まった長さのラベルを作ります。
参照 P.82

地紋印刷
定型地紋の入ったラベルを作ります。ピクトグラフを参考に地紋の柄を選びます。
参照 P.84

文字地紋
文字地紋の入ったラベルを作ります。
参照 P.85

創作地紋
創作地紋の入ったラベルを作ります。
参照 P.86

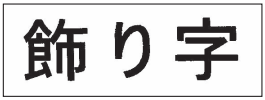
余白
ラベルの前後の余白を調整します。
参照 P.87

終わり？
指定後のみ表示されます。
参照 P.65

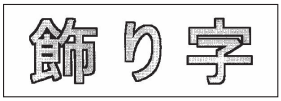
●飾り字

文字の装飾を選択します。

ふつう



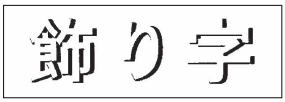
淡文字



白文字



影文字



白抜影



MEMO

文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることがあります。

●斜体・強調

文字の斜体、強調を選択します。

正体



斜体



強調



斜強調



MEMO

文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることがあります。

●伸・縮

各行の基本文字サイズ（行の大小）は、テープ幅・入力行数・文字サイズの段落スタイル指定によって決まります。伸・縮はこの基本文字サイズに対して相対的な大きさを指定します。

ふつう（ご購入時の初期設定値）	これを選ぶと、基本文字サイズになります。
小さく - 中並び / 下並び	基本サイズより、1 段階小さい文字になります。これを選んでから、次に文字の位置を中並び / 下並びから選びます。
細かく - 中並び / 下並び	基本サイズより、2 段階小さい文字になります。これを選んでから、次に文字の位置を中並び / 下並びから選びます。
縮める	横の長さを基本サイズの約 0.75 倍にします。
伸ばす	横の長さを基本サイズの約 1.5 倍にします。

MEMO

- 基本文字に対して、「中並び」はセンター揃え、「下並び」は文字のベースライン揃えとなります。
- 英数専用書体（HV 体・BR 体・PL 体・ST 体）はベースラインが漢字書体や、かな書体と異なるため、「下並び」を指定しても漢字書体や、かな書体とベースラインが揃いません。
- 基本文字サイズがすでに小さい場合は、「小さく」「細かく」を指定しても、文字の大きさが変わらない場合があります。
- 各行の基本文字サイズは段落スタイルの指定で変えることができます。
  参照☞ P.75「文字サイズ」
- 装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることがあります。
- 細いテープを使っている場合など大きな文字サイズを使えないときに「伸ばす」を指定すると、文字の大きさが少し大きく見え、より目立つラベルを作ることができます。

●囲み・網

文字につける囲みや下線、網などを選びます。表示されるピクトグラフで囲み・網の種類を確認できます。網かけ、角囲み網、丸囲み網を選択した場合は、さらに網濃度を選びます。



!! 注意 !!

- 網濃度で「ベタ」を選ぶと、自動的に飾り字が「白文字」に指定されます。
- 網濃度の指定を変更しても、テキスト画面の印刷イメージには反映されません。
- 網濃度で「濃い」または「ベタ」を選ぶと、印刷結果にムラが生じることがあります。

●文字間

文字の間隔を選びます。

密着



狭い



ふつう

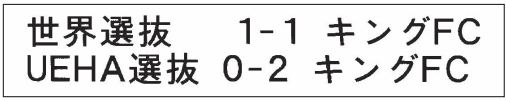


広い



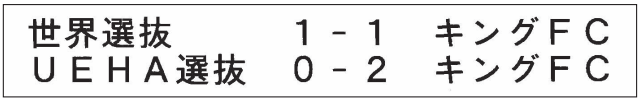
さらに文字間「プロポーショナル」の「オン / オフ」を選びます。

プロポーショナル「オン」



「プロポーショナル」を「オン」にすると、英数字にプロポーショナルがかかり、文字間を美しく調整して並べます。プロポーショナルとは英数字が美しく見えるように文字間を自動的に調整する機能です。

プロポーショナル「オフ」



「プロポーショナル」を「オフ」にすると、プロポーショナル機能が解除され、英数字（半角スペースを含む）をすべて全角文字として扱います。複数行で上下の文字の並びをきちんと揃えたいときは、「プロポーショナル」を「オフ」にしてください。

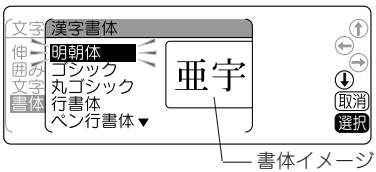
MEMO

文字間の指定について

- あらかじめ小さくデザインされている文字に「密着」を指定しても、密着しているように見えないことがあります。
- 複数個の外字をつなげたロゴを作るときは、「密着」を指定すると完全につながったロゴが印刷できます。参照 P.127「外字を使う」
- 大きい文字では文字間を狭く、小さい文字では文字間を広くとると、美しいラベルが作れます。

●書体

文字の書体を選びます。かな書体と英数書体で「自動」を選ぶと、漢字書体と同じ書体が選択されます。
書体イメージは、指定中のガイドで確認できます。
書体の変更は◯書体（書体）ボタンでも指定できます。
参照 P.60「ダイレクトキーで書体を変更する」



MEMO

太型書体は、文字が太い書体です。一部の文字は大きさにかかわらず、つぶれますのでご了承ください。

機能の説明（段落スタイル）

●文字サイズ

文字サイズの指定は「均等」「らく²」「おまかせフォーマット」「自由のび²」で指定してください。
文字サイズの変更は（文字サイズ）ボタンでも指定できます。

参照 P.61「ダイレクトキーで文字サイズを変更する」

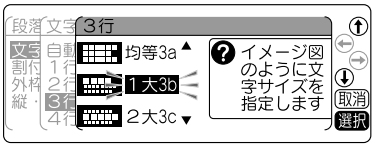
均等（ご購入時の初期設定値）	各行を同じ文字サイズにします。 12mm 幅テープ  18mm 幅テープ 
らく²	入力文字数に応じて、文字サイズを自動調整します（フルオート）。 **1 行のとき**：文字数が多くなると自動的に文字サイズを小さくします。   **2 行以上のとき**：各行の長さがバランスよくなるように文字サイズを自動調整します。   テープ幅や行数、文字数の割合に応じて、各行のできあがりの長さができるだけ揃うようにします。また､文字数が多くなってもラベル全体が長くなりすぎないように､文字サイズを自動調整します。
おまかせフォーマット	各行の文字サイズ（行の大小）を、あらかじめ用意された組み合わせの中から選びます（セミオート）。 **参照 P.76「おまかせフォーマット」**
自由のび²	行ごとの文字サイズを自由に選びます（マニュアル）。 **参照 P.77「自由のび²」**

MEMO

各行の文字サイズはテープ幅によって異なり、文字サイズインジケーターで確認できます。

おまかせフォーマット（1 行～ 13 行）

選択肢から文字サイズ（行の大小）を選びます。表示されるピクトグラフで各行の文字のバランスなど、レイアウトを確認できます。
また、「自由のび[2]」を選ぶと、行ごとの文字の大きさ（行の大小）を自由に指定できます。



おまかせフォーマット 1 行

特大 1a・ 大 1b・ 中 1c・ 小 1d・ 細 1e と選んだ場合、テープ幅により次のような文字の大きさで印刷されます。

印字サンプル	美	美	美	美	美	美
文字サイズ [pt] / テープ幅	K [72]	K' [64]	H [51]	U [38]	U' [32]	G [26]
36mm	特大	大	中	小	細	―
24mm	―	―	特大	大	中	小
18mm	―	―	―	特大	大	中
12mm	―	―	―	―	―	特大
9mm	―	―	―	―	―	―
6mm	―	―	―	―	―	―
4mm	―	―	―	―	―	―

印字サンプル	美	美	美	美	美	美	美
文字サイズ [pt] / テープ幅	L [19]	L' [16]	M [13]	S [10]	S' [8]	P [6]	F [5]
36mm	―	―	―	―	―	―	―
24mm	細	―	―	―	―	―	―
18mm	小	細	―	―	―	―	―
12mm	大	中	小	細	―	―	―
9mm	特大	大	中	小	細	―	―
6mm	―	―	特大	大	中	小	細
4mm	―	―	―	―	特大	大	中、小、細

!! 注意 !!

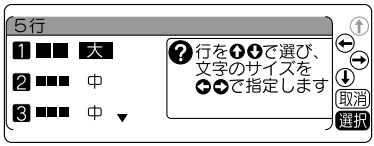
テープに印刷できる文字の大きさに制限があるため、テープ幅や印刷する行数によっては、おまかせフォーマットの一部が機能しない場合があります。各行の文字サイズは、文字サイズインジケーターで確認してください。

MEMO

- おまかせフォーマット（2 行以上）は、ピクトグラフで表現しています。
- 各行の文字サイズはテープ幅によって異なり、文字サイズインジケーターで確認できます。
- 指定した行数と実際に入力された行数が異なると、「均等」で印刷されます。

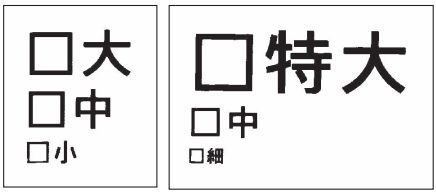
自由のび [2]

各行ごとに文字の大きさ（行の大小）を「細」「小」「中」「大」「特大」の 5 段階で、自由に指定できます。ただし、テープ幅や行数によっては異なるサイズを指定しても、印刷結果は同じになることがあります。





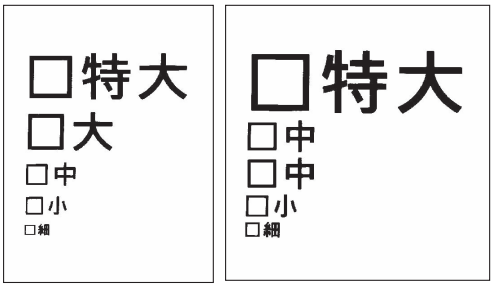
2行（18mm 幅テープ）の印刷見本



3行（24mm 幅テープ）の印刷見本



4行（36mm 幅テープ）の印刷見本



5行（36mm 幅テープ）の印刷見本

MEMO

- これらの例は、自由のび [2] の組み合わせのごく一部です。
- 各行の文字サイズは文字サイズインジケーターで確認できます。
- 指定した行数と実際に入力された行数が異なると、「均等」で印刷されます。

●割付け

複数行のとき、各行の「揃え」を指定します。

 **前揃え（ご購入時の初期設定値）**	行頭を揃えます。
 **中揃え**	各行の中心を揃えます。
 **均等割**	一番長い行の長さに揃えて他の行を均等に割りつけます。
 **後揃え**	行末を揃えます。

MEMO

文字間「密着」が指定されている場合、割付け「均等割」を指定しても、文字間「密着」が優先されます。

●外枠・表組み

文章（段落）のまわりに外枠や表組みをつけます。

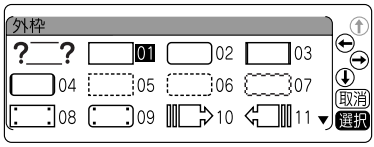
なし（ご購入時の初期設定値）

外枠・表組みをつけません。

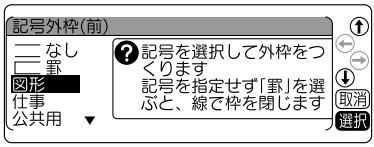
外枠

文章（段落）のまわりに外枠をつけます。
表示されるピクトグラフで外枠の種類を確認できます。





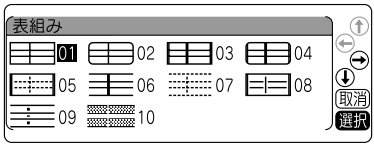
?__?を選ぶと、外枠の左右に配置する記号を選択して外枠を作れます。
参照☞ P.80「記号外枠を指定する」



表組み

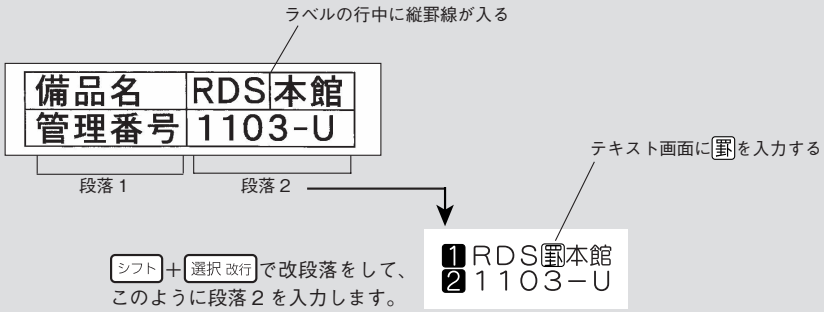
文章（段落）を枠で囲み、行間に横罫線を引きます。
また、複数の段落に同じ表組みを指定すると、前後に区切られた表ができます。
表示されるピクトグラフで表組の種類を確認できます。





MEMO

表組みのラベルの行中にさらに縦罫線を入れたいときは、記号・線を押して表示される記号メニューから「編集」を選択し、その中の罫を入力します。



参考

記号外枠を指定する

記号外枠とは、外枠の前後を記号の中から選んでオリジナルの外枠を作る機能です。

例 ：



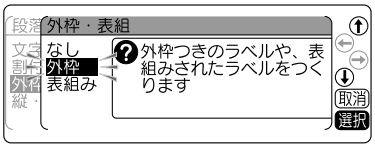
「記号外枠（前）」で選択した記号

「記号外枠（後）」で選択した記号

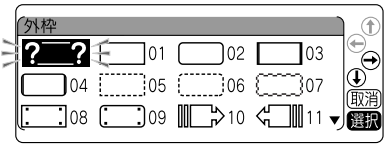
❶ 編集を押す

「編集」メニューが表示されます。

❷「外枠・表組」の「外枠」を選ぶ



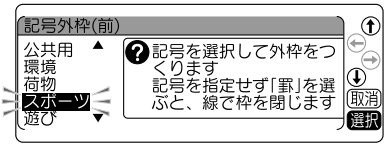
❸ ?__?を選び、選択を押す



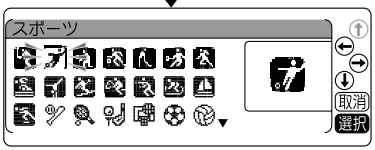
記号選択メニューが表示されるので、記号外枠の前部分を指定します。

❹ 外枠の前部分に配置する記号を選ぶ

例の場合は「スポーツ」の中から⚽を選びます。



選択

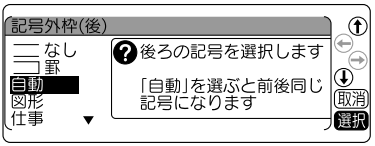


記号外枠の前部分が選択されます。続いて、後ろ部分を指定します。

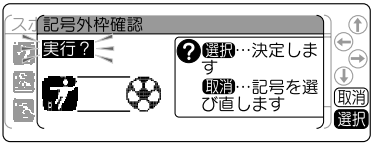
❺ 外枠の後ろ部分に配置する記号を選ぶ

例の場合は「スポーツ」の中から⚽を選びます。

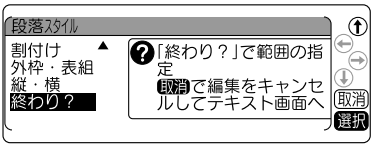
ここで「自動」を選ぶと、前部分と同じ記号が指定されます。



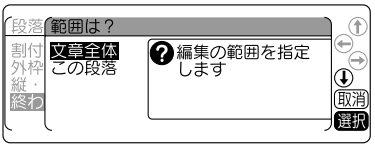
❻ デザインを確認し、選択を押す



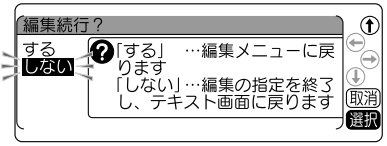
❼「終わり？」で選択を押し、「範囲」を指定する



選択



❽「編集続行？」で「しない」を選択し、選択を押す



記号外枠が指定されます。



●縦・横

文字をたて書きにするか、よこ書きにするか、縦型よこ書きにするかを指定します。

たて書き / よこ書きの変更は 縦・横（縦・横）ボタンでも指定できます。

参照☞ P.62「ダイレクトキーでラベルの向きを変更する（縦・横）」

よこ書き（ご購入時の初期設定値）



たて書き



縦型よこ書き



MEMO

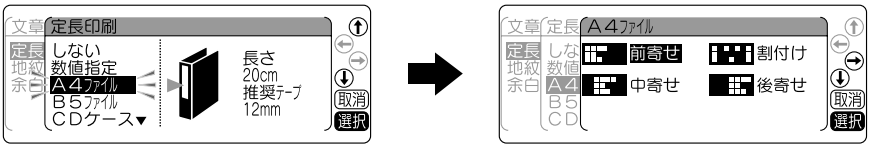
縦型よこ書きを指定すると、段落スタイルの「文字サイズ」と文字モードの「文字間」の指定が反映されません。また、セットされたテープ幅によって、入力できる文字数に制限があります。

テープ幅	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm	36mm
入力可能な文字数	1 文字	2 文字	3 文字	5 文字	7 文字	10 文字	13 文字

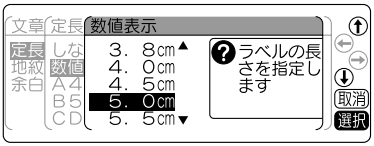
機能の説明（文章書式）

●定長印刷

印刷するラベルの長さを指定します。
長さを指定した後、ラベル全体に対する文字の印刷位置を選びます。表示されるピクトグラフで位置のイメージを確認できます。



「数値指定」を選んだときは、ラベルの長さを指定してからラベル全体に対する文字の印刷位置を選びます。



用途別の定長を選ぶとラベルの長さが自動的に指定されます。お使いになるテープは、下表の「推奨テープ幅」をお奨めします。

用途	長さ	推奨テープ幅
A4 ファイル	20cm	12mm
B5 ファイル	15cm	12mm
CD・DVD ケース	11cm	4mm
FD・MO	7.0cm	18mm、24mm、36mm
VHS	14cm	18mm
8mm ビデオ	7.0cm	9mm
ミニ DV	4.0cm	9mm
MD	5.5cm	4mm
音楽テープ	9.5cm	9mm

MEMO

- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは、「入力した文章が長すぎます」が表示され、印刷できません。文字数を減らしたり、行の大小指定や文字の伸・縮の指定で文字の大きさを小さくしてください。
- 定長印刷で指定するラベルの長さは一応の目安です。実際のできあがりの長さと完全には一致しません。
- ハーフカットを無効にしている場合は、長さ「1.8cm」以下のラベルは印刷できません。

参考

定長内に文字をおさめる「つめ²」機能

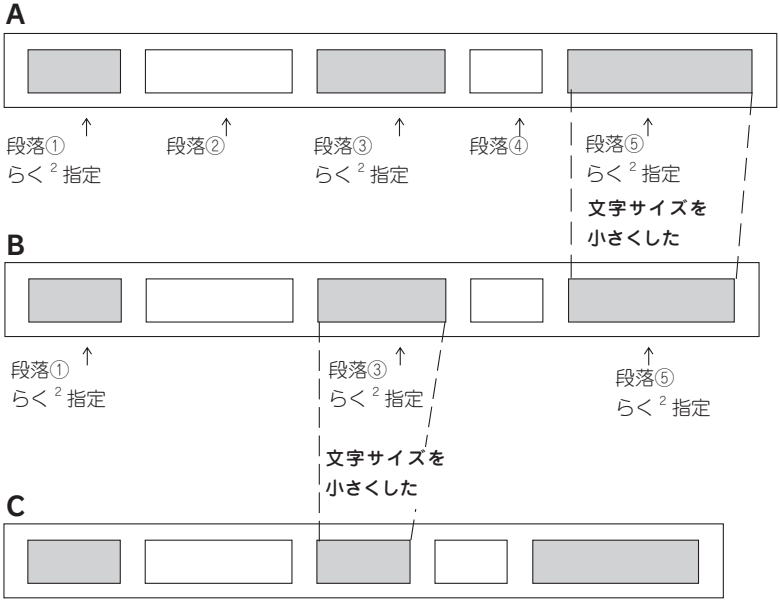
「文字サイズ」で「らく²」を指定すると、入力文字数に応じて自動的に文字サイズを調整します。この「らく²」と「定長」を指定し、定長内に段落をいくつか作って文字を入力した場合、定長で指定した長さに文字がおさまらない場合があります。
そんなとき本機では、定長で指定した長さにおさまるよう文字サイズを自動的に計算し、「らく²」を指定した段落の中で、後ろから順に段落単位で文字サイズを小さくする「つめ²」機能が働きます。

❶ 一番最後の段落の文字を小さくする（図 A → B）

定長に入らない場合はまず、「らく²」を指定した段落の中で一番最後の段落（⑤）の文字サイズを 1 段階小さいサイズに置き換えます。これで定長におさまれば自動計算は終わります。

❷ 最後から 2 番目の段落の文字を小さくする（図 B → C）

これでも定長内に入らない場合は、「らく²」を指定した段落の中で最後から 2 番目の段落（③）の文字サイズを 1 段階小さくします。
定長で指定した長さにおさまるまで、上記の処理をおこないます。
この処理を繰り返しても定長で指定した長さにおさまらない場合は「入力した文章が長すぎます」と表示されます。定長を指定し直すか、文字を少なくするなどの操作をおこなってください。



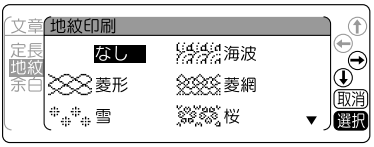
※段落②、④が「らく²」を指定していない段落です。

‼注意‼

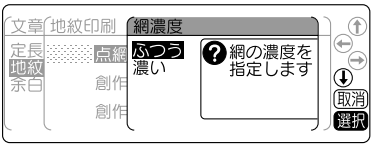
- 「らく²」を指定していない段落は「つめ²」機能は働きません。
- 「らく²」以外の指定をしても実際の行数が指定と合わず結果的に「均等」になった段落については、「つめ²」機能による処理はおこなわれません。

●地紋印刷

ラベルの背景全体に地紋をつけます。表示されるピクトグラフで地紋の柄を確認できます。



「点網」を選んだときは、さらに濃度指定ができます。



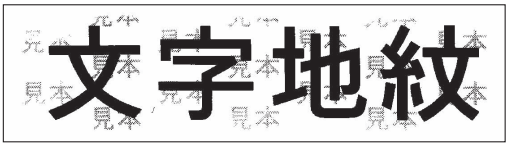
!! 注意 !!

網濃度で「濃い」を選ぶと、印刷結果にムラが生じることがあります。

文字地紋

好きな文字を入力し、地紋として印刷することができます。

参照☞ P.85「文字地紋を使う」

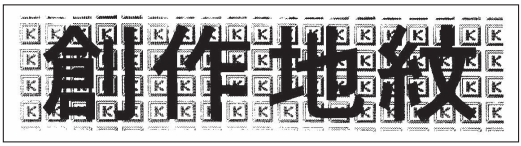


創作地紋

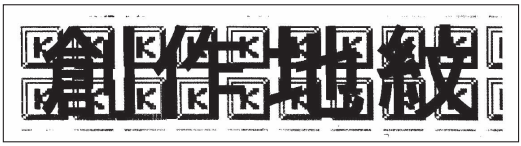
オリジナルの柄の地紋を作成します。

参照☞ P.86「創作地紋を作る」

小柄



大柄



MEMO

- 文字地紋は「文字地紋」、創作地紋は「創作 1」～「創作 4」のエリアに登録できます。
- 地紋を指定した場合、テキスト画面の印刷イメージやプレビューで地紋が判読できない、文字が表示されないことがありますが、印刷に影響はありません。
- 地紋印刷時、ハーフカットを有効にしていると、地紋の一部分に縦の濃いラインが入る場合があります。
- 文字地紋 / 創作地紋の登録データは本機内に保存されます。全文消去をおこなっても、登録したデータは消去されません。消去するには、登録画面でそれぞれを消去していくか、本機の初期化をおこなってください。

参照☞ P.160「本機を初期化する」

文字地紋を使う

文字地紋を使えば、ラベルの下地にオリジナルの文字を印刷することができます。企業名を入れたラベルなども作れます。

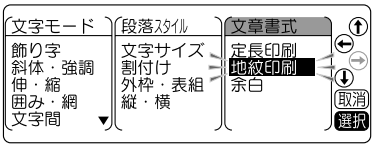
例 :「5周年記念」の文字を地紋にして印刷する



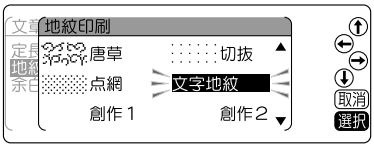
❶ 編集を押す

「編集」メニューが表示されます。

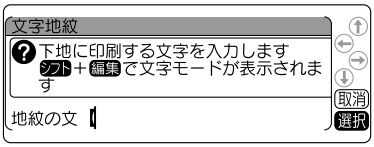
❷「地紋印刷」を選び、選択を押す



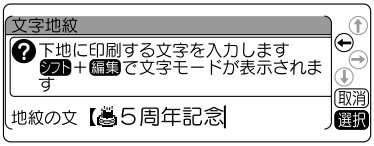
❸「文字地紋」を選び、選択を押す



「地紋の文」の入力画面になります。

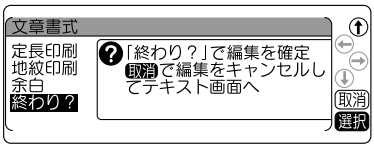


❹ 地紋の文「5周年記念」を入力し、選択を押す

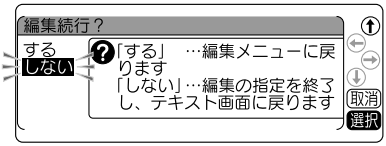


入力できる文字数は 16 文字までです。
文字だけでなく、記号、外字も入力できます。

❺「終わり？」を選び、選択を押す



❻「編集続行?」で「しない」を選び、選択を押す



地紋インジケーターが点灯します。

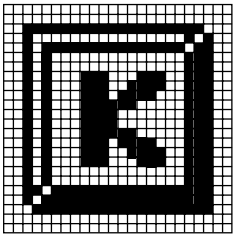
MEMO

- 文字地紋の登録データは本機内に保存されます。全文消去をおこなっても、登録したデータは消去されません。消去するには、登録画面で消去するか、初期化をおこなってください。
  参照☞ P.160「本機を初期化する」
- 文字地紋に文字モードを指定するときは、シフト+編集で指定します。なお、文字モードの「囲み・網」の指定はできません。
- 地紋を指定した場合、テキスト画面の印刷イメージやプレビューで地紋が判読できない、文字が表示されないことがありますが、印刷に影響はありません。

創作地紋を作る

24 ドット× 24 ドットのオリジナルマークを登録し、地紋として使うことができます。登録できるマークは「創作 1」～「創作 4」の 4 個です。
会社のロゴマークなどを地紋として印刷すれば、本格的な管理用ラベルが作成できます。

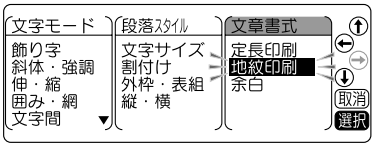
例 : 次のようなマークを「創作 1」に登録する



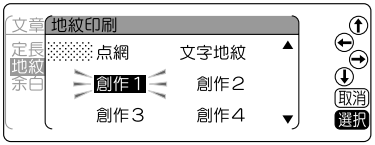
❶ 編集を押す

「編集」メニューが表示されます。

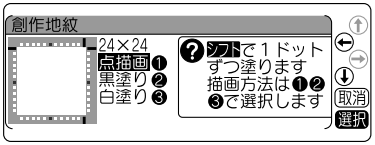
❷「地紋印刷」を選び、選択を押す



❸「創作 1」を選び、選択を押す



創作地紋の描画画面になります。



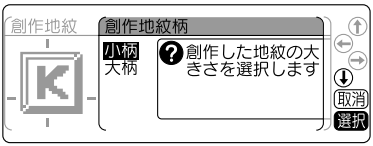
❹ 創作地紋を描画する

描画方法は、外字を作成する場合と同じです。←↑↓→で描画エリア内をカーソル移動し、シフトボタンで 1 ドットずつ塗りつぶします。

参照 P.128「画面表示と描画方法」

❺ 創作地紋の描画が終わったら選択を押す

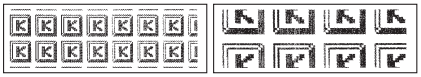
❻「小柄」または「大柄」を選び、選択を押す



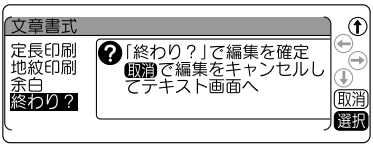
小柄と大柄のちがい

例を「小柄」と「大柄」で印刷すると以下のようになります。

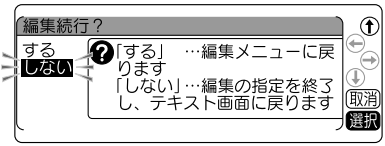
小柄　　大柄



❼「終わり？」を選び、選択を押す



❽「編集続行？」で「しない」を選び、選択を押す



!! 注意 !!

- 全面が黒っぽいパターンの創作地紋は、印刷結果にムラが生じることがあります。
- 創作地紋では 24 ドットのデータを作成します。

●余白

ラベルの前後の余白の長さを指定します。

極少（余白：前後約 1mm）



少なめ（余白：前後約 3mm）



ふつう（余白：前後約 10mm）



多め（余白：前後約 18mm）



自動少なめ

テープ幅に応じて余白の長さが自動的に少なめに調整されます。印刷するテープの幅の約 1/3 が前後の余白になります（12mm 幅テープであれば余白は前後約 4mm）。



自動多め

テープ幅に応じて余白の長さが自動的に多めに調整されます。印刷するテープの幅相当が前後の余白になります（12mm 幅テープであれば余白は前後約 12mm）。



MEMO

ハーフカットを無効にしている場合は、長さ約 20mm 以下のラベルは印刷できません。ラベル長さが約 20mm 以上になるように定長や余白を設定してください（ハーフカットが有効の場合は、長さ 8mm 以上のラベルを印刷できます）。

また、「極少」、「少なめ」（全テープ幅）、「自動少なめ」（36mm 幅テープ以外）、「自動多め」（4mm、6mm 幅テープ）を指定すると、前余白の調整のために印刷前にテープが約 20mm 空送りされ、カットされます。

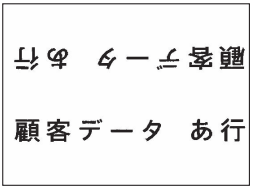
デザインされたラベルを呼び出す（フォーム）

本機には名前ラベルやビデオラベルなどデザインされたフォームが登録されています。またビジネスフォームとして通常の編集指定では作ることのできない、特殊なデザインのラベルも用意されています。

例 ：「可燃ごみ」のラベル
（デザインフォーム）



例 ：「インデックス（横）」
長さ 3.2cm のラベル
（ビジネスフォーム）



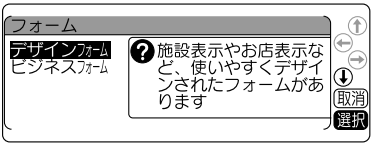
ラベルの作りかた

フォームを使ったラベルは以下の流れで作成します。

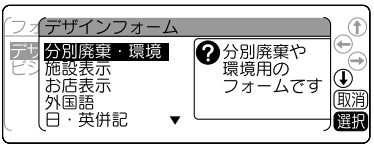
❶ 使用するフォームを決める
使いたいデザインフォームまたはビジネスフォームを選んでください。
参照 P.93「フォーム見本」

❷ シフト を押しながら ファイル （＝フォーム）を押す
「フォーム」メニューが表示されます。

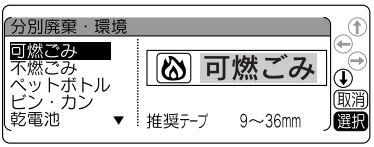
❸「デザインフォーム」または「ビジネスフォーム」を選ぶ
↑ ↓ で目的のフォームが含まれる項目を選び、選択 改行 を押します。



❹「デザインフォーム」の場合は、さらに分類を選ぶ
↑ ↓ で目的のフォームが含まれる分類を選び、選択 改行 を押します。

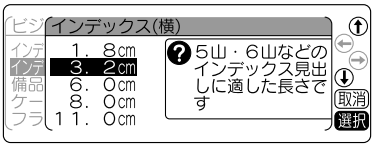


❺ 目的のフォーム名を選ぶ
フォームの内容を確認しながらフォーム名を選び、選択 改行 を押します。



❻ 設定項目が表示された場合は、項目を選ぶ

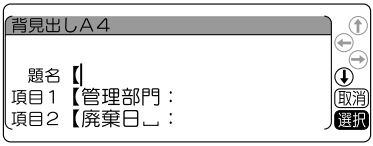
「ビジネスフォーム」で、長さや入力項目の選択画面が表示されたフォームは、項目を選び、[選択 改行]を押します。



❼ 入力画面で内容を編集する

「デザインフォーム」は、テキスト画面にデザインされたフォームの内容が表示されます。
必要に応じて文字や記号を削除して内容を変更します。
「ビジネスフォーム」は、入力ガイドの後ろ（右側）にカーソルを合わせ、通常のテキスト画面と同じように文字を入力します。





MEMO

- 入力行が複数あるビジネスフォームは、[↓]を押すと次の行にカーソルが移ります。
- インデックスなど表裏があるビジネスフォームは、「表」の行で[選択 改行]を押すと、「表」の行に入力した内容が「裏」の行に自動的にコピーされます。
- ビジネスフォームの入力内容にある「1 枚目」、「2 枚目」や「1 枚目 表」、「1 枚目 裏」などは入力の案内をするためのガイドであり、画面上に表示されるだけで印刷はされません。
- ビジネスフォームの備品管理票で連続印刷できるのは 20 枚までです。
- 操作の途中で(削除 取消)または(ファイル)を押すと、1 つ前の状態に戻ります。(ホーム)を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 入力画面で(編集)を押すと、ラベルを装飾することができます。デザインフォームは全機能が指定可能です。ビジネスフォームは、「縦型よこ書」「フラッグ（縦横）」は書体のみ、その他のフォームは文字モードのすべての機能（飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間、書体）が指定可能です。
- [シフト]を押しながら(削除 取消)（＝全消去）を押すと、入力した内容の全文消去ができます。背見出しおよび備品管理票の画面では、「初期状態に戻す」も選択できます。
- ビジネスフォームの印刷をした後は、ビジネスフォームの続行を確認する画面になります。「する」を選択するとビジネスフォームの画面に戻り、「しない」を選択すると通常のテキスト画面に戻ります。このときのテキスト画面には、ビジネスフォームを使用する前の文章が残っています。

!!注意!!

- ビジネスフォームで作成した文章は電源を切っても保持されていますが、ファイル登録はできません。
- 長さを指定するビジネスフォームでは、入力できる文字数と印刷できる文字数が異なり、入力した内容が指定した長さにおさまらずに印刷できない場合は、入力画面の文字が網掛け表示になります。また、印刷時に「入力した文章が長すぎます」が表示されます。(削除 取消)を押して印刷を中止し、文字数を減らすか「伸・縮」で文字を小さくするなどの指定をしてください。そのまま[選択]または(印刷)を押すと、定長を解除して印刷します。
- デザインフォームを呼び出すと、テキスト画面に入力した文章は消えてしまいます。デザインフォームを呼び出す前に、必要な文章はファイルに登録してください。

参照☞ P.105「ファイルを登録する」

デザインフォーム・ビジネスフォームメニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢		
デザインフォーム ▶	分別廃棄・環境 ▶	**可燃ごみ**	不燃ごみ	ペットボトル
		ビン・カン	乾電池	金属類
		プラスチック	ダンボール	紙類
		節電	節水	
	施設表示 ▶	**案内所**	情報コーナー	病院
		救護所	警察	お手洗
		男子	女子	身障者用設備
		車椅子スロープ	飲料水	喫煙所
		消火器	非常電話	非常ボタン
		非常口	広域避難場所	禁止
		禁煙	火気厳禁	進入禁止
		駐車禁止	自転車禁止	立入禁止
		かけ込み禁止	さわるな	捨てるな
		飲めない	携帯禁止	電子機器禁止
		撮影禁止	フラッシュ	注意
		障害物注意	上り段差注意	下り段差注意
		滑面注意	転落注意	天井に注意
		感電注意	指示	静かに
		立つ（左側）	立つ（右側）	
	お店表示 ▶	**入荷待ち**	お会計	カード支払い
		不要レシート	休憩所	禁煙席
		喫煙席	警備員巡回中	係員
		ペット禁止	防犯カメラ	当店 HP
		配送	値札	砂糖
		塩	コショウ	片栗粉
		小麦粉	唐辛子	しょうゆ
		ソース		
	外国語 ▶	**外国語 1**	外国語 2	外国語 3
		外国語 4		
	日・英併記 ▶	**カード支払い**	現金払い	消費税
		両替	レシート不要	触れないで
		携帯電話禁止	飲食禁止	防犯カメラ
		ラッピング	新商品	パンフレット
		ご覧ください	店長おすすめ	配達
		故障中	年中無休	お手洗
		並ぶ		

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
ビジネスフォーム ▶	お名前 ▶	**名札**　住所・氏名 学校持ち物	
	オフィス ▶	**備品管理票**　ケーブル（細） ケーブル（太）　フォルダー山 回覧の捺印	
	QR コード ▶	**QR 携帯 1**　QR 携帯 2 QR 携帯 3　QR 備品管理票	
	背見出し A4 ▶ 背見出し B5 ▶	**入力** **題名［** 項目 1［ 項目 2［	
	インデックス（縦）▶ インデックス（横）▶	**長さ** 1.8cm ▶ **3.2cm** ▶ 6.0cm ▶ 8.0cm ▶ 11cm ▶	**入力** **1 枚目　表［** 1 枚目　裏［ 2 枚目　表［ 2 枚目　裏［ ： 12 枚目　表［ 12 枚目　裏［
	備品管理票 ▶	**備品管理票** **入力** ▶ 項目名変更 ▶	**入力** **備品名［** 管理番号［ 購入日［ 管理部門［ **入力** **項目 1［**備品名 項目 2［管理番号 項目 3［購入日 項目 4［管理部門
	ケーブル ▶	**長さ** 1.4cm ▶ **2.0cm** ▶ 2.6cm ▶ 5.0cm ▶	**入力** **1 行目［** 2 行目［ 3 行目［

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
	フラッグ（縦）▶	長さ	入力	
	フラッグ（横）▶	1.4cm ▶	表 1 行目［	
		2.0cm ▶	表 2 行目［	
		2.6cm ▶	裏 1 行目［	
		5.0cm ▶	裏 2 行目［	
	フラッグ（縦横）▶	入力		
		表 1 行目［		
		表 2 行目［		
		裏 1 行目［		
		裏 2 行目［		
	定ピッチ ▶	長さ	区切り	入力
		3.0mm ▶	実線 ▶	1 列目上［
		：	点線 ▶	1 列目下［
		24.0mm ▶	なし ▶	2 列目上［
		：		：
		60.0mm ▶		16 列目上［
				16 列目下［
	複数ラベル ▶	入力		
		1 枚目［		
		2 枚目［		
		：		
		16 枚目［		
	縦型よこ書き ▶	入力		
		1 行目［		
		2 行目［		
		：		
		32 行目［		

フォーム見本

デザインフォーム

!!注意!!

- 使用するテープ幅によってレイアウトは多少変わることがあります。ラベルサンプルは一部を除き12mm 幅テープで印刷したものを縮小したものです。
- 推奨テープ以外のテープ幅では、「行数オーバー」と表示され印刷できないことがあります。

●分別廃棄・環境（推奨テープ幅　9 ～ 36mm）

■ 可燃ごみ



■不燃ごみ



■ ペットボトル



■ ビン・カン



■乾電池



■ 金属類



■プラスチック



■ ダンボール



■紙類



■ 節電

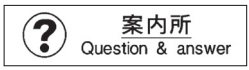


■節水



●施設表示（推奨テープ幅　9 ～ 36mm）

■ 案内所



■情報コーナー



■ 病院



■ 救護所



■ 警察



■ お手洗



■ 男子



■ 女子



■ 身障者用設備



■車椅子スロープ



■ 飲料水



■ 喫煙所



■ 消火器



■ 非常電話



■ 非常ボタン



■ 非常口



■ 広域避難場所



■ 禁止



■ 禁煙



■ 火気厳禁



■ 進入禁止



■ 駐車禁止



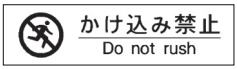
■ 自転車禁止



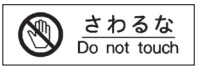
■ 立入禁止



■ かけ込み禁止



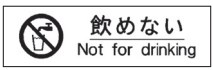
■ さわるな



■ 捨てるな



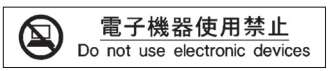
■ 飲めない



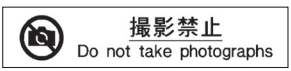
■ 携帯禁止



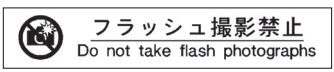
■ 電子機器禁止



■ 撮影禁止



■ フラッシュ



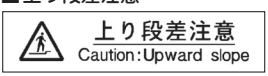
■ 注意



■ 障害物注意



■ 上り段差注意



■ 下り段差注意



■ 滑面注意



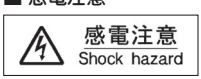
■ 転落注意



■ 天井に注意



■ 感電注意



■ 指示



■ 静かに



■ 立つ（左側）



■ 立つ（右側）

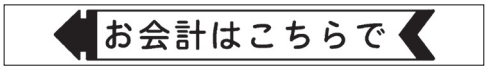


●お店表示（推奨テープ幅　6 ～ 36mm）

■ 入荷待ち



■ お会計



■ カード支払い



■ 不要レシート



■ 休憩所



■ 禁煙席



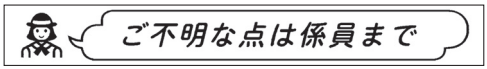
■ 喫煙席



■ 警備員巡回中



■ 係員



■ ペット禁止



■ 防犯カメラ



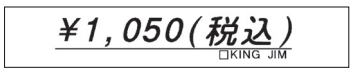
■ 当店 HP



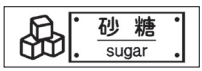
■ 配送



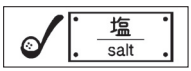
■ 値札



■ 砂糖



■ 塩



■ コショウ



■ 片栗粉



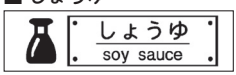
■ 小麦粉



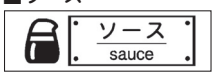
■ 唐辛子



■ しょうゆ



■ ソース



●外国語（推奨テープ幅 24, 36mm）

■ 外国語 1



■ 外国語 2



■ 外国語 3



■外国語 4

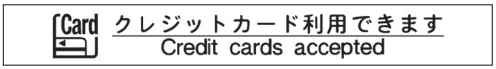


MEMO

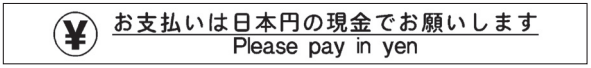
「外国語 1」～「外国語 4」では定型外国語が使用されています。
定型外国語の編集については、P.135「定型外国語を編集する」を参照してください。

●日・英併記（推奨テープ幅　9 ～ 36mm）

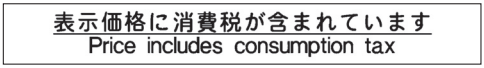
■ カード支払い



■ 現金払い



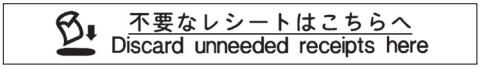
■ 消費税



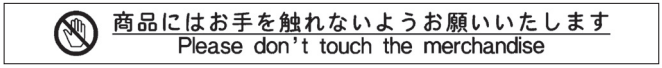
■ 両替



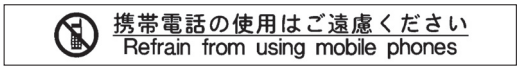
■ レシート不要



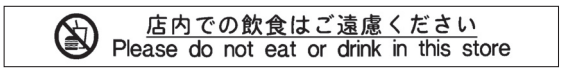
■ 触れないで



■ 携帯電話禁止



■ 飲食禁止



■ 防犯カメラ



■ ラッピング



■ 新商品



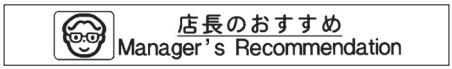
■ パンフレット



■ ご覧ください



■ 店長おすすめ



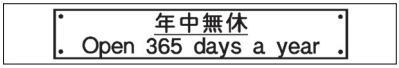
■ 配達



■ 故障中



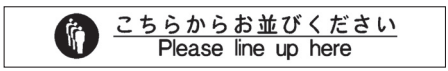
■ 年中無休



■ お手洗

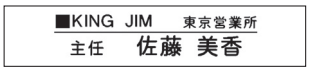


■ 並ぶ



●お名前（推奨テープ幅　9 ～ 36mm）

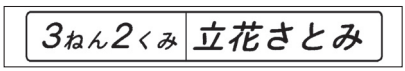
■ 名札



■ 住所・氏名



■ 学校持ち物



●オフィス

■ 備品管理票（推奨テープ幅　18 ～ 36mm）

備品名	デジタルPBX
管理番号	0512-S
購入年月	20XX年10月
管理部署	営業部

■ケーブル（細）（24mm 幅テープ専用）

NPO-0745
LAN-1

■ ケーブル（太）（36mm 幅テープ専用）

No1-fsw／126.7.94.001.／10
1号館12階開発設計部・No1
NP090745

■ フォルダー山（12mm 幅テープ専用）

TITLE
出張ホテルデータ

■ 回覧の捺印（推奨テープ幅　12 ～ 36mm）

回覧							

● QR コード（推奨テープ幅　36mm）

■ QR 携帯 1

長谷部　京子
03-0000-0000
090-0000-0000
XXXX@kingjim.co.jp
XXXX@docomo.ne.jp

■QR 携帯 2

永井　由紀恵
03-0000-0000
090-0000-0000
XXXX@kingjim.co.jp
XXXX@ezweb.ne.jp

■ QR 携帯 3

加藤　啓太
03-0000-0000
090-0000-0000
XXXX@kingjim.co.jp
XXXX@softbank.ne.jp

■QR 備品管理（推奨テープ 18 ～ 36mm）

備品名	607d
管理番号	KG00206
購入年月日	20XX年5月12日
管理部署	開発技術部

MEMO

- 「QR 携帯 1」、「QR 携帯 2」、「QR 携帯 3」の QR コードは、それぞれ docomo、au、SoftBank の携帯電話での読み取り・登録に対応しています（2010 年 4 月現在）。QR コードの読み取り・登録については、携帯電話の取扱説明書などを参照してください。
- コードの内容や誤り訂正レベルを変更する場合は、QR コードマーク（▦）の直後（右側）にカーソルを合わせ、シフトを押しながら(編集)（＝連番・QR・バーコード）を押してください。
参照☞ P.142「QR コードを印刷する」

ビジネスフォーム

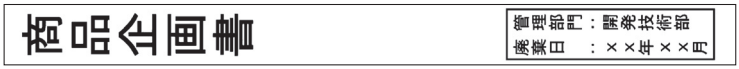
MEMO

ビジネスフォームでもシフトを押しながら削除取消（＝消去）を押すと、全文消去ができます。

!! 注意 !!

- 入力内容にある「おもて」「うら」や「1 行目」「2 行目」は入力の案内をするためのガイドであり、画面上に表示されるだけで印刷はされません。
- ビジネスフォームで作成した文章は、ファイルに登録できません。

■ **背見出し A4**.....A4 用の背見出しに最適です。 ■ **背見出し B5**.....B5 用の背見出しに最適です。

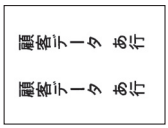


12mm 幅テープ（背見出し B5）の印刷見本

MEMO

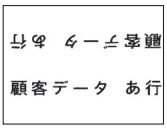
「背見出し A4/B5」には、編集機能のうち文字モード（飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間、書体）が指定可能です。

■ **インデックス（縦）**....たて書きのインデックスに最適です。



24mm 幅テープ（長さ 3.2cm）の印刷見本

■ **インデックス（横）**....よこ書きのインデックスに最適です。



24mm 幅テープ（長さ 3.2cm）の印刷見本

MEMO

- 「インデックス（縦 / 横）」には、編集機能のうち文字モード（飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間、書体）が指定可能です。
- 4mm 幅、6mm 幅のテープには印刷できません。
- 入力できる文字数および印刷できる文字数は、以下の通りです。

	入力可能な文字数	印刷可能な文字数（目安）
インデックス（縦）	各行 27 文字	長さ 1.8 ㎝：各行 4 文字　長さ 8.0 ㎝：各行 23 文字 長さ 3.2 ㎝：各行 8 文字　長さ 11 ㎝：各行 27 文字 長さ 6.0 ㎝：各行 17 文字
インデックス（横）	各行 27 文字	長さ 1.8 ㎝：各行 7 文字　長さ 8.0 ㎝：各行 27 文字 長さ 3.2 ㎝：各行 13 文字 長さ 11 ㎝：各行 27 文字 長さ 6.0 ㎝：各行 26 文字

- 印刷可能な文字数は、編集機能を指定しない状態での文字数です。編集機能の「飾り字」や「伸・縮」などを指定すると、印刷可能な文字数は変わります。

参考

「インデックス（縦 / 横）」には、インデックスラベル
キングファイルのインデックス表示に最適。
ミシン目入りラベルなので、折りやすくキレイに貼れます。
　STY24KM：インデックス山に貼り付けるタイプです（24mm 幅　透明つや消し）。
　SSY24K　：書類などに直接貼り付けるタイプです（24mm 幅　白）。

■ **備品管理票** .....「備品名」「管理番号」「購入日」「管理部門」を表組みにした備品管理ラベルを作成できます。
項目名は網掛け印刷され、本格的な雰囲気になります。入力時に「項目名変更」を選択すると、項目名を書き換えることもできます。

備品名	デジタルカメラ
管理番号	1234567
購入日	20XX年7月
管理部門	総務部

18mm 幅テープの印刷見本

MEMO

「備品管理票」には、編集機能のうち文字モード（飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間、書体）が指定可能です。

■ **ケーブル** .....ケーブル表示ラベル用のフォームです。24mm 幅、36mm 幅テープに対応しています。



24mm 幅テープ（長さ 2.6cm）
2 行の印刷見本

MEMO

- 「ケーブル」には、編集機能のうち文字モード（飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間、書体）が指定可能です。
- 入力できる文字数および印刷できる文字数は、以下の通りです。

入力可能な文字数	印刷可能な文字数（目安）	印刷可能な行数
各行 26 文字	長さ 1.4 ㎝：各行 6 文字 長さ 2.0 ㎝：各行 10 文字 長さ 2.6 ㎝：各行 13 文字 長さ 5.0cm：各行 26 文字	24mm 幅テープ：2 行 36 mm 幅テープ：3 行

- 印刷可能な文字数は、編集機能を指定しない状態での文字数です。編集機能の「飾り字」や「伸・縮」などを指定すると、印刷可能な文字数は変わります。

参考

「ケーブル」には、ケーブル表示ラベル
印刷部分を汚れなどから保護する「セルフラミネート」タイプ。
白エリアに印刷し、透明エリアを巻きつけることによりラミネートできます。
SV24K: 24mm 幅（ケーブル径　φ 2.1mm ～φ 5.4mm 用）
SV36K: 36mm 幅（ケーブル径　φ 2.8mm ～φ 7.6mm 用）

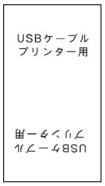
■ **フラッグ（縦 / 横 / 縦横）**..... フラッグラベル用のフォームです。細いケーブル（径 1mm ～ 2mm）の貼り付けに最適です。36mm 幅テープに対応しています。

フラッグ（縦）



36mm 幅テープ（長さ 2.0cm）の印刷見本

フラッグ（横）



36mm 幅テープ（長さ 2.0cm）の印刷見本

フラッグ（縦横）



36mm 幅テープの印刷見本

MEMO

- 「フラッグ（縦 / 横）」には、編集機能のうち文字モード（飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間、書体）が指定可能です。
- 「フラッグ（縦横）」には、編集機能のうち文字モードの書体のみが指定可能です。
- 入力できる文字数および印刷できる文字数は、以下の通りです。

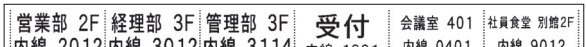
	入力可能な文字数	印刷可能な文字数（目安）
フラッグ（縦）	各行 19 文字	長さ 1.4 ㎝：各行 4 文字　長さ 2.6 ㎝：各行 9 文字 長さ 2.0 ㎝：各行 7 文字　長さ 5.0cm：各行 19 文字
フラッグ（横）	各行 19 文字	長さ 1.4 ㎝：各行 6 文字　長さ 2.6 ㎝：各行 13 文字 長さ 2.0 ㎝：各行 10 文字 長さ 5.0cm：各行 19 文字
フラッグ（縦横）	各行 5 文字	各行 5 文字

- 印刷可能な文字数は、編集機能を指定しない状態での文字数です。編集機能の「飾り字」や「伸・縮」などを指定すると、印刷可能な文字数は変わります。

参考

「フラッグ（縦 / 横）」には、フラッグラベル
細いケーブル（径 1mm ～ 2mm）の識別ラベルとしてお奨めです。
ミシン目入りラベルなので、折りやすく簡単に貼れます。
SVF36K：（36mm 幅　白）

■ **定ピッチ**.....固定ピッチのフォームです。長さを揃えた複数のラベルを作る場合に便利です。



12mm 幅テープ（20.0mm、点線区切り）の印刷見本

MEMO

「定ピッチ」には、編集機能のうち文字モード（飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間、書体）が指定可能です。

■ 複数ラベル .....1 行のラベルを複数枚同時に印刷します。



12mm 幅テープの印刷見本

MEMO

「複数ラベル」には、編集機能のうち文字モード（飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間、書体）が指定可能です。

■ 縦型よこ書き....内線表などの縦型表示に最適です。



24mm 幅テープの印刷見本

MEMO

- 「縦型よこ書」には、編集機能のうち文字モードの書体のみが指定可能です。
- セットされたテープ幅によって、入力できる文字数に制限があります。
参照☞ P.81「縦・横」

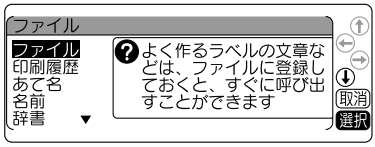
文章を呼び出す・登録する

本機のファイルボタンでは、作成した文章を保存したり、あて名、名前、辞書、外字を登録できます。また、印刷履歴の呼び出しもできます。

ファイルボタンを使う

作成した文章やあて名などのデータを登録するには、ファイルボタンを押して表示されるメニューから機能を選択します。

ファイルメニュー画面



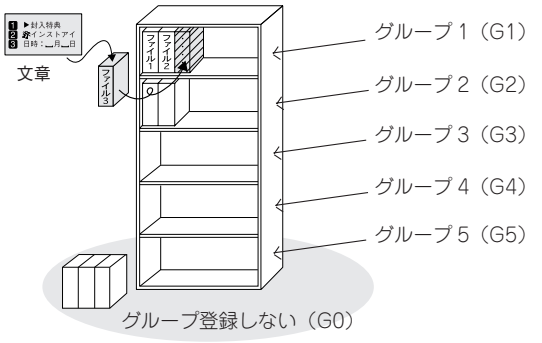
ファイルボタンのメニュー一覧（ 太字 は購入時の初期設定値です。）

メニュー	最初の選択肢	機能	参照ページ
ファイル ▶	**登録**	作成した文章にファイル名をつけて保存します	P.105
	呼出	登録した文章を呼び出します	P.106
	消去	登録した文章を消去します	P.107
	複写	登録した文章を別のファイルに複写します	P.108
	印刷	5 つまでのファイルを続けて印刷します	P.110
	グループ名修正	ファイルのグループ名を修正します	P.109
印刷履歴 ▶	**呼出**	最近印刷した文章を呼び出します	P.111
	消去	印刷履歴を消去します	P.111
あて名 ▶	**登録**	あて名を登録します	P.114
	修正	登録したあて名を修正します	P.115
	消去	登録したあて名を消去します	P.116
	複写	登録したあて名を複写します	P.115
	印刷	登録したあて名ラベルを印刷します	P.117
	グループ名修正	あて名のグループ名を修正します	P.118
名前 ▶	**登録**	名前とふりがなを登録します	P.121
	修正	登録した名前を修正します	P.122
	消去	登録した名前を消去します	P.122
	印刷	登録した名前ラベルを印刷します	P.122
	グループ名修正	名前のグループ名を修正します	P.122
辞書 ▶	**登録**	語句に読みをつけて辞書登録します	P.124
	修正	登録した辞書を修正します	P.125
	消去	登録した辞書を消去します	P.126
外字 ▶	**新規作成**	新規に外字を作成し、登録します	P.129
	参照作成	文字や記号を参照して外字を作成し、登録します	P.132
	修正	登録した外字を修正します	P.130
	呼出	登録した外字を文章中に呼び出します	P.130
	消去	登録した外字を消去します	P.131
	複写	登録した外字を複写します	P.131

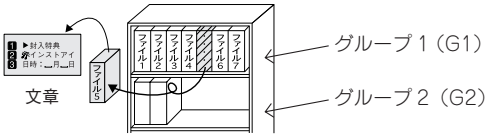
ファイルとは

作成した文章をファイルとして登録しておけば、必要に応じて呼び出し、変更や印刷ができます。
ファイルには、文章のほかに編集機能の指定内容などラベルの状態がそのまま登録されます。
ファイルは、5 つのグループ（G1 ～ G5）に分類して登録できます。
それぞれグループ名を変更できるので、仕事用、プライベート用などファイルを分類して整理できます。
なお、グループに分類したくないファイルは「G0：グループ登録しない」も選べます。

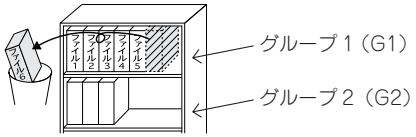
登録…文章を保存します。グループごとに分類できます。



呼出…ファイルを画面上に呼び出します。



消去…ファイルを削除します。



MEMO

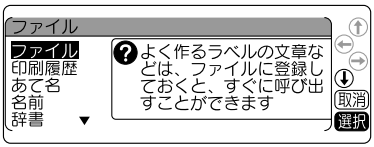
ファイル機能には、このほか、登録した文章を別のファイルに複写する「複写」、5 つまでのファイルを続けて印刷できる「印刷」、ファイルのグループ名を修正する「グループ名修正」機能があります。

ファイルを登録する

ファイルに文章を登録します。ファイルはファイル番号 00 ～ 99(100 件)の中から番号を選んで登録します。

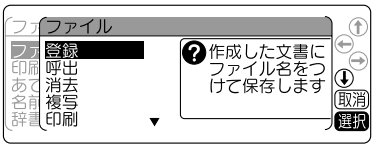
❶ ファイルを押す

❷「ファイル」を選び、選択を押す



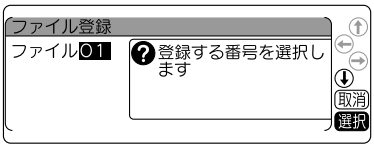
「ファイル」メニューが表示されます。

❸「登録」を選び、選択を押す

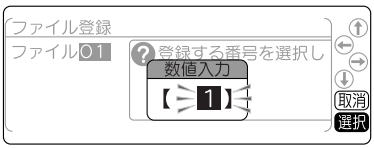


ファイル登録画面が表示されます。

❹ ↑ ↓ または 0 ～ 9 で登録するファイル番号を選び、選択を押す

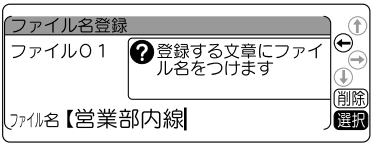


数字入力した場合



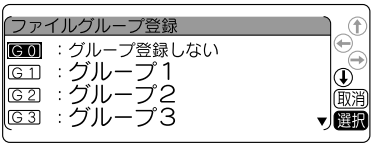
❺ ファイル名を入力し、選択を押す

ファイル名は 15 文字まで自由につけられます。入力しなくても登録できます。



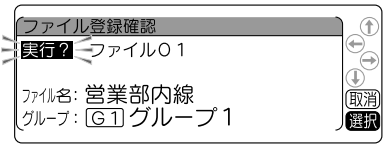
❻ 登録するグループを選び、選択を押す

グループ登録しない場合は G 0 を選びます。



登録する内容の確認画面になります。

❼ 内容を確認し、選択を押す



「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

!! 注意 !!

「実行中」に AC アダプターや電池を抜かないでください。ファイル内容がこわれる可能性があります。

MEMO

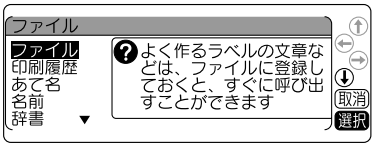
- 操作の途中で削除/取消またはファイルを押すと、1 つ前の状態に戻ります。ホームを押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字があると「ファイル」メニューを表示できません。
- データがいっぱいでこれ以上登録できなくなると「メモリーがいっぱいです」が表示されます。不要なファイル、あて名、名前データを消去してください。
- 本機には、約 10,000 文字（最大で 100 個のファイル）を登録することができますが、ファイル、あて名、名前は登録エリアが共有のため、たくさんのあて名や名前を登録していると、登録できるファイルの件数が少なくなります。
- ファイルに登録できるのは、テキスト画面で作成した文章のみです。

ファイルを呼び出す

ファイルに登録した文章をテキスト画面に呼び出します。「上書き呼出」と「連結呼出」の２つの呼び出しかたがあります。「上書き呼出」を選ぶと、テキスト画面の文章は全部消去され、呼び出したファイルの文章と置き換わります。
「連結呼出」を選ぶと、カーソルのある段落の直後に新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。ただし、カーソルが段落１の１行目の行頭マークにある場合は、カーソルのある段落の前に、新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。

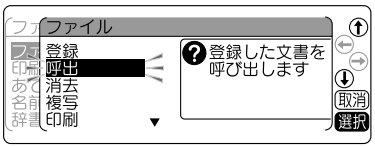
❶ (ファイル)を押す

❷「ファイル」を選び、[選択]を押す



「ファイル」メニューが表示されます。

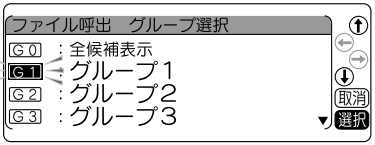
❸「呼出」を選び、[選択]を押す



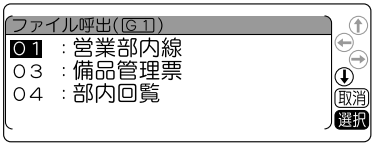
ファイル呼出グループ選択画面が表示されます。

❹ 呼び出したいファイルが登録されているグループを選び、[選択]を押す

グループがわからないときは[G 0]を選びます。



❺ [↑] [↓]または[わ 0]～[よ 9]で呼び出したいファイルを選び、[選択]を押す



呼び出す内容の確認画面になります。

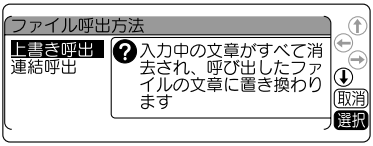
❻ 内容を確認し、[選択]を押す

[←] [↑] [↓] [→]で文章を確認することができます。



呼出方法を選択する画面になります。

❼「上書き呼出」「連結呼出」のいずれかを選び、[選択]を押す



ファイルの文章が呼び出され、テキスト画面に表示されます。

!! 注意 !!

- 「上書き呼出」を選ぶと、テキスト画面で作成していた文章は消え、(復活)を押しても復活させることはできません。「上書き呼出」を選ぶ前に、もう一度確認し、必要な文章はファイルに登録するなどの対処をおこなってください。
- 「連結呼出」で呼び出す場合は、連結によって入力できる文章の制限をオーバーした部分が、自動的に文末から削除されます。

MEMO

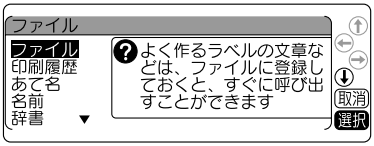
操作の途中で(削除 取消)または(ファイル)を押すと、１つ前の状態に戻ります。(ホーム)を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

ファイルを消去する

ファイルは、1 件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて消去できます。

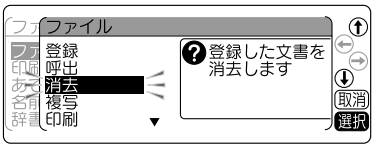
❶ ファイルを押す

❷「ファイル」を選び、選択を押す



「ファイル」メニューが表示されます。

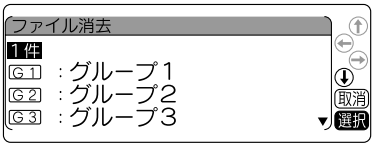
❸「消去」を選び、選択を押す

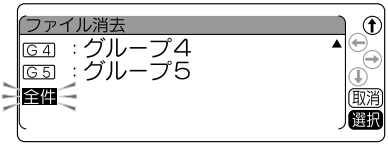


ファイル消去画面が表示されます。

❹ 消去する範囲を選び、選択を押す

1 件　　：1 ファイルのみ消去します。
G 1 ～ G 5 ：選択したグループ内のすべてのファイルを消去します。
全件　　：すべてのファイルを消去します。





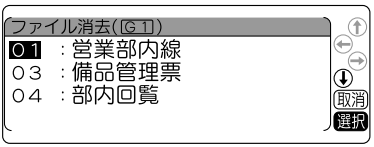
グループまたは全件を選んだ場合は、消去確認の画面に変わります（手順❼）。
1 件の場合は次の手順でファイルを選びます。

❺ 消去したいファイルが登録されているグループを選び、選択を押す

グループがわからないときは G 0 を選びます。



❻ ↑ ↓ または そ 0 ～ わ 9 で消去したいファイルを選び、選択を押す



消去する内容の確認画面になります。

❼ 内容を確認し、選択を押す

ファイル 1 件消去の場合はラベルの内容が、グループまたは全件消去の場合は含まれているファイルのファイル名が表示されます。

1 件消去の場合

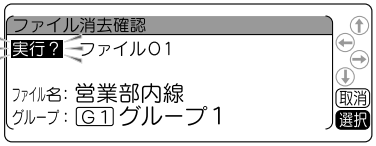


グループ消去の場合



❽ 内容を確認し、選択を押す

1 件消去の場合はファイルの情報が、グループまたは全件消去の場合は「グループ名」「全件」と表示されます。



ファイルが消去され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- 消去したファイルは、復活を押しても復活させることはできません。
- 操作の途中で削除/取消またはファイルを押すと、1 つ前の状態に戻ります。ホームを押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 削除件数が多い場合、時間がかかることがあります。

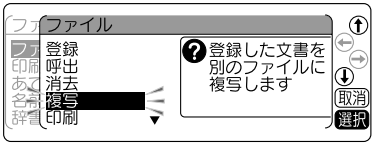
ファイルを複写する

登録したファイルを別の番号のファイルへ複写します。

❶ ファイルを押す

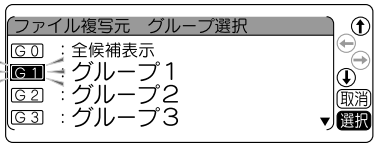
❷「ファイル」を選び、選択を押す
「ファイル」メニューが表示されます。

❸「複写」を選び、選択を押す

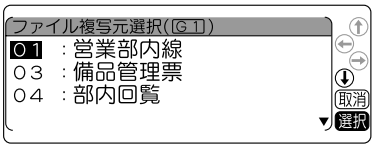


ファイル複写画面が表示されます。

❹ 複写元のファイルが登録されているグループを選び、選択を押す
グループがわからないときはG 0を選びます。

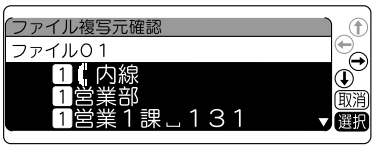


❺ ↑ ↓または わ を0 ～ よ を9で複写元のファイルを選び、選択を押す



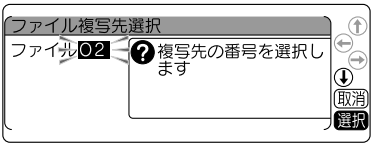
複写する内容の確認画面になります。

❻ 内容を確認し、選択を押す

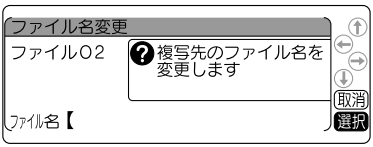


ファイル複写先選択画面が表示されます。

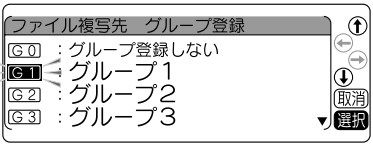
❼ ↑ ↓または わ を0 ～ よ を9で複写先のファイル番号を選び、選択を押す



❽ ファイル名を入力し、選択を押す
ファイル名は 15 文字まで自由につけられます。入力しなくても登録できます。

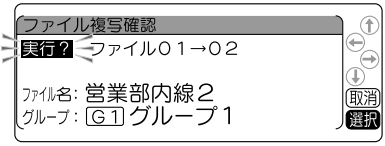


❾ 登録するグループを選び、選択を押す
グループ登録しない場合はG 0を選びます。



複写する内容の確認画面になります。

❿ 内容を確認し、選択を押す



「実行中」と表示された後、テキスト画面に戻ります。

MEMO

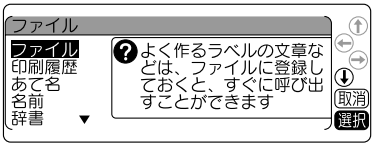
- 操作の途中で削除/取消または ファイル を押すと、1 つ前の状態に戻ります。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- ファイル複写をおこなっても、複写元のファイルは残ります。

グループの名前を変える

ファイルを登録するグループ名を変更できます。
あて名や名前データのグループも同様の操作で変更できます。

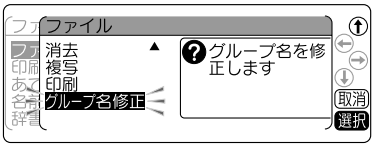
❶ ファイルを押す

❷「ファイル」を選び、選択を押す



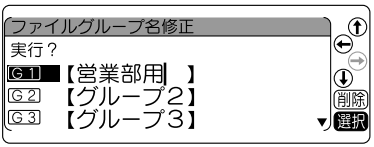
「ファイル」メニューが表示されます。

❸「グループ名修正」を選び、選択を押す



グループ名修正画面が表示されます。

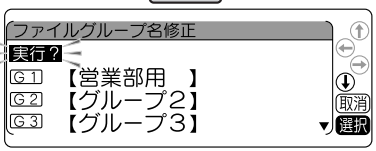
❹ ↑ ↓で名前を変えたいグループを選び、グループ名を変更する



❺ 選択を押す

「実行？」が選択されます。

❻ 内容を確認し、選択を押す



「実行中」と表示された後、グループ名が変更されます。

MEMO

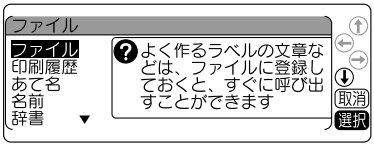
- 操作の途中で削除/取消または ファイル を押すと、1 つ前の状態に戻ります。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- あて名や名前のグループ名を変えるときは、手順❷で「あて名」または「名前」を選んでください。
- グループ名を消去して登録すると、グループ名は空欄になります。
- 手順❹で シフト を押しながら 削除/取消（＝消去）を押すと、全文消去となり、すべてのグループ名が消去されます。

ファイルをまとめて印刷する

ファイル番号を指定するだけでファイルをテキスト画面に呼び出さずに印刷できます。一度に５つのファイルまで指定できます。

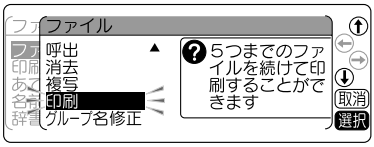
❶ (ファイル)を押す

❷「ファイル」を選び、[選択]を押す



「ファイル」メニューが表示されます。

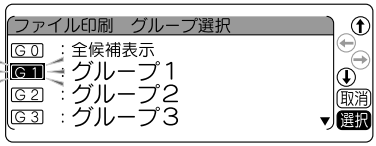
❸「印刷」を選び、[選択]を押す



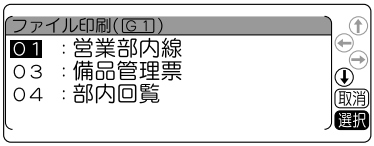
ファイル印刷画面が表示されます。

❹ 印刷したいファイルが登録されているグループを選び、[選択]を押す

グループがわからないときは[G 0]を選びます。



❺ [↑] [↓]または[0]～[9]でで印刷したいファイルを選び、[選択]を押す



印刷する内容の確認画面になります。

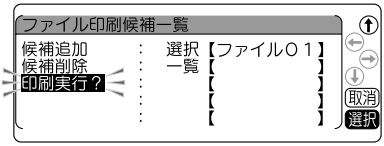
❻ 内容を確認し、[選択]を押す



印刷するファイル候補の一覧画面になります。

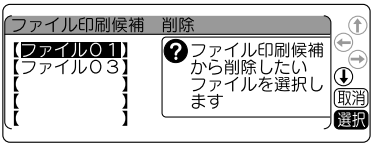
❼「印刷実行？」を選び、[選択]を押す

印刷が開始されます。



印刷するファイルを追加するときは、「候補追加」を選び、[選択]を押して手順❹からの操作を繰り返します。

印刷するファイルを取り消すときは、「候補削除」を選び、[選択]を押します。印刷するファイルの候補から削除するファイルを選び、[選択]を押します。
「候補削除」をおこなっても、ファイルそのものは削除されません。



内容を確認し、[選択]を押すと「実行中」と表示された後、印刷するファイル候補の一覧画面に戻ります。

!! 注意 !!

- セットされているテープカートリッジのテープ幅がファイルに含まれる文章の行数を印刷できない場合、そのファイルの印刷はおこなわれません。
- 指定したファイル印刷の全長が16mを超える場合は印刷できません。印刷候補を減らしてください。

MEMO

- 印刷するとき、各ファイルはテキスト画面に呼び出されません。
- 操作の途中で(削除 取消)または(ファイル)を押すと、１つ前の状態に戻ります。(ホーム)を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 印刷を途中でやめるときは(削除 取消)を押してください。

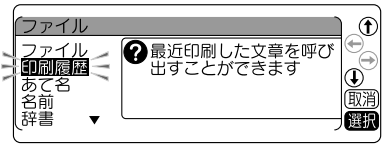
最近印刷した文章を呼び出す

印刷履歴を呼び出す

本機は、最近印刷した文章を最大５つまで記憶しており、簡単な操作で呼び出すことができます。ファイル登録をし忘れた場合などに便利です。

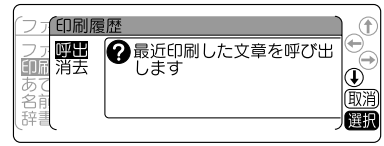
❶ ファイルを押す

❷「印刷履歴」を選び、選択を押す



「印刷履歴」メニューが表示されます。

❸「呼出」を選び、選択を押す



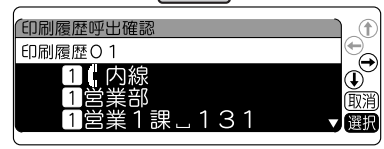
最近印刷した文章（第１段落の１行目のみ）が５つ表示されます。

❹ 呼び出したい文章を選び、選択を押す



呼び出す内容の確認画面になります。

❺ 内容を確認し、選択を押す



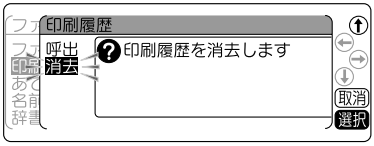
「実行中」と表示された後、文章が呼び出され、テキスト画面に表示されます。

印刷履歴を消去する

❶ ファイルを押す

❷「印刷履歴」を選び、選択を押す

❸「消去」を選び、選択を押す



最近印刷した文章が５つ表示されます。

❹ 消去する文章を選び、選択を押す



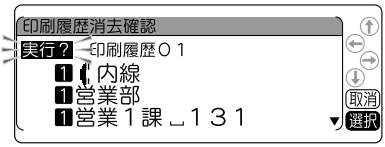
消去する内容の確認画面になります。

❺ 内容を確認し、選択を押す



❻ 内容を確認し、選択を押す

「実行中」と表示された後、文章が印刷履歴から消去されます。



!!注意!!

- 印刷履歴を呼び出すと、テキスト画面で作成していた文章は消え、復活を押しても復活させることはできません。呼び出す前に、もう一度確認し、必要な文章はファイルに登録するなどの対処をおこなってください。
- 最近印刷した５つの文章を保存するため、古いものから自動的に書き換えられていきます。
- 印刷履歴の対象となるのは、通常印刷のみで、特殊印刷やビジネスフォーム印刷などは保存されません。
- 文字数の多い文章の場合、記憶している文章の件数が５件にならないことがあります。
- QR コードを使った場合など、印刷したラベルの情報量によっては印刷履歴に記録されないことがあります。

MEMO

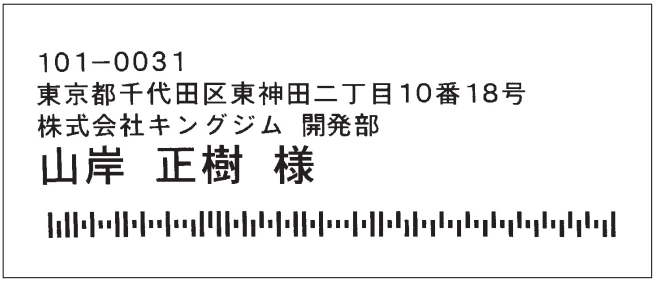
操作の途中で削除/取消またはファイルを押すと、１つ前の状態に戻ります。ホームを押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

名前や語句を登録する(あて名/名前/辞書)

あて名ラベルを作る

あて名データとして郵便番号や住所・名前などを登録しておくと、あて名ラベルをまとめて印刷すること ができます。

■登録できる項目とあて名ラベル



項目	入力内容	入力可能文字
〒番号（郵便番号）	[101-0031	8 文字
住所 1	[東京都千代田区東神田二丁目 10 番 18 号	20 文字
住所 2	[	20 文字
会社	[株式会社キングジム	20 文字
部署	[開発部	20 文字
氏名	[山岸␣正樹	20 文字
〒▮▮▮▮▮(カスタマバーコード)	[10100312-10-18	20 文字

バーコードに入力した内容は、カスタマバーコードとして印刷されます。

参照☞ P.119「カスタマバーコードについて」

本機内に登録できるあて名は約 10,000 文字（最大 100 件のあて名）です。

!! 注意 !!

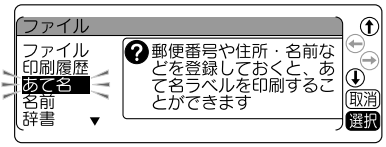
郵便番号に入力した先頭の 5 桁に対応する都道府県名と区町村名を、「住所 1」に自動的に入力することができます。郵便番号変換は、2009 年 12 月末時点のデータをもとにおこなっています。そのため、お客様が入力したい住所、所在地が候補として表示されない場合もありますのであらかじめご了承ください。

あて名を登録する

あて名データを登録します。あて名はあて名番号 00 ～ 99(100 件)の中から番号を選んで登録します。

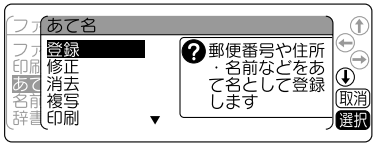
❶ (ファイル)を押す

❷「あて名」を選び、[選択]を押す



「あて名」メニューが表示されます。

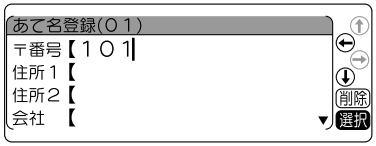
❸「登録」を選び、[選択]を押す



あて名登録画面が表示されます。

❹ [↑][↓]または[わ/を 0]～[よ 9]で登録するあて名番号を選び、[選択]を押す

❺ 数字ボタンで郵便番号を入力する



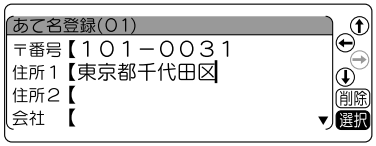
4 桁目を入力すると、自動的にハイフン（−）が挿入されます。

❻ [変換 スペース]を押す

郵便番号に対応する都道府県名と区町村名の候補が表示されます。

❼ 地名が正しいときは、[選択]を押す

地名が違うときは、[←][↑][↓][→]で適切な地名を選びます。

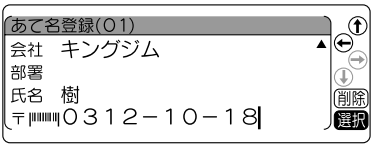


❽ 住所 1 を入力し、[選択]を押す

❾ 住所 2、会社名、部署名、氏名を入力し、[選択]を押す

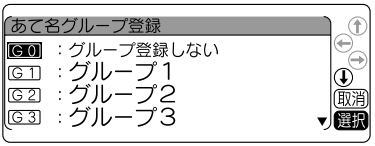
❿ 必要に応じてカスタマバーコードを入力し、[選択]を押す

参照 P.119「カスタマバーコードについて」

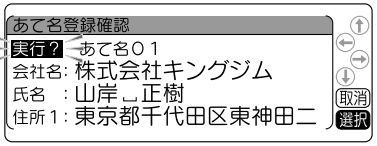


⓫ 登録するグループを選び、[選択]を押す

グループ登録しない場合は、[G 0]を選びます。



⓬ 内容を確認し、[選択]を押す



「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

!! 注意 !!

「実行中」に AC アダプターや電池を抜かないでください。あて名の内容がこわれる可能性があります。

MEMO

- 未入力の項目があっても登録できます。
- 操作の途中で(削除 取消)または(ファイル)を押すと、1 つ前の状態に戻ります。(ホーム)を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- データがいっぱいでこれ以上登録できなくなると「メモリーがいっぱいです」が表示されます。不要なファイル・あて名・名前データを消去してください。
- 本機には、約 10,000 文字（最大で 100 件のあて名データ）を登録することができますが、ファイル、あて名、名前は登録エリアが共有のため、ファイルや名前が多いと、登録できるあて名の件数が少なくなります。

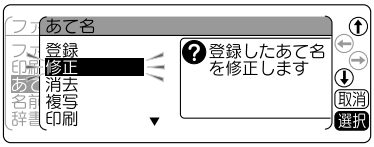
あて名を修正する

登録したあて名を修正します。

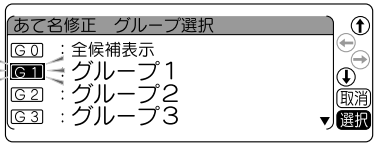
❶ (ファイル)を押す

❷ 「あて名」を選び、[選択]を押す
「あて名」メニューが表示されます。

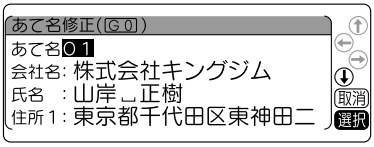
❸ 「修正」を選び、[選択]を押す



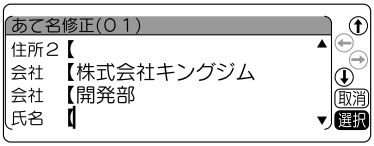
❹ 修正したいあて名が登録されているグループを選び、[選択]を押す
グループがわからないときは[G 0]を選びます。



❺ [↑][↓]または[わ/0]～[よ/9]で修正したいあて名を選び、[選択]を押す



❻ 内容を修正し、[選択]を押す



以降は、P.114 登録操作（手順⓫以降）と同様にグループを選び登録します。

MEMO

操作の途中で(削除/取消)または(ファイル)を押すと、1つ前の状態に戻ります。(ホーム)を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

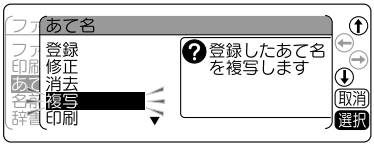
あて名を複写する

登録したあて名を別の番号のあて名へ複写します。

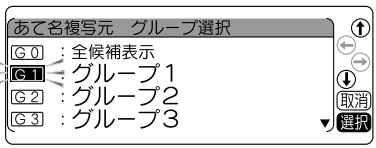
❶ (ファイル)を押す

❷ 「あて名」を選び、[選択]を押す
「あて名」メニューが表示されます。

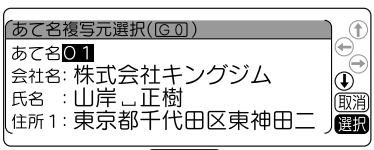
❸ 「複写」を選び、[選択]を押す



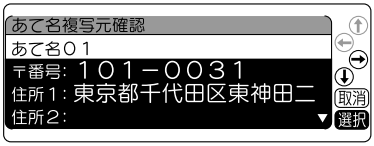
❹ 複写元のあて名が登録されているグループを選び、[選択]を押す
グループがわからないときは[G 0]を選びます。



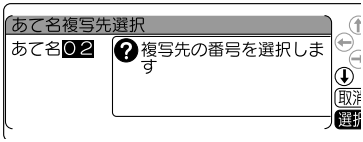
❺ [↑][↓]または[わ/0]～[よ/9]で複写元のあて名を選び、[選択]を押す



❻ 内容を確認し、[選択]を押す



❼ [↑][↓]または[わ/0]～[よ/9]で複写先のあて名番号を選び、[選択]を押す



以降は、P.114 登録操作（手順⓫以降）と同様にグループを選び登録します。

あて名を消去する

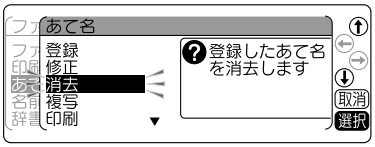
あて名は、1 件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて消去できます。

❶ (ファイル)を押す

❷「あて名」を選び、[選択]を押す

「あて名」メニューが表示されます。

❸「消去」を選び、[選択]を押す

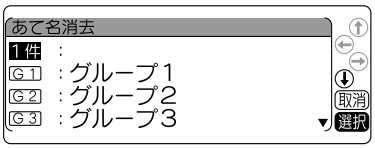


❹ 消去する範囲を選び、[選択]を押す

1 件　　：1 件のみ消去します。

[G 1]～[G 5]：選択したグループ内のすべてのあて名を消去します。

全件　　：すべてのあて名を消去します。

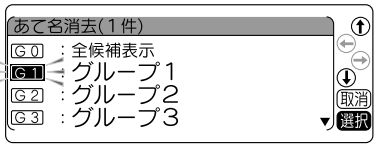


グループまたは全件を選んだ場合は、消去確認の画面に変わります（手順❼）。

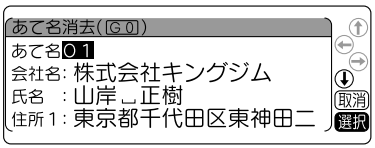
1 件の場合は次の手順であて名を選びます。

❺ 消去したいあて名が登録されているグループを選び、[選択]を押す

グループがわからないときは[G 0]を選びます。



❻ [↑] [↓]または[わ/を/0]～[よ/9]で消去したいあて名を選び、[選択]を押す

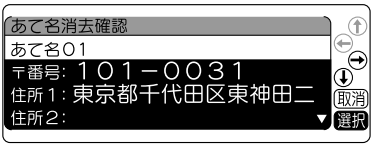


消去する内容の確認画面になります。

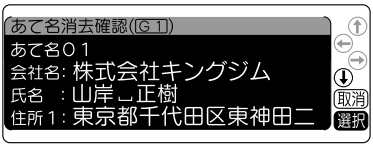
❼ 内容を確認し、[選択]を押す

1 件消去の場合はあて名の内容が、グループまたは全件消去の場合は含まれているあて名の情報が表示されます。

1 件消去の場合

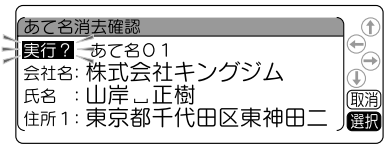


グループ消去の場合



❽ 内容を確認し、[選択]を押す

1 件消去の場合はあて名の情報が、グループまたは全件消去の場合は「グループ名」「全件」と表示されます。



あて名が消去され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

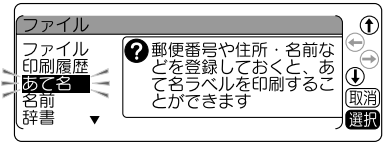
- 消去したあて名は、(復活)を押しても復活させることはできません。
- 操作の途中で(削除/取消)または(ファイル)を押すと、1 つ前の状態に戻ります。(ホーム)を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 削除件数が多い場合、時間がかかることがあります。

あて名ラベルを印刷する

あて名は、1 件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて印刷できます。
また、印刷時に書体を指定できます。

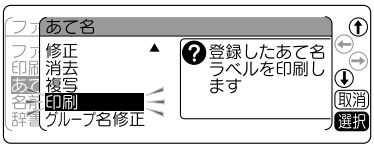
❶ (ファイル)を押す

❷「あて名」を選び、[選択]を押す



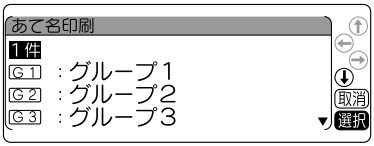
「あて名」メニューが表示されます。

❸「印刷」を選び、[選択]を押す



❹ 印刷する範囲を選び、[選択]を押す

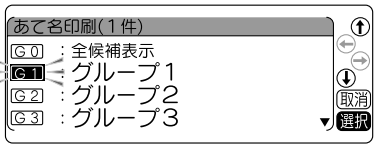
1 件　　：1 件のみ印刷します。
[G 1]～[G 5]：選択したグループ内のすべてのあて名を印刷します。
全件　　：すべてのあて名を印刷します。



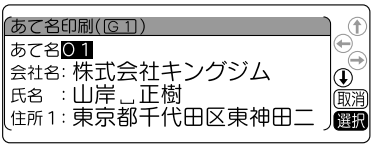
グループまたは全件を選んだ場合は、印刷確認の画面に変わります（手順❼）。
1 件の場合は次の手順であて名を選びます。

❺ 印刷したいあて名が登録されているグループを選び、[選択]を押す

グループがわからないときは[G 0]を選びます。



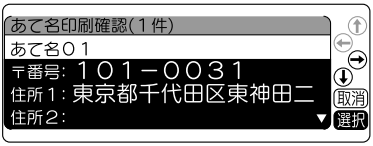
❻ [↑] [↓]または[あ/0]～[わ/9]で印刷したいあて名を選び、[選択]を押す



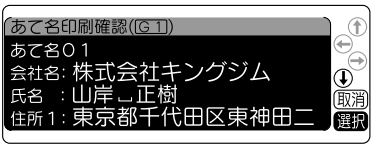
印刷する内容の確認画面になります。

❼ 内容を確認し、[選択]を押す

あて名の情報が表示されます。
1 件印刷の場合



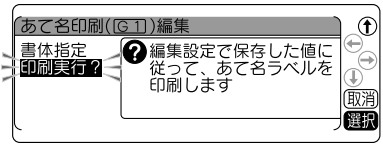
グループ印刷 / 全件印刷の場合



❽ 内容を確認し、[選択]を押す

あて名印刷の編集画面になります。

❾「印刷実行？」を選び、[選択]を押す



あて名が印刷されます。

MEMO

- 「書体指定」を選ぶと、印刷する書体を指定できます。指定した後に「印刷実行？」を選んで[選択]を押すと、指定した書体であて名が印刷されます。
- 印刷を途中でやめるときは(削除 取消)を押してください。

‼注意‼

カスタマバーコード付きのあて名ラベルを印刷するときは、バーコードリーダーで読み取りやすい白ラベルに黒文字のテープで作成することをお奨めします。

MEMO

- あて名印刷時は、「御中」または「様」が自動的につきます。あて名登録時に氏名を入力しないと、会社名または部署名の後に「御中」がつきます。氏名まで入力すると、氏名の後に「様」がつきます。

氏名を入力しない「あて名」

101−0031
東京都千代田区東神田二丁目10番18号

株式会社キングジム
開発部　御中

「御中」がつきます

氏名まで入力した「あて名」

101−0031
東京都千代田区東神田二丁目10番18号

株式会社キングジム
開発部
山岸　正樹　様

「様」がつきます

- 操作を途中でやめるときは(ホーム)を押してテキスト画面に戻ります。

あて名のグループ名修正

あて名を登録するグループ名を変更できます。
参照☞ P.109「グループの名前を変える」

カスタマバーコードについて

郵便局では、郵便番号とあて名を合わせた情報からバーコードを作成し、処理していますが、差出し側があらかじめバーコードを印刷することもできます。このバーコードをカスタマバーコードといいます。本機では、郵便番号と住所表示番号を入力するだけで、カスタマバーコードを印刷することができます。

MEMO

- 「カスタマバーコード」を印刷する義務はありません。
- 「カスタマバーコード」は 7 桁郵便番号時のみご利用頂けます。
- 「カスタマバーコード」、「カスタマバーコード割り引き制度」などの利用についての詳細は、お客様の配達を受け持つ郵便局におたずねください。

カスタマバーコード指定の基本ルール

カスタマバーコードを印刷する場合、「あて名登録」の「カスタマバーコード（〒|||||||||）」欄に「郵便番号」+「住所表示番号」を入力します。基本ルールを以下に示します。

例 ： 千葉県鎌ヶ谷市右京塚
東 3 丁目 20-5　鈴木・A&b コーポ B604 号

❶ **住所データを次の A と B の部分に分割する**
住所 A：「郵便番号」で指定される町域名まで
住所 B：町域名以降の住所

❷ **住所 A を郵便番号に置き換える（「-」（ハイフン）は省略）**

❸ **住所 B にあるアルファベットの小文字は大文字に置き換える**

❹ **データ内にある以下の文字は取り除き、後ろのデータを詰める**
「&」（アンパサンド）「／」（スラッシュ）
「・」（中黒）　「.」（ピリオド）

❺ **❸および❹で処理したデータから、算用数字、ハイフンおよび連続していないアルファベットを抜き出す**

❻ **抜き出された文字の前にある下記の文字等は、ハイフン 1 文字に置き換える**
「漢字」、「かな文字」、「カナ文字」、「漢数字」、「ブランク」、「2 文字以上連続したアルファベット文字」

❼ **❻の置き換えで、ハイフンが連続する場合は 1 つにまとめる**

❽ **先頭がハイフンの場合は取り除く**

❾ **アルファベットの前後にある（−）を取り除く**

❿ **❷で処理したデータに❾で処理したデータをつなげる**

	郵便番号 XXX-XXXX	住所B 東3丁目−20−5 鈴木・A&bコーポB604号
（❷の処理）	XXXXXXX	
（❸の処理）		東3丁目−20−5 鈴木・A&Bコーポ B604号
（❹の処理）		東3丁目−20−5 鈴木ABコーポB604号
（❺の処理）		3　−20−5　B604号
（❻の処理）		東 丁目　鈴木ABコーポ
「−」に置き換え		
（❻の処理後）		−3−−20−5−B604
（❼の処理）		−3−20−5−B604
（❽の処理）		3−20−5−B604
（❾の処理）		3−20−5B604
（❿の処理）	XXXXXXX3−20−5B604	

カスタマバーコードの記入例

- **漢数字が「丁目」「丁」「番地」「号」「地割」「線」「の」「ノ」の前にある場合は、住所 B とし、算用数字に変換して指定します。**

例 ： 東京都青梅市河辺町十一丁目六番地一号
永井タワー 601
郵便番号：xxx-xxxx
住所 B：十一丁目六番地一号永井タワー 601
バーコード［xxxxxxx11-6-1-601

例 ： 北海道帯広市稲田町南七線西 28

郵便番号：xxx-xxxx
住所 B：七線西 28
バーコード［xxxxxxx7-28

- **連続していないアルファベットは指定しますが、算用数字に続くアルファベット 1 文字「F」（ビル等の階数表示の略）については指定しません。**
  もし、「F」以降に指定対象となるデータがある場合は、「F」はハイフンに置き換えます。

例 ： 茨城県日立市宮田町 6 丁目 7-14
ABC ビル 2F
郵便番号：xxx-xxxx
住所 B：6 丁目 7-14ABC ビル 2F
バーコード［xxxxxxx6-7-14-2

例 ： 茨城県日立市宮田町 6 丁目 7-14
ABC ビル 2F201 号室
郵便番号：xxx-xxxx
住所 B：6 丁目 7-14ABC ビル 2F201 号室
バーコード［xxxxxxx6-7-14-2-201

- **アルファベットの前後にあるハイフンは取り除きます。また、アルファベットの前後にあるハイフンを取り除いた結果、アルファベットが 2 文字以上連続してもアルファベットは取り除きません。**

例 ： 神戸市中央区港島中町 9 丁目 7-6
南シティ A 棟 1F1 号
郵便番号：xxx-xxxx
住所 B：9 丁目 7-6 南シティ A 棟 1F1 号
バーコード［xxxxxxx9-7-6A1-1

例 ： 京都府綾部市青野町綾部 6-7
L プラザ B106
郵便番号：xxx-xxxx
住所 B：6-7 L プラザ B106
バーコード［xxxxxxx6-7LB106

- **バーコードの合計桁数が 20 文字を超えた場合、以降の文字については切り捨てます。**

例 ： 札幌市中央区南四条西 29 丁目 1524-23
第 2 ステージハウス 501
郵便番号：xxx-xxxx
住所 B：29 丁目 1524-23 第 2 ステージハウス 501
バーコード［xxxxxxx29-1524-23-2-

MEMO

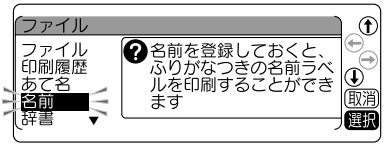
本機ではバーコードは 20 文字まで入力できます。

名前を登録する

名前データを登録します。
名前は名前番号 01 ～ 40（40 件）の中から番号を選んで、登録します。

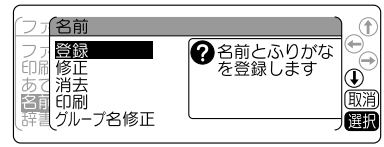
❶ ファイルを押す

❷「名前」を選び、選択を押す

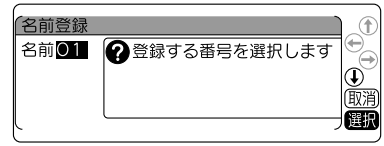


「名前」メニューが表示されます。

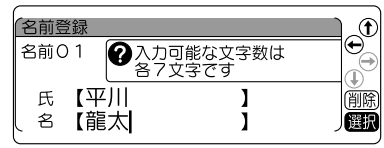
❸「登録」を選び、選択を押す



❹ ↑ ↓ または 0 ～ 9 で登録する名前番号を選び、選択を押す

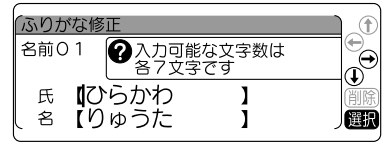


❺ 名前（氏と名）を入力し、選択を押す
各 7 文字まで入力できます。

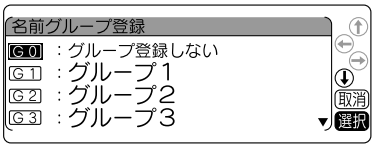


ふりがな修正画面が表示されます。

❻ ふりがなを確認し、選択を押す
必要に応じてふりがなを修正します。

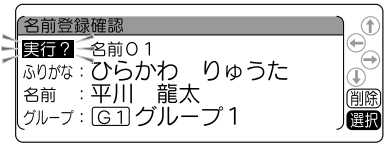


❼ 登録するグループを選び、選択を押す
グループ登録しない場合は G 0 を選びます。



登録する内容の確認画面になります。

❽ 内容を確認し、選択を押す



「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

!! 注意 !!

「実行中」に AC アダプターや電池を抜かないでください。名前の内容がこわれる可能性があります。

MEMO

- 操作の途中で削除/取消または ファイル を押すと、1 つ前の状態に戻ります。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- データがいっぱいでこれ以上登録できなくなると「メモリーがいっぱいです」が表示されます。不要なファイル・あて名・名前データを消去してください。
- 本機には、約 10,000 文字（最大で 40 件の名前データ）を登録することができますが、ファイル、あて名、名前は登録エリアが共有のため、たくさんの文章をファイルしていたり、あて名を登録していると、登録できる名前の件数が少なくなります。

名前を修正する

登録した名前を修正する場合は、P.121 手順❸で「修正」を選びます。登録したグループから名前の番号を選ぶと修正画面になり、登録と同様の操作で修正できます。

名前を消去する

名前を消去する場合は、P.121 手順❸で「消去」を選びます。消去の範囲（1 件、グループ、全件）を選び、消去します。1 件消去を選択した場合は、さらに名前番号を指定します。

名前のグループ名修正

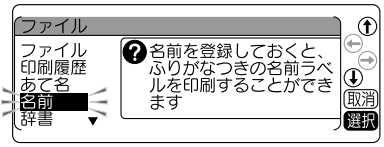
名前を登録するグループ名を変更できます。
参照☞ P.109「グループの名前を変える」

名前ラベルを印刷する

名前は、1 件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて印刷できます。
また、印刷時に書体やラベルの長さ（定長）などを指定できます。

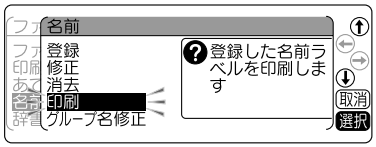
❶ ファイルを押す

❷「名前」を選び、 選択 を押す



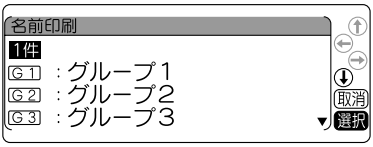
「名前」メニューが表示されます。

❸「印刷」を選び、 選択 を押す



❹ 印刷する範囲を選び、 選択 を押す

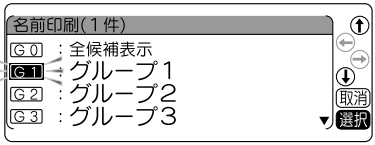
1 件　　：1 件のみ印刷します。
G 1 ～ G 5　：選択したグループ内のすべての名前を印刷します。
全件　　：すべての名前を印刷します。



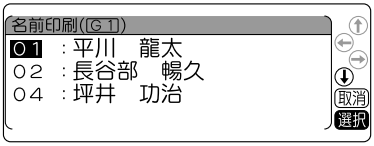
グループまたは全件を選んだ場合は、印刷確認の画面に変わります（手順❼）。
1 件の場合は次の手順で名前を選びます。

❺ 印刷したい名前が登録されているグループを選び、 選択 を押す

グループがわからないときは G 0 を選びます。



❻ ↑ ↓ または わ/0 ～ ﾖ/9 で印刷したい名前を選び、 選択 を押す

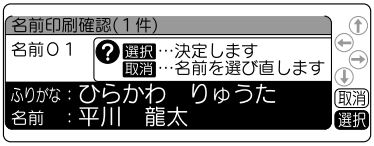


印刷する内容の確認画面になります。

❼ 内容を確認し、 選択 を押す

1 件印刷の場合は内容が、グループまたは全件印刷の場合は名前一覧が表示されます。

1 件印刷の場合



グループ印刷の場合

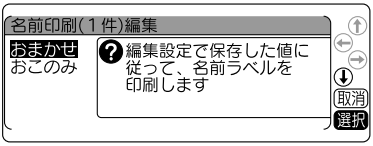


❽ 内容を確認し、 選択 を押す

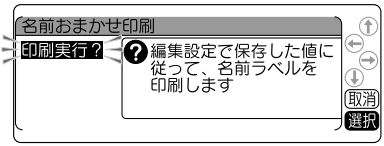
名前印刷の編集画面になります。

❾ そのまま印刷する場合は「おまかせ」を選び、 選択 を押す

ここで「おこのみ」を選ぶと、定長印刷、飾り字、斜体・強調、書体、ふりがなの有無が指定できます。



❿「印刷実行？」を選び、 選択 を押す



名前ラベルが印刷されます。

MEMO

- 操作の途中で 削除/取消 または ファイル を押すと、1 つ前の状態に戻ります。 ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 印刷を途中でやめるときは 削除/取消 を押してください。
- 登録した名前をたて書きで印刷する場合は、「編集設定」メニューから「縦・横」を選び、「たて書き」に設定してください。参照 P155「保存値を変更する」

!! 注意 !!

4mm 幅テープでは「ふりがな」が入力されていても、名前 1 行のラベルが印刷されます。

9mm 幅テープ（「ふりがな」あり）	9mm 幅テープ（「ふりがな」なし）	4mm 幅テープ
ひらかわ りゅうた 平川 龍太	平川龍太	平川龍太

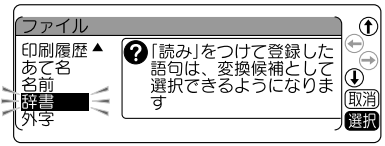
変換できない語句を登録する（辞書の登録）

難しい人名や長い熟語など一度に漢字変換することが難しい「語句」に「読み」をつけて辞書登録しておくと、通常の漢字変換と同じ操作で、簡単に変換できるようになります。
辞書には漢字だけでなく、記号・外字・英数字・英記号も登録できます。辞書番号 01 ～ 50 に最大 50 個まで登録できます。

例 ：特許申請手続き代行書類（とっきょしょるい）を登録する

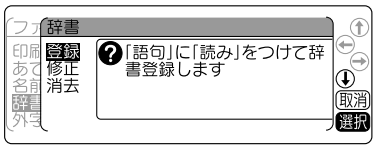
❶ ファイルを押す

❷「辞書」を選び、選択を押す

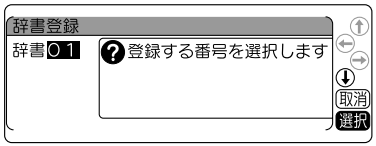


「辞書」メニューが表示されます。

❸「登録」を選び、選択を押す

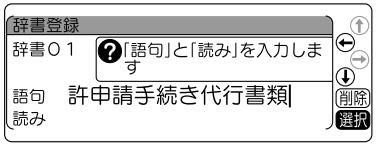


❹ ↑ ↓ または 0 ～ 9 で登録する辞書番号を選び、選択を押す

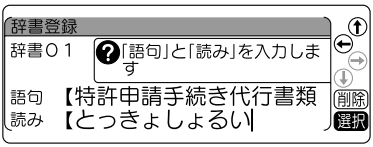


辞書の登録画面になります。

❺「語句」を入力し、選択を押す



❻「読み」をひらがなで入力する



❼ 選択を押す

「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

MEMO

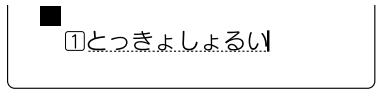
- 登録できる「語句」の文字数は 15 文字以内、「読み」の文字数は 16 文字以内です。ただし、濁音、半濁音は 2 文字と数えます。入力できる文字数を超えると、超えた分は自動的に文末から削除されます。
- 入力できる「読み」はひらがなのみです。
- 操作の途中で削除/取消 または ファイル を押すと、1 つ前の状態に戻ります。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 登録済みの辞書と同じ「語句・読み」を登録しようとすると、「辞書に登録済み」と表示され、登録できません。違う「語句・読み」を入力してください。
- 辞書登録では文章書式・段落スタイル・文字モード・連番・バーコードの登録はできません。
- 辞書がいっぱいでこれ以上登録できなくなると、「辞書の登録数がいっぱいです」が表示されます。それでも辞書の登録をしたい場合は、辞書消去で不要な辞書データを削除してください。

登録した語句を呼び出す

通常の漢字変換と同じように呼び出すことができます。

例 ： 特許申請手続き代行書類を「とっきょしょるい」で呼び出す

❶「とっきょしょるい」を入力する

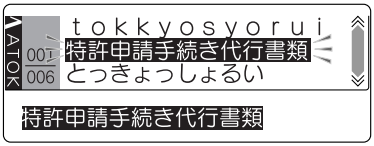


❷ 変換 スペース を押す

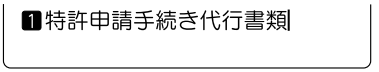
辞書登録した「特許申請手続き代行書類」が変換候補として表示されます。



❸「特許申請手続き代行書類」になっている状態で ↓ を押す



「特許申請手続き代行書類」が確定されます。

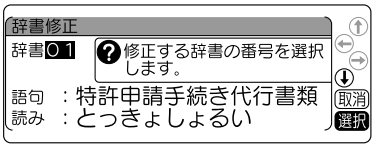


登録した辞書を修正する

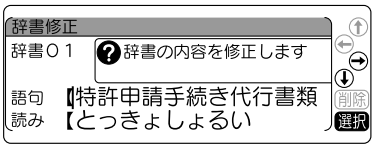
例 ：「読み」の「とっきょしょるい」を「とくしん」に変える

❶ P.124「変換できない語句を登録する」の手順❸で「修正」を選び、 選択 を押す

❷ 修正したい辞書を選び、 選択 を押す

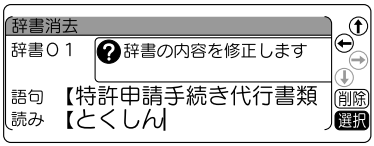


登録した辞書が表示され、修正できる状態になります。



❸ 新しい「読み」を入力する

「とっきょしょるい」を削除し、「とくしん」と入力しなおします。



❹ 選択 を押す

「読み」を修正した辞書が登録されます。

登録した辞書を消去する

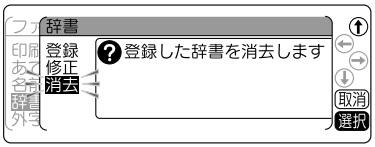
登録されている辞書を消去します。

❶ (ファイル)を押す

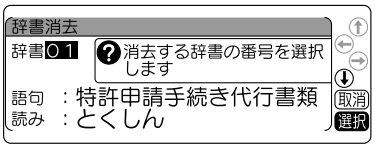
❷「辞書」を選び、[選択]を押す

「辞書」メニューが表示されます。

❸「消去」を選び、[選択]を押す



❹ [↑] [↓]または[ぱ゜ぺ゜ぽ゜0]～[わ゛を゛ん゛9]で消去したい辞書を選び、[選択]を押す

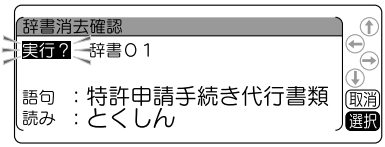


消去する内容の確認画面になります。

❺ 内容を確認し、[選択]を押す



❻ [選択]を押す



辞書が消去され、テキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

消去した辞書は(復活)を押しても復活させることはできません。充分に確認した上で消去の操作をおこなってください。

MEMO

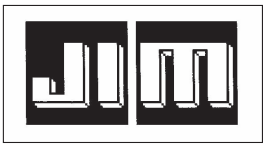
操作の途中で(削除 取消)または(ファイル)を押すと、1 つ前の状態に戻ります。(ホーム)を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

外字を使う

自分でデザインしたマークや会社のロゴ、対応していない漢字や内蔵されていない文字・記号は、外字として登録すると、文中に入力し印刷できます。

外字は正方形です。横長のロゴタイプなどは複数の外字に切り分けて登録し、「編集」の文字モードで文字間を「密着」に指定すると、つながったロゴとして印刷できます。

外字２つに分けて登録（文字間「ふつう」）



文字間「密着」



MEMO

- 外字は 10 文字まで登録できます。
- 本機は、美しい印刷を可能にするアウトラインフォントという形式の文字を搭載していますが、外字については作成のしやすさから、ビットマップ形式を採用しています。ビットマップ形式での外字はアウトラインフォントの文字と比べて多少ギザギザが目立ちます。

外字を作る概要

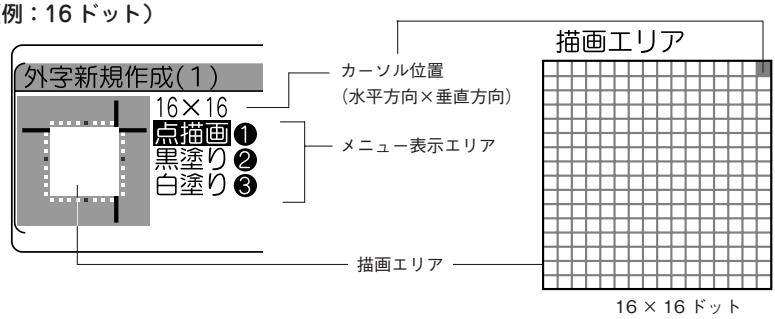
外字を登録するときは、1 つの外字について、16･24･32･40･48 ドットの 5 段階の大きさの字形データを作成します。これは、複数の文字サイズを美しく印刷するためです。
ただし、5 段階すべての外字を始めから作る手間をなくすため、最初に 16 ドットのデータを入力すると、これをもとに自動的に拡大して 24・32・40・48 ドットの字形データを作り、後から細部を補正して作るしくみになっています。

画面表示と描画方法

外字の作成は、方眼紙のマス目を埋めていくような作業です。画面に表示された描画エリアを方眼紙に見立て、点（ドット）を塗りつぶしていきます。

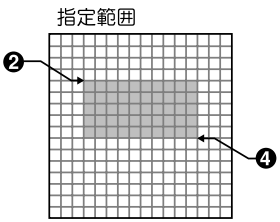
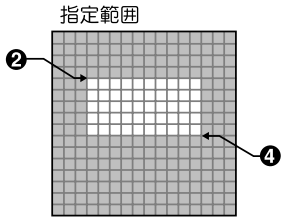
画面表示

（例：16 ドット）



描画方法（メニュー表示エリアで選択）

描画方法(メニュー)には、1 ドットずつ塗りつぶす「点描画」のほか、ブロックで黒く塗りつぶす「黒塗り」、ブロックで白く塗りつぶす「白塗り（＝消去）」があり、それぞれ数字ボタン [1] / [2] / [3] で選択します。

メニュー	描 画 方 法	手 順
点描画	1 つ 1 つの点（ドット）ずつ塗りつぶす方法	❶ [1] を押す。 メニュー「点描画」がネガ表示されます。 ❷ 塗りつぶすドットにカーソルを [←] [↑] [↓] [→] で移動する。 ❸ [シフト] を押す。 カーソル位置が黒く塗りつぶされます。もう一度押すと、白く塗りつぶされます。
黒塗り	広い範囲のブロックを黒く塗りつぶす方法 	❶ [2] を押す。 メニュー「黒塗り」がネガ表示されます。 ❷ 塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを [←] [↑] [↓] [→] で移動する。 ❸ [シフト] を押す。 対角線上のもう一方の頂点にカーソルを [←] [↑] [↓] [→] で移動する。 ❹ [シフト] を押す。手順❷と❹で指定した範囲全体が黒く塗りつぶされます。
白塗り	広い範囲のブロックを白くする（消す）方法 	❶ [3] を押す。 メニュー「白塗り」がネガ表示されます。 ❷ 塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを [←] [↑] [↓] [→] で移動する。 ❸ [シフト] を押す。 対角線上のもう一方の頂点にカーソルを [←] [↑] [↓] [→] で移動する。 ❹ [シフト] を押す。手順❷と❹で指定した範囲全体が白く塗りつぶされます。

外字を作成し、登録する

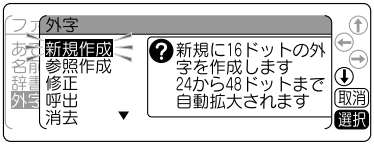
例 ：外字番号「2」に「」を登録する

❶ ファイルを押す

❷「外字」を選び、選択を押す

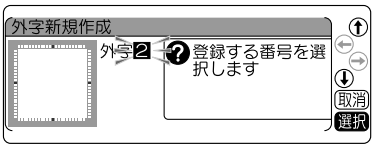
「外字」メニューが表示されます。

❸「新規作成」を選び、選択を押す



描画エリアと外字番号が表示されます。

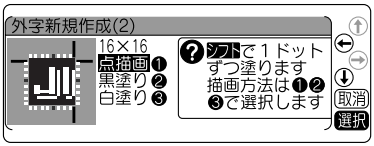
❹ 登録する番号に「2」を選び、選択を押す



❺ 16ドットのデータを描画する

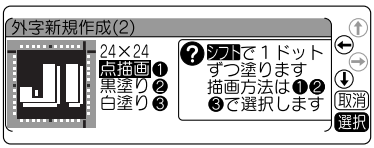
シフトと←↑↓→で描画します。

参照 P.128「画面表示と描画方法」



❻ 16ドットの描画が終わったら、選択を押す

16ドットのデータをもとに、24・32・40・48ドットのデータが自動的に拡大作成されます。



❼ 24・32・40・48ドットのデータを補正する

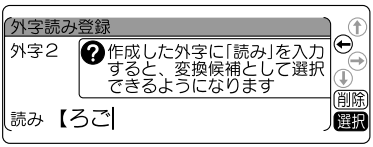
手順❺と同様の操作で、拡大されたデータを補正します。選択を押すと、次のサイズの描画に移ることができ、48ドットの描画が終わると、「読み」の入力画面が表示されます。

!! 注意 !!

24～48ドットすべてのデータを補正しないと、文字サイズによってはきれいに印刷されません。

❽ 外字の「読み」を入力し、選択を押す

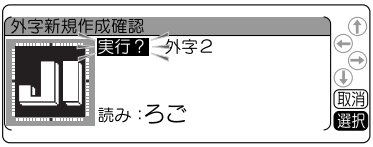
「読み」はひらがなで16文字まで入力できます。



MEMO

- 登録できる「読み」の文字数は16文字以内です。ただし、濁音、半濁音は2文字と数えます。入力できる文字数を超えると、超えた分は自動的に文末から削除されます。
- テキスト入力でこの「読み」を入力し、変換 スペースを押すと、外字を呼び出すことができます。

❾ 内容を確認し、選択を押す



「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

MEMO

- 操作の途中で削除 取消またはファイルを押すと、1つ前の状態に戻ります。ホームを押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字があるときは、ファイルボタンで外字を新規作成できません。

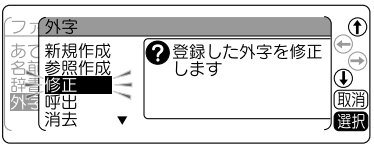
外字を修正する

例 ：外字番号「4」の 48 ドットデータを修正する

❶ ファイルを押す

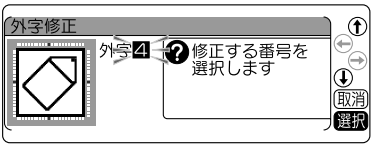
❷「外字」を選び、選択を押す
「外字」メニューが表示されます。

❸「修正」を選び、選択を押す



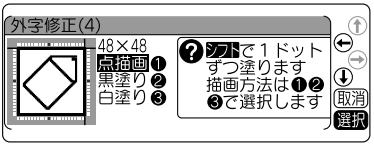
登録されている外字番号が表示されます。

❹ 修正する外字番号「4」を選び、選択を押す



16 ドットの描画画面が表示されます。

❺ 48 ドットの描画画面が表示されるまで選択を押す



❻ 48 ドットのデータを修正する
参照 P.128「画面表示と描画方法」

❼ 選択を押す
「読み」の入力画面が表示されます。
必要に応じて、「読み」の修正をします。

❽ 選択を押す
修正の確認画面になります。

❾ 内容を確認して、選択を押す
外字が修正され、テキスト画面に戻ります。

外字を呼び出す

登録した外字を入力します。外字を滑らかに印刷したいときは、「平滑化＝する」を選んでください。

MEMO

簡単に呼び出すには

登録した外字の読みを入力し、変換 スペースを押すと、登録した外字が表示されます（この場合には外字の「平滑化」はおこなわれません）。

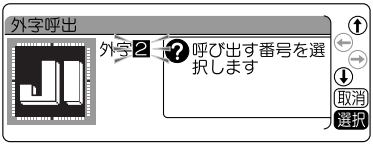
❶ 外字を入力する部分にカーソルを合わせる

❷ ファイルを押す

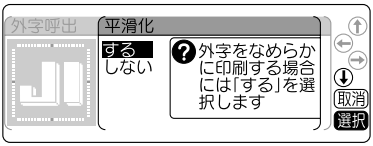
❸「外字」を選び、選択を押す

❹「呼出」を選び、選択を押す

❺ 呼び出す外字を選び、選択を押す



❻「平滑化」メニューから「する」または「しない」を選び、選択を押す



カーソル位置に外字が入力されます。

MEMO

- 操作の途中で削除 取消または ファイルを押すと、1 つ前の状態に戻ります。ホームを押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 記号メニューで「外字呼出」を選択しても手順❺に進めます。

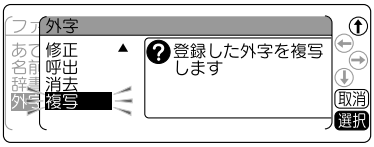
外字を複写する

外字を別の外字番号に複写します。

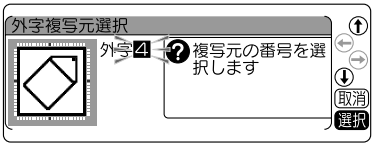
❶ ファイルを押す

❷「外字」を選び、選択を押す

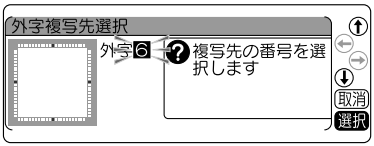
❸「複写」を選び、選択を押す



❹ 複写元の外字番号を選び、選択を押す



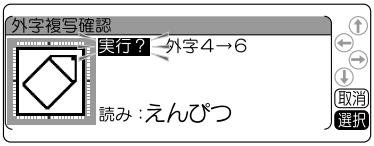
❺ 複写先の外字番号を選び、選択を押す



❻ 複写先の「読み」を入力し、選択を押す

複写する内容の確認画面になります。

❼ 内容を確認し、選択を押す



外字が複写され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- 操作の途中で削除/取消または ファイル を押すと、1つ前の状態に戻ります。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字があるときは、ファイルボタンで外字を複写できません。

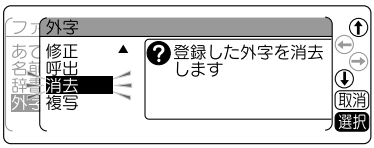
外字を消去する

登録されている外字を消去します。

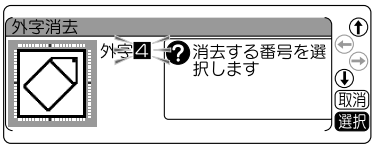
❶ ファイルを押す

❷「外字」を選び、選択を押す

❸「消去」を選び、選択を押す

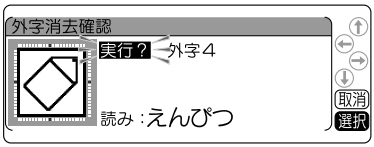


❹ 消去する外字番号を選び、選択を押す



消去する内容の確認画面になります。

❺ 内容を確認し、選択を押す



外字が消去され、テキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

消去した外字は復活を押しても復活させることはできません。充分に確認した上で消去の操作をおこなってください。

MEMO

- 操作の途中で削除/取消または ファイル を押すと、1つ前の状態に戻ります。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字があるときは、ファイルボタンで外字を消去できません。
- 消去された外字が文章などに使われていた場合、その外字は空白として印刷されます。

外字を参照作成し、登録する

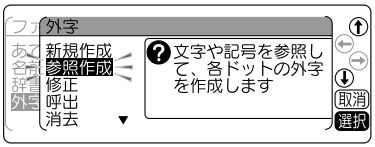
「参照作成」では、本機に内蔵されている文字や記号のデータをもとに修正して外字を作成します。操作は「外字を作成し、登録する」と同じですが、「参照作成」は途中で参照する文字を入力します。

例 :「記号」の「生き物」の「  」にヒゲをつけて「  」にする

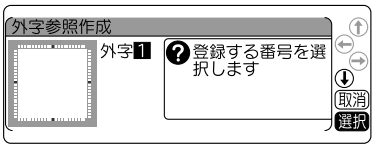
❶ ファイルを押す

❷「外字」を選び、選択を押す

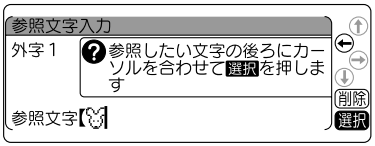
❸「参照作成」を選び、選択を押す



❹ 登録する外字番号を選び、選択を押す



❺ 参照する文字（記号）を入力し、カーソルをその後ろ（右側）に合わせる



最大５文字まで入力できますが、カーソルの左側の１文字を参照します（入力ガイドにカーソルがあるときは先頭文字を参照します）。

MEMO

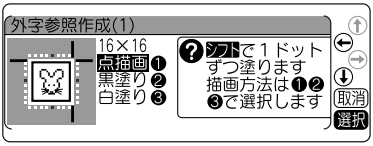
- 最大５文字まで入力できるので、単語や熟語、辞書登録した語句なども利用できます。
- 連番、バーコード、合成記号、編集記号、半角スペース、外字は参照できません。
- 参照する文字には、文字モードの書体を指定できます。

❻ データを修正する

参照文字が 16 ドットで表示されますので、これをもとに修正します。

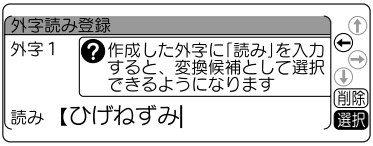
選択を押すと次のサイズの修正画面に移ります。

参照 P.128「画面表示と描画方法」



❼ 48 ドットの描画が終わったら選択を押す

❽ 外字の「読み」を入力し、選択を押す



❾ 内容を確認し、選択を押す

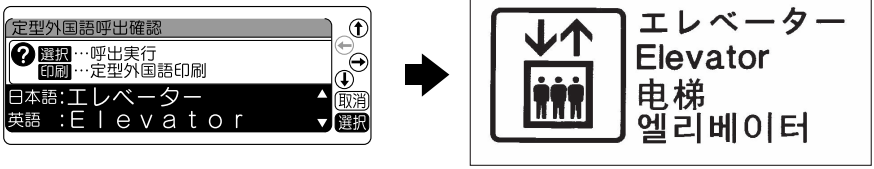
「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

MEMO

- 文章中でこの「読み」を入力し、変換 スペースを押すと外字を呼び出すことができます。
- 操作の途中で削除 取消またはファイルを押すと、１つ前の状態に戻ります。ホームを押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字があるときは、ファイルボタンで外字を参照作成できません。

定型外国語を入力する

本機には、定型文を日本語、英語、中国語、韓国語の 4 ヶ国語で表示する定型外国語機能があります。日本語の読みを入力し、検索結果から定型文を選ぶだけで、自動的に対応する英語、中国語、韓国語の文章が呼び出されます。さらに定型文によっては記号の入ったラベルになるため、注意ラベルなどの作成に役立ちます。



定型外国語に対応している定型文は、よく使う注意文や表示文、名詞など約 800 フレーズにおよび、いろいろな用途に利用できます。

MEMO

定型外国語に対応している定型文（日本語）は、P.190「定型外国語一覧表」を参照してください。

定型外国語メニュー一覧

シフト を押しながら 記号・絵 （＝定型外国語）を押すと定型外国語が入力できます。

メニュー

定型外国語		
入力 ▶ 日本語の読みを入力して定型文を検索します。 参照 P.134	呼出確認	呼び出した定型文を確認します。 • ［選択］でテキスト画面に確認中の定型外国語を呼び出します。 • ［印刷］で確認中の定型外国語を各言語ごとに印刷します。

定型外国語を使う

定型の日本語に該当する英語、中国語、韓国語のラベルを作成します。

例 :「エレベーター」のラベルを作成する

- 呼出確認画面から［印刷］を指定した場合のラベル

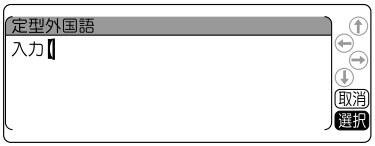


- テキスト画面に呼び出した場合のラベル



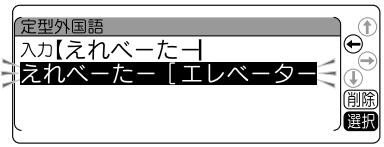
❶ シフトを押しながら記号・絵（＝定型外国語）を押す

「定型外国語」入力画面が表示されます。



❷ 検索したい内容を、ひらがなで入力し、選択を押す

変換候補一覧が表示されます。



❸ 検索結果が複数ある場合は、↑ ↓で目的の文を選び選択を押す

定型外国語呼出確認画面が表示されます。

❹ 内容を確認し、操作を選択する

選択 ：確認中の定型外国語をテキスト画面に新しい段落として挿入します（手順❼へ）。

印刷 ：言語ごとにラベルを印刷します（手順❺へ）。



MEMO

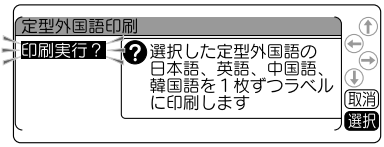
- ひらがな以外を入力した場合は定型文を検索できません。
- 入力された文字に対応する定型文がない場合は、「該当する候補がありません」が表示され検索結果になにも表示されません。

MEMO

操作の途中で削除取消または記号・絵を押すと、1つ前の状態に戻ります。ホームを押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

❺「印刷実行」を選び、 選択 を押す

各言語のラベルが印刷されます。印刷後は呼出確認の画面に戻ります（手順❻へ）。



MEMO

手順❺で印刷実行した場合、ラベルは以下の指定で印刷され、変更はできません。
「文字サイズ」:「自動」ー「均等」
「漢字／かな書体」:「ゴシック」
「英数書体」:「HV 体」
「文字間」:「狭い」ー「プロポーショナル　オン」
上記以外は、初期設定値となります。各機能の初期設定値については、P70「編集メニュー一覧」を参照してください。

❻ 削除 または 選択 を押す

終了する場合は 削除 を押します。テキスト画面に文章を呼び出す場合は、 選択 を押します。



❼ テキスト画面でラベルを編集する



MEMO

- 手順❷で表示される定型文は、最初の１文字を入力しただけでも検索できます。
- テキスト画面では、定型外国語マークで囲まれて表示されます。定型外国語マークは、日本語が Ｊ Ｊ、英語が Ｅ Ｅ、中国語が Ｃ Ｃ、韓国語が Ｋ Ｋ になります。
- 定型外国語マークで囲まれた言語は、12 個までしか挿入できません。



定型外国語を編集する

定型外国語のラベルを編集する場合は、以下のことに注意してください。

- 定型外国語マークで囲まれた各言語は、内容を変更できません。
- 定型外国語マークで囲まれた各言語内に文字カーソルを移動すると点線表示の状態で移動できますが、各言語は１つのブロックになっており、削除する場合、その言語の文全体が削除されます。コピーする場合も、文全体をコピーします。



- 日本語と英語は書体を変更できますが、中国語と韓国語は変更できません。文字サイズや強調などの編集は全言語で変更できます。

連番やバーコードを印刷する

シフトを押しながら編集（＝連番・QR・バーコード）を押すと、連続番号やバーコードが入力できます。

連番・バーコードメニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
連続番号				
連続番号 ▶	初期値入力 ▶	繰返し回数		
1 桁		1 回		
2 桁		2 回		
1 桁丸付		3 回		
2 桁丸付		4 回		
連続番号 連番の入ったラベルを作ります。 参照 P.137		5 回		
		10 回		
QR コード ▶	用途	誤り訂正レベル		
	一般 ▶	7%		
	URL ▶	15%		
		25%		
		30%		
JAN-13 ▶	全体の幅 ▶			数値入力
NW-7 ▶	小さめ			
JAN-8 ▶	ふつう	（NW-7、ITF、CODE39 のみ） 細・太の比率 ▶	（NW-7、ITF、CODE39 のみ） チェックデジット ▶	
ITF ▶	大きめ	2.0	あり	
UPC-A ▶		2.5	なし	
CODE39 ▶		3.0		
UPC-E ▶				
バーコード バーコードの入ったラベルを作ります。 参照 P.140				

連番を印刷する

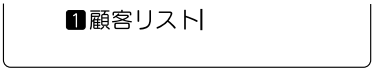
数字または英字の部分だけが異なる複数のラベルを作る場合、連続番号を指定すると、1 枚印刷するたびに、自動的に加算して印刷します。

連続番号には「1 桁」「2 桁」「1 桁丸付」「2 桁丸付」があります。連続番号を印刷するときは、初期値と繰り返し回数（1、2、3、4、5、10 回）を指定します。繰り返し回数では同じ文字を何回繰り返すかを指定します。

例 **：2 桁連番で、4、5、6…の入ったラベルを 2 枚ずつ作る**



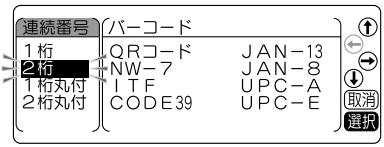
❶ 連番を入れる位置にカーソルを合わせる



❷ シフト を押しながら 編集 （＝連番･QR･バーコード）を押す

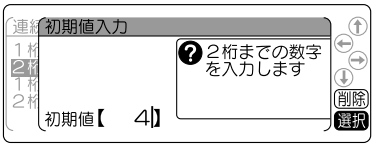
「連続番号」メニューが表示されます。

❸「2 桁」を選び、 選択 を押す



「初期値入力」画面が表示されます。

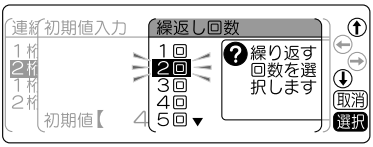
❹ 初期値に「4」を入力し、 選択 を押す



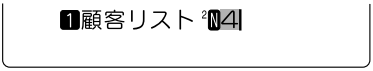
MEMO

初期値には、「1 桁」「1 桁丸付」の場合は英数字 1 桁、「2 桁」「2 桁丸付」の場合は数字を 2 桁まで入力できます。

❺ 繰り返し回数「2 回」を選び、 選択 を押す



テキスト画面に戻り、カーソル位置に連番（連番マーク[2]N ＋ 数値エリア「4」）が表示されます。



MEMO

テキスト画面での連番マークは、「1 桁」が[1]N、「2 桁」が[2]N、「1 桁丸付」が[1]N、「2 桁丸付」が[2]N になります。

次へ進みます

❻ 印刷を押す

「4」の 1 枚目のラベルが印刷されます。



❼ 印刷を押す

繰り返し回数「2 回」を指定しているので、2 枚目の「4」のラベルが印刷されます。



印刷後、数値入力エリアの番号が加算され「5」になります。

❽ 印刷を押す

「5」の 1 枚目のラベルが印刷されます。



以降、同様に繰り返します。

MEMO

- 連番の初期値に指定できるのは、「1 桁」「1 桁丸付」の場合は、数字の 0 ～ 9 とアルファベットの A ～ Z、a ～ z です。「2 桁」「2 桁丸付」の場合は、数字の 0 ～ 9 または 00 ～ 99 です。小数点やマイナスは指定できません。
- 「1 桁」「1 桁丸付」の場合、1、2、3、4…と 9 まで数字が 1 つずつ繰りあがります。英字の場合、A（a）、B（b）、C（c）、D（d）とアルファベット順に 1 つずつ繰りあがります。

「1 桁」で数字の場合

1、2、3、… 8、9、0、1、…

「1 桁丸付」で数字の場合

①、②、③、… ⑧、⑨、⓪、①、…

「1 桁」で英字の場合

A、B、C、… X、Y、Z、A、…

a、b、c、… x、y、z、a、…

「1 桁丸付」で英字の場合

Ⓐ、Ⓑ、Ⓒ、… Ⓧ、Ⓨ、Ⓩ、Ⓐ、…

ⓐ、ⓑ、ⓒ、… ⓧ、ⓨ、ⓩ、ⓐ、…

- 「2 桁」「2 桁丸付」の場合、1、2、3、4…と 99（または、01、02、03、04…と 99）まで数字が 1 つずつ繰りあがります。

「2 桁」で初期値が 1 桁の場合

1、2、3、… 9、10、… 98、99、0、1、…

「2 桁」で初期値が 2 桁の場合

01、02、03、… 09、10、… 98、99、00、01、…

「2 桁丸付」で初期値が 1 桁の場合

①、②、③、… ⑨、⑩、… ㊽、㊾、⓪、①、…

「2 桁丸付」で初期値が 2 桁の場合

⓪①、⓪②、⓪③、… ⓪⑨、⑩、… ㊽、㊾、⓪⓪、⓪①、…

- 1 つの文章に入力できる連番は、バーコードと合わせて 6 個までです。
- 連番の初期値や繰り返し回数を変更する場合は、連番の直後（右側）にカーソルを合わせ、シフト＋編集（＝連番・QR・バーコード）を押してください。「連番」メニューが表示されます。以降の指定方法は、入力手順と同じです。
- 連番を削除するときは、連番の直後（右側）にカーソルを合わせ、削除/取消を押してください。
- 連番（連番マーク[1][N²][N¹][N²][N]＋数値エリア）にも、通常の文字と同様に、文字モード、段落スタイルの編集機能を指定できます。
- 連番は合成記号と組み合わせることはできません。
- 連番指定された文章を連続印刷すると、連続番号の入ったラベルを枚数分印刷することができます。参照 P.145「同じラベルを連続して印刷する（連続印刷）」

バーコードを印刷する

各種規格に準じたバーコードを印刷することができます。

印刷できるバーコードの規格と指定できる項目

規格	全体幅 小さめ / ふつう / 大きめ	細・太の比率 2.0/ 2.5 /3.0	チェックデジット あり / なし
JAN-13・JAN-8 UPC-A・UPC-E	○	−	−
NW-7・ITF・CODE39	○	○	○

太字 は購入時の初期設定値です。

○：指定可能

−：指定不要

全体幅：バーコード全体の幅

細・太の比率：細いバーと太いバーの太さの比率

!! 注意 !!

バーコードを作成する際は、そのバーコードの規則にしたがって入力してください。

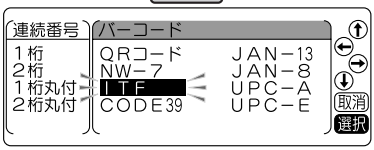
例 ：「ITF」のバーコード（全体幅大きめ、細・太の比率 3.0、チェックデジットあり）を印刷する



❶ シフト を押しながら 編集 （＝連番･QR･バーコード）を押す

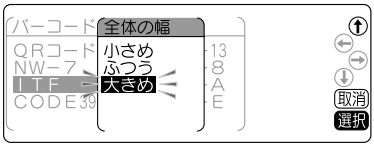
「バーコード」メニューが表示されます。

❷「ITF」を選び、 選択 を押す



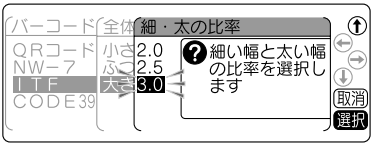
「全体の幅」メニューが表示されます。

❸「大きめ」を選び、 選択 を押す



「細・太の比率」メニューが表示されます。

❹「3.0」を選び、 選択 を押す



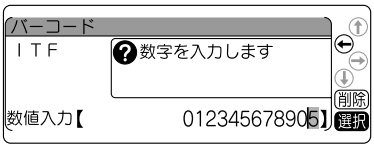
「チェックデジット」メニューが表示されます。

❺「あり」を選び、 選択 を押す



バーコードの数値入力画面になります。

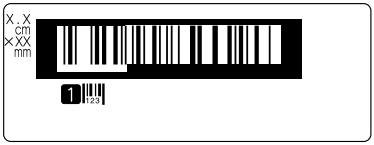
❻ 数値ボタンでバーコードの数値を入力する



数値が表示されます。右側の網かけ部にはチェックデジットが自動的に発生します。なお、入力できる桁数は規格によって異なります。

❼ 選択 を押す

テキスト画面に戻ります。カーソル位置にバーコードマーク（ ）が表示されます。



❽ 印刷 を押す

バーコードのラベルが印刷されます。

MEMO

- 1 つの文章に入力できるバーコードは、連番と合わせて 6 個までです。
- バーコードはデータ量が多いため、ファイルに保存するとたくさんのメモリーを使用します。
- バーコードの数値を変更したり、規格などを変更する場合は、バーコードマーク（ ）の直後（右側）にカーソルを合わせ、シフト＋編集（＝連番・QR・バーコード）を押してください。「バーコード」メニューが表示されます。以降の指定方法は、入力手順と同じです。
- バーコードの数値を修正するときは、数値入力画面に入り、前の数字を削除してから新しい数字を入力してください。
- バーコードを削除するときは、バーコードマーク（ ）の直後（右側）にカーソルを合わせ、削除/取消を押してください。
- バーコードマークにも、通常の文字と同様に、文字モード、段落スタイルの編集機能を指定できますが、反映されるものは以下のとおりです。

バーコードマークに反映される機能

段落スタイル	外枠・表組、割付け
文字モード	囲み・網

- 印刷したバーコードは、ご使用になっているお手持ちのバーコードリーダーで読み取りの確認をしてからご使用ください。
- お手持ちのバーコードリーダーで読み取れない場合は、「全体の幅」や「細・太の比率」を調整し、再度確認してください。
- バーコードの印刷は、バーコードリーダーで読み取りやすい白地に黒文字のテープカートリッジをお奨めします。
- 規格によって入力できる桁数が異なります。ITF と NW-7 は 1 ～ 29 桁、CODE39 は 1 ～ 27 桁です。
- ITF は偶数桁数のみの規格です。チェックデジットを「あり」に指定して偶数桁を入力した場合、または「なし」に指定して奇数桁を入力した場合は、1 桁目にスペアコード（0）が自動的に発生します。
- UPC-E のチェックデジットは数値入力画面やバーコードの数字には表示されません。
- NW-7 は始めと終わりに「A、B、C、D」のいずれかを入力しなければ、作成したラベルをバーコードリーダーで読み取ることができません。
- バーコードのバーの長さ（線の部分）と数字の長さが一致しないことがありますが、ご使用上問題はありません。
- バーコードは合成記号と組み合わせることはできません。

QR コードを印刷する

QR コードは 2 次元コードの一種で、通常のバーコードよりも多くの情報量を表現できます。また、内容にひらがなや漢字などの日本語情報を入力できます。

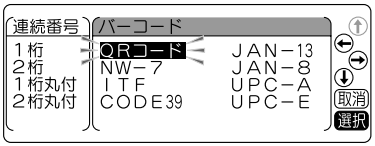
例 ：携帯電話用の電話帳データ（名前、読み、電話番号など）

入力例「MECARD:N:山岸,正樹;SOUND:ヤマギシ,マサキ;TEL:0301234567;;」（英数、記号は半角文字です。入力に必要な情報はお使いの携帯電話によって異なります。デザインフォームの P.98「QR 携帯 1」～「QR 携帯 3」を参考にしてください。）

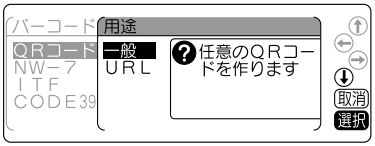
❶ シフトを押しながら(編集)（＝連番･QR･バーコード）を押す

「バーコード」メニューが表示されます。

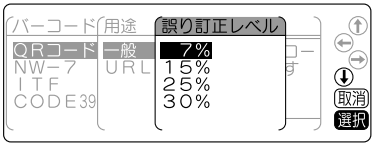
❷「QR コード」を選び、選択を押す



❸ 用途を選び、選択を押す



❹ 誤り訂正レベルを選び、選択を押す

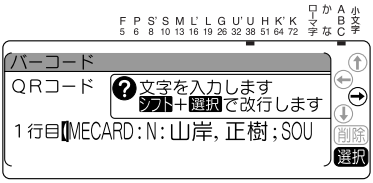


MEMO

誤り訂正レベルとは、QR コードのよごれ、破損などから読み取れなくなったデータを復元する能力です。誤り訂正レベルを上げると、復元能力は向上しますが、QR コードのサイズが大きくなることがあります。

❺ 内容を入力する

一般：複数行の入力ができます。シフトを押しながら選択で改行できます。



URL：ABC（半角）入力で 1 行のみ入力できます。あらかじめ「http://www.」が入力されています。



MEMO

- QR コードでは､半角英数字が入力できます。入力切換を押して入力状態を「ABC（半角）入力」にしてください｡用途が「URL」の場合は「ABC（半角）入力」のみとなります。
- 入力中、文字サイズインジケーターに QR コードのサイズが表示されます。

❻ 選択を押す

テキスト画面に戻ります。カーソルの位置に QR コードマーク（▣）が表示されます。



MEMO

- QR コードの場合、テープ幅や指定項目により入力可能文字数が異なります。

QR コードの最大入力可能文字数：

誤り訂正レベル＝ 7%

文字種 ＼ QR コードのサイズ	G	U’	U	H	K’	K
全角文字	10	32	65	141	262	346
半角文字（abcdefghijabc…と入力した場合)	17	53	106	230	425	586
半角数字（1234567890123…と入力した場合）	41	127	255	552	692	ー

誤り訂正レベル＝ 15%

文字種 ＼ QR コードのサイズ	G	U’	U	H	K’	K
全角文字	8	26	52	111	204	277
半角文字（abcdefghijabc…と入力した場合)	14	42	84	180	331	450
半角数字（1234567890123…と入力した場合）	34	101	202	432	692	ー

誤り訂正レベル＝ 25%

文字種 ＼ QR コードのサイズ	G	U’	U	H	K’	K
全角文字	7	20	37	80	149	198
半角文字（abcdefghijabc…と入力した場合)	11	32	60	130	241	322
半角数字（1234567890123…と入力した場合）	27	77	144	312	580	692

誤り訂正レベル＝ 30%

文字種 ＼ QR コードのサイズ	G	U’	U	H	K’	K
全角文字	4	15	27	60	109	154
半角文字（abcdefghijabc…と入力した場合)	7	24	44	98	177	250
半角数字（1234567890123…と入力した場合）	17	58	106	235	427	602

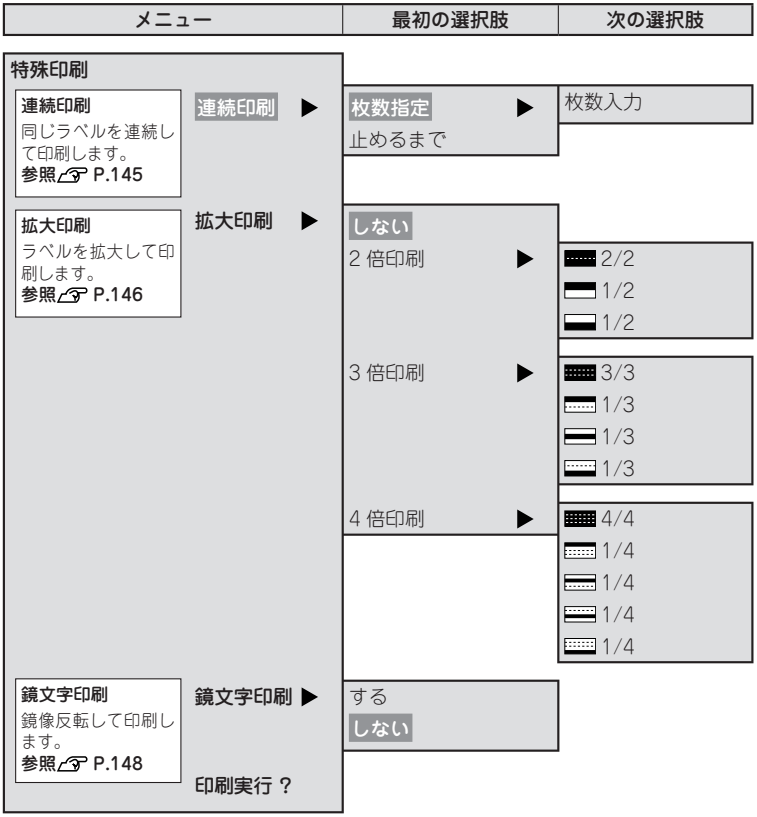
- 印刷できる文字サイズは各テープ幅によって異なります。4mm、6mm、9mm 幅テープには QR コードを印刷することができません。参照 P.75「文字サイズ」
- 1 つの文章に入力できる QR コードは 2 個までです。また、1 つの文章に入力できるバーコード（QR コードを含む）は、連番と合わせて 6 個までです。
- QR コードには一部の記号も入力できます。入力画面で（記号・絵）を押すことで呼び出せます。
- コードの内容や誤り訂正レベルを変更する場合は、QR コードマーク（▣）の直後（右側）にカーソルを合わせ、［シフト］を押しながら（編集）（＝連番・QR・バーコード）を押してください。「連番・QR・バーコード」メニューが表示されます。以降の指定方法は作成操作と同じですが、「用途」やバーコードの規格を変更すると、入力されていたコードの内容は失われます。
- 文字サイズインジケーターの G ～ K 部分が点滅している場合、「QR コードが大きすぎます！」が表示され、印刷できません。以下の操作をおこなってください。
  - QR コードの誤り訂正レベルを低くする。
  - QR コードの文字数を減らす。
- QR コードが大きい場合、「QR コードが大きすぎます！」が表示され、印刷できません。QR コード入力中の文字サイズインジケーターを参考にして以下の操作をおこなってください。
  - 幅の広いテープに交換する。
  - 通常テキストの行数を減らす。
  - QR コードの誤り訂正レベルを低くする。
  - QR コードの文字数を減らす。
- QR コードの情報量によっては、印刷したラベルが印刷履歴に記録されないことがあります。

特殊な印刷（連続印刷、拡大印刷）

特殊印刷ボタンを押すと、連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷などの特殊な印刷を指定できます。

特殊印刷メニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。



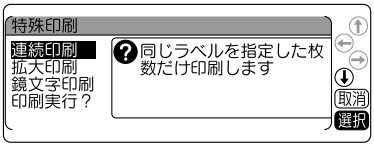
同じラベルを連続して印刷する（連続印刷）

同じラベルを指定した枚数分だけ続けて印刷します。

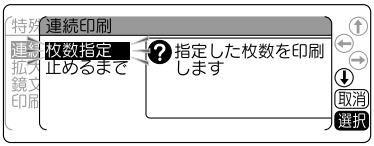
例 ：同じラベルを 3 枚連続して印刷する

❶ 文章を入力し、(特殊印刷)を押す
「特殊印刷」メニューが表示されます。

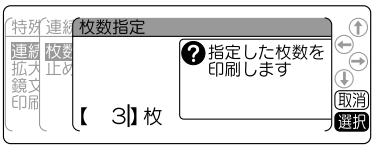
❷「連続印刷」を選び、[選択]を押す



❸「枚数指定」を選び、[選択]を押す

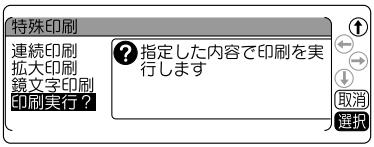


❹ 印刷枚数を入力し、[選択]を押す
入力できる枚数は 1 ～ 99 枚です。



「特殊印刷」メニューに戻ります。

❺「印刷実行？」を選び、[選択]を押す



印刷が開始されます。1 枚目の印刷が終了するとテープがカット、またはハーフカットされ、同様に 2 枚目、3 枚目が印刷されます。

MEMO

- 操作の途中で(削除取消)または(特殊印刷)を押すと、1 つ前の状態に戻ります。(ホーム)を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 印刷を途中でやめるときは(削除取消)を押してください。
- 「連続印刷」メニューの「止めるまで」を選択した場合、最大100枚まで印刷を続けます。印刷を停止したいときは、いずれかのボタンを押してください。
- 指定した枚数のラベルの全長が 16m を超える場合は印刷できません。枚数を減らすか、文字数を減らすなどしてラベルの長さを短くしてください。
- ビジネスフォームの備品管理票で連続印刷できるのは 20 枚までです。
- 連番指定された文章を連続印刷すると、連続番号の入ったラベルが枚数分印刷されます。例えば、初期値「1」繰り返し回数 1 回の連番を 3 枚連続して印刷すると、「1」「2」「3」というラベルが連続して印刷されます。
- ハーフカット有効で連番の繰り返し回数を 2 回以上に指定して連番印刷を実行した場合、ハーフカットは自動で無効になります。
参照 P.137「連番を印刷する」

!! 注意 !!

- 特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。(印刷)ボタンでは通常の印刷がおこなわれます。
- 連続印刷をするときは、テープ出口付近にラベルがたまらないように注意し、こまめにラベルを取り除いてください。テープ出口付近にラベルをためておくと、同じラベルを再びカットするおそれがあります。
- 印刷途中でテープが終了しても、指定した枚数分の印刷カットをおこないます。刃の磨耗を防ぐため、印刷途中でテープが終了した場合は、(削除取消)を押して印刷を中止してください。

テープ幅より大きなラベルを作る（拡大印刷）

印刷内容を 2 倍、3 倍、4 倍に拡大し、部分ごとに分けて印刷することでテープ幅より大きなラベルが作れます。できあがったラベルは貼り合わせて使用してください。

「2 倍印刷」なら上下 2 枚で 1 組、「3 倍印刷」なら上中下 3 枚で 1 組のラベルになります。
大きさを指定した後に、「1/2」「1/3」などを選ぶと、1 組のうちの該当する部分の 1 枚だけを印刷できます。

●拡大印刷の種類（サンプルは 12mm 幅のラベルです）

印刷ボタンによる
通常の印刷



2 倍印刷　2 倍拡大

2/2
- 1/2
- 1/2



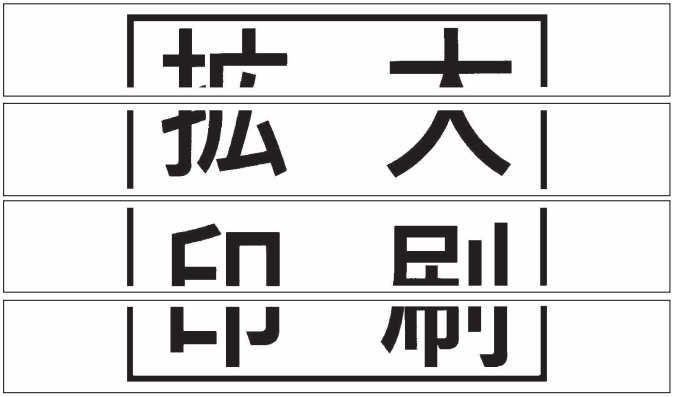
3 倍印刷　3 倍拡大

3/3
- 1/3
- 1/3
- 1/3



4 倍印刷　4 倍拡大

4/4
- 1/4
- 1/4
- 1/4
- 1/4

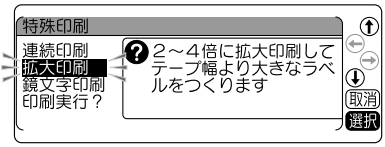


例 ：3 倍に拡大して印刷をする

❶ 文章を入力したあと(特殊印刷)を押す

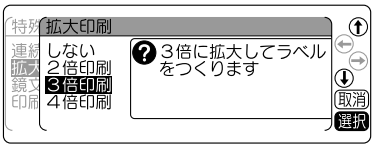
「特殊印刷」メニューが表示されます。

❷「拡大印刷」を選び、[選択]を押す



「拡大印刷」メニューが表示されます。

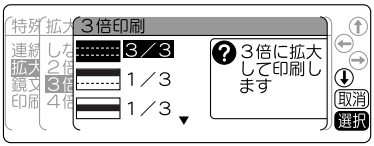
❸「3 倍印刷」を選び、[選択]を押す



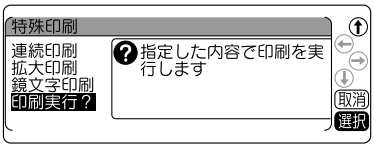
「3 倍印刷」メニューが表示されます。

❹「3/3」を選び、[選択]を押す

「3/3」が指定され、「特殊印刷」メニューに戻ります。

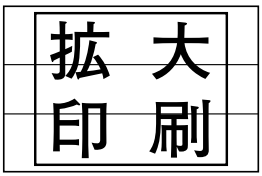


❺「印刷実行？」を選び、[選択]を押す



印刷が開始されます。3 枚 1 組のラベルが 1 枚ずつ印刷されます。

❻ テープを貼り合わせる



上下の余白をカッターなどで切り、貼り合わせてください。

MEMO

- 操作の途中で(削除取消)または(特殊印刷)を押すと、1 つ前の状態に戻ります。(ホーム)を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 印刷を途中でやめるときは(削除取消)を押してください。
- 「拡大印刷」で作ったラベルを貼り合わせたとき、多少のズレが生じることがあります。
- 長い文章を「拡大印刷」で印刷しようとすると全長が 16m を超えて印刷できないことがあります。ラベルの文字数を減らすか、文章の内容を 2 組に分けるなど指定をし直してください。
- 「拡大印刷」は通常の印刷内容を 2 倍、3 倍、4 倍にする機能です。そのため、定長印刷を指定した場合に「拡大印刷」をおこなうと、指定した長さの 2 倍、3 倍、4 倍のラベルが印刷されます。
- 画面に表示されるテープの長さは、通常の印刷時の長さです。「拡大印刷」で印刷すると、表示される長さの 2 倍、3 倍、4 倍の長さのラベルが印刷されます。

拡大印刷	テープ幅	テープ長さ	使用するテープ量
2 倍印刷	約 2 倍	約 2 倍	約 4 倍
3 倍印刷	約 3 倍	約 3 倍	約 9 倍
4 倍印刷	約 4 倍	約 4 倍	約 16 倍

例えば「3 倍印刷」で印刷をおこなうと、(印刷)ボタンによる通常の印刷に比べて、幅が約 3 倍、長さが約 3 倍のラベルになるので、使用するテープ量は約 9 倍になります。

!! 注意 !!

特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。(印刷)ボタンでは通常の印刷がおこなわれます。

参考

カラフルな 3 倍印刷

「3 倍印刷」の上中下をそれぞれ違う色の同じ幅のテープに印刷してカラフルなラベルを作ってみましょう。ただし違う色のテープで印刷をおこなうと、長さが若干異なる場合があります。また、テープカートリッジを入れ換える際にはテープをセットしたあとに、必ずテープ送りをおこなってください。

鏡文字を印刷する

入力した文字を鏡像反転させて印刷します。

●鏡文字印刷

する（鏡像）



しない（正像）

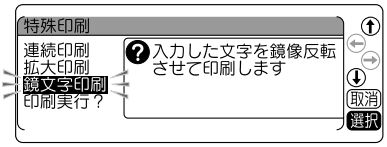


例 ：鏡文字を印刷をする

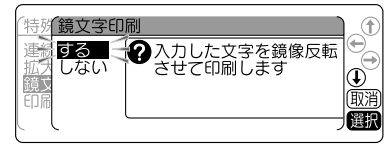
❶ 文章を入力し、(特殊印刷)を押す

「特殊印刷」メニューが表示されます。

❷「鏡文字印刷」を選び、[選択]を押す

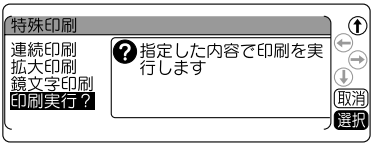


❸「する」を選び、[選択]を押す



「特殊印刷」メニューに戻ります。

❹「印刷実行？」を選び、[選択]を押す



ラベルが鏡像で印刷されます。

MEMO

- 操作の途中で(削除取消)または(特殊印刷)を押すと、1つ前の状態に戻ります。(ホーム)を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 印刷を途中でやめるときは(削除取消)を押してください。
- 転写テープがセットされているときは、印刷時に転写印刷を選択できるため、鏡文字印刷を指定する必要はありません。

参照 P.168「転写テープを印刷する」

!!注意!!

特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。(印刷)ボタンでは通常の印刷がおこなわれます。

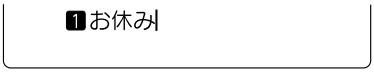
読みのわからない漢字を入力する（コード入力）

「読み」のわからない漢字を、コードで入力できます。
入力できるコードの種類は区点コード・JIS コード・シフト JIS コードです。

本書には区点コード表を掲載しております。JIS コード・シフト JIS コードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。
参照☞ P.178「漢字変換表」

例 ：「お休み處」と入力する

❶ 仮確定文字がないことを確認する



❷ 入力したい漢字「處」のコードを調べる
コードの種類は区点コード、JIS コード、シフト JIS コードのいずれでもかまいません。
處…4961（区点コード）
参照☞ P.178「漢字変換表」

❸ シフトを押しながらあ･ア･A（＝コード入力）を押す
コード入力画面になります。



MEMO
仮確定文字があるときは、シフトを押しながらあ･ア･Aを押してもコード入力画面にならず、仮確定文字が変換されます。文字を確定したあとにおこなってください。

❹ コードを入力する
4、9、6、1を押します。
最後の数字を押すと、コードに対応した漢字の候補が表示されます。



コードを入力すると、目的の文字以外の文字も表示されることがあります。例えば4961 は区点コードでは「處」ですが、JIS コードでは「普」です。このように異なるコードにも対応した漢字があるときは、候補が複数表示されます。

MEMO
コードの入力を間違えたときは削除/取消を押して入力しなおしてください。

❺ 「處」を選び、選択を押す
カーソル位置に「處」が入力されます。



印刷設定 / 編集設定 / 環境設定

シフトを押しながら復活（＝設定）を押すと、印刷や表示などの保存値を変更できます。

設定メニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
印刷設定 ▶	**自動カット** ▶ **自動カット** 印刷時の自動カットの有無を設定します。 参照 P.152	自動カット **する** ▶ しない	ハーフカット **する** しない
	印刷濃度 ▶ **印刷濃度** 印刷の濃さを設定します。 参照 P.154	-3 ～ **0** ～ +3	
	リセット ▶ **リセット** 自動カットと印刷濃度を初期設定値にします。 参照 P.154	**実行？**	
編集設定 ▶ **編集設定** 編集機能の保存値を設定します。 参照 P.156	リセット ▶	**実行？**	
	定長印刷 ▶	詳細な項目を設定できます。設定方法は、通常の文章書式や文字モードなどと同じです。	
	地紋印刷 ▶		
	余白 ▶		
	文字サイズ ▶		
	割付け ▶		
	外枠・表組 ▶		
	縦・横 ▶		
	飾り字 ▶		
	斜体・強調 ▶		
	伸・縮 ▶		
	囲み・網 ▶		
	文字間 ▶		
	書体 ▶		
	終わり？		

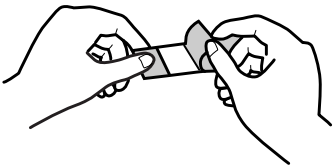
メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
環境設定 ▶	表示切換 ▶ **表示切換** 印刷イメージの表示サイズを設定します。 **参照** P.157	印刷イメージ無 印刷イメージ小 **印刷イメージ大**	
	表示濃度 ▶ **表示濃度** 画面表示の濃さを設定します。 **参照** P.157	-5 ～ **0** ～ +5	
	バックライト ▶ **バックライト** 液晶ディスプレイのバックライトを ON/OFF します。 **参照** P.158	**ON** OFF	
	学習初期化 ▶ **学習初期化** 文字入力の学習内容を初期化します。 **参照** P.158	**実行？**	
	電池種類 ▶ **電池種類** 使用する電池の種類を設定します。 **参照** P.159	**アルカリ乾電池** ニッケル水素電池	

印刷設定を変更する

印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する

本機には、印刷時に、ラベルを自動的にカットする「自動カット」と、ラベル部分にスリットを入れ、はがしやすくする「ハーフカット」機能があります。

ハーフカットを有効にして印刷すると、ラベル部分にスリットが入るので、はがしやすくなります。ハーフカットが有効になっているときは、ハーフカットランプが点灯します。



!! 注意 !!

- 本機のカッターでカットできない耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・蓄光ラベル・りぼんを使う場合は、自動カットを無効にして印刷してください。
  参照 P.167「テープカートリッジを使いわける」
- ハーフカットのできない耐熱ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・ロングテープ・上質紙ラベル・ケーブル表示ラベル・蓄光ラベル・りぼんを使う場合は、ハーフカットを無効にして印刷してください。
  参照 P.167「テープカートリッジを使いわける」
- 転写テープは自動でハーフカットが無効になります。

自動カットとハーフカットを無効にする

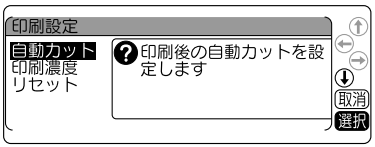
❶ シフトを押しながら 復活（＝設定）を押す

「設定」メニューが表示されます。

❷「印刷設定」を選び、選択を押す

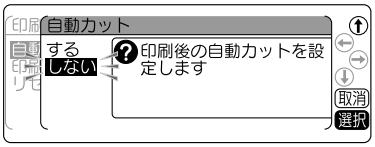
「印刷設定」メニューが表示されます。

❸「自動カット」を選び、選択を押す



「自動カット」が表示されます。

❹「しない」を選び、選択を押す

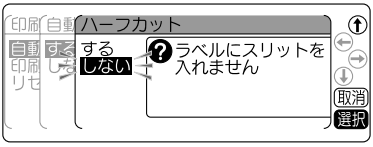


自動カットとハーフカットが無効に設定され、テキスト画面に戻ります。

自動カットを有効、ハーフカットを無効にする

左の手順❹で「する」を選ぶと自動カットは有効となり、「ハーフカット」メニューが表示されます。手順❺の操作をおこなってください。

❺「しない」を選び、選択を押す



ハーフカットのみ無効に設定され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- 自動カットとハーフカットをともに有効にする場合は、手順❹、❺で「する」を選びます。
- 操作の途中で削除/取消または復活を押すと、1 つ前の状態に戻ります。ホームを押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 自動カットなしで印刷したラベルは、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを 3 mm 程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
- 自動カットが無効でも、「テープ送り」メニューの「送りカット」ではテープをカットすることができます。
  参照☞ P.30「5. テープ送りをする」
- ハーフカットを無効にしている場合は、長さ約 20mm 以下のラベルは印刷できません。ハーフカットが有効の場合は、長さ 8mm 以上のラベルを印刷できます。
- フラッグ（縦横）を印刷する場合、ハーフカットを「しない」に設定すると「定長の指定が短すぎます　定長を解除して実行しますか？」とメッセージが出て 20mm 幅のテープが出ます。ハーフカット「あり」をおすすめします。
- 地紋印刷時、または余白が以下の条件のときにハーフカットが無効になっていると、印刷前にテープが約 20mm カットされます。
  - 余白が「極少」、「少なめ」の場合（全テープ幅）
  - 余白が「自動少なめ」の場合（36mm 幅テープ以外）
  - 余白が「自動多め」の場合（4mm、6mm 幅テープ）
- カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
  参照☞巻末「アフターサービスについて」

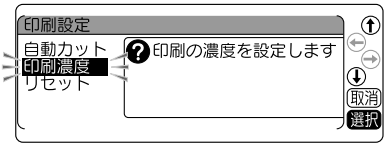
印刷濃度を調整する

印刷濃度は 7 段階で設定できます。印刷が薄いときや濃いときに調整してください。通常は「0」でご使用ください。

❶ シフトを押しながら(復活)（＝設定）を押す
「設定」メニューが表示されます。

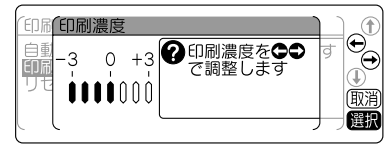
❷「印刷設定」を選び、選択を押す
「印刷設定」メニューが表示されます。

❸「印刷濃度」を選び、選択を押す



「印刷濃度」が表示されます。

❹ 濃度を調整し、選択を押す



印刷濃度が設定されます。

MEMO

- 本機は温度センサーを内蔵しており、印刷ヘッドの温度にあわせて印刷濃度が一定になるように自動調整されます。
- 印刷濃度を「0」以外に設定すると、電池の消耗が激しくなったり、印字がつぶれたりカスレたりすることがあります。また、まれにラベルの文字がはがれやすくなることがありますのでご注意ください。
- 操作の途中で(削除 取消)または(復活)を押すと、1 つ前の状態に戻ります。(ホーム)を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 耐熱ラベルを使う場合や、上質紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル・蓄光ラベルで印字がカスレた場合は「＋ 3」に設定してください。

参照 P.167「テープカートリッジを使いわける」

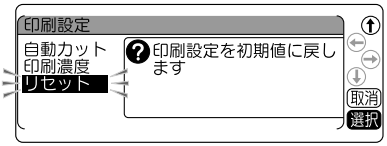
印刷設定をリセットする

自動カットと印刷濃度の設定をご購入時の状態（初期設定値）に戻します。

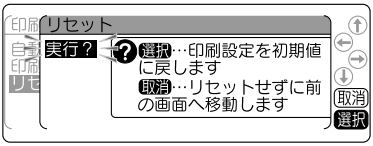
❶ シフトを押しながら(復活)（＝設定）を押す
「設定」メニューが表示されます。

❷「印刷設定」を選び、選択を押す
「印刷設定」メニューが表示されます。

❸「リセット」を選び、選択を押す



❹「実行？」を選び、選択を押す



自動カットと印刷濃度の設定が初期設定値になります。

MEMO

操作の途中で(削除 取消)または(復活)を押すと、1 つ前の状態に戻ります。(ホーム)を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

編集設定を変更する

編集機能の保存値を設定する

「書体」や「余白」などの保存値を変更することができます。

本機では編集ボタンを使って、次のような機能を指定することができます。

編集ボタンの機能

機能の分類	指定できる機能
文章書式	地紋印刷、定長印刷、余白
段落スタイル	文字サイズ、割付け、外枠・表組、縦・横
文字モード	飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間、書体

各機能を選ぶと、選択肢が表示されます。表示されたときに選ばれている選択肢が保存値です。よく使う「書体」や「余白」などが、ご購入時の保存値（「初期設定値」と呼びます）とは異なる場合、「編集設定」で保存値を変更しておくと、文章を作るたびに編集ボタンで変更する必要がなくなります。
ラベルには保存値の内容が自動的に反映されるので、例えば、「縦・横」の保存値を「たて書き」に指定しておくと、通常は「たて書き」のラベルになります。

なお、変更した保存値は、編集設定のリセットによって、いつでも初期設定値に戻すことができます。

MEMO

- 各機能の初期設定値については P.67「編集メニュー一覧」を参照してください。
- 編集ボタンでの指定内容は、全文消去をおこなうと保存値に戻りますが、地紋印刷の文字地紋 / 創作地紋データのみは本機内部に保存され、ほかの文章でも使用することができます。
- ファイルに登録された内容は、ファイル登録時の指定が反映されます。「印刷履歴」で呼び出した内容は、印刷時の指定が反映されます。

!! 注意 !!

保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。
参照 P.50「すべての文章を消去する」

保存値を変更する

❶ シフトを押しながら削除/取消（＝消去）を押し、全文消去をおこなう

!! 注意 !!

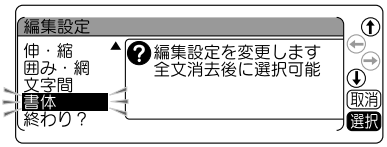
保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。
参照☞ P.50「すべての文章を消去する」

❷ シフトを押しながら復活（＝設定）を押す

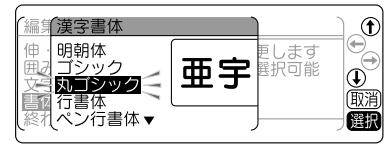
❸「編集設定」を選び、選択を押す

「編集設定」メニューが表示されます。

❹「編集設定」メニューの変更したい項目を選び、選択を押す

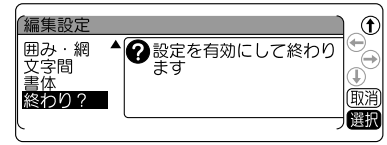


❺ 保存値に設定したい選択肢を選び、選択を押す



各項目の設定方法は、通常の文章書式や文字モードなどと同じです。
参照☞P.64「ラベルの見栄えをよくする（編集）」

❻ 変更したいすべての項目の設定が終わったら、「編集設定」メニューから「終わり？」を選び、選択を押す



保存値が変更され、テキスト画面に戻ります。

保存値を初期設定値に戻す

変更した保存値の設定を、ご購入時の保存値（初期設定値）に戻します。

❶ シフトを押しながら削除/取消（＝消去）を押し、全文消去をおこなう

!! 注意 !!

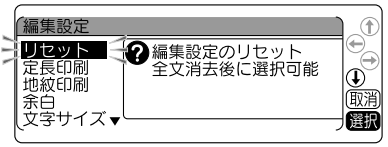
保存値の設定を初期設定値に戻すときには、全文消去をする必要があります。
参照☞ P.50「すべての文章を消去する」

❷ シフトを押しながら復活（＝設定）を押す

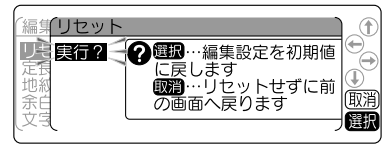
❸「編集設定」を選び、選択を押す

「編集設定」メニューが表示されます。

❹「編集設定」メニューの「リセット」を選び、選択を押す



❺「実行？」を選び、選択を押す



編集の保存値が初期設定値に戻ります。

MEMO

操作の途中で削除/取消または復活を押すと、1つ前の状態に戻ります。ホームを押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

環境設定を変更する

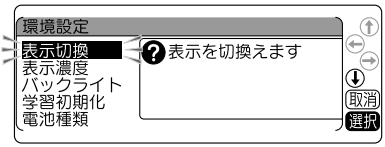
表示切り換え

テキスト画面の印刷イメージのサイズと表示できる行数を変更できます。

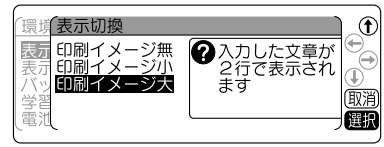
❶ シフトを押しながら(復活)（＝設定）を押す
「設定」メニューが表示されます。

❷「環境設定」を選び、選択を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

❸「表示切換」を選び、選択を押す



❹ 印刷イメージの設定を選び、選択を押す



印刷イメージ無 ： 印刷イメージがなく、入力した文章のみ 5 行表示します。
印刷イメージ小 ： 印刷イメージを小さく表示し、入力した文章を 3 行表示します。
印刷イメージ大 ： 印刷イメージを大きく表示し、入力した文章を 2 行表示します。

印刷イメージが設定されます。

MEMO

- 操作の途中で(削除 取消)または(復活)を押すと、1 つ前の状態に戻ります。(ホーム)を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 表示切換は、全文消去や電源 OFF では初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。
参照 P.160「本機を初期化する」

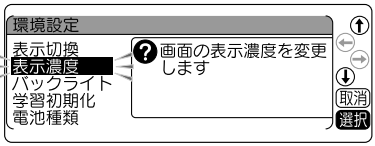
ディスプレイの濃度を調整する

ディスプレイの表示濃度は 11 段階で設定できます。ディスプレイの表示が見にくい場合は、次の手順で調整します。

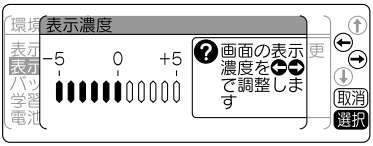
❶ シフトを押しながら(復活)（＝設定）を押す
「設定」メニューが表示されます。

❷「環境設定」を選び、選択を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

❸「表示濃度」を選び、選択を押す



❹ ←→で濃度を調整し、選択を押す
初期設定値は「0」に設定されています。



表示濃度が設定され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- 操作の途中で(削除 取消)または(復活)を押すと、1 つ前の状態に戻ります。(ホーム)を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 表示濃度は、電源 OFF では初期設定値に戻りません。この操作によって設定し直すか、本機の初期化をおこなってください。
参照 P.160「本機を初期化する」

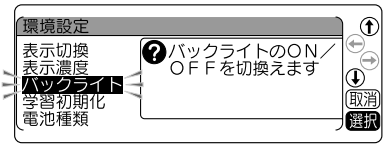
バックライトの切り換え

ディスプレイのバックライトは ON/OFF できます。バックライトを ON にすると表示が見やすくなりますが、単 3 形アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池で使用するときなどは、OFF にすると電池を節約できます。

❶ シフトを押しながら(復活)（＝設定）を押す
「設定」メニューが表示されます。

❷「環境設定」を選び、選択を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

❸「バックライト」を選び、選択を押す



❹ ON/OFF を選び、選択を押す



初期設定値は「ON」に設定されています。バックライトが設定され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- 仮確定文字があるときは操作できません。
- 操作の途中で(削除 取消)または(復活)を押すと、1 つ前の状態に戻ります。(ホーム)を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- バックライトは、全文消去や電源 OFF では初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。
参照 P.160「本機を初期化する」

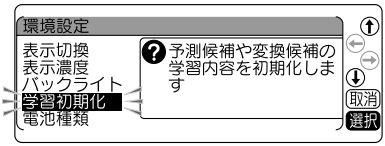
学習内容を初期化する

文字入力のときの予測候補や変換候補の学習内容を初期化します。

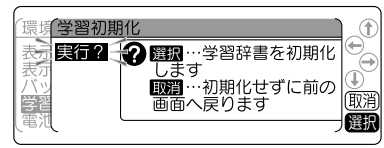
❶ シフトを押しながら(復活)（＝設定）を押す
「設定」メニューが表示されます。

❷「環境設定」を選び、選択を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

❸「学習初期化」を選び、選択を押す



❹ 選択 改行を押す



学習内容が初期化されます。

MEMO

- 仮確定文字があるときは操作できません。
- 操作の途中で(削除 取消)または(復活)を押すと、1 つ前の状態に戻ります。(ホーム)を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- ファイル・印刷履歴・あて名・名前・外字データは初期化されません。
参照 P.160「本機を初期化する」

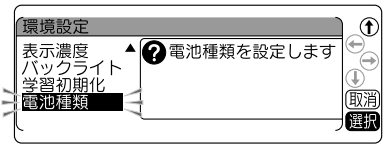
電池種類を設定する

本機では単 3 形アルカリ乾電池の他に、充電式ニッケル水素電池（単 3 形）もご使用頂けます。充電式ニッケル水素電池（単 3 形）をご使用になる際には電池設定を「ニッケル水素電池」に変更してください。

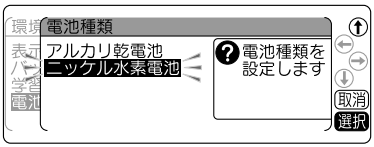
❶ シフトを押しながら(復活)（＝設定）を押す
「設定」メニューが表示されます。

❷「環境設定」を選び、選択を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

❸「電池種類」を選び、選択を押す



❹「ニッケル水素電池」を選び、選択を押す



初期設定値は「アルカリ乾電池」に設定されています。
電池種類が設定されます。

MEMO

- 仮確定文字があるときは操作できません。
- 操作の途中で(削除 取消)または(復活)を押すと、1 つ前の状態に戻ります。(ホーム)を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 再び「アルカリ乾電池」を使用する際には、同じ手順で「アルカリ乾電池」を設定してください。
- 電池種類は、全文消去や電源 OFF では初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。
参照☞ P.160「本機を初期化する」

!! 注意 !!

電池種類で設定した電池を使用していないときには、電池の寿命が短くなったり、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないことなどがあります。
参照☞ P.24「2. 電池（別売）を入れて使用するときは」

本機を初期化する

!! 注意 !!

- 本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の要因で不具合を起こすことがあります。
- 不具合によって、表示が乱れたり電源の ON/OFF ができないなど、正常に動作しなくなった場合は、下記の手順で「本機の初期化」をおこなってください。
- 初期化をすれば正常に使えるようになりますが、万一、初期化をおこなっても正常に動作しない場合には、お買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店に修理を依頼してください。
  なお、初期化や、修理・検査をおこなうと、ファイルのデータや外字のデータなど、すべての登録内容や学習内容が失われ、復元はできません。あらかじめご了承ください。

初期化とは

初期化の操作により、本機の設定がすべてご購入時の状態に戻ります。
初期化をおこなう前に、充分に確認してください。

内容 ＼ 機能		初期化	編集設定のリセット（P.156）	印刷設定のリセット（P.154）	全文消去（P.50）	ビジネスフォームでの全文消去（P.99）	電源 OFF（P.46）
入力	テキスト画面の文章	●	－*1	－	●	－	－
	コピーした内容	●	－	－	－	－	●
	地紋データ	●	－	－	－	－	－
	ビジネスフォームの文章	●	－	－	－	●	－
	入力状態と小文字ロック	●	－	－	－	－	－
データ	ファイルデータ	●	－	－	－	－	－
	印刷履歴	●	－	－	－	－	－
	あて名データ	●	－	－	－	－	－
	名前データ	●	－	－	－	－	－
	辞書データ	●	－	－	－	－	－
	外字データ	●	－	－	－	－	－
設定	自動カットの設定値	●	－	●	－	－	－
	印刷濃度の設定値	●	－	●	－	－	－
	表示濃度の設定値	●	－	－	－	－	－
	編集設定の保存値	●	●	－	－	－	－

● ： ご購入時の状態に戻ります。
－ ： 保持されます。
*1 ： 編集設定のリセットをおこなうときには、全文消去をする必要があります。

初期化する

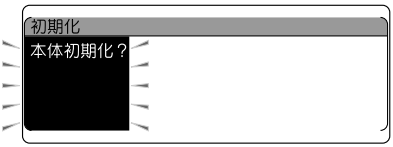
❶ (ON/OFF)（ON/OFF）ボタンを押して電源を切る

!! 注意 !!

(ON/OFF)（ON/OFF）ボタンを押しても電源が切れないときには、AC アダプターを抜いて電池も抜きます。次にもう一度 AC アダプターを接続、または電池をセットし、再度(ON/OFF)（ON/OFF）を押して電源を入れます。
以降は手順❶からの操作で初期化してください。

❷ 選択 改行と削除 取消を押しながら(ON/OFF)（ON/OFF）ボタンを押す

「本体初期化？」が点滅します。



!! 注意 !!

- 初期化をやめるときは 選択 以外のボタンを押してください。
- 本当に初期化しても大丈夫ですか？
  今まで登録したファイル・外字・辞書など、あらゆるデータや学習内容が消去されます。初期化をおこなう前に、充分に確認してください。

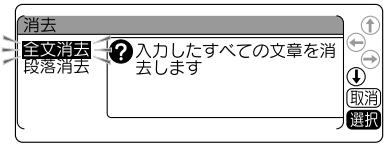
❸ 選択を押す

「初期化中」と表示され、本機の初期化がおこなわれた後、タイトル画面、ローマ字入力モードが表示され、テキスト画面になります。

デモ印刷をする

本機が正しく動くかどうか、デモ印刷をして確認することができます。また、書体など本機の機能を参照することができます。

❶ シフトを押しながら削除（＝消去）を押し、全文消去をおこなう



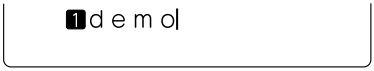
!! 注意 !!

デモ印刷をおこなう前には、全文消去をする必要があります。

参照☞ P.50「すべての文章を消去する」

❷「demo」と入力する

参照☞ P.38「2. 英数字を入力する」



❸ シフトを押しながら変換 スペースを押す

デモ印刷がおこなわれます。

!! 注意 !!

- 4mm 幅テープではデモ印刷できません。
- ご使用中に「故障かな？」と思ったときは、このデモ印刷をおこなってください。デモ印刷が見本どおりに印刷されないときは、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照☞ 巻末「アフターサービスについて」

MEMO

印刷を途中でやめるときは削除を押してください。

見本

6mm 幅テープ



18mm 幅テープ



18mm 幅テープの見本は縮小しています。

付録

メニュー一覧

各ボタンで表示される機能は、該当ページを参照してください。

ボタン	機能名	参照ページ
シフト＋印刷	テープ送り	P.166
特殊印刷	特殊印刷	P.144
ファイル	ファイル	P.103
シフト＋ファイル	フォーム	P.90
記号・絵	記号	P.165
シフト＋記号・絵	定型外国語	P.133
編集	編集	P.67
シフト＋編集	連番・QR・バーコード	P.136
シフト＋復活	設定	P.150
シフト＋削除取消	消去	P.166

記号メニュー一覧

(記号・絵)を押すと、記号を入力できます（ 太字 は購入時の初期設定値です）。

メニュー		最初の選択肢	次の選択肢
記号			
外字呼出 登録した外字を入力します。 参照☞ P.130	外字呼出 ▶	外字選択 ▶	**平滑化** **する** しない
	記述	記号選択 参照☞ P.186「記号一覧表」	
	省略 ▶		
	カッコ ▶		
	矢印 ▶		
	図形 ▶		
	単位 ▶		
	算数 ▶		
	数字 ▶		
2 桁数字 2 桁の数字を 1 文字として入力します。 参照☞ P.63	2 桁数字 ▶	数値入力	
	ギリシャ ▶	記号選択 参照☞ P.186「記号一覧表」	
	ロシア ▶		
	欧州 ▶		
	仕事 ▶		
	公共用 ▶		
	環境 ▶		
	荷物 ▶		
	スポーツ ▶		
	遊び ▶		
	映画 ▶		
	音楽 ▶		
	生き物 ▶		
	乗り物 ▶		
	食べ物 ▶		
	予定 ▶		
	暮らし ▶		
	家族 ▶		
	星座 ▶		
	案内用 ▶		
	お店 ▶		
	建設 ▶		
	病院 ▶		
編集 全角スペースや縦罫線を入力します。 参照☞ P.40、79	編集 ▶		
合成 合成文字を作成します。 参照☞ P.42	合成 ▶		

テープ送りメニュー一覧

シフトを押しながら印刷（＝テープ送り）を押すと、テープ送りや送りカットを実行できます（ 太字 は購入時の初期設定値です）。

メニュー

テープ送り

テープ送り
テープ送りを実行します。
参照 P.30

テープ送り
送りカット

消去メニュー一覧

シフトを押しながら削除/取消（＝消去）を押すと、文章全体または段落全体を消去できます（ 太字 は購入時の初期設定値です）。

メニュー

消去

消去
文章または段落を消去します。
参照 P.50、55

全文消去
段落消去

付録

テープカートリッジを使いわける

使用するテープ種類に合わせて、下記の通り対応してください。

	テープ種類	設定方法
オートカッター使用禁止	耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・蓄光ラベル・りぼん	①カッターの刃の磨耗を防ぐため、「自動カット」無効で印刷する。②本機からテープカートリッジを取り出す。③カートリッジ側にテープを3mm（りぼんの場合は10mm）程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットする。 **参照☞ P.152「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」**
ハーフカット禁止	耐熱ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・熱収縮チューブ・ロングテープ・上質紙ラベル・転写テープ・ケーブル表示ラベル・蓄光ラベル・りぼん	「ハーフカット」無効で印刷する。 **参照☞ P.152「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」**
オートトリマー使用禁止	耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・熱収縮チューブ・上質紙ラベル・マスキングテープ「mt」ラベル・蓄光ラベル・りぼん	トリマーにラベルを差し込まない。
印刷濃度の調整が必要	耐熱ラベル	印刷濃度を「＋3」に設定して印刷する。
	上質紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル・蓄光ラベル	印刷がカスレた場合、印刷濃度を「＋3」に設定して印刷する。 **参照☞ P.154「印刷濃度を調整する」**
鏡文字の設定が必要	アイロン転写テープ	鏡文字を「する」に設定して印刷する。

テープカートリッジの詳しい使用方法は、テープカートリッジのパッケージおよび同梱されている取扱説明書をご覧ください。

!! 注意 !!

テープを本機にセットしたら、必ず一度「テープ送り」をしてテープやインクリボンのたるみをとってください。

参照☞ P.30「5. テープ送りをする」

MEMO

- アイロンラベル・アイロン転写テープをご使用の際は、アイロンをご用意ください。
- 熱収縮チューブをご使用の際は、工業用ドライヤーをご用意ください。
- マスキングテープ「mt」ラベルは素材の性質上、一般的な「テプラ」テープに比べ、印刷がカスレやすくなっています。本機の印刷濃度を変えることによりカスレ具合の調整は可能ですが、細かな文字や白抜き文字、網掛け、地紋の印刷などには不向きです。
- マスキングテープ「mt」ラベルはヘッド接触部のインクがテープに転写しないよう、印刷時以外は、カートリッジを本機から取り外してください。
- カットラベルは、本機では使用できません。

転写テープを印刷する

転写テープをセットしているときは、印刷時に転写印刷を指定できます。

❶ 転写テープのカートリッジを本機にセットする

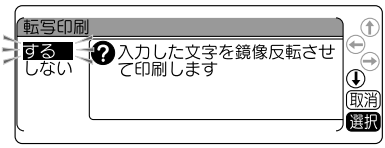
テープカートリッジをセットした直後は、シフトを押したまま印刷を押し、「テープ送り」または「送りカット」をしてください。

❷ 文字を入力する

❸ 印刷を押す

「転写印刷」メニューが表示されます。

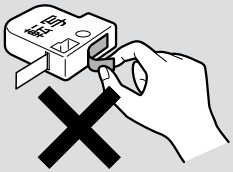
❹ 「する」を選び、選択を押す



上下逆さまになった「鏡像」で印刷されます。印刷終了後、テープは自動的にカットされます。

!! 注意 !!

- 本機では、転写テープの「識別シール」を読み取り、転写テープを認識します。「識別シール」をはがしたり、「識別シール」の上に余分なラベルを貼ると、間違って識別されることがあります。



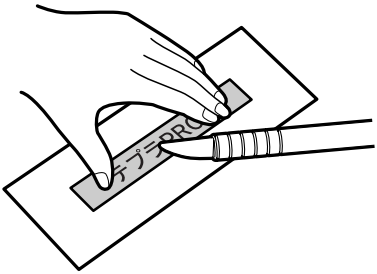
- テープを本機にセットしたら、必ず一度「テープ送り」または「送りカット」をしてインクリボンのたるみをとってください。
- 転写テープで転写印刷を「しない」で印刷すると、印刷結果が正像になります。このラベルを転写すると、転写結果が「鏡像」になりますのでご注意ください。
- 転写テープは自動でハーフカットが無効になります。
- 転写しやすいように、余白は自動的に多めに印刷されます。

転写テープの文字を転写する

❶ 机などの平面に転写する紙面をおき、紙面の上に転写テープを文字が正しく読める面を上にしておく

❷ テープの余白をしっかり押さえ、付属の転写スティックでテープの上から 1 文字ずつていねいにこする

❸ 上から見て、文字が白っぽく変わったら、転写完了



こんな表示が出たときは

エラーメッセージが表示されたときは

MEMO

同じエラーでも、画面の表示状態によってメッセージの表示が変わります。
参照☞ P.157「表示切り換え」

エラーメッセージ	原因・対処
電圧が低下しています 電池を交換してください	電池が消耗しました。電源を切り、すべての電池を新しい単 3 アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池に交換してください。または、電池の⊕⊖の向きが間違っている場合や、電池種類の設定が正しくない場合があります。また、できるだけ付属の AC アダプターを使用してください。 **参照☞ P.24「1. AC アダプターを接続する」** **参照☞ P.24「2. 電池（別売）を入れて使用するときは」** **参照☞ P.159「電池種類を設定する」**
上カバーを閉じてください！	電源が入っている状態で上カバーを開くと表示されます。 上カバーを閉じてください。
テープがありません！	テープカートリッジがセットされていません。電源を切ってテープカートリッジを正しくセットしてください。 **参照☞ P.27「3. テープカートリッジをセットする」**
印刷ヘッドが過熱！電源を切り、テープを抜いてしばらく放置してください	印刷を連続しておこなったために印刷ヘッドが過熱しています。電源を切り、テープカートリッジを抜いて、印刷ヘッドを冷やすためにしばらく放置してください。
行数オーバーです！	文章の行数が多すぎて、セットされているテープカートリッジでは印刷や印刷イメージの表示ができません。幅の広いテープカートリッジをセットするか、行数を減らしてください。 **参照☞ P.51「テープ幅と印刷できる行数」**
テープ幅が不足しています！	文章の行数が多すぎて、セットされているテープカートリッジでは印刷や印刷イメージの表示ができません。または、あて名印刷を 24mm・36mm 幅以外のテープで印刷しようとしました。幅の広いテープカートリッジをセットするか、行数を減らしてください。
入力した文章が長すぎます！	入力した文章が長すぎて、一度に印刷できるテープの長さ（16m）におさまりません。また、ビジネスフォームの定ピッチを使用している場合は、指定したピッチに対して入力した文章が長すぎます。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らすか、文字の大きさを小さくしてください。
連番・バーコードは 6 個までしか入力できません	連番とバーコードは、合わせて 6 個までしか入力できません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 **参照☞ P.137「連番を印刷する」** **参照☞ P.140「バーコードを印刷する」**
QR コードは 2 個までしか入力できません	QR コードは 2 個までしか入力できません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 **参照☞ P.142「QR コードを印刷する」**

エラーメッセージ	原因・対処
QR コードが大きすぎます！	QR コードが大きすぎます。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、QR コード入力中の文字サイズインジケーターを参考にして以下の操作をおこなってください。 • 幅の広いテープに交換する。 • 通常テキストの行数を減らす。 • QR コードの誤り訂正レベルを低くする。 • QR コードの文字数を減らす。 **参照☞ P.142「QR コードを印刷する」**
定型外国語は 12 個までしか入力できません	定型外国語マーク（J J、E E、C C、K K）で囲まれた定型外国語は、12 個までしか入力できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻ります。定型外国語以外の内容は呼び出されています。 **参照☞ P.134「定型外国語を使う」**
指定した特殊印刷はできません 拡大印刷や連続印刷の指定内容を変更してください	指定した拡大印刷や連続印刷の内容では、長すぎて一度に印刷できるテープの長さ（16m）におさまりません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、拡大印刷や連続印刷の指定内容を変更してください。 **参照☞ P.145「同じラベルを連続して印刷する（連続印刷）」** **参照☞ P.146「テープ幅より大きなラベルを作る（拡大印刷）」**
入力した文章が長すぎます 定長を解除して 実行しますか？	定長で指定した長さに文章がおさまりません。 いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らす、文字の大きさを小さくする、余白を少なくするなどの対処をおこなってください。このまま 選択 改行 を押すと、定長を解除してプレビューまたは印刷を強行します。 **参照☞ P.82「定長印刷」**
定長の指定が短すぎます 定長を解除して 実行しますか？	ハーフカット OFF で約 20mm 未満のラベルをプレビューまたは印刷をしようとしました。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、テープの長さを変更してください。 このまま 選択 改行 を押すと、定長を解除してプレビューまたは印刷を強行します。 **参照☞ P.152「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」**
メモリーがいっぱいです これ以上登録できません	ファイル・あて名・名前を登録するメモリーがいっぱいで、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要なファイル・あて名・名前を消去してください。 **参照☞ P.107「ファイルを消去する」** **参照☞ P.116「あて名を消去する」** **参照☞ P.122「名前を消去する」**
ファイルが登録されていません	ファイルが登録されていない状態で、ファイルの呼び出し、消去、複写、印刷の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 **参照☞ P.105「ファイルを登録する」**
ファイル印刷の長さが長すぎます 印刷候補を減らしてください	ファイル印刷候補（最大 5 件）すべてを印刷すると、一度に印刷できるテープの長さ（16m）におさまりません。いずれかのボタンを押してファイル印刷候補の選択メニューに戻り、ファイル印刷の候補数を減らしてください。

エラーメッセージ	原因・対処
印刷履歴がありません	印刷履歴がない状態で、印刷履歴の呼び出し、消去の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。
あて名が登録されていません	あて名が登録されていない状態で、あて名の修正、消去、複写、印刷の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 **参照☞ P.114「あて名を登録する」**
辞書の登録数がいっぱいです これ以上登録できません	辞書がいっぱいで、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要な辞書を消去してください。 **参照☞ P.126「登録した辞書を消去する」**
辞書に登録済みの語句です	辞書登録ですでに登録してある「語句・読み」をふたたび登録しようとしました。この場合は、その登録はおこなわれません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。
辞書が登録されていません	辞書が登録されていない状態で、辞書の修正、消去の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 **参照☞ P.124「変換できない語句を登録する（辞書の登録）」**
未入力の項目があるため 辞書に登録できませんでした	未入力の項目がある状態で、辞書を登録しようとしました。この場合は、その登録はおこなわれません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。
名前が登録されていません	名前が登録されていない状態で、名前の修正、消去、印刷の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 **参照☞ P.121「名前を登録する」**
外字が登録されていません	外字が登録されていない状態で、外字の修正、呼び出し、消去、複写の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 **参照☞ P.129「外字を作成し、登録する」** **参照☞ P.132「外字を参照作成し、登録する」**
外字の登録数がいっぱいです これ以上登録できません	外字の登録数がいっぱいで、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要な外字を消去してください。 **参照☞ P.131「外字を消去する」**

MEMO

表記以外のエラーメッセージが表示されたときは、当社お客様相談室までご相談ください。
参照☞巻末「アフターサービスについて」

故障かな？と思ったら

MEMO

パソコンと接続しているときの問題は、ラベルソフトの取扱説明書も参照してください。

正常な動作をしない

本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の原因で不具合を起こすことがあります。
不具合によって、表示が乱れたり電源の ON/OFF ができないなど、正常に動作しなくなったときは、本機の初期化をおこなってください。
参照☞P.160「本機を初期化する」

(ON/OFF)（ON/OFF）を押してもディスプレイに何も表示されない

- **AC アダプターはしっかりと接続されていますか？**
  本機の AC アダプター差込み口とコンセントにしっかりと接続してください。

- **電池は正しくセットされていますか？**
  電池の向きが⊕⊖逆にセットされていると電源は ON になりません。電池ケースの中に刻印されている向きに、正しくセットされているか確認してください。

- **専用 AC アダプター以外の AC アダプターを使用していませんか？**
  同梱の AC アダプター（AS1527J）以外の AC アダプターをご使用になると、本機の回路を損傷したり、過熱するなど大変に危険です。

- **電池が消耗していませんか？**
  消耗した電池を使用していると、電源が入らないことがあります。新しい電池と交換してください。

- **ディスプレイの表示濃度は適切ですか？**
  ディスプレイの表示濃度によっては表示が見えないときがあります。ディスプレイが見にくいときは、表示濃度を調整することができます。
  参照☞P.157「ディスプレイの濃度を調整する」

キーボードが動作しない

- **パソコンリンクランプが点灯し、ディスプレイに「PC 通信可能」と表示されていませんか？**
  パソコンリンクランプが点灯しているときは、パソコンからの操作が優先されます。「テプラ」本体でラベルを作るときは、シフト＋(ホーム)を押してパソコンリンクを解除してください。

ディスプレイが消える

- **オート・パワーオフ機能ではありませんか？**
  本機では、5 分間以上操作をしないと、電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します。（オート・パワーオフ）

- **操作を間違えませんでしたか？**
  本機では、ボタン操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。

(印刷)を押しても何も印刷されない

- **文章が入力されていますか？**
  テキスト画面やビジネスフォームに何も入力されていないと印刷はされません。

- **ディスプレイにメッセージが表示されていませんか？**
  エラーメッセージが表示されていると印刷されません。
  参照☞P.169「こんな表示が出たときは」
  準備中と表示されているときは、しばらくお待ちください。

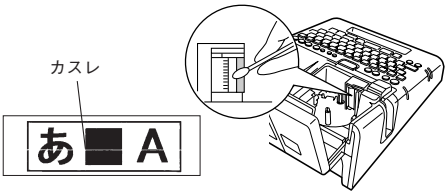
- **オートトリマーが動作中ではありませんか？**
  オートトリマー使用中は、印刷できません。

- **消耗していないテープカートリッジが正しくセットされていますか？**
  テープカートリッジのテープがなくなっていたり、上カバーが正しく閉じていないと印刷できません。テープカートリッジを正しくセットし、上カバーをしっかり閉じてください。

文字がきちんと印刷されない

● **テープカートリッジは正しくセットされていますか？**
テープカートリッジを正しくセットしていないと、きちんと印刷できません。
テープカートリッジを取り出し、もう一度手順にしたがってセットしてください。
参照☞P.27「3. テープカートリッジをセットする」

● **印刷ヘッドが汚れていませんか？**
印刷ヘッドにゴミ、ホコリなどが付着すると文字の一部がカスレることがあります。同梱のヘッド・クリーニングテープ（SR36C）または別売のヘッド・クリーニングキット（RC15）をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。
参照☞P.175「お手入れについて」



● **電池が消耗していませんか？**
電池が消耗すると「電圧が低下しています。新しい電池を正しくセットしてください！」が表示されます。速やかにすべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単３形×６本）と交換するか、同梱の AC アダプター（AS1527J）を使用してください。電池を交換せずに使いつづけると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。また電池種類を正しく設定してください。
参照☞P.159「電池種類を設定する」

ラベルを印刷後、オートカットされない

● **自動カットを「しない」に設定していませんか？**
印刷設定の自動カットを「しない」に設定すると、印刷後の自動カットはおこなわれません。
参照☞P.152「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」

● **カッターの刃が磨耗していませんか？**
カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照☞巻末「アフターサービスについて」

文章の途中までしか印刷されない

● **テープカートリッジにテープの残りがありますか？**
テープカートリッジのテープが終了している場合は、新品のテープカートリッジをセットしてください。
参照☞P.27「3. テープカートリッジをセットする」

● **電池が消耗していませんか？**
電池が消耗すると「電圧が低下しています。新しい電池を正しくセットしてください！」が表示されます。速やかにすべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単３形×６本）と交換するか、同梱の AC アダプター（AS1527J）を使用してください。電池を交換せずに使いつづけると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。また電池種類を正しく設定してください。
参照☞P.159「電池種類を設定する」

ハーフカットがうまくできない

● **ハーフカットは「する」になっていますか？**
印刷設定の自動カットでハーフカットを「しない」に設定すると、ハーフカットはおこなわれません。
参照☞P.152「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」

● **自動カット「しない」になっていませんか？**
印刷設定の自動カットが「しない」になっている場合はハーフカットも動作しません。
参照☞P.152「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」

● **ハーフカットのできないラベルを使用していませんか？**
本機のカッターでハーフカットできないラベルを使用している場合は、ハーフカットを「しない」に設定してください。
参照☞P.152「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」

● **ハーフカットの刃が磨耗していませんか？**
カッターは刃物ですので、長期間使い続けると、磨耗し、切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照☞巻末「アフターサービスについて」

オートトリマーでうまくカットできない

● **印刷中ではありませんか？**
テープ印刷中はオートトリマーが作動しません。

● **ラベルをトリマー差込み口にきちんと差し込んでいますか？**
ラベルをガイドに合わせず差し込むときれいにカットできません。ガイドに沿ってラベルを差し込んでください。
参照☞P.56「カドを丸く仕上げる」

● **切りクズがつまっていませんか？**
トリマーカバーをはずし、トリマーの切りクズを取り除いてください。
参照☞P.57「オートトリマーのお手入れ」

● **4mm、6mm 幅テープをカットしようとしていませんか？**
4mm、6mm 幅テープはオートトリマーでカットすることはできません。トリマー（RT36W）を使ってカットしてください。
参照☞P.11「別売品のご案内」

● **オートトリマーでカットのできないラベルを使用していませんか？**
本機のオートトリマーでカットできないラベルはオートトリマーに差し込まないでください。
参照☞P.56「カドを丸く仕上げる」

● **オートトリマーの刃が磨耗していませんか？**
オートトリマーの刃は、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。オートトリマーの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照☞巻末「アフターサービスについて」

ファイルの内容が消えてしまった

● **本機の初期化をしましたか？**
本機の初期化をおこなうと、ファイル·あて名·外字・辞書登録などのデータがすべて失われます。
参照☞P.160「本機を初期化する」

● **電源が入った状態で電池を交換していませんか？**
電池交換は、必ず電源を切ってからおこなってください。電源が入った状態で電池交換をおこなうと、登録したファイル·あて名·名前·外字・辞書などのデータがすべて失われることがあります。また電池種類を正しく設定してください。
参照☞P.159「電池種類を設定する」

● **動作中に AC アダプターや電池を抜きませんでしたか？**
ファイル登録時の「実行中」や印刷の「準備中」および「印刷中」、電源を切るときの「電源を切る準備をしています」が表示されているときに AC アダプターや電池を抜くと登録したファイル·あて名·名前·外字·辞書などのデータがすべて失われることがあります。

印刷履歴に記録されない

ＱＲコードを使った場合など、印刷したラベルの情報量によっては印刷履歴に記録されないこともあります。
参照☞P.142「QR コードを印刷する」

ラベルを貼り付けることができない

● **裏紙をはがしていますか？**
粘着タイプのラベルは、裏紙をはがして貼ってください。
参照☞P.45「7. ラベルを貼る」

● **貼る場所が汚れていたり、凹凸がありませんか？**
表面がザラザラしている場所や、ホコリ・油のついている場所には貼り付けられません。また、特殊な加工がしてある面や、特殊な材質の面には貼り付けられない場合があります。

MEMO

上記以外のときや、上記項目を確認しても改善しないときは、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照☞巻末「アフターサービスについて」

お手入れについて

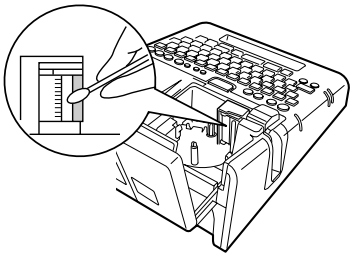
■ 本機外側の汚れ・ホコリは

乾いたやわらかな布で拭き取ってください。とくに、汚れがひどい場合は、固く絞ったぬれ布巾で拭き取ってください。ベンジン・シンナー・アルコールなどの溶剤・薬剤や化学ぞうきんの使用は絶対におやめください。

■ 印刷が欠けたりカスレたりする場合

印刷ヘッドにゴミがついていることがあります。同梱のヘッド・クリーニングテープ（SR36C）または別売のヘッド・クリーニングキット（RC15）をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。





ヘッド・クリーニングテープを使う

ヘッドクリーニングをおこなう

❶ ヘッド・クリーニングテープを本機にセットする

❷ シフトを押しながら印刷（= テープ送り）を押す

❸ 「テープ送り」を選び、選択 改行を押す

「テープ送り」の操作によりヘッド・クリーニングテープが送られ、印刷ヘッドがクリーニングされます。1 ～ 2 回 おこなってください。

参照☞ P.30「5. テープ送りをする」

‼注意‼

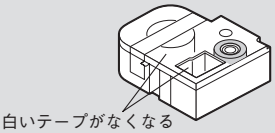
- 使用後は元の箱に入れて清潔な場所に保管してください。ホコリ・砂などの多い場所に放置すると、クリーニング性が低下するばかりか、印刷ヘッドを傷める原因になります。



- ヘッド・クリーニングテープで印刷をおこなわないでください。印刷をおこなうとヘッドを傷める原因となります。

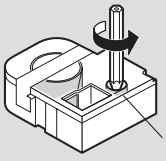


- 図のようにテープがすべて「巻き取りコア」に巻き取られたら、そのヘッド・クリーニングテープは終了です。テープ終了後に使用するとヘッドを傷めるおそれがありますので、ご使用にならないでください。



MEMO

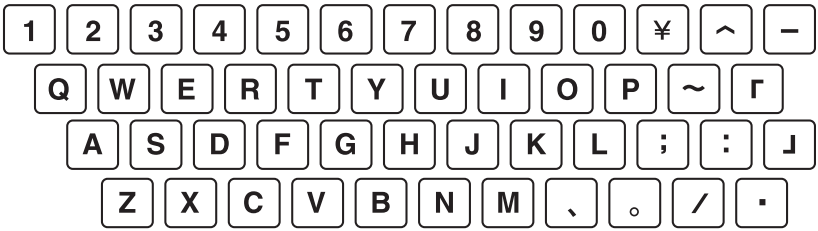
- 本機でご使用になるヘッド・クリーニングテープは SR36C をお使いください。
- テープは巻き取り式になっていますので、「テープカット」は不要です。
- テープがたるんでいる場合、図のように「巻き取りコア」を矢印方向に回してたるみをとってください。



- ヘッドクリーニングをおこなっても印刷が欠けたりカスレたりする場合、本機の故障が考えられます。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室にご相談ください。
- ヘッド・クリーニングテープは薄い材料で作られています。新品でも少なめにみえますが、約 120 回のクリーニングが可能です。

入力文字一覧表

文字ボタン配列



入力文字表

「大」はシフトを押していない状態、「小」はシフトを押した状態を表します。

ボタン	ローマ字		かな		ABC		ABC(半角)	
	大	小	大	小	大	小	大	小
1	1	!	ぬ	!	1	!	1	!
2	2	@	ふ	@	2	@	2	@
3	3	#	あ	ぁ	3	#	3	#
4	4	$	う	ぅ	4	$	4	$
5	5	%	え	ぇ	5	%	5	%
6	6	&	お	ぉ	6	&	6	&
7	7	’	や	ゃ	7	’	7	’
8	8	*	ゆ	ゅ	8	*	8	*
9	9	(	よ	ょ	9	(	9	(
0	0	)	わ	を	0	)	0	)
¥	¥	=	ほ	ほ	¥	=	¥	=
^	^	~	へ	へ	^	~	^	~
−	−	−	ー	ー	-	−	-	-
Q	Q	q	た	た	Q	q	Q	q
W	W	w	て	て	W	w	W	w
E	E	e	い	ぃ	E	e	E	e
R	R	r	す	す	R	r	R	r
T	T	t	か	か	T	t	T	t
Y	Y	y	ん	ん	Y	y	Y	y
U	U	u	な	な	U	u	U	u
I	I	i	に	に	I	i	I	i
O	O	o	ら	ら	O	o	O	o
P	P	p	せ	せ	P	p	P	p
~	~	÷	゛	~	~	÷	~	
「	「	{	゜	「	[	{	[	{

ボタン	ローマ字		かな		ABC		ABC(半角)	
	大	小	大	小	大	小	大	小
A	A	a	ち	ち	A	a	A	a
S	S	s	と	と	S	s	S	s
D	D	d	し	し	D	d	D	d
F	F	f	は	は	F	f	F	f
G	G	g	き	き	G	g	G	g
H	H	h	く	く	H	h	H	h
J	J	j	ま	ま	J	j	J	j
K	K	k	の	の	K	k	K	k
L	L	l	り	り	L	l	L	l
;	;	+	れ	れ	;	+	;	+
:	:	×	け	け	:	×	:	
」	」	}	む	」	]	}	]	}
Z	Z	z	つ	っ	Z	z	Z	z
X	X	x	さ	さ	X	x	X	x
C	C	c	そ	そ	C	c	C	c
V	V	v	ひ	ひ	V	v	V	v
B	B	b	こ	こ	B	b	B	b
N	N	n	み	み	N	n	N	n
M	M	m	も	も	M	m	M	m
、	、	,	ね	、	,	,	,	,
。	。	.	る	。	.	.	.	.
／	／	?	め	?	／	?	／	?
・	・	・	ろ	・	・	・		

注１ ： ボタン〜の「゛」とボタン「の「゜」は単独では入力、印刷できません。
注２ ： ボタン−で入力できる文字は次のとおりです。
ローマ字（大）、かな（大）：「ー」（長音）
ローマ字（小）、かな（小）、ABC（小）、ABC（半角）：「−」（マイナス）
ABC（大）：「-」（ハイフン）
注３ ： ボタン。の「.」はピリオドです。

漢字変換表

ここでは、区点コードを掲載しています。JIS コード・シフト JIS コードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。

参照☞ P.149「読みのわからない漢字を入力する（コード入力）」

!! 注意 !!

- 漢字変換表は JIS に基づき「音読み」で記載しています。本機の内蔵辞書は「音読み」もしくは「訓読み」だけを搭載している文字があり、「音読み」では変換できないことがあります。
  参照☞ P.149「読みのわからない漢字を入力する（コード入力）」
- 表にあげた文字と印刷される文字の字形が異なるものがあります。

JIS 第 1 水準

＊の欄の数字は区点コードの下 1 桁を表します。

	区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ア	1601 ～ 1609		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	1610 ～ 1619	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	1620 ～ 1629	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	1630 ～ 1639	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
	1640 ～ 1641	鞍	杏								
イ	1642 ～ 1649			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
	1650 ～ 1659	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
	1660 ～ 1669	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
	1670 ～ 1679	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	1680 ～ 1689	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
	1690 ～ 1694	引	飲	淫	胤	蔭					
	1701 ～ 1705		院	陰	隠	韻	吋				
ウ	1706 ～ 1709							右	宇	烏	羽
	1710 ～ 1719	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
	1720 ～ 1729	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
	1730 ～ 1732	云	運	雲							
エ	1733 ～ 1739				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
	1740 ～ 1749	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
	1750 ～ 1759	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
	1760 ～ 1769	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
	1770 ～ 1779	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	1780 ～ 1786	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
オ	1787 ～ 1789								於	汚	甥
	1790 ～ 1794	凹	央	奥	往	応					
	1801 ～ 1809		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
	1810 ～ 1819	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
	1820 ～ 1827	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
カ	1828 ～ 1829									下	化
	1830 ～ 1839	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	1840 ～ 1849	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
	1850 ～ 1859	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
	1860 ～ 1869	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
	1870 ～ 1879	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
カ	1880 ～ 1889	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
	1890 ～ 1894	恢	懐	戒	拐	改					
	1901 ～ 1909		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
	1910 ～ 1919	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
	1920 ～ 1929	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
	1930 ～ 1939	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
	1940 ～ 1949	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
	1950 ～ 1959	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
	1960 ～ 1969	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
	1970 ～ 1979	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	1980 ～ 1989	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竈	蒲	釜	鎌
	1990 ～ 1994	噛	鴨	栢	茅	萱					
	2001 ～ 2009		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
	2010 ～ 2019	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
	2020 ～ 2029	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
	2030 ～ 2039	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
	2040 ～ 2049	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
	2050 ～ 2059	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
	2060 ～ 2069	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
	2070 ～ 2074	贋	雁	頑	顔	願					
キ	2075 ～ 2079							企	伎	危	喜	器
	2080 ～ 2089	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
	2090 ～ 2094	旗	既	期	棋	棄					
	2101 ～ 2109		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
	2110 ～ 2119	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
	2120 ～ 2129	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
	2130 ～ 2139	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
	2140 ～ 2149	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
	2150 ～ 2159	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
	2160 ～ 2169	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	2170 ～ 2179	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	2180 ～ 2189	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
	2190 ～ 2194	禦	魚	亨	享	京					
	区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
キ	2201～2209		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
	2210～2219	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
	2220～2229	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
	2230～2239	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
	2240～2249	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
	2250～2259	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	2260～2268	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
ク	2269										九
	2270～2279	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	2280～2289	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	2290～2294	串	櫛	釧	屑	屈					
	2301～2309		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
	2310～2319	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
	2320	郡									
ケ	2321～2329		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
	2330～2339	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
	2340～2349	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
	2350～2359	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
	2360～2369	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
	2370～2379	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	2380～2389	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
	2390～2394	建	憲	懸	拳	捲					
	2401～2409		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
	2410～2419	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
	2420～2429	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
	2430～2434	絃	舷	言	諺	限					
コ	2435～2439						乎	個	古	呼	固
	2440～2449	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
	2450～2459	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
	2460～2469	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
	2470～2479	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	2480～2489	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
	2490～2494	効	勾	厚	口	向					
	2501～2509		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
	2510～2519	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
	2520～2529	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
	2530～2539	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	2540～2549	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
	2550～2559	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
	2560～2569	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
	2570～2579	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	2580～2589	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
	2590～2594	忽	惚	骨	狛	込					
	2601～2609		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
	2610～2618	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
サ	2619										些
	2620～2629	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
	2630～2639	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
	2640～2649	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
	2650～2659	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
	区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
サ	2660～2669	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	2670～2679	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	2680～2689	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
	2690～2694	鮭	笹	匙	冊	刷					
	2701～2709		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
	2710～2719	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
	2720～2729	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
	2730～2736	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
シ	2737～2739								仕	仔	伺
	2740～2749	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
	2750～2759	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
	2760～2769	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
	2770～2779	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	2780～2789	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
	2790～2794	字	寺	慈	持	時					
	2801～2809		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
	2810～2819	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
	2820～2829	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
	2830～2839	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
	2840～2849	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
	2850～2859	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
	2860～2869	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
	2870～2879	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	2880～2889	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
	2890～2894	綬	需	囚	収	周					
	2901～2909		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	2910～2919	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
	2920～2929	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
	2930～2939	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
	2940～2949	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
	2950～2959	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	2960～2969	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
	2970～2979	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	2980～2989	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
	2990～2994	恕	鋤	除	傷	償					
	3001～3009		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
	3010～3019	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
	3020～3029	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
	3030～3039	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
	3040～3049	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
	3050～3059	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
	3060～3069	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
	3070～3079	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	3080～3089	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
	3090～3094	醸	錠	嘱	埴	飾					
	3101～3109		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
	3110～3119	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
	3120～3129	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
	3130～3139	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
	3140～3149	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
	区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
シ	3150～3157	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
ス	3158～3159									笥	諏
	3160～3169	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
	3170～3179	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
	3180～3189	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
	3190～3194	椙	菅	頗	雀	裾					
	3201～3203		澄	摺	寸						
セ	3204～3209					世	瀬	畝	是	凄	制
	3210～3219	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
	3220～3229	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
	3230～3239	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
	3240～3249	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
	3250～3259	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
	3260～3269	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
	3270～3279	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
	3280～3289	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
	3290～3294	煽	旋	穿	箭	線					
	3301～3309		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	践
	3310～3319	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
	3320～3324	全	禅	繕	膳	糎					
ソ	3325～3329						噌	塑	岨	措	曾
	3330～3339	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
	3340～3349	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
	3350～3359	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
	3360～3369	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
	3370～3379	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	3380～3389	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
	3390～3394	霜	騒	像	増	憎					
	3401～3409		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
	3410～3419	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
	3420～3429	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
タ	3430～3439	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
	3440～3449	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
	3450～3459	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
	3460～3469	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
	3470～3479	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	3480～3489	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
	3490～3494	諾	茸	凧	蛸	只					
	3501～3509		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
	3510～3519	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
	3520～3529	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
	3530～3539	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
	3540～3544	暖	檀	段	男	談					
チ	3545～3549						値	知	地	弛	恥
	3550～3559	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
	3560～3569	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
	3570～3579	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	3580～3589	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
	3590～3594	丁	兆	凋	喋	寵					
	3601～3609		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
	区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
チ	3610～3619	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
	3620～3629	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
	3630～3636	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
ツ	3637～3639								津	墜	椎
	3640～3649	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
	3650～3659	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壺
	3660～3665	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
テ	3666～3669							亭	低	停	偵
	3670～3679	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	3680～3689	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	3690～3694	艇	訂	諦	蹄	逓					
	3701～3709		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
	3710～3719	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
	3720～3729	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
	3730～3737	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
ト	3738～3739									兎	吐
	3740～3749	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	3750～3759	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
	3760～3769	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	3770～3779	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	3780～3789	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
	3790～3794	答	筒	糖	統	到					
	3801～3809		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
	3810～3819	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
	3820～3829	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
	3830～3839	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
	3840～3849	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
	3850～3859	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
	3860～3863	頓	呑	曇	鈍						
ナ	3864～3869					奈	那	内	乍	凪	薙
	3870～3879	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	3880～3882	軟	難	汝							
ニ	3883～3889				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
	3890～3894	虹	廿	日	乳	入					
	3901～3907		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ヌ	3908									濡	
ネ	3909										禰
	3910～3919	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
	3920	粘									
ノ	3921～3929		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
	3930～3934	脳	膿	農	覗	蚤					
ハ	3935～3939						巴	把	播	覇	杷
	3940～3949	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
	3950～3959	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
	3960～3969	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
	3970～3979	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	3980～3989	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
	3990～3994	爆	縛	莫	駁	麦					
	4001～4009		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
	4010～4019	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
	区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ハ	4020～4029	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
	4030～4039	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
	4040～4049	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
	4050～4058	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ヒ	4059										匪
	4060～4069	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	4070～4079	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4080～4089	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
	4090～4094	枇	毘	琵	眉	美					
	4101～4109		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
	4110～4119	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
	4120～4129	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
	4130～4139	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
	4140～4149	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
	4150～4151	敏	瓶								
フ	4152～4159			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
	4160～4169	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	4170～4179	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4180～4189	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
	4190～4194	伏	副	復	幅	服					
	4201～4209		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
	4210～4219	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	4220～4225	粉	糞	紛	雰	文	聞				
ヘ	4226～4229							丙	併	兵	塀
	4230～4239	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
	4240～4249	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
	4250～4259	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
	4260	鞭									
ホ	4261～4269		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
	4270～4279	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4280～4289	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	4290～4294	抱	捧	放	方	朋					
	4301～4309		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
	4310～4319	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	4320～4329	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	4330～4339	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
	4340～4349	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
	4350～4359	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
	4360～4363	本	翻	凡	盆						
マ	4364～4369						摩	磨	魔	麻	埋	妹
	4370～4379	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
	4380～4389	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
	4390～4394	繭	麿	万	慢	満					
	4401～4402		漫	蔓							
ミ	4403～4409				味	未	魅	巳	箕	岬	密
	4410～4418	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
ム	4419										務
	4420～4428	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
メ	4429										冥
	4430～4439	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
メ	4440～4445	免	棉	綿	緬	面	麺				
モ	4446～4449							摸	模	茂	妄
	4450～4459	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
	4460～4469	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
	4470～4472	紋	門	匁							
ヤ	4473～4479				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	4480～4489	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
	4490	鑓									
ユ	4491～4494		愉	愈	油	癒					
	4501～4509		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
	4510～4519	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	4520～4528	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
ヨ	4529										予
	4530～4539	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
	4540～4549	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
	4550～4559	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
	4560～4568	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ラ	4569										羅
	4570～4579	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	4580～4587	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
リ	4588～4589									利	吏
	4590～4594	履	李	梨	理	璃					
	4601～4609		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
	4610～4619	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
	4620～4629	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
	4630～4639	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
	4640～4649	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
	4650～4659	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
ル	4660～4664	瑠	塁	涙	累	類					
レ	4665～4669						令	伶	例	冷	励
	4670～4679	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
	4680～4689	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
	4690～4694	漣	煉	簾	練	聯					
	4701～4703		蓮	連	錬						
ロ	4704～4709					呂	魯	櫓	炉	賂	路
	4710～4719	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
	4720～4729	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
	4730～4732	肋	録	論							
ワ	4733～4739				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
	4740～4749	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
	4750～4751	碗	腕								
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

JIS 第 2 水準

＊の欄の数字は区点コードの下 1 桁を表します。
従って「丼」の区点コードは「4807」となります。

区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4801 ～ 4809		弋	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
4810 ～ 4819	乖	乘	亂	亅	豫	事	舒	弍	于	亞
4820 ～ 4829	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
4830 ～ 4839	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
4840 ～ 4849	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
4850 ～ 4859	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
4860 ～ 4869	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
4870 ～ 4879	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
4880 ～ 4889	偃	假	會	偕	偐	偈	做	俸	俱	傚
4890 ～ 4899	傀	儆	傅	僵	僊	傑				
4901 ～ 4909		僉	僂	傳	僂	僮	僞	僞	僥	僭	僊
4910 ～ 4919	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚	儡
4920 ～ 4929	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	
4930 ～ 4939	兢	競	兩	兪	兮	冀	冂	冏	冊	冉	
4940 ～ 4949	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冠	冢	冩	冪	
4950 ～ 4959	冫	決	冱	冲	冰	況	冽	凅	凉	凛	
4960 ～ 4969	几	處	凩	凭	凰	凵	函	刃	刋	刔	
4970 ～ 4979	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌	
4980 ～ 4989	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劒	
4990 ～ 4999	劔	劒	劈	劑	辨						
5001 ～ 5009		辦	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	
5010 ～ 5019	勣	勦	勠	勢	勳	勵	勸	勹	匆	匈	
5020 ～ 5029	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	
5030 ～ 5039	匸	區	卆	卅	世	卉	卍	準	卞	卩	
5040 ～ 5049	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	
5050 ～ 5059	厰	厶	參	篡	雙	叟	曼	燮	叮	叨	
5060 ～ 5069	叭	叺	吁	吋	呀	听	吭	吼	吮	吶	
5070 ～ 5079	吩	吝	呎	咏	呵	咎	咳	呱	呷	呰	
5080 ～ 5089	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	唏	咸	
5090 ～ 5099	啀	咬	哄	哈	咨						
5101 ～ 5109		咫	哂	咤	唾	唄	哢	哥	哦	唏	
5110 ～ 5119	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌	
5120 ～ 5129	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	唯	啗	喙	
5130 ～ 5139	喀	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	
5140 ～ 5149	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嘖	
5150 ～ 5159	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	
5160 ～ 5169	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	噺	噬	噪	噤	
5170 ～ 5179	噂	噴	噸	噓	噓	噺	噛	噯	噫	噐	
5180 ～ 5189	噺	噛	噺	噂	噫	噺	噴	嚊	嚊	口	囘
5190 ～ 5199	圀	囘	囿	圄	圉						
5201 ～ 5209		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	
5210 ～ 5219	圻	圩	圷	圻	圻	址	坏	坩	垂	垈	坡
5220 ～ 5229	垉	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垉	埃	埒	
5235 ～ 5239	埔	埒	埒	埜	垉	埣	堋	埋	堝	塲	
区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5240 ～ 5249	堡	塢	塋	塗	毀	塒	堺	塹	墅	墹	
5250 ～ 5259	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	
5260 ～ 5269	壗	壙	壘	壜	壔	壞	壟	壯	壺	壹	
5270 ～ 5279	壻	壺	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	
5280 ～ 5289	夭	本	夸	夾	竸	奕	奐	奎	奚	奘	
5290 ～ 5299	奢	奩	奧	奬	奩						
5301 ～ 5309		奸	妁	妝	佞	佞	妣	妲	姆	姨	
5310 ～ 5319	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚	
5320 ～ 5329	婀	娙	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	婿	
5330 ～ 5339	婷	婦	媽	媾	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	
5340 ～ 5349	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	嬢	孀	
5350 ～ 5359	孃	孑	孕	孚	孛	孳	孩	孰	孱	孵	
5360 ～ 5369	學	孜	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉	
5370 ～ 5379	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶	
5380 ～ 5389	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	
5390 ～ 5399	尹	屁	屆	屎	屓						
5401 ～ 5409		屐	屏	孱	屬	屮	屹	岑	屹	峩	
5410 ～ 5419	岑	岔	妛	岫	岻	岼	岷	峅	峇	帖	
5420 ～ 5429	峙	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	
5430 ～ 5439	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	
5440 ～ 5449	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵩	嶇	嶄	嶂	
5450 ～ 5459	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶸	嶷	嶼	嶺	嶺	
5460 ～ 5469	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙	
5470 ～ 5479	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	
5480 ～ 5489	幟	幢	幣	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	
5490 ～ 5499	廁	廂	廈	廐	廏						
5501 ～ 5509		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	
5510 ～ 5519	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝	
5520 ～ 5529	彜	弋	弍	弓	弩	弭	弸	彁	彈	彌	
5530 ～ 5539	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	
5540 ～ 5549	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘	
5550 ～ 5559	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	
5560 ～ 5569	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛	
5570 ～ 5579	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恣	悁	
5580 ～ 5589	悒	悧	悩	悚	悸	恤	悁	悒	括	恫	恙
5590 ～ 5599	悁	悍	惧	悃	悚						
5601 ～ 5609		悄	悛	悖	悗	悃	悚	悋	惡	悸	
5610 ～ 5619	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	
5620 ～ 5629	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	
5630 ～ 5639	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	慇	
5640 ～ 5649	愴	慱	慥	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫	
5650 ～ 5659	慴	慯	慌	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	
5660 ～ 5669	憇	憬	憔	憺	憊	憑	憫	憮	懌	懊	
5670 ～ 5679	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懽	懦	
5680 ～ 5689	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	
5690 ～ 5699	戉	戊	戌	戛	戞						
5701 ～ 5709		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	
5710 ～ 5719	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒	
5720 ～ 5729	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	
5730 ～ 5739	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	
区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

付録

区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5740～5749	挌	拮	拱	翔	挂	挈	拯	拵	捐	挟
5750～5759	捍	捜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
5760～5769	掉	掟	掄	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
5770～5779	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
5780～5789	攝	搗	搦	搏	摧	攀	摶	摎	攪	撕
5790～5799	撓	撥	撩	撈	撼					
5801～5809		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
5810～5819	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
5820～5829	擺	攀	攅	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
5830～5839	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
5840～5849	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
5850～5859	斷	旆	旋	旁	旄	旌	旋	旛	旙	无
5860～5869	无	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
5870～5879	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
5880～5889	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
5890～5899	暹	暾	暁	暸	暫					
5901～5909		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
5910～5919	曳	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
5920～5929	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
5930～5939	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
5940～5949	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
5950～5959	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
5960～5969	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
5970～5979	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	棊	梓
5980～5989	梵	桾	棔	棯	椏	椢	棹	棠	棯	椶
5990～5999	椢	棆	棡	椌	棍					
6001～6009		棔	棧	椶	椶	椒	椄	棗	棣	椥
6010～6019	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椀	椥	棼	椹
6020～6029	棣	椥	棔	椹	椋	椁	椙	棯	椶	椽
6030～6039	棆	椰	榆	椋	楝	椄	楪	楹	榮	槐
6040～6049	榿	槁	槓	榠	榛	榮	槳	榻	榻	槃
6050～6059	榧	樮	槫	榠	榜	榕	榴	槞	榔	樂
6060～6069	樛	槿	權	槔	樹	槧	榿	槻	樞	槭
6070～6079	樔	槫	樊	榛	槾	樣	樓	橾	橸	橲
6080～6089	橇	橸	橲	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
6090～6099	檍	檠	檄	檢	檣					
6101～6109		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫺
6110～6119	櫑	橾	櫟	櫚	櫪	櫻	欅	蘗	櫨	櫟
6120～6129	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
6130～6139	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
6140～6149	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
6150～6159	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
6160～6169	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
6170～6179	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
6180～6189	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
6190～6199	泅	泝	沮	沱	沾					
6201～6209		泅	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
6210～6219	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
6220～6229	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
6230～6239	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6240～6249	淅	淺	涼	淤	渚	淪	淮	渭	湮	渟
6250～6259	湊	渥	湟	渾	渣	湫	溙	湶	湍	渟
6260～6269	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
6270～6279	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
6280～6289	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
6290～6299	滲	漱	滯	漲	滌					
6301～6309		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
6310～6319	潛	潛	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
6320～6329	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
6330～6339	濳	濵	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
6340～6349	瀏	濾	瀛	瀚	瀦	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
6350～6359	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
6360～6369	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
6370～6379	熙	煕	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
6380～6389	燁	燹	燔	燗	熹	熾	燒	燉	燧	燎
6390～9399	燠	燬	燧	燵	燼					
6401～6409		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
6410～6419	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
6420～6429	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
6430～6439	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
6440～6449	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
6450～6459	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獣	獵	獻
6460～6469	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
6470～6479	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	瑾	瑟	瑙
6480～6489	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
6490～6499	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
6501～6509		瓠	瓣	疋	疏	瓮	甌	甃	甕	甌
6510～6519	瓮	甄	甍	甌	甎	甍	甕	甕	甦	甞
6520～6529	甦	甬	甲	畄	畋	畔	畉	畛	畝	畚
6530～6539	畝	畤	畧	畫	畛	畸	當	疆	疇	畴
6540～6549	畳	畾	畳	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
6550～6559	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
6560～6569	痣	痞	痾	痿	痼	痺	痰	痺	痲	痳
6570～6579	瘋	瘍	瘧	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
6580～6589	瘰	瘻	癇	癈	癆	癘	癘	癡	癢	癨
6590～6599	癩	癪	癰	癬	癮					
6601～6609		癲	ヶ	発	皃	皃	皈	皐	皎	皖
6610～6619	皖	皓	晢	皚	皰	皴	皹	皸	皺	盂
6620～6629	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盼
6630～6639	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	昧	眷
6640～6649	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
6650～6659	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
6660～6669	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
6670～6679	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硫	碆	硼
6680～6689	碚	碌	碣	碵	碪	磆	磑	磆	磋	磔
6690～6699	碾	碼	磅	磊	磬					
6701～6709		磧	磚	磽	磴	礁	礒	礑	礙	礬
6710～6719	礫	祀	祠	祇	祟	祚	祕	祓	祺	祿
6720～6729	禊	禍	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
6730～6739	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6740～6749	稟	凜	稱	稻	廩	稷	稼	穂	穏	穡
6750～6759	穢	穏	龝	穣	穹	窄	窈	窗	窕	窘
6760～6769	窖	窩	竈	窯	窶	窺	竄	窿	窪	竇
6770～6779	竊	竍	竚	竝	竰	竍	竚	竝	竡	竢
6780～6789	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
6790～6799	笞	笵	笨	笶	筐					
6801～6809		筐	筌	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
6810～6819	筧	箏	筱	箍	箘	箜	箍	箘	箭	箸
6820～6829	箚	箋	箒	箏	筝	箙	箙	篁	篌	篏
6830～6839	箴	篆	篥	篩	簀	簔	篦	篥	籠	簀
6840～6849	簇	簀	篳	篷	簗	簍	篶	簀	簧	簪
6850～6859	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	簇	籀	籐
6860～6869	籘	籟	籤	籖	籥	籬	粁	粃	粐	粤
6870～6879	粭	粂	粨	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
6880～6889	粽	糀	糅	糘	糘	糘	糜	糢	糲	糯
6890～6899	糲	糲	糶	糺	紆					
6901～6909		紂	紜	紕	紊	絅	紘	絖	絏	紿
6910～6919	紂	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
6920～6929	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
6930～6939	緇	綽	綫	總	綢	綯	綛	綸	綟	綰
6940～6949	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緙	緘	縕	縣
6950～6959	縅	縒	縦	縋	縉	縋	縢	繆	繦	縻
6960～6969	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
6970～6979	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
6980～6989	辮	繿	纈	纉	續	纏	纈	纒	纔	纖
6990～6999	纎	纛	纜	缸	缺					
7001～7009		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
7010～7019	罟	罠	罨	罩	罷	罸	罰	罷	罹	羂
7020～7029	羈	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
7030～7039	羹	羶	羸	譱	翅	翠	翊	翕	翔	翡
7040～7049	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
7050～7059	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
7060～7069	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
7070～7079	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
7080～7089	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
7090～7099	脛	脩	脣	脯	腋					
7101～7109		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
7110～7119	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
7120～7129	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膵	臂
7130～7139	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臈	臈	臚	臟
7140～7149	臀	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
7150～7159	舎	舐	舗	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
7160～7169	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艚	艫	舵	艱
7170～7179	艶	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
7180～7189	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	荇	苹
7190～7199	苞	茆	苜	茉	苙					
7201～7209		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
7210～7219	茯	茫	茗	荔	荵	莚	莪	莟	莢	莖
7220～7229	莫	莎	莇	莊	茶	莵	荳	荵	莠	莉
7230～7239	莨	菴	萓	菫	菎	萩	萃	萩	萋	菁
区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7240～7249	蒂	萇	菠	菲	萍	菟	崩	莽	萸	蔆
7250～7259	萩	萓	萠	萼	萼	蒭	葷	葫	蘡	葭
7260～7269	蒂	葩	葆	萬	葯	葎	葛	蓊	蓋	蒹
7270～7279	蒿	蒟	蓙	蓍	蓊	蓚	蓐	蓁	蓆	蒐
7280～7289	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蓼	蔬	蔟	蒂	蔔
7290～7299	蓼	蘢	蒜	蕘	蕈					
7301～7309		蕁	藥	蕋	藹	薀	薙	薈	薑	薊
7310～7319	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕚	蕾	薐
7320～7329	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
7330～7339	蘊	蘂	蘋	藾	蘭	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
7340～7349	虍	虎	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
7350～7359	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
7360～7369	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
7370～7379	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蝣	蝓	蝋	蝪	蜿
7380～7389	蜷	蜻	蜥	蝋	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
7390～7399	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
7401～7409		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
7410～7419	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	螯	螟	蟆
7420～7429	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠑	蠖
7430～7439	蠑	蟆	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
7440～7449	衄	衂	衒	衙	衢	衢	衫	袁	衾	衰
7450～7459	衵	衽	衼	衲	袂	衫	袒	袮	袖	袢
7460～7469	袍	表	袰	袿	袱	袴	裄	裔	裘	裙
7470～7479	裝	裏	裟	裼	裴	裨	裲	裾	褌	福
7480～7489	褓	褒	褞	褥	褪	褫	襠	褻	褹	褶
7490～7499	褸	褌	褝	襠	襞					
7501～7509		襦	襤	襪	襴	襷	襾	覃	覈	覊
7510～7519	覯	覲	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
7520～7529	覺	覽	覿	覩	觚	觜	觝	觧	觴	觸
7530～7539	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
7540～7549	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
7550～7559	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
7560～7569	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
7570～7579	諞	諛	諮	謇	謚	謦	謨	譁	譌	譎
7580～7589	譖	鞫	譬	譫	譴	譁	譌	譏	譖	
7590～7599	證	譖	譖	譚	譫					
7601～7609		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
7610～7619	讓	讖	讙	讀	谺	豁	谿	豈	豌	豎
7620～7629	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
7630～7639	貍	貎	貔	貔	貘	貶	貭	貪	貽	貲
7640～7649	貳	貳	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
7650～7659	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贔	齎	贓
7660～7669	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
7670～7679	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
7680～7689	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
7690～7699	踉	踵	踰	踴	蹊					
7701～7709		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
7710～7719	蹣	蹕	躔	躋	躊	躇	躋	躍	躑	躡
7720～7729	躕	躓	躙	躪	躅	躔	躁	躬	躰	體
7730～7739	躾	軅	軈	軼	軋	軛	軣	軼	軻	軫
区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7740 ～ 7749	軅	軽	軺	軽	軦	軫	軼	軸	軼	輌
7750 ～ 7759	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	轇	轌	轉
7760 ～ 7769	轆	轎	轍	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
7770 ～ 7779	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邉	逈
7780 ～ 7789	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
7790 ～ 7799	逧	逶	逵	逹	迸					
7801 ～ 7809		遏	遐	遑	遖	遒	逎	遉	逓	遘
7810 ～ 7819	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
7820 ～ 7829	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
7830 ～ 7839	郛	鄂	鄒	鄙	鄢	鄰	酊	酖	酘	酣
7840 ～ 7849	酥	酩	酳	酲	酤	酵	酴	醢	醤	醴
7850 ～ 7859	醪	醸	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
7860 ～ 7869	釟	釜	釗	釵	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
7870 ～ 7879	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
7880 ～ 7889	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鋤	銕	鏥	銷
7890 ～ 7899	鋩	鋺	鋺	錙	鐶					
7901 ～ 7909		鏐	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
7910 ～ 7919	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
7920 ～ 7929	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
7930 ～ 7939	鐓	鐃	鐐	鐓	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
7940 ～ 7949	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	釬	鑰	鑼
7950 ～ 7959	鑾	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	門	閇	岡
7960 ～ 7969	閔	閖	閘	閙	閏	閨	閧	閭	閼	閻
7970 ～ 7979	閹	閾	闊	濶	闃	閣	閹	閼	閻	閾
7980 ～ 7989	關	闡	闌	闘	阡	阨	阮	阯	陂	陌
7990 ～ 7999	陏	陋	陷	陜	陞					
8001 ～ 8009		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
8010 ～ 8019	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隷	隹	雎
8020 ～ 8029	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
8030 ～ 8039	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
8040 ～ 8049	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
8050 ～ 8059	靤	靦	靨	勒	靱	靸	鞁	鞅	靼	鞁
8060 ～ 8069	靹	鞆	鞋	鞏	靭	鞜	鞨	鞦	鞳	鞴
8070 ～ 8079	韃	韈	韮	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
8080 ～ 8089	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
8090 ～ 8099	顏	顋	顓	顕	顰					
8101 ～ 8109		顱	顴	顯	颪	颯	颱	颶	飄	飃
8110 ～ 8119	飜	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
8120 ～ 8129	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
8130 ～ 8139	饐	饋	饑	饒	饌	饗	饂	饑	馥	馭
8140 ～ 8149	馮	馼	駆	駈	駛	駝	駒	駕	駭	駮	駱
8150 ～ 8159	駲	駸	駻	騁	騏	騅	騒	騙	騫	騒
8160 ～ 8169	驅	驂	驀	驃	驟	驕	驍	驛	驗	驟
8170 ～ 8179	驢	驥	驤	驪	驫	驪	骭	骰	骼	髀
8180 ～ 8189	髏	髑	髓	體	髞	髟	髷	髣	髦	髯
8190 ～ 8199	髫	髢	髣	髷	髞					
8201 ～ 8209		鬻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
8210 ～ 8219	鬩	鬮	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
8220 ～ 8229	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
8230 ～ 8239	鮠	鮨	鮴	鮹	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯆
区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8240 ～ 8249	鯣	鯢	鯤	鯒	鯡	鯵	鯱	鯰	鯰	鰕
8250 ～ 8259	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰔	鰧
8260 ～ 8269	鰹	鰮	鰯	鰹	鰤	鰊	鰲	鱆	鰾	鱚
8270 ～ 8279	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
8280 ～ 8289	鴃	鴆	鴪	鴇	鴬	鴒	鴟	鴣	鴕	鴿
8290 ～ 8299	鵁	鵠	鵡	鵜	鵙					
8301 ～ 8309		鵞	鵞	鵺	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
8310 ～ 8319	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鶏	鶲	鶺
8320 ～ 8329	鶻	鶸	鵳	鵴	鴾	鷁	鷂	鶫	鷓	鷏
8330 ～ 8339	鷆	鷦	鷭	鷽	鷸	鹵	鹹	鹽	麁	麈
8340 ～ 8349	麋	麕	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
8350 ～ 8359	麭	黼	黌	黎	黏	黝	黔	黜	點	黝
8360 ～ 8369	黠	黟	黨	黯	黴	黶	黷	黼	黻	黼
8370 ～ 8379	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼠	鼬	鼾	齊	齒
8380 ～ 8389	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
8390 ～ 8399	齲	齶	龕	龜	龠					
8401 ～ 8409		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			
8410 ～ 8419										
8420 ～ 8429										
8430 ～ 8439										
8440 ～ 8449										
8450 ～ 8459										
8460 ～ 8469										
8470 ～ 8479										
8480 ～ 8489										
8490 ～ 8499										
区点コード	＊0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

その他

文字上の数字はコードの下２桁を表します。

	コード
85	01 鷗 02 葛 03 祇 04 麹 05 鯖 06 錆 07 繍 08 騨 09 琢 10 啄 11 樽 12 塚 13 摑 14 塡 15 潑 16 醱 17 畸 18 菜 19 濱 20 髙 21 吉 22 楓 23 昇 24 栁 25 榊 26 弼 27 捗 28 醤 29 麺 30 逸 31 謁 32 縁 33 横 34 溫 35 禍 36 悔 37 海 38 渇 39 寛 40 漢 41 祈 42 器 43 虚 44 響 45 勤 46 謹 47 薫 48 掲 49 黄 50 黒 51 穀 52 祉 53 視 54 社 55 者 56 煮 57 臭 58 祝 59 暑 60 署 61 緒 62 諸 63 祥 64 渉 65 状 66 神 67 瀬 68 節 69 祖 70 巣 71 僧 72 層 73 増 74 憎 75 贈 76 即 77 嘆 78 著 79 徴 80 懲 81 都 82 徳 83 突 84 難 85 梅 86 繁 87 晩 88 卑 89 碑 90 賓 91 敏 92 侮 93 福 94 勉
86	01 歩 02 墨 03 毎 04 頼 05 欄 06 虜 07 綠 08 涙 09 類 10 暦 11 歴 12 練 13 錬 14 郎 15 朗 16 廊 17 錄 18 猪 19 祐 20 禎 21 渚 22 才 23 迂 24 噌 25 倦 26 堵 27 撰 28 屏 29 瀆 30 巌 31 曺 32 喆 33 琦 34 珉 35 曙 36 昆 37 蟬 38 清

記号一覧表

!! 注意 !!

記号一覧表の記号と印刷される記号の結果が異なるものがあります。

記述

、	。	,	.	・	:	;
?	!	ー	-	／	＼	～
@	~	_	§	†	‡	〃
ゞ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆
…	‥	※	＊			

省略

#	No.	&	〒	㊗	©	®
㊙	㊞	㊈	㊟	㊍	㊎	㊐
㊒	㊗	㊡	㊫	㊤	㊥	㊦
㈱	㈱	K.K.	㈲	㈶	㈳	㊨
㈻	TEL	FAX	♂	♀		

カッコ

‘	’	“	”	(	)	〔
〕	[	]	{	}	〈	〉
《	》	「	」	『	』	【
】						

矢印

→	←	↑	↓	↘	↖	↗
↙	➡	⬅	⬆	⬇	↔	↕

図形

○	●	◎	△	▲	▽	▼
◇	◆	□	■	☆	★	◇
◆	♤	♠	♡	♥	♧	♣

単位

%	‰	μm	mm	cm	m	km
ft	mile	cm²	m²	a	ha	km²
cm³	m³	mg	g	kg	t	cc
mℓ	dℓ	ℓ	kℓ	mol	¥	(円)
$	€	£	Fr	¢	A	V
Ω	W	kW	Hz	dB	HP	Å
@	°	′	″	℃	°F	Pt
ct						

算数

+	−	±	×	÷	=	≠
<	>	≦	≧	∞	∴	≡
≒	√	∽	∧	∫		

数字

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	○
一	二	三	四	五	六	七
八	九	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ
Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	ⅰ	ⅱ
ⅲ	ⅳ	ⅴ	ⅵ	ⅶ	ⅷ	ⅸ
X	1	2	3	4	5	6
7	8	9	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	0
+	−	½	⅓	⅔	¼	¾

2 桁数字

00 ～ 99

ギリシャ

Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η
Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ
Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ
Χ	Ψ	Ω	α	β	γ	δ
ε	ξ	η	θ	ι	κ	λ
μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ
τ	υ	φ	χ	ψ	ω	

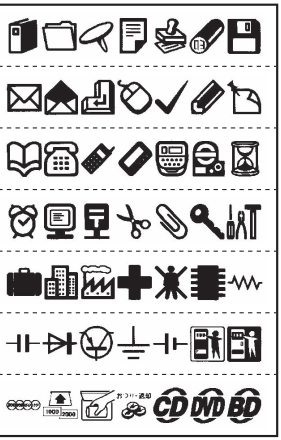
ロシア

А	Б	В	Г	Д	Е	Ё
Ж	З	И	Й	К	Л	М
Н	О	П	Р	С	Т	У
Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ
Ы	Ь	Э	Ю	Я	а	б
в	г	д	е	ё	ж	з
и	й	к	л	м	н	о
п	р	с	т	у	ф	х
ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь
э	ю	я				

欧州

ä	ë	ï	ö	ü	Ä	Ë
Ï	Ö	Ü	á	é	í	ó
ú	Á	É	Í	Ó	Ú	à
è	ì	ò	ù	À	È	Ì
Ò	Ù	â	ê	î	ô	û
Â	Ê	Î	Ô	Û	ñ	Ñ
ß	Ç	ç	Œ	œ	¿	¡

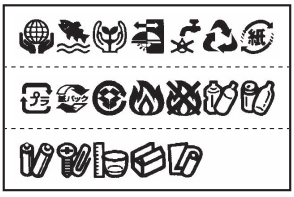
仕事



公共用



環境



荷物



スポーツ



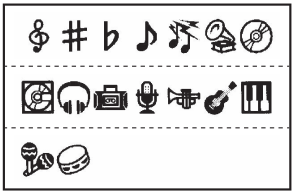
遊び



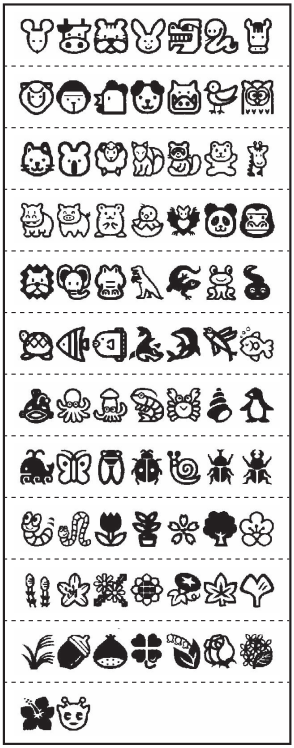
映画



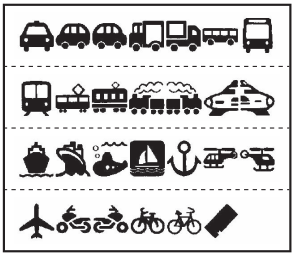
音楽



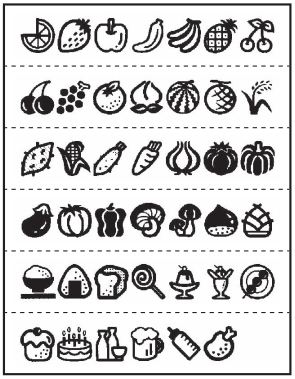
生き物



乗り物



食べ物



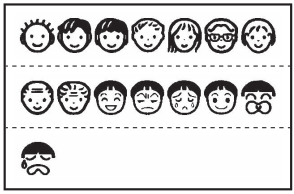
予定



暮らし



家族

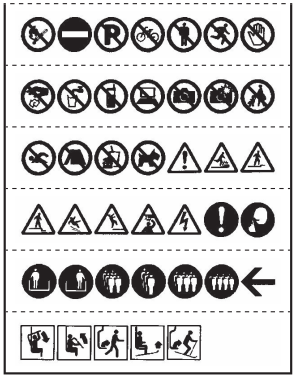


星座



案内用

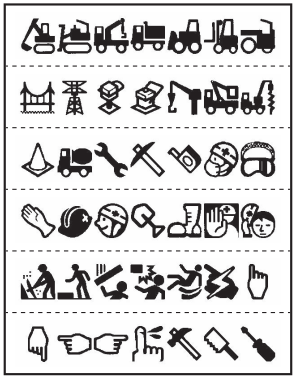




お店



建設



病院



編集



合成



付録

定型外国語一覧表

選択できる定型外国語の日本語を紹介します。
日本語の読みを入力し、検索結果から定型文を選ぶだけで、自動的に対応する英語、中国語、韓国語の文章が呼び出されます。さらに定型文によっては記号の入ったラベルになります。

MEMO

- 定型外国語に対応している定型文の日本語、英語、中国語、韓国語、記号の一覧は、キングジムのホームページをご覧ください。
- 一覧表の語順は、画面上で実際に表示される語順とは異なります。
- 装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字のつぶれが発生することがあります。
- 一覧表の文字とラベルに印刷される文字の字形が異なるものがあります。
- 定型外国語のほかにも、外国語を併記したラベル作成ができる Web サイト「テプラ 外国語ラベル工房」もあります。
  http://tepra.kingjim.co.jp/ にアクセスすれば、Web 上からテプラ外国語ラベルが印刷できます。

No.	記号	日本語
1		アイスクリーム
2		アイスコーヒー
3		アイスティー
4		ID カード
5		相部屋
6		アイロン
7		上がる
8		赤ワイン
9		秋
10		空部屋
11		開けられます
12		開ける
13		開けるな
14		朝ご飯
15	○	足もと注意
16		預り金
17		暖かい
18		熱い
19		後払い
20		危ない
21		アルコール
22		アルミ
23	○	安全バーを開ける

No.	記号	日本語
24	○	安全バーを閉める
25	○	案内
26	○	案内所
27		案内図
28		行き方
29		行き先
30		行き止まり
31		胃薬
32		居酒屋
33		医師
34	○	遺失物取扱所
35		医者
36		一日乗車券
37		胃腸薬
38	○	一列並び
39		1 階
40		一般
41		犬
42		イベントリスト
43		いらっしゃいませ
44		入口
45		医療品
46	○	飲食禁止

No.	記号	日本語
47	○	飲料水
48		烏龍茶
49		上
50		迂回路
51	○	受付
52		受付時間
53		右折
54		運休
55		運賃（電車）
56		運賃（バス）
57		運転免許証
58		エアコン
59		映画
60		映画館
61		営業時間
62		営業中
63		営業日
64	○	ATM
65	○	駅
66	○	エスカレーター
67	○	エレベーター
68		宴会場
69		エントランス

No.	記号	日本語
70		エントランスホール
71		横断歩道
72		往復
73		往復切符
74		往復料金
75		オーダー
76		オートロック
77		大広間
78		大盛り
79	○	お会計
80		おかわり自由
81	○	屋外プール
82		屋上
83		贈り物
84		お酒
85		お座敷
86		お札
87	○	お支払い
88		おしぼり
89	○	お食事
90		お酢
91		押す
92		お薦め
93		お茶
94		おつまみ
95		お釣り
96	○	お手洗
97		お手拭
98		お寺
99		お問い合わせ
100		大人
101		大人料金
102		おはようございます
103		お昼ご飯
104		オフ
105		オフィス
106	○	お風呂場

No.	記号	日本語
107		お待ちください
108	○	お店
109		お土産
110	○	おみやげ売場
111		お持ち帰り
112		お湯
113		折曲厳禁
114		終わり
115		オン
116	○	温泉
117		音量
118	○	カート
119		カード
120		カード支払い
121		カード挿入口
122		会員
123		開館時間
124		開館中
125		会議室
126	○	会計
127		介護犬
128		介護犬可
129		改札口
130		開始
131		介助犬
132		介助犬可
133	○	海水浴場
134		回数券
135	○	階段
136		懐中電灯
137		開店
138	○	ガイド
139		ガイドブック
140		開閉厳禁
141		開放厳禁
142	○	火気厳禁
143		学生

No.	記号	日本語
144		学生証
145	○	かけ込み禁止
146		火災報知器
147		貸切
148		風邪薬
149	○	ガソリンスタンド
150		片道
151		カタログ
152	○	滑面注意
153		可燃ごみ
154		可燃物
155	○	カフェ
156	○	カフェテリア
157		火曜日
158		カラオケ
159		カラオケルーム
160		辛子
161		ガラス
162		缶
163		換気扇
164		関係者以外立入禁止
165	○	観光案内所
166		観光案内資料
167	○	感電注意
168	○	館内案内
169		漢方薬
170		観覧料
171		貴金属
172		危険
173		危険物
174		北
175		北口（入口）
176		北口（出口）
177		貴重品
178		貴重品預かり所
179	○	喫煙車
180	○	喫煙所

No.	記号	日本語
181	○	喫煙コーナー
182	○	喫煙席
183	○	喫茶・軽食
184	○	喫茶店
185		キッチン
186	○	きっぷうりば
187		基本料金
188	○	客室
189		客室料金
190		客席
191		キャッシュ
192	○	キャッシュサービス
193	○	キャッシュディスペンサー
194		キャンセル
195		キャンセル待ち
196		キャンセル料
197	○	キャンプ禁止
198	○	キャンプ場
199		休館
200		休館日
201		救急箱
202		休業日
203	○	休憩所
204	○	救護所
205		休日
206		牛肉
207		牛乳
208		救命胴衣
209		教会
210		共同浴場
211	○	禁煙
212	○	禁煙時間
213	○	禁煙車
214	○	禁煙席
215	○	禁煙タイム
216		金額

No.	記号	日本語
217		緊急連絡先
218		金庫
219	○	銀行
220	○	銀行・両替
221	○	禁止
222		金曜日
223	○	空港
224		空車
225		空席
226		空調
227		クーポン券
228	○	くず入れ
229		薬
230		下り（下へ）
231		下り（電車）
232	○	下り段差注意
233		靴べら
234		靴をお脱ぎください
235	○	車椅子スロープ
236		クレジットカード
237	○	クローク
238		クローゼット
239	○	警告
240	○	警察
241		警察官巡回店
242	○	警察署
243	○	景勝地
244	○	軽食
245		携帯電話
246	○	携帯電話使用禁止
247		警備員巡回中
248		警備システム作動中
249		景品
250	○	ケーブル鉄道
251		ゲームコーナー
252		劇場
253	○	化粧室

No.	記号	日本語
254		下駄箱
255		月曜日
256	○	検疫
257		見学料
258		玄関
259		現金
260		現在地
261	○	券売機
262	○	ご案内
263		コインランドリー
264	○	コインロッカー
265	○	広域避難場所
266	○	更衣室
267	○	更衣室（女子）
268	○	更衣室（男子）
269	○	公園
270		高温注意
271		硬貨
272		硬貨投入口
273	○	航空機
274		高校
275		高校生
276		工事中
277	○	公衆電話
278		紅茶
279		交通案内
280	○	交番
281		御宴会場
282		コーヒー
283		コーラ
284		国際電話
285		国内電話
286	○	腰掛け式リフト
287		ご自由にお持ちください
288	○	ご出発
289		故障

No.	記号	日本語
290		胡椒
291		故障中
292		ご使用料
293		ご使用料金
294		ご署名
295	○	ご精算
296	○	ご精算所
297	○	ご相談窓口
298		ご注文
299		骨董品
300	○	ご到着
301		子供
302		子供用
303		子供料金
304		ご飯
305		ごみ置き場
306	○	ゴミ箱
307		ご予約
308		娯楽室
309		コレクトコール
310		ご連絡先
311		こわれもの
312		コンサートホール
313		コンセント
314		コンビニエンスストア
315		混浴
316		サービス料
317		サウナ
318		下がる
319		酒類
320		座敷
321		左折
322	○	撮影禁止
323	○	サッカー競技場
324		砂糖
325		サラダ

No.	記号	日本語
326	○	さわるな
327	○	三列並び
328		塩
329		歯科
330		時刻表
331	○	静かに
332		史跡
333	○	自然保護
334		下
335		試着室
336	○	室内プール
337		指定席
338	○	自転車
339	○	自転車乗り入れ禁止
340		自動
341		自動改札
342	○	自動券売機
343		自動ドア
344		自動販売機
345	○	支払い
346		自販機
347		紙幣
348		紙幣投入口
349		閉まる
350		事務所
351		閉める
352	○	シャワー
353	○	シャワー室
354	○	シャワールーム
355		シャンプー
356		従業員専用
357	○	終日禁煙
358		住所
359		ジュース
360		自由席
361		終点
362		重要

No.	記号	日本語
363		重要文化財
364		終了
365	○	宿泊施設
366	○	出国手続
367	○	出発
368	○	授乳室
369		小
370	○	障害物注意
371	○	消火器
372		小学生
373		小学校
374		使用可能
375		使用禁止
376		昇降口
377		乗車券
378		乗船券
379		使用中
380		消灯時間
381		消費期限
382		消費税
383		使用不可
384	○	情報コーナー
385		消防署
386		賞味期限
387		乗務員室
388		正面口
389		醤油
390		使用料
391		使用料金
392		食事
393	○	食堂
394		植物園
395	○	女子
396	○	女子トイレ
397	○	女性
398	○	女性専用
399	○	女性用

No.	記号	日本語
400		食券
401	○	ショップ
402		署名
403		所要時間
404	○	書類審査
405		資料室
406		城
407		白ワイン
408		シングルルーム
409		神社
410	○	身障者用設備
411	○	進入禁止
412		新発売
413	○	新聞・雑誌
414		深夜料金
415		深夜割増し
416		酢
417		炊事場
418		水族館
419		スイッチ
420		水曜日
421	○	スカッシュコート
422	○	スキー場
423	○	スキーの先を上げる
424	○	スキーヤーは降りる
425	○	頭上注意
426		スタッフ
427		スタッフ専用
428		スチール
429		頭痛薬
430	○	捨てるな
431		素泊まり
432	○	スポーツ活動
433		税・サービス料込み
434		税・サービス料別
435	○	税関
436		請求書

No.	記号	日本語
437		税金
438		税込み
439		税込価格
440	○	精算
441	○	精算機
442	○	精算所
443		成人
444		成人料金
445		清掃中
446		税抜き
447		セイフティボックス
448		正門
449		セール
450		石鹸
451		節水
452		設定温度
453		節電
454		説明書
455		セルフサービス
456	○	船舶
457		洗面所
458		送迎バス
459	○	相談窓口
460		ソース
461		その他
462		ソフトドリンク
463		大
464		大学
465		大学生
466		大使館
467		大浴場
468		タオル
469	○	多機能トイレ
470	○	タクシー
471	○	タクシーのりば
472	○	ダストボックス
473	○	立入禁止

No.	記号	日本語
474		ダブルルーム
475		食べ放題
476		食べ物では ありません
477	○	男子
478	○	男子トイレ
479		男女兼用
480	○	男性
481	○	男性専用
482	○	男性用
483		団体
484		暖房
485		チェックアウト
486	○	チェックイン
487		地下１階
488		地下鉄
489		チケット
490		チケット売り場
491		地図
492		チップ
493		チップ不要
494		茶
495		中
496	○	注意
497		注意事項
498		中央口（入口）
499		中央口（出口）
500		中学生
501		中学校
502	○	駐車禁止
503	○	駐車場
504		駐車料金
505		昼食
506		厨房
507		注文
508		駐輪禁止
509		朝食

No.	記号	日本語
510		朝食付き
511		聴導犬
512		調味料
513		直進
514		追加料金
515		ツインルーム
516		通行止め
517		通訳
518		つま楊枝
519		冷たい
520		釣銭
521	○	手洗い
522	○	手洗所
523	○	Tバーリフト
524		庭園
525		低温注意
526		定価
527		定休日
528		テイクアウト
529		停止
530		定食
531		テーマパーク
532		出口
533		手数料
534	○	鉄道
535	○	鉄道駅
536	○	テニスコート
537	○	手荷物預かり所
538	○	手荷物一時預かり所
539	○	手荷物受取所
540	○	手荷物検査
541	○	手荷物宅配
542		寺
543	○	電子機器使用禁止
544		展示室
545		展示物
546	○	電車

No.	記号	日本語
547	○	天井に注意
548	○	転倒注意
549	○	店舗
550	○	展望地
551	○	転落注意
552	○	電話
553	○	電話番号
554		問い合わせ
555	○	トイレ
556		トイレットペーパー
557		唐辛子
558		当日券
559	○	到着
560		投入口
561		動物園
562		道路地図
563		図書館
564		図書室
565		閉じる
566		土足厳禁
567	○	徒歩客は降りる
568		止まる
569		土曜日
570		ドライヤー
571		トラベラーズチェック
572		取扱説明書
573		取り消し
574		鶏肉
575		トレーニングルーム
576		ドレッシング
577		内線
578		夏
579		名前
580		生ビール
581		2階
582		西

No.	記号	日本語
583		西口（入口）
584		西口（出口）
585		日曜日
586		日本酒
587		日本茶
588		日本庭園
589	○	荷物検査
590		入園料
591		入館無料
592	○	入国手続
593		入室禁止
594		入場券
595		入場料
596	○	乳幼児用設備
597	○	二列並び
598		猫
599		値引き
600		上り（上へ）
601		上り（電車）
602	○	上り段差注意
603		登る
604		飲み放題
605		飲物
606	○	飲めない
607	○	飲めません
608		乗換え
609	○	乗り継ぎ
610		ノンアルコール
611	○	バー
612		バイキング
613		灰皿
614		配送料
615		配達
616	○	売店
617	○	博物館
618		箸
619	○	走るな

No.	記号	日本語
620	○	バス
621	○	バスターミナル
622	○	バス停
623	○	バスのりば
624		パスポート
625		発車時刻
626		発売中
627		花
628		歯ブラシ
629		払戻し
630		春
631		パン
632		半額
633		晩ご飯
634		パンフレット
635		ビール
636		東
637		東口（入口）
638		東口（出口）
639		引渡し所
640		引く
641	○	美術館
642	○	非常階段
643	○	非常口
644	○	非常電話
645		非常はしご
646		非常ベル
647	○	非常ボタン
648		左
649		左側通行
650	○	左側にお立ち ください
651		左へ曲がる
652		避難経路
653	○	避難所
654		避難通路
655		避難はしご

No.	記号	日本語
656		ビュッフェ
657	○	美容
658	○	病院
659	○	美容室
660		開く
661		昼ご飯
662		ビン
663	○	ファックス
664	○	プール
665	○	フェリー
666		豚肉
667		不燃ごみ
668		不燃物
669		冬
670		プラスチック
671	○	フラッシュ撮影禁止
672		プレゼント
673		触れてください
674	○	風呂場
675	○	フロント
676		ヘアリキッド
677		閉館時間
678		閉館中
679		平日
680		閉店
681		別館
682		ペット
683		ペット可
684	○	ペット不可
685		ペットボトル
686	○	ペット持ち込み禁止
687		別料金
688	○	ベビーカー使用禁止
689	○	ヘリコプター
690	○	ヘリポート
691		変圧器
692		ペンキ塗りたて

No.	記号	日本語
693		返却口
694		返却レバー
695		保育園
696	○	保育室
697	○	ポイ捨て禁止
698		防犯カメラ作動中
699		防犯ベル
700		ボディソープ
701	○	ホテル
702		本館
703		本日休業
704		前売券
705		前払い
706	○	待合室
707	○	待ち合わせ場所
708		まっすぐ
709		窓口
710		満室
711		満車
712		満席
713	○	ミーティング ポイント
714		右
715		右側通行
716	○	右側にお立ち ください
717		右へ曲がる
718		水
719	○	水飲み場
720	○	店
721	○	港
722		南
723		南口（入口）
724		南口（出口）
725		見本
756		土産
727	○	みやげ物売り場
728		無料

No.	記号	日本語
729	○	メールアドレス
730		メニュー
731		免税
732		免税店
733		免税品
734		麺類
735		盲導犬
736		盲導犬可
737		燃えないゴミ
738		燃えるゴミ
739		モーニングコール
740		木曜日
741		持ち帰り
742		持ち出し禁止
743	○	野球場
744	○	薬店
745	○	薬局
746		湯
747	○	遊泳禁止
748		遊園地
749		有効期限
750		夕ご飯
751		夕食
752		夕食付き
753		優先席
754	○	郵便
755		郵便切手
756		郵便局
757		郵便ポスト
758		有料
759	○	有料駐車場
760	○	有料トイレ
761		行き先
762		行き止まり
763		指挟まれ注意
764		ようこそ
765		楊枝

No.	記号	日本語
766		洋式
767		洋室
768		洋食
769		幼稚園
770		要予約
771	○	浴室
772		呼出し
773		予約
774		予約席
775	○	四列並び
776		ライス
777	○	ラウンジ
778	○	陸上競技場
779	○	リサイクル
780	○	リサイクル品 回収施設
781	○	理髪室
782	○	理容
783	○	両替
784		両替お断り
785	○	両替所
786		料金
787		料金表
788		領事館
789		領収書
790	○	旅館
791		旅行会社
792		旅行代理店
793		リンス
794		ルームサービス
795		冷蔵庫
796		冷房
797	○	歴史的建造物
798		レクリエーション ルーム
799	○	レストラン
800	○	レンタカー
801	○	レンタカーショップ

No.	記号	日本語
802		連絡先
803	○	ロープウェイ
804		録音禁止
805		路線図
806		ロッカー
807		露天風呂
808		ロビー
809		ワイン
810		和式
811		和室
812		和食
813		忘れ物
814	○	忘れ物取扱所
815		割り込み禁止
816		割箸
817		割引
818		割引券
819		割増し
820		われもの
821		われもの注意

ローマ字変換表

あ	あ A	い I YI	う U WU	え E	お O
か	か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO
さ	さ SA	し SI SHI	す SU	せ SE	そ SO
た	た TA	ち TI CHI	つ TU TSU	て TE	と TO
な	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
は	は HA	ひ HI	ふ HU FU	へ HE	ほ HO
ま	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
や	や YA		ゆ YU		よ YO
ら	ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO
わ	わ WA				を WO
ん	ん N＋(Y以外の子音または、アポストロフィー「'」) （例）N＋N→ん　N＋P→んP　N＋「'」→ん				
が	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
ざ	ざ ZA	じ ZI JI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
だ	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
ば	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
ぱ	ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO
きゃ	きゃ KYA	きぃ KYI	きゅ KYU	きぇ KYE	きょ KYO
しゃ	しゃ SYA SHA	しぃ SYI	しゅ SYU SHU	しぇ SYE SHE	しょ SYO SHO
ちゃ	ちゃ TYA CHA CYA	ちぃ TYI CYI	ちゅ TYU CHU CYU	ちぇ TYE CHE CYE	ちょ TYO CHO CYO
てゃ	てゃ THA	てぃ THI	てゅ THU	てぇ THE	てょ THO
にゃ	にゃ NYA	にぃ NYI	にゅ NYU	にぇ NYE	にょ NYO
ひゃ	ひゃ HYA	ひぃ HYI	ひゅ HYU	ひぇ HYE	ひょ HYO
みゃ	みゃ MYA	みぃ MYI	みゅ MYU	みぇ MYE	みょ MYO

りゃ	りゃ RYA	りぃ RYI	りゅ RYU	りぇ RYE	りょ RYO
ぎゃ	ぎゃ GYA	ぎぃ GYI	ぎゅ GYU	ぎぇ GYE	ぎょ GYO
じゃ	じゃ ZYA JA JYA	じぃ ZYI JYI	じゅ ZYU JU JYU	じぇ ZYE JE JYE	じょ ZYO JO JYO
ぢゃ	ぢゃ DYA	ぢぃ DYI	ぢゅ DYU	ぢぇ DYE	ぢょ DYO
びゃ	びゃ BYA	びぃ BYI	びゅ BYU	びぇ BYE	びょ BYO
ぴゃ	ぴゃ PYA	ぴぃ PYI	ぴゅ PYU	ぴぇ PYE	ぴょ PYO
つぁ	つぁ TSA	つぃ TSI		つぇ TSE	つぉ TSO
でゃ	でゃ DHA	でぃ DHI	でゅ DHU	でぇ DHE	でょ DHO
ふぁ	ふぁ FA	ふぃ FI FYI		ふぇ FE FYE	ふぉ FO
ふゃ	ふゃ FYA	ふぃ FYI FI	ふゅ FYU	ふぇ FYE FE	ふょ FYO
ヴぁ	ヴぁ VA	ヴぃ VI	ヴ VU	ヴぇ VE	ヴぉ VO
ぁ	ぁ LA XA	ぃ LI XI LYI XYI	ぅ LU XU	ぇ LE XE LYE XYE	ぉ LO XO
か	か LKA XKA			け LKE XKE	
っ	っ LTU XTU 同一の子音＋子音＝っ＋子音 （N以外有効）				
ゃ	ゃ LYA XYA		ゅ LYU XYU		ょ LYO XYO
わ	わ LWA XWA				

付録

おもな仕様

■入力

入力装置	JIS 配列準拠キーボード式（70 鍵） 文字ボタン 48、機能ボタン 22
入力状態	JIS 配列準拠ローマ字入力 JIS 配列準拠かな入力 JIS 配列準拠 ABC 入力 小文字入力、小文字ロック（ABC 入力時のみ）、記号入力、外字入力、コピー機能(30 文字まで)、コード変換入力(区点コード･JIS コード･シフト JIS コード)
漢字変換方式	ATOK for テプラ（予測入力、学習機能付き連文節変換） 搭載語句数 約 129,000 語（追加可能）

■表示

表示装置	ドットマトリクス FSTN 液晶パネル（バックライト付き）
文字表示	256dot × 80dot (15chr × 5line)
表示濃度	-5 ～ 0 ～ +5（11 段階）
インジケーター	47 個
LED	3 個

■記憶

文章メモリー	約 500 文字
内蔵ファイル	可変長データ式（あて名・名前と共用） 約 10,000 文字 / 最大 100 ファイル
辞書登録	最大 50 件
外字登録	ビットマップフルライン自動拡大登録 フルライン（16・24・32・40・48 ドット）× 10 文字
地紋データ登録	文字地紋 1 件 創作地紋 4 件
あて名登録	最大 100 件
名前登録	最大 40 件
印刷履歴	最大 5 件

■フォント（定型外国語の中国語、韓国語、QR コード入力時の半角文字を除く）

内蔵文字数　全 7,905 文字
- 漢字 JIS 第 1 水準 2,965 文字
- 漢字 JIS 第 2 水準 3,390 文字
- 漢字 その他 132 文字
- ひらがな・カタカナ・英数字・記号・その他　1,418 文字

内蔵フォント　アウトラインフォント

明朝体	：漢字書体・かな書体・英数書体
太型明朝体	：漢字書体・かな書体・英数書体
ゴシック体	：漢字書体・かな書体・英数書体
太型ゴシック体	：漢字書体・かな書体・英数書体
丸ゴシック体	：漢字書体・かな書体・英数書体
太型丸ゴシック体	：漢字書体・かな書体・英数書体
行書体	：漢字書体・かな書体・英数書体
太型行書体	：漢字書体・かな書体・英数書体
ペン行書体	：漢字書体・かな書体・英数書体
波ゴ体	：漢字書体・かな書体・英数書体
えれん体	：かな書体
太型えれん体	：かな書体
ハッピ体	：かな書体
太型ハッピ体	：かな書体
サンセリフ HV 体	：英数書体
太型サンセリフ HV 体	：英数書体
スクリプト BR 体	：英数書体
太型スクリプト BR 体	：英数書体
サンセリフ ST 体	：英数書体
太型サンセリフ ST 体	：英数書体
スクリプト PL 体	：英数書体
太型スクリプト PL 体	：英数書体

■印刷

印刷方式　熱転写 PRO 印刷方式

印刷濃度　-3 ～ 0 ～ +3（7 段階）

ヘッド構成　サーマルヘッド（384dot、360dpi）

テープ幅検出　P テープ規格検出孔対応

テープカートリッジ　P テープ規格ワンタイム・テープカートリッジ、たるみ・逆転防止機構付、耐摩擦 PRO 印刷式、4・6・9・12・18・24・36mm 幅

カッター　ハーフカット機能付きオートカッター　除電機構付

トリマー　センサーつき自動カド丸仕上げ（半径 3mm）

転写テープ検出　対応

■印刷機能

文字構成

13 段階（拡大印刷を含むと 30 段階）

F 字	24 × 24dot	（ 5 ポイント相当）
P 字	32 × 32dot	（ 6 ポイント相当）
S’ 字	40 × 40dot	（ 8 ポイント相当）
S 字	48 × 48dot	（ 10 ポイント相当）
M 字	64 × 64dot	（ 13 ポイント相当）
L’ 字	80 × 80dot	（ 16 ポイント相当）
L 字	96 × 96dot	（ 19 ポイント相当）
G 字	128 × 128dot	（ 26 ポイント相当）
U’ 字	160 × 160dot	（ 32 ポイント相当）
U 字	192 × 192dot	（ 38 ポイント相当）
H 字	256 × 256dot	（ 51 ポイント相当）
K’ 字	320 × 320dot	（ 64 ポイント相当）
K 字	360 × 360dot	（ 72 ポイント相当）

※テープ幅によって印刷できない文字サイズがあります。

デザインフォーム 112 種（テンプレート式）
ビジネスフォーム 8 種
あて名印刷 約 10,000 文字（最大 100 件） カスタマバーコード印刷機能付
名前印刷 約 1,120 文字（最大 40 件）
特殊印刷 連続、拡大、鏡文字
連番機能 加算一方向（繰り返し回数指定可）、1 桁連番、2 桁連番、1 桁丸付連番、2 桁丸付連番
バーコード QR コード、JAN-13、JAN-8、UPC-A、UPC-E、NW-7、ITF、CODE39（8 種）
定型外国語 日本語・英語・中国語（簡体字）・韓国語の定型文 821 種

■電源、その他

主電源 AC100V（同梱 AC アダプター AS1527J 使用のこと）
補助バッテリー アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単 3 形× 6 本）
電源スイッチ ボタン式
パワーオフ 操作終了後、約 5 分で電源を自動的にオフする
（外字作成・修正中、創作地紋作成・修正中、AC アダプター使用時のパソコンリンク中を除く）
PC 接続 USB ケーブルにて接続
寸法・重量 約 204W × 220D × 85H（mm）
約 1,160g（電池、テープカートリッジを除く）
同梱品 試用 PRO テープカートリッジ
ヘッド・クリーニングテープ（SR36C）
AC アダプター（AS1527J）
転写スティック
取扱説明書
保証書
ラベルソフト（CD-ROM）
PC ラベルソフト取扱説明書

別売品	PRO テープカートリッジ ヘッド・クリーニングキット（RC15） ヘッド・クリーニングテープ（SR36C） トリマー（RT36W） ラベルラミネーター（RL18） りぼんキット（SRR10） USB デバイスサーバ（RDS10） システムトランク（SR9BTN） システムバッグ（SR8B） システムケース（SR9H） テープカートリッジケース（SR4TH）

■使用条件

温度環境	動作時	5℃～ 35℃
	保存時	－ 10℃～ 55℃
湿度環境	動作時	30%～ 80%（非結露）
	保存時	5%～ 80%（非結露）

索引

記号

（バーコードマーク）..... 141
（QR コードマーク）..... 142
JECK（定型外国語マーク）..... 135
（全角スペース）..... 40
（半角スペース）..... 40
（印刷不可行頭マーク）..... 22、51
（連番マーク）..... 137、139
（罫入力記号）..... 79
合（合成マーク）..... 42
◀（フルメモリーマーク）..... 22
▶（文字モード指定マーク）..... 22、66
（カーソルボタン）..... 21
（記号外枠）..... 80
1 2（実質行頭マーク）..... 22、51
1 2（空白行頭マーク）..... 22、51

英数字

1 桁（連続番号）..... 136、137
1 桁丸付（連続番号）..... 136、137
2 行表示..... 157
2 桁（連続番号）..... 136、137
2 桁数字（記号）..... 63、165
2 桁丸付（連続番号）..... 136、137
2 倍印刷..... 144、146
3 行表示..... 157
3 倍印刷..... 144、146
4 倍印刷..... 144、146
5 行表示..... 157
8mm ビデオ（定長印刷）..... 71、82
A4 ファイル（定長印刷）..... 71、82
ABC（半角）入力..... 142
ABC 入力..... 39
AC アダプター..... 10、24
AC アダプター差込み口..... 18
ATOK 変換画面..... 23、33
ATOK 予測入力画面..... 23、32
B5 ファイル（定長印刷）..... 71、82
CD・DVD ケース（定長印刷）..... 71、82
CODE39（バーコード）..... 136、140
FD・MO（定長印刷）..... 71、82
ITF（バーコード）..... 136、140
JAN-8（バーコード）..... 136、140
JAN-13（バーコード）..... 136、140
MD（定長印刷）..... 71、82
NW-7（バーコード）..... 136、140
ON/OFF..... 21
ON/OFF ランプ..... 18
QR コード（デザインフォーム）..... 91、98
QR コード（バーコード）..... 136、142
QR コードマーク（）..... 142
RC15（ヘッド・クリーニングキット）..... 11
RDS10（USB デバイスサーバ）..... 11
RL18（ラベルラミネーター）..... 11
RT36W（トリマー）..... 11
SRR10（りぼんキット）..... 11
SR36C（ヘッド・クリーニングテープ）..... 11
SR4TH（テープカートリッジケース）..... 11
SR8B（システムバッグ）..... 11
SR9BTN（システムトランク）..... 11
SR9H（システムケース）..... 11
UPC-A（バーコード）..... 136、140
UPC-E（バーコード）..... 136、140
USB インターフェイスコネクター（パソコン接続用）..... 18
USB デバイスサーバ（RDS10）..... 11
VHS（定長印刷）..... 71、82

あ

あ・ア・A..... 21
アイロン転写テープ..... 167
アイロンラベル..... 167
あて名..... 103、113
　印刷..... 117
　グループ名修正..... 118
　修正..... 115
　消去..... 116
　登録..... 114
　複写..... 115
後揃え（割付け）..... 69、78
網かけ（囲み・網）..... 67
網濃度（囲み・網）..... 67
網濃度（地紋印刷）..... 71、84
誤り訂正レベル（QR コード）..... 136、142
アルカリ乾電池..... 24、151、159
淡文字（飾り字）..... 67、72
イメージ表示..... 23
印刷..... 20
印刷..... 44
印刷イメージ..... 22、151、157
印刷情報..... 22
印刷設定..... 150、152、154

印刷濃度 ..... 150、154
印刷履歴 ..... 103、111
　消去 111
　呼出 111
インジケーター 22
インデックス（縦）（ビジネスフォーム） ..... 91、99
インデックス（横）（ビジネスフォーム） ..... 91、99
上カバー 18
上カバーボタン 18
上書き呼出（ファイル） 106
英数字 38
英数書体（書体） 68
エラーメッセージ 169
大柄（創作地紋） ..... 71、86
オート・パワーオフ 29
オートトリマー ..... 18、56
　～のお手入れ 57
多め（余白） ..... 71、87
送りカット（テープ送り） ..... 30、166
お名前（デザインフォーム） ..... 91、98
オフィス（デザインフォーム） ..... 91、98
おまかせフォーマット（文字サイズ） ..... 69、76
お店表示（デザインフォーム） ..... 90、95
終わり？（編集） ..... 65、68、70、71
音楽テープ（定長印刷） ..... 71、82

か

カーソル ..... 22、48
　～の位置（編集） 65
カーソルボタン 21
改行 51
外国語（デザインフォーム） ..... 90、96
外字 ..... 103、127
　参照作成 132
　修正 130
　消去 131
　新規作成 129
　複写 131
　呼出 130
外字呼出（記号） ..... 130、165
改段落 ..... 21、53
ガイド表示 23
鏡文字印刷 ..... 144、148
角囲み（囲み・網） 67
角囲み網（囲み・網） 67
学習初期化 ..... 151、158
拡大印刷 ..... 144、146
確定文字 22
影文字（飾り字） ..... 67、72
囲み・網（文字モード） ..... 65、67、73、150
飾り字（文字モード） ..... 65、67、72、150
カスタマバーコード（あて名） 119
下線（囲み・網） 67
カタカナ 34
カッター 153
カド丸 56
かな書体（書体） 68
かな入力 34
画面設定 157
仮確定文字 ..... 22、33
環境設定 ..... 150、151、157
漢字 ..... 34、37
漢字書体（書体） 68
漢字変換表 178
記号 20
記号 ..... 35、41
　～一覧表 186
　～メニュー一覧 165
記号外枠（外枠・表組み） 80
行 51
鏡像 148
強調（斜体･強調） ..... 67、72
行頭マーク（1 2…■、1 2…□） ..... 22、51
極少（余白） ..... 71、87
均等（文字サイズ） ..... 61、69、75
均等割（割付け） ..... 69、78
空白 40
空白行頭マーク（1 2） ..... 22、51
区点コード ..... 149、178
クリーニングテープ 175
繰り返し回数（連続番号） ..... 136、137
グループ 104
グループ名修正 109
グレー文字ラベル 167
黒塗り（外字） 128
罫入力記号（罫） 79
ケーブル（ビジネスフォーム） ..... 91、100
ケーブル表示ラベル 167
合成（記号） ..... 42、165
合成記号 42
合成マーク（合） 42
コード入力 149
小柄（創作地紋） ..... 71、86
固定フック 18
コピー 21
コピー 50
細かく（伸･縮） ..... 67、73
小文字ロック ..... 21、39

さ

サイズ（文字サイズ）……61、69、75、150
削除 取消 ……21
削除……49
辞書……103、124
　修正……125
　消去……126
　登録……124
システムケース（SR9H）……11
システムトランク（SR9BTN）……11
システムバッグ（SR8B）……11
施設表示（デザインフォーム）……90、93
下並び（伸･縮）……67、73
実質行頭マーク（1 2）……22、51
指定範囲（編集）……65
自動（英数書体）……68
自動（かな書体）……68
自動（文字サイズ）……69
自動多め（余白）……71、87
自動カット……150、152
自動少なめ（余白）……71、87
シフト……21
地紋印刷（文章書式）……65、71、84、150
斜強調（斜体・強調）……67、72
斜体（斜体・強調）……67、72
斜体・強調（文字モード）……65、67、72、150
充電式ニッケル水素電池……24、159
自由のび²（文字サイズ）……69、77
仕様……199
消去……21、50、55
　～メニュー一覧……166
上質紙ラベル……167
正体（斜体・強調）……67、72
初期化……160
初期設定値……155
初期値（連続番号）……136、137
書体……20
書体……60
書体（文字モード）……65、68、74、150
白抜影（飾り字）……67、72
白塗り（外字）……128
白文字（飾り字）……67、72
伸・縮（文字モード）……65、67、73、150
少なめ（余白）……71、87
スペース……40
設定……21
　～メニュー一覧……150
狭い（文字間）……67、74
背見出し A4（ビジネスフォーム）……91、99
背見出し B5（ビジネスフォーム）……91、99
全角スペース（　）……40
全体の幅（バーコード）……136、140
選択 改行……21
全文消去（消去）……50、166
創作地紋（地紋印刷）……71、84、86
操作パネル……20
促音……35
外枠（外枠・表組み）……70、79
外枠・表組（段落スタイル）……65、70、79、150

た

耐熱ラベル……167
濁音……35
縦･横……20
縦・横……62
縦・横（段落スタイル）……65、70、81、150
たて書き（縦・横）……62、70、81
縦型よこ書き（縦・横）……70、81
縦型よこ書き（ビジネスフォーム）……92、102
段落……53
段落消去（消去）……55、166
段落スタイル……65
　～メニュー一覧……69
小さく（伸・縮）……67、73
チェックデジット（バーコード）……136、140
縮める（伸・縮）……67、73
蓄光ラベル……167
つめ²……83
定型外国語……20、133
　～一覧表……190
　～メニュー一覧……133
　～を使う……134
　～を編集する……135
ディスプレイ……18、22
ディスプレイ濃度……157
訂正線（囲み・網）……67
定長印刷（文章書式）……65、71、82、150
定ピッチ（ビジネスフォーム）……92、101
テープ送り……20、30、166
　～メニュー一覧……166
テープカートリッジ
　～をセットする……27
　～を使いわける……167
テープカートリッジケース（SR4TH）……11
テープカートリッジセット部……18
テープ確認窓……18
テープ通路……18
テープ出口……18

テープ幅 ..... 51、76
テキスト画面 22
デザインフォーム 88
　～見本 93
　～メニュー一覧 90
デモ印刷 162
電源
　～を入れる 29
　～を切る 46
転写スティック 10
転写テープ ..... 167、168
電池 24
電池カバー 19
電池ケース 19
電池種類 ..... 151、159
点描画（外字） 128
同梱品 10
特殊印刷 20
特殊印刷 ..... 20、144
　～メニュー一覧 144
トリマー（RT36W） ..... 11、56
トリマーガイド 18
トリマーカバー ..... 19、57
トリマー差込み口 18
トリマーテーブル 18

な

中揃え（割付け） ..... 69、78
中並び（伸・縮） ..... 67、73
なし（囲み・網） 67
名前 ..... 103、121
　印刷 122
　グループ名修正 122
　修正 122
　消去 122
　登録 121
日・英併記（デザインフォーム） ..... 90、96
ニッケル水素電池 ..... 151、159
入力切換 21
入力文字一覧表 177
熱収縮チューブ 167
伸ばす（伸・縮） ..... 67、73

は

バーコード ..... 20、136、140
バーコードマーク（123） 141
ハーフカット ..... 150、152
ハーフカットランプ ..... 18、152
パソコンリンク 21
パソコンリンクランプ 18
バックライト ..... 151、158
貼付け ..... 21、50
範囲は？（編集） ..... 66、68、70
半角 142
半角スペース（␣） 40
半濁音 35
ビジネスフォーム 88
　～見本 99
　～メニュー一覧 91
備品管理票（ビジネスフォーム） ..... 91、100
描画エリア（外字） 128
表組み（外枠・表組み） ..... 70、79
表示切換 ..... 151、157
表示濃度 ..... 151、157
ひらがな 34
広い（文字間） ..... 67、74
ファイル 20
ファイル ..... 103、104
　印刷 110
　グループ名修正 109
　消去 107
　登録 105
　複写 108
　～メニュー一覧 103
　呼出 106
フォーム ..... 20、88
　～メニュー一覧 90
フォーム見本 93
複数ラベル（ビジネスフォーム） ..... 92、102
ふつう（飾り字） ..... 67、72
ふつう（伸・縮） ..... 67、73
ふつう（文字間） ..... 67、74
ふつう（余白） ..... 71、87
復活 21
復活 49
フラッグ（縦）（ビジネスフォーム） ..... 92、101
フラッグ（縦横）（ビジネスフォーム） ..... 92、101
フラッグ（横）（ビジネスフォーム） ..... 92、101
ふりがな（名前） 123
フルメモリーマーク（◀） 22
プレビュー ..... 20、43
プロポーショナル（文字間） ..... 67、74
文章
　～を消去する 50
　～をファイルする 105
文章書式 65
　～メニュー一覧 71
文節切り換え 21
文節変換 21

分別廃棄・環境（デザインフォーム）.....90、93
平滑化（外字）.....130、165
ヘッド・クリーニングキット（RC15）.....11、175
ヘッド・クリーニングテープ（SR36C）
.....10、11、175、176
別売品.....11
変換 スペース.....21
変換.....37
変換候補一覧（ATOK 変換画面）.....33
変換候補数（ATOK 変換画面）.....33
変換候補番号（ATOK 変換画面）.....33
変換対象（ATOK 変換画面）.....33
編集.....20
編集.....65
編集（記号）.....40、79、165
編集設定.....150、155
編集続行？（編集）.....66、68、70、71
ホーム.....21
細・太の比率（バーコード）.....136、140
保存値.....155
ボタンナビ.....23

ま

枚数指定（連続印刷）.....144
前揃え（割付け）.....69、78
マグネットテープ.....167
マスキングテープ「mt」ラベル.....167
丸囲み（囲み・網）.....67
丸囲み網（囲み・網）.....67
密着（文字間）.....67、74
ミニ DV（定長印刷）.....71、82
見本
　デザインフォーム・ビジネスフォーム.....93
無変換.....21、34
メニュー.....23
メニュー一覧.....164
　記号.....165
　消去.....166
　設定.....150
　段落スタイル.....69
　定型外国語.....133
　テープ送り.....166
　デザインフォーム・ビジネスフォーム.....90
　特殊印刷.....144
　ファイル.....103
　文章書式.....71
　編集.....67
　文字モード.....67
　連番・QR・バーコード.....136
メニュー階層.....23
メニュー画面.....23
文字
　～をコピーする.....50
　～を削除する.....49
　～を挿入する.....49
　～を入力する.....34
　～を貼り付ける.....50
　～をもとに戻す（復活）.....49
文字間（文字モード）.....65、67、74、150
文字サイズ.....20
文字サイズ.....61
文字サイズ（段落スタイル）.....65、69、75、150
文字地紋（地紋印刷）.....71、84、85
文字変換 / コード変換.....21
文字ボタン.....21
文字モード.....65
　～メニュー一覧.....67
文字モード指定マーク（▶）.....22、66

や

拗音.....35
用途（QR コード）.....136、142
よこ書き（縦・横）.....62、70、81
予測候補数.....32
予測候補番号.....32
予測入力.....34
予測入力候補一覧.....32
余白（文章書式）.....65、71、87、150

ら

らく²（文字サイズ）.....69、75
ラベルラミネーター（RL18）.....11
リセット（印刷設定）.....150、154
リセット（編集設定）.....150、156
りぼん.....167
りぼんキット（SRR10）.....11
連結呼出（ファイル）.....106
連続印刷.....144、145
連番号.....136、137
連番.....20、136、137
連番・QR・バーコード.....136
　～メニュー一覧.....136
連番マーク（¹N ²N ¹N ²N）.....137、139
ローマ字入力.....34
ローマ字変換表.....198
ロングテープ.....167

わ

割付け（段落スタイル）.....65、69、78、150

アフターサービスについて

■保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめの上、販売店よりお受け取りください。保証書と裏面の保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本機およびご使用中のACアダプター・テープカートリッジなど一式と保証書をお買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。商品をお買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店までお持ちください。

なお、修理・検査をおこなうと、登録されているファイル・外字・入力した文章のデータや学習内容などは消去されます。また、修理のとき一部代替部品を使わせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、**お買い上げ販売店**または**当社お客様相談室**にお問い合わせください。

お客様相談室　0120-79-8107

携帯電話からの場合 **0570-06-4759**（通話料お客様負担）

株式会社キングジム

東京都千代田区東神田二丁目10番18号 〒101-0031
https://www.kingjim.co.jp/

■最新情報については

「テプラ」に関する最新の情報は、当社のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス　http://www.kingjim.co.jp/

「テプラ」PRO SR950 取扱説明書

2014 年　2 月　第 3 版

株式会社キングジム

〒 101-0031　東京都千代田区東神田 2 丁目 10 番 18 号

SR950
取扱説明書

KING JIM

・お問い合わせ

お客様相談室 0120-79-8107

携帯電話からの場合 0570-06-4759（通話料お客様負担）

株式会社キングジム

東京都千代田区東神田二丁目10番18号 〒101-0031

https://www.kingjim.co.jp/

©2010 Printed in China08-③